

平成24年3月
秋田県公文書館所蔵
古文書目録第8集
資料群目録3

佐竹北家文書・佐竹西家文書目録 (秋田藩関係文書Ⅲ)

秋 田 県 公 文 書 館

凡 例

1 この目録には、秋田県立秋田図書館に旧蔵されていた文書のうち、佐竹文庫（北家）および佐竹文庫（西家）として分類されていた資料を、「佐竹北家文書」・「佐竹西家文書」として、それぞれ1306点、1268点あわせて2574点を収録した。

この資料群は、秋田県庁旧蔵古文書・佐竹文庫のように秋田藩庁に保管されていた資料ではないが、秋田藩政に関連する重要な資料群と考えられるので、総称として「秋田藩関係文書」という呼称を継続して用いている。

2 この目録は、次の項目で編成した。

(1) 資料番号

- ・資料番号は県立秋田図書館旧蔵のものを踏襲しているが、必要に応じて枝番を付した。
- ・資料番号順に並んでいないが、資料の順番については解題を参照。

(2) 資料名

- ・資料名は県立秋田図書館旧蔵のものを踏襲しているが、資料の様式や内容から適宜変更した。
- ・明らかな写の場合は、簿冊では備考に、一紙では資料名の最後に明記した。

(3) 年代

- ・和暦年、西暦年、年月日をアラビア数字で記載した。
- ・西暦年は（ ）書きとした。また、推定した和暦には（ ）を付した。
- ・元号のみがわかる場合は「〇〇年間」とし、元号がまたがる場合は「〇〇～〇〇」とした。
- ・簿冊の年代は記載内容年代を採り、書写された年代がわかる場合は備考に「〇年作成」と記した。

(4) 作成・差出および受取

- ・2名まではそのまま記載したが、3名以上の場合は「〇〇ほか〇名」と記載した。

(5) 形状

- ・簿冊の場合は次の項目を用いた。～縦帳、横帳、横半、簿冊、綴、罫紙、原稿等
- ・縦帳・横帳・横半のどれにも分類できないものを「簿冊」とした。
- ・別々の資料が単に綴られている場合は「綴」とした。
- ・簿冊の場合は形状の後ろに丁数を（ ）で示した。
- ・一紙の場合は次の項目を用いた。～縦紙、切紙、継紙、折紙、罫紙、原稿等
- ・絵図等特殊なサイズのものについては「(たて) cm × (よこ) cm」を記載した。

(6) 備考

- ・資料に関する情報や内容について、要点にかぎり旧目録の特記事項をもとに記載し、旧目録に特記事項のないものは適宜追加した。
- ・旧目録の資料名を大きく変えた場合は、備考の最初に旧資料名を残した。
- ・表紙等から抜き書きした文言については「 」で示した。
- ・枝番2以降で枝番1と備考の内容が同一の場合は省略した。

(7) その他

- ・漢字はおおむね常用漢字を使用した。例：檜山→桧山、瀧→滝、嶋→島、峯→峰など
- ・数字はアラビア数字で統一した。
- ・不明な字は□で表記し、字数不明の場合は[]で表記した。

解 題

伝来の経緯

秋田藩では、一門・引渡・廻座などの家格があったが、藩主と同族の家柄である一門の中で、特に佐竹姓を称する家を御苗字衆といい、東家（久保田城下）・北家（角館）・南家（湯沢）・西家（大館）の四家があった。

佐竹北家は、佐竹義斯が初代秋田藩主・義宣の元服の際に加冠を務め、以後代々の佐竹宗家の加冠を務めることとなった名門である。明暦2年（1656）にそれまで角館を支配していた芦名氏断絶を受けて、義隣（義斯の曾孫、京都の公卿・高倉永慶二男）が角館に移住し所預となった（給地3600石）。その後、明治に至るまで角館に居住し十一代を数えた。

佐竹北家文書は、昭和27年（1957）に北家当主であった佐竹敬次郎氏から秋田県立秋田図書館に譲渡された855点に、同63年に古書店より購入した410点を併せて角館佐竹家旧蔵文書として整理されたもので、平成5年（1993）の公文書館開館に伴って移管された。

佐竹西家は、小場義成が義宣とともに秋田に移った後、桧山居住を経て慶長13年（1608）から大館城代となった（給地13500石）。その後、義易を経て義房の代に、二代藩主・義隆より佐竹姓が認められ、さらに義村の代の享保21年（1736）に西家と称することが許された（苗字の地の小場村が常陸太田城の西にあったため）。西家も明治維新まで大館に居住し十一代を数えた。

佐竹西家文書は、昭和26年（1951）に西家当主の佐竹義履氏が秋田県に寄贈し秋田県立秋田図書館の所蔵となった。同32年に『佐竹文庫目録 弑』が刊行され、大館佐竹家旧蔵文書として整理された。平成5年に公文書館に移管された。

なお、佐竹南家文書のうち佐竹南家日記は、南家から湯沢市立湯沢図書館へ寄贈され翻刻が進められている。その他の南家文書は、国文学研究資料館（東京都立川市）が古書店を通じて昭和22年（1947）に購入し、公開されている。

佐竹東家の文書の所在は確認されていない。

再整理

両資料群名は、佐竹宗家の資料と合わせて佐竹文庫と一括して総称されていたが、本来所蔵元・作成経緯・残存形態等、資料群として別個のものであるので、宗家の資料群を佐竹文庫とし、北家・西家の資料をそれぞれ「佐竹北家文書」・「佐竹西家文書」と呼称することとした。

分類は両資料群とも、まず年代によって江戸期と明治期を分け、その上で資料の形態による分類と内容による分類を行い、大項目・中項目・小項目に分け、それぞれⅠ～Ⅲ・1～10・(1)～(9)とした。なお、佐竹北家文書では北家御日記とその抜書類を別項目とし、佐竹西家文書では戊辰期の資料を別項目として扱った。分類内容については次章の目録概要を参照。

資料の配列は一部を除いて、同項目内で年・月日順、年代不明のものは月日順とした。同月の場合は日付のあるものを先に置いた。年代のないものは資料番号順とした。

目録概要

○佐竹北家文書（1306点）

I 江戸期（461点）

江戸期の資料をまとめた。中項目は以下の8項目とした。

1 下達文書 (209 点)

本藩から北家へ下達された文書を形態により、(1) 御条目 (37 点)、(2) 執達 (25 点)、(3) 被仰渡 (116 点)、(4) 達書・触書 (31 点) の 4 項目に分類した。(4) には北家からの達書を含んでいる。

2 上申文書 (60 点)

北家から本藩へ、あるいは給人等から北家へ差し出された文書をまとめ、(1) 北家から差し出されたもの (31 点) と (2) 北家以外のもの (29 点) に大きく分けた。

3 書状 (68 点)

各書状を差出で区別し、(1) 佐竹氏 (12 点) と (2) 佐竹氏以外 (56 点) に分類した。(2) は五十音順に配列した。

4 記録類 (33 点)

御用状控、留書、北家由緒書、一代御記録などの記録類をまとめた。

5 給人・家人系図・由緒書 (19 点)

北家の給人・家人の系図や由緒書を五十音順に配列した (石川氏から矢野氏まで)。

6 知行関係資料 (29 点)

北家の知行関係として証文や分知許可をまとめた。

7 起請文 (6 点)

各種の起請文をひとまとめにした。

8 その他 (37 点)

上記の 7 項目の当てはまらない雑多なものをまとめた。口上書、口演覚など。

II 戊辰・明治期 (17 点)

戊辰期、明治期にあたるものをそれぞれ分類した。

1 戊辰期 (5 点)

慶応 4 (明治元) 年の戊辰戦争に関する資料をまとめた。被仰渡、総督府沙汰書など。

2 明治期 (12 点)

御勤日記ほか明治 2 年以降の資料をまとめた。由緒書上、家筋取調帳など。

III 御日記 (828 点)

北家御日記と関連する抜書などをまとめた。

1 北家御日記 (776 点)

秋田県の指定文化財である北家御日記 (765 点) を年月日順にまとめた。

分冊と枝番があるため総点数は 776 点となっている。

2 御日記抜書 (52 点)

北家御日記の抜書等をまとめた。I - 4 の記録類も参照のこと。

○佐竹西家文書 (1268 点)

I 江戸期 (754 点)

江戸期の資料をまとめた。中項目は以下の 7 項目とした。

1 下達文書 (158 点)

本藩から西家への下達の文書を (1) 御条目 (70 点)、(2) 執達 (13 点)、(3) 被仰渡 (43 点) と達書等の (4) その他 (29 点) の 4 項目にまとめ、(5) 西家から家人への回文・判紙 (3 点)

を追加した。

2 上申文書 (41 点)

(1) 願書・届書として西家から本藩への上申、支配地から西家への上申をまとめた (26 点)。上申のうち、(2) 各村からの巡見使に関する回答 (15 点) は別項目とした。

3 藩主直書 (153 点)

各種の書状から別に藩主からのものを直書とし藩主ごとにまとめた。内訳は(1)義処(28点)、(2)義格(7点)、(3)義峰(28点)、(4)義真(5点)、(5)義局(義明の初名)(5点)、(6)義敦(24点)、(7)義和(26点)、(8)義厚(21点)、(9)義堯(9点)となっている。内容は年賀の挨拶、参勤による江戸城登城の報告等である。

4 書状 (109 点)

藩主以外の書状を(1)佐竹氏関係(59点)と、それ以外を(2)藩内の佐竹家臣、東禅院(32点)と(3)藩外の幕府老中・隣藩・水戸からのもの(18点)に分けた。佐竹氏以外は(2)・(3)とも差出人の五十音順に並べた。

5 由緒書・系図 (93 点)

文書提出に係わる資料を(1)系図類(10点)と(2)系譜・由緒書・家蔵文書(36点)及び(3)系図取纏・青印書(13点)に分け、藩主から西家当主への(4)一字書付(20点)や(5)分限帳等(5点)、(6)その他として引証本・法名等(9点)をまとめた。

6 記録 (117 点)

(1) 日記や留書、手控などの記録類(102点)をまとめた。(2) 官中秘策(15点)はひとまとまりとして残されており別項目とした。

7 その他 (87 点)

上記6項目に当てはまらない資料をまとめたが、そのうち(1)目録(18点)と(2)絵図(17点)、(3)御指紙(15点)を別項目とし、どれにもあてはまらないものを(4)その他(33点)とした。(4)には借上調や刀剣に関する書付などがある。

II 戊辰期 (183 点)

明治元年前後だけでなく、戊辰戦争に関係する資料を次の5項目としてまとめた。

1 下達文書 (25 点)

戊辰期の下達文書をまとめた。御条目や執達のほか行政官の沙汰書などがある。

2 上申文書 (6 点)

戊辰期の上申文書をまとめた。家人の軍功が記載された筋目書が含まれる。

3 書状 (20 点)

戊辰期の書状をまとめた。須田盛久や小貫頼房など家老からの指示が主である。

4 軍功 (111 点)

大館の戊辰戦争に関する軍功についての文書を、(1)軍功書(63点)、(2)人別帳・軍割帳(41点)、(3)等級調(10点)の3項目に分類した。

5 その他 (18 点)

上記の4項目の当てはまらない資料を、(1)日記・日誌(7点)、(2)情報書付・消息(6点)、(3)請払帳(2点)、(4)宿継奉札(2点)、(5)戦争絵図(1点)の5項目でまとめた。

III 明治期 (331 点)

明治期以降の資料を以下の10の中項目に分類した。

- 1 下達文書 (41 点)
明治期以降の下達文書をまとめた。御条目・執達のほか御用状写や御布告書などが含まれる。
- 2 上申文書 (41 点)
明治期以降の上申文書をまとめた。当主・義遵がまとめた伺届類が中心である。
- 3 書状 (22 点)
明治期以降の書状をまとめた。本藩家老、家人、家族からの書状類である。
- 4 日記類 (37 点)
明治 2～5 年の御膳番所の日記と明治 18 年以降の義遵の日記をまとめた。
- 5 西家由緒・履歴書・判任状 (23 点)
西家由緒や履歴書、大蔵省判任状などをまとめた。
- 6 給人・家人系図・由緒書 (80 点)
明治 3 年に提出された給人や家人の系図・由緒書を五十音順にまとめた (秋元氏から渡部氏まで)。
- 7 家政関係資料 (38 点)
明治以降の西家の家政に関する勘定帳や請取書などの資料をまとめた。
- 8 御用状案紙・手控 (8 点)
家人の前小屋氏ほかまとめた御用状案紙や手控などをまとめた。
- 9 社寺・葬礼 (12 点)
社寺・葬礼等の明治期以降の宗教関係の資料をまとめた。切支丹調や寺院調査書、祭文などがある。
- 10 その他 (29 点)
上記の 9 項目に当てはまらないものをまとめた。銀行や興産社など団体設立関係、刀剣の売買関係などがある。

参考資料

当主一覧として、角館と大館に移住して以降の佐竹北家当主・西家当主をそれぞれ系図から抜き出し、「代数・諱名／生没年、享年／通称、続柄／事績」を表にまとめた。渡辺喜一編『新編佐竹七家系図』(平成 5、加賀谷書店)をもとに、AS288.2-33「源姓佐竹総系図」(宝永 3、中村光得作成)ほか北家系図や西家系図によりまとめた。

なお、県内の主要な地名は『秋田県庁旧蔵古文書目録』の秋田藩関係地図、宗家の主要な人物については『佐竹文庫目録』の佐竹氏系図を参照のこと。

<参考文献>

- ・昭和32年 4 月『秋田県立秋田図書館所蔵 佐竹文庫目録 弐・参』
(大館佐竹家旧蔵文書、角館佐竹家旧蔵文書)
- ・平成 2 年 3 月『秋田県歴史資料目録 第二十六集』
(「佐竹文庫目録 四」角館佐竹家旧蔵文書追加分)

佐竹北家当主一覽（角館移住以降）

1	よしちか 義隣	<p>【生没年】元和5（1619）～元禄15（1702）【享年】84歳。 重丸、又四郎、義親、河内、主計。高倉永慶二男、母は義重女。</p> <p>寛永5（1628）京都から北家に入り北家再興。 明暦2（1656）角館移住、所預となる。 延宝2（1674）北家御日記の記載始まる～明治27年まで（765冊） 所預支配の与力を組下と称する。</p>
2	義明	<p>【生没年】寛永20（1643）～元禄12（1699）【享年】57歳。 又四郎、左衛門。義隣嫡子。 延宝9（1681）家督。貞享4（1687）藩主名代で京都に赴く。</p>
3	よしかた 義命	<p>【生没年】寛文7（1667）～享保11（1726）【享年】60歳。 初名義福、又四郎、左衛門、主計。義明嫡子。 延宝6（1678）元服。元禄12（1699）家督。 元禄16（1703）義峰公御乗出に扈從、登營。</p>
4	よしより 義拋	<p>【生没年】元禄16（1703）～宝暦6（1756）【享年】54歳。 初名義富、乙菊、又四郎、左衛門、主計。義命第二子。 正徳4（1714）元服、享保11（1726）家督、宝暦5（1755）致仕。</p>
5	よしくに 義邦	<p>【生没年】享保3（1718）～天明7（1787）【享年】70歳。 竹之助、左膳、又四郎、但馬、図書、河内、主計。東義本四男。 寛保元（1741）出仕（義拋女つると縁組）。宝暦5（1755）家督。 宝暦7（1757）～明和2（1765）久保田において国事に与る。 宝暦12（1762）義敦公に加冠する。 明和2（1765）勤功300石加増、4400石となる。明和6（1769）致仕。</p>
6	よしみ 義躬	<p>【生没年】寛延2（1749）～寛政12（1800）【享年】52歳。 初名義寛、太郎、又四郎、河内、主計。義邦嫡子。 字通大、号小松山人、雪松、一謙亭、嘯月亭、江東閣主、三紅、俳号素盈。 宝暦13（1763）元服。明和6（1769）家督出仕。 天明元（1781）光格天皇即位祝賀に名代として上京。 天明5（1785）天徳寺において源通公（義敦）大法会を撰する。 天明8（1788）義和公御乗出に扈從、登營。寛政11（1799）致仕。</p>
7	よしぶみ 義文	<p>【生没年】明和7（1770）～文政8（1825）【享年】56歳。 百太郎、又四郎、河内、讃岐。義躬嫡子。 号豁齋、北漫翁、北塘老、睡溪、樵夫、河東園主、孟武、俳号璞亭、二世坤麓。 天明6（1786）元服。寛政元（1789）出仕。享和元（1801）家督。 文政2（1819）藩主義厚幼少のため久保田在府の命あり。 文政3（1820）国相参議となる。 文政5（1822）国政参議を免ぜられる。300石を賜う。文政8（1825）致仕。</p>
8	よしやす 義術	<p>【生没年】寛政5（1793）～天保12（1841）【享年】49歳。 百太郎、又四郎、河内。義文嫡子。 文化2（1805）元服、出仕。文政8（1825）承襲。</p>
9	義許	<p>【生没年】天保8（1837）～嘉永5（1852）【享年】16歳。 徳太郎、乙菊。多賀谷厚孝長子（母は義術女＝庫クラ）。 天保13（1842）特命により義術の嗣となり家督。嘉永4（1851）出仕。</p>
10	よしとも 義倫	<p>【生没年】嘉永元（1848）～万延元（1860）【享年】13歳。 輝吉、虎菊、主計。東義祚第二子。 嘉永6（1853）北家を継ぐ。安政6（1859）出仕。</p>
11	義尚	<p>【生没年】嘉永元（1848）～明治42（1909）【享年】62歳。 竹之助、盛貞、虎菊、河内。江戸旗本根来采女盛実（相馬益胤弟）二男。 文久2（1862）養子、家督、出仕。 慶応4（1868）戊辰戦争で角館防衛に努める。 明治33（1900）男爵、叙従五位（のち正五位）。</p>

佐竹西家（小場家）当主一覧（大館移住以降）

1	義成	<p>【生没年】永禄12（1569）～寛永11（1634）【享年】66歳</p> <p>六郎、右兵衛尉、式部大輔。義宗嫡子。弟宣忠は小場源左衛門家の祖。 天正14（1586）家督。慶長7（1602）松山に住す。 慶長13（1608）大館城代。慶長19（1614）5000石となる。</p>
2	義易	<p>【生没年】慶長6（1601）～万治元（1658）【享年】58歳</p> <p>六郎、式部、参河、石見。義成嫡子。 寛永12（1635）義宣公葬礼の喪主となる。</p>
3	よしふさ 義房	<p>【生没年】寛永20（1643）～貞享元（1684）【享年】42歳</p> <p>初名義寛（よしひろ）、六郎、勘解由、石見。小場隆房（義易弟）長子。 明暦2（1656）家督、引越、出仕。 万治元（1658）義隆公より佐竹姓を賜う、以後佐竹氏を名乗る。</p>
4	義武	<p>【生没年】延宝2（1674）～元禄9（1696）【享年】23歳</p> <p>和膳、多膳、六郎。義房第二子。 貞享2（1685）出仕、元服、継目。</p>
5	義方	<p>【生没年】天和3（1683）～宝永7（1710）【享年】28歳</p> <p>亥（猪）之助、六郎、字子膳。東義秀五男。 義処公命じて義武の食禄13500石の内、9000石を賜り嗣と為す。 元禄10（1697）出仕、家督。</p>
6	よしむら 義村	<p>【生没年】宝永3（1706）～明和5（1768）【享年】63歳</p> <p>元千代、初名義通また義喧（よしあつ）、石見、大和。小場処応長子。 享保3（1718）家督、出仕。享保21（1736）西家と称することを許される。 宝暦7（1757）銀札事件、500石加増。</p>
7	義休	<p>【生没年】享保13（1732）～寛政2（1790）【享年】59歳</p> <p>元千代、長菊、右膳、大和、丹後、初名義知、義卓、義弦。 延享元（1744）出仕、改右膳。明和6（1769）家督、改大和。 天明8（1788）慎みを命ぜられる。天明9（1789）致仕。</p>
8	義種	<p>【生没年】宝暦11（1761）～文化13（1816）【享年】56歳</p> <p>長菊、元千代、石見、近江、初名義邑。義休嫡子。 安永2（1773）出仕、改石見。天明9（1789）父義休致仕、家督。 寛政11（1799）病気により致仕。</p>
9	よしもと 義幹	<p>【生没年】寛政3（1791）～嘉永5（1852）【享年】62歳</p> <p>初名義隣（よしさと）、元千代、長菊、隆之助、守雄、石見、大炊助。義種嫡子。 寛政11（1799）父致仕により家跡を継ぐ、麾下の士の指揮は国相に委ねる。 享和3（1803）家督、改義隣、石見。文化2（1805）禄高7750石余。 天保9（1838）故ありて嫡子義茂とともに蟄居、その後免ぜられる。</p>
10	よししげ 義茂	<p>【生没年】文化9（1812）～慶応4（1868）【享年】57歳</p> <p>元千代、参河、近江、字松卿、号鸞斎、此君斎。義幹嫡子。 文政8（1825）出仕。嘉永5（1862）家督。元治元（1864）隠居。</p>
11	よしゆき 義遵	<p>【生没年】天保9（1838）～明治34（1901）【享年】64歳</p> <p>九郎、隆之助、石見、大和、初義倫、義貴、義純。 字君彝、号桂城、醒翁軒、以遠斎、松斎。義茂嫡子。 嘉永7（1854）出仕。元治元（1864）家督。慶応4（1868）戊辰戦争従軍。 明治2（1869）久保田藩羽前取締所権知事。 版籍奉還により元高7750石が家禄250石給与。 明治3（1870）久保田藩常備兵大隊長。廃藩置県で免ぜられる。 明治4（1871）大蔵省出仕。 明治33（1900）華族に列し男爵、従五位に叙任。</p>

目 次

○佐竹北家文書

I 江戸期

1 下達文書	3
(1) 御条目 (2) 執達 (3) 被仰渡	
(4) 達書・触書	
2 上申文書	21
(1) 北家 (2) 北家以外	
3 書状	26
(1) 佐竹氏 (2) 佐竹氏以外	
4 記録類	31
5 給人・家人系図・由緒書	34
6 知行関係(証文・分知許可)	36
7 起請文	38
8 その他	39

II 戊辰・明治期

1 戊辰期	43
2 明治期	43

III 御日記

1 北家御日記	45
2 御日記抜書	97

○佐竹西家文書

I 江戸期

1 下達文書	103
(1) 御条目 (2) 執達 (3) 被仰渡	
(4) その他 (5) 回文・判紙	
2 上申文書	115
(1) 願書・届書 (2) 巡見使回答	
3 藩主直書	119
(1) 義処 (2) 義格 (3) 義峰 (4) 義真	
(5) 義局 (6) 義敦 (7) 義和 (8) 義厚	
(9) 義堯	

4	書状	132
	(1) 佐竹氏 (2) 佐竹家臣 (3) 老中・隣藩・水戸	
5	由緒書・系図	140
	(1) 系図 (2) 系譜・由緒書・家蔵文書	
	(3) 系図取纏・青印書 (4) 一字書付	
	(5) 分限帳 (6) その他	
6	記録	148
	(1) 日記・留書・手控 (2) 官中秘策	
7	その他	158
	(1) 目録 (2) 絵図 (3) 御指紙	
	(4) その他	

II 戊辰期

1	下達文書	165
2	上申文書	167
3	書状	167
4	軍功	169
	(1) 軍功書 (2) 人別帳・軍割帳 (3) 等級調	
5	その他	179
	(1) 日記・日誌 (2) 情報書付・消息 (3) 請払帳	
	(4) 宿継奉札 (5) 戦争絵図	

III 明治期

1	下達文書	183
2	上申文書	186
3	書状	189
4	日記類	191
5	西家由緒・履歴書・判任状	194
6	給人・家人系図・由緒書	196
7	家政関係(勘定帳・請取書)	202
8	御用状案紙・手控	205
9	社寺・葬礼	205
10	その他	206

佐竹北家文書目録

I 江戸期

1 下達文書

(1) 御条目

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK342-23	御条目	(宝暦7年)(1757) 7月			継紙
	銀札仕法停止ニ付儉約被仰渡書、〈端裏付札〉佐竹図書				
AK342-24	御条目	(宝暦8年)(1758) 8月			継紙
	知行の内借上被仰渡書、今年義明公没・義敦公家督・知行高100石ニ付60石割合并御給金銀之内まで借上、〈包紙〉宝暦八年寅八月八日御割増被仰渡候御条目窪田より来ル式通(342-24~25は同一包紙)				
AK342-25	御条目	(宝暦8年)(1758) 8月			継紙
	342-24と同内容				
AK342-27	御条目	(明和元年)(1764) 10月			継紙
	儉約ニ付被仰渡書別紙御条目、別紙覚、来年入部に付本陣道橋等城中屋敷廻共に修復ほか				
AK342-28	御条目	(明和2年)(1765) 2月			継紙
	御用銀穀被仰付御条目、「今年御入部(8代義敦)費用調達の為御用銀穀被仰付」、〈端裏〉明和二乙酉二月八日於御城御渡御条目、〈端裏付札〉佐竹主計				
AK342-35	御条目	(天明5年)(1785) 8月			継紙
	知行高借上等ニ付御条目、財用差支え改革未着手のまま義敦死去・左近様が諸事御取捌の筈嚴重の割合借上の予告、〈端裏〉天明五巳八月				
AK312-54	御条目	(寛政元年)(1789) 9月			継紙
	政事・財用立て直しに付御条目、幼年(実年齢11歳)で家督、政治・財用紊乱・諸局の政務を完成させる、〈包紙〉御条目 寛政元年酉九月六日御刀番井上清兵衛より持参				
AK342-39	御条目	(寛政11年)(1799) 6月			継紙
	半知借上被仰渡御条目、近年打ち続き重き借高・今年は半知借上、〈端裏〉寛政十一未六月十一日吉成半平				
AK342-40	御条目	(寛政11年)(1799) 6月			継紙
	半知借上被仰渡御条目、342-39と同内容、〈端裏〉寛政十一年六月条目				

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK322.5-7	御条目 衣服・道具・飲食等に付条々、〈端裏〉文政十一年子九月	(文政11年)(1828) 9月			継紙
AK342-46	御条目 知行借上ほか被仰渡御条目、当子年より辰年迄5年間厳儉約の仕法・当年から5年間四六の割で借上、〈端裏〉文政十一年子九月 上使森田順治被指越被仰渡忌中ニ付若殿様被仰蒙	(文政11年)(1828) 9月			継紙
AK342-49	御条目 大凶作ニ付米取扱形被仰渡御条目、今年非常の凶作古来未聞の餓歳・領内の余米をすべて蔵入とする、〈端裏〉天保四年巳十一月廿二日	(天保4年)(1833) 11月			継紙
AK342-50	御条目 大凶作ニ付米取扱形被仰渡御条目、342-49と同内容	(天保4年)(1833) 11月			継紙
AK342-53	御条目 大凶作ニ付被仰渡御条目、昨年大凶作に付き貯の重器をも手放すつもり国内皆力を合わせ金銭を多少に限らず指上げること、〈包紙〉御条目	(天保5年)(1834) 5月			継紙
AK342-54	御条目 大凶作ニ付被仰渡御条目、342-53と同内容、最初の行欠損	(天保5年)(1834) 5月			継紙
AK342-56	御条目 大儉ニ付被仰渡御条目、一昨年非常の凶作・3年間大儉の仕法、〈端裏〉天保六未十二月御刀番根岸専八上使	(天保6年)(1835) 12月			継紙
AK342-62	御条目 大儉ニ付被仰渡御条目、巳年大凶作・一昨年から3か年大儉執行・今後5年間引き継ぎ、〈端裏〉御条目、〈包紙〉御条目 天保カ	(天保9年)(1838) 3月			継紙
AK342-63	御条目 大儉ニ付被仰渡御条目、342-62と同内容、〈端裏〉天保九年戌三月十五日上使大和田文六郎	(天保9年)(1838) 3月			継紙
AK312-92-1	御条目 佐竹義睦襲封通知、11月4日牧野備前守宅に於いて岩城伊予守が老中列座にて申し渡されこれを知らせる使者として岡百助を差下す、〈包紙〉御条目 弘化三年十一月	弘化3年(1846) 11月			切紙
AK342-69	御条目 儉約ニ付被仰渡御条目、先般蝦夷地警固を命ぜられ箱館表松前地警衛の心得をすべきこと・領内海岸防衛の手当等のため財政困難	(安政2年)(1855) 11月			継紙
AK312-94	御条目 佐竹義堯襲封通知、7月20日家督相続承認の被仰渡・石井宮作を知らせに差下す、〈包紙〉御書付 安政四巳八月	(安政4年)(1857) 7月			切紙

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK342-71	御条目	(文久2年)(1862) 2月			継紙
	儉約ニ付被仰渡御条目、義睦公安政4年没・近年は貢租のほか銀穀上納は両都銀入の者から数万両調達・海岸防備費用も必要・義堯公家督後6年目、〈端裏〉文久二年戊二月				
AK312-96	御条目	(元治2年)(1865) 4月			切紙
	亀丸養子縁組ニ付被仰出、壹岐守嫡子亀丸は雅姫の婿養子承認(7日)次郎と改名し御曹司様と唱える、〈包紙〉御条目、〈包紙付札〉元治二年丑四月廿七日信太平馬持参、佐竹又四郎				
AK342-75	御条目	2月			継紙
	入部費用銀穀被仰渡条目、今年御入部の費用として御用銀穀被仰付				
AK312-123	御条目	3月			継紙
	藩士の心構えに付被仰渡御条目、礼儀を正しくし忠義を励むこと・奢侈を慎むこと・民百姓を苦しめないことほか				
AK342-78	御条目	3月			継紙
	儉約ニ付被仰渡御条目、三か年の厳省略相立・両奉行用人膳番等は同役の心得で勤めること				
AK322.5-14	御条目	6月			切紙
	諸士の風俗衰退に付達書、風俗衰え公務を疎かにし素行正しからざる者あり今後厳しく取り締まるべきこと				
AK342-83	御条目	卯 6月			継紙
	財用差支ニ付被仰渡御条目、当卯年より巳年まで3年間是迄の通り銀穀借上・去申年より連年重き割増の借上				
AK312-128	御条目	戌 7月			継紙
	諸役勤形改正ニ付被仰渡御条目、御改正筋ニ付向々被仰渡候覚、勘定役を勘定方吟味役と改め切支丹御調役は御免・御台所へ毎日一人宛詰め台所役と共に算用の仕事をする事・為病御暇願申立当番を他人へ頼む場合のことほか				
AK342-87	御条目	7月			継紙
	借上割増被仰渡御条目、江戸上方国元とも借用相尽・家中の借高重く弛めるべきところだが此度割増申渡				
AK342-90	御条目	8月			継紙
	借上割増被仰渡御条目、去秋より厳に省略筋執行・財政差支ニ付割増借高予告				
AK342-106	御条目	酉 10月			継紙
	大儉被仰渡書、一昨年よりの物入りで借金増加・3か年中大儉仕法				
AK342-108	御条目	亥 11月			継紙
	大儉被仰渡御条目、廻銅松前沖にて破船・戸島駅焼失・能代町大火・来子年より厳簡略、〈端裏付札〉元文ノ後カ、〈包紙〉御条目				
AK342-110	御条目	11月			継紙
	財用難渋ニ付被仰渡御条目、去年金銀御改につき諸収納御払物代相減相滞御財用向御難渋、〈付札〉年号難考、〈包紙〉御条目				

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK312-122	御条目 賞罰定め執達書、勤功ある者を賞し財用向の罪ある者を罰すること・一昨年申し渡しの省略仕向を今後も守ることほか	丑 12月			継紙
AK342-115	御条目 儉約被仰渡御条目、前欠、内役の儀は段々弛めたき内慮のところ年に物入続・今年は江戸久保田両表長々の滞府に付莫大の入増・無拠内役申し付け儉約を命ずる	亥 12月			継紙
AK342-118	御条目 儉約被仰渡御条目、去年中年寄共へ重き所存の旨申し渡し去作非常の虫付により上方廻米も無之、蓮寿院様・本清院様への手当も滞り家中領民へ借高申し渡し士民共に困窮	12月			継紙
(2) 執達					
AK342-34	執達 借上御免の執達書、財用差支去酉年知行小役銀軽き御奉公の者御擬の内からも借上・今年は借上を免ずるので質素を守り文武を励むべき事、〈端裏〉天明元丑八月	(天明元年)(1781) 8月			継紙
AK342-36	執達 知行高借上等ニ付執達書、義敦公下国の上諸事改正の予定の処病没・左近様が御遺志を継ぎ知行高100石に付60石・小役銀の内100石に付文銀50目指上(今年より5年間)、342-35の御条目と対になる執達、〈端裏〉天明五巳八月	(天明5年)(1785) 8月			継紙
AK342-38	執達 知行高借上ほか執達書、今年からの3年間知行高・小役銀・扶持・役料などを引き続き同割合で借上	(寛政7年)(1795) 6月			継紙
AK342-42	執達 半知借上の執達書、去年中御役場被仰付去夏中洪水で損失莫大・今年半知借上・明年は四六の割合、〈端裏〉享和元西七月十一日半知御割合	(享和元年)(1801) 6月			継紙
AK342-43	執達 借上知行分取扱形ニ付執達書、先代召立の者数人土蔵入米不足家中への渡し米滞り益筋は備米に加え家中渡米とする・借上を弛めたき意向で年限内は指上高の分を蔵入地としその後返却する、〈端裏〉文化七年午九月廿七日	(文化7年)(1810) 9月			継紙
AK312-70	執達 御政務所造営ニ付執達書、〈綴じこより〉文化八未正月十一日上使大越頼母持参御条目并執達共式通	(文化8年)(1811) 正月			継紙
AK312-71	執達 御政務所造営ニ付執達書、312-70と同内容、〈端裏〉文化八年未正月十一日上使大越頼母	(文化8年)(1811) 正月			継紙
AK312-73	執達 佐竹義厚家督相続承認ニ付執達書、9月7日10代義厚の家督相続承認の申渡あり(4才、官年7才)、〈包紙〉屋形様御遺領被仰蒙候ニ付文化十二亥九月廿一日為上使真崎但見被指越候 御条目并執達入	(文化12年)(1815) 9月			継紙

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK342-44	執達	(文化13年)(1816) 11月			継紙
	<p>儉約被仰渡執達書、明暦年中角館へ移り分限不相応の人備・享保年中より半知召上げられその後四六の割・文化10年財用改正・去7月～12月滞府当春定府被仰付・明年より四六の割合被仰付、〈付札〉佐竹河内</p>				
AK342-47	執達	(文政11年)(1828) 9月			継紙
	<p>知行借上ほか被仰渡執達書、23年前の文化3年江戸三屋敷類焼・同12年義和公没・10代義厚公家督・借入金高46万両余・今年上野御霊屋普請手伝い・当子年から辰年まで5年間内外厳密の儉約・四六の割で借上、342-46の御条目と対になる執達</p>				
AK342-97	執達	(文政11年)(1828) 9月			継紙
	<p>大儉被仰渡執達書、342-47と同内容、〈包紙〉執達</p>				
AK342-51	執達	(天保4年)(1833) 11月			継紙
	<p>大凶作ニ付米取扱形被仰渡執達書、大凶作に付例年の10分の1にも及ばず家中納米・余米とも蔵入とし家々に応じ渡す、〈端裏〉天保四年執達、342-49の御条目と対になる執達</p>				
AK342-52	執達	(天保4年)(1833) 11月			継紙
	<p>大凶作ニ付米取扱形被仰渡執達書、342-51と同内容</p>				
AK342-55	執達	(天保5年)(1834) 5月			継紙
	<p>大凶作ニ付被仰渡執達書、昨年非常の凶作・春中小野岡大和被指登調達被仰掛・江戸大火ニ付大坂表諸家の調達混乱・藩主の御重器をも手放し領中一統出金被仰付、342-53の御条目と対になる執達、〈包紙〉執達</p>				
AK342-57	執達	(天保6年)(1835) 12月			継紙
	<p>大儉ニ付被仰渡執達書、一昨巳年大凶作・今年莫大の毛引・来申年より戌年迄3年間大儉の仕法・四六の割で借上・高100石に付銀50匁借上、342-56の御条目と対になる執達</p>				
AK342-58	執達	(天保6年)(1835) 12月			継紙
	<p>大儉ニ付被仰渡執達書、342-57と同内容、〈包紙〉執達</p>				
AK342-59	執達	(天保6年)(1835) 12月			継紙
	<p>大儉ニ付被仰渡執達書、342-57と同内容、〈端裏〉天保六年未十二月御刀番根岸専八</p>				
AK342-64	執達	(天保9年)(1838) 3月			継紙
	<p>大儉ニ付被仰渡執達書、去巳年大凶作・去申年より大儉執行・渡米は買米を以て渡す・午年大坂商人から借用救済・当戌年から寅年迄5年借上、342-62の御条目と対になる執達</p>				
AK312-93-1	執達	安政2年(1855) 11月			継紙
	<p>施政方針執達書、〈端裏〉執達安政二年卯十一月廿八日上使伊勢左司馬ヲ以</p>				

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK312-93-2	執達	安政2年(1855) 11月			継紙
	施政方針執達書、312-93-1と同内容、〈端裏〉安政二年卯十一月				
AK342-70	執達	(文久2年)(1862) 2月			継紙
	儉約ニ付被仰渡執達書、義睦公乗出の安政元寅年以後9年・義睦公は安政4年没・蝦夷地警衛の入費莫大342-71の御条目と対になる執達、〈包紙〉執達 文久二年戊二月				
AK342-80	執達	4月			継紙
	儉約ニ付被仰渡執達書、危急の指支に付3か年中非常の御省略条目を以て被仰出、342-78の御条目と対の執達か				
AK312-124	執達	申 5月			継紙
	角館町内消防ニ付執達書、出火の節は当番の外火事場へ惣駆の事・表町上町・裏町上町・川原町出火の節は屋敷へ詰めることほか、北家が給人に対して出した執達				
AK342-82	執達	卯 6月			継紙
	財用差支ニ付被仰渡執達書、今卯年より巳年まで3年間知行高・小役銀・扶持・御役料を是までの割合で借上・着服は申年被仰渡の通り、342-83の御条目と対の執達、〈端裏付札〉佐竹主計				
AK312-129	執達	9月			継紙
	諸役勤形改正ニ付執達書、思召の旨を守り諸事懈りなく相勤むべくこと				
(3) 被仰渡					
AK312-19-1	被仰渡	(元禄17年)(1704) 正月20日			切紙
	国目付角館巡見ニ付心得形被仰渡、掃除仕るべきこと・火の用心町の往還いたさせ申まじく・万一出火の場合など、〈包紙〉元禄十七年申正月廿日御与下江被仰渡之御書付 右は御目付衆此方御巡見之節從殿様より被仰渡候 (312-19-1~2は同一包紙)				
AK312-19-2	被仰渡	(元禄17年)(1704) 正月20日			切紙
	312-19-1の写				
AK312-20	被仰渡	(元禄17年)(1704) 正月20日			切紙
	国目付角館巡見ニ付心得形被仰渡、屋敷前の道を手入れすること・往還へ出ないこと・争い事をしないこと、〈包紙〉元禄十七年申正月廿日御家中江被仰渡之御書付 右は御目付衆此方御巡見之節從殿様より被仰渡候				
AK280-1	被仰渡	正徳2年(1712) 7月	(御会所)		継紙
	古文書提出并武芸奨励被仰渡、伝記作成のため2代義隆・3代義処時代の日記・覚書所持の者は提出すること・武芸を励むべきこと、〈包紙〉御会所より被仰渡之御書付壺通 正徳二年辰七月				
AK342-10	被仰渡	(正徳2年)(1712) 9月			継紙
	財用向取扱形被仰渡書、財用難渋に付普請等の吟味を嚴重にすること・物成上納は4月限りとし8月以降納めには利足を加えること・物成と給人物成を商米より先に川下げすることほか、〈端裏〉正徳二年辰九月				

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK312-22-1	被仰渡	(正徳4年)(1714) 6月			切紙(2)
	在々組下給人取扱ニ付被仰渡、久保田へ呼寄の時は当人の組支配頭へ通知・居住地の用は所支配へ通知・組下の願書は事柄により組支配頭又は所支配へ申し出ること、〈包紙〉被仰渡御書附二通 正徳四年御組下ニ不限在々給人久保田御才足又は御暇等支配ニ不限申上候様被仰渡書 (312-22-1~2は同一包紙)				
AK312-22-2	被仰渡	(正徳4年)(1714) 6月			切紙
	312-22-1の写				
AK312-23	被仰渡	(正徳5年)(1715) 7月19日			切紙
	義格公死去ニ付被仰渡、4代義格今日没・壱岐守嫡子求馬仮養子の許可済み・殉死厳禁・家中争論などないように、〈端裏付札〉正徳年中、〈包紙〉御書付三通 内壱通御本紙 内二通写				
AK312-24	被仰渡	(享保元年)(1716) 7月			切紙
	大小刀御用ニ付被仰渡、刀(2尺2寸~2尺3寸)脇指(1尺6寸~1尺7寸、8寸迄)御用につき岡平兵衛・遠山利助所へ指出すべきこと				
AK322.5-3	被仰渡	(享保元年)(1716) 7月			継紙
	衣服ニ付被仰渡書、近年財用差支当春中儉約の御条目被仰出、羽二重已上の衣類禁止、らしゃ・羅背板・天鷲絨・緞子・繻珍・縷子は禁止、〈綴じこより〉享保元年申七月御会所より被仰渡				
AK342-11	被仰渡	(享保3年)(1718) 3月			継紙
	知行四ヶ一借上ニ付被仰渡書、午年より亥年迄の新借金12万両余・当暮4万両余不足につき知行の内四ヶ一被借置・今後7ヶ年儉約・その翌年より四ヶ一返す予定				
AK342-12	被仰渡	(享保3年)(1718) 閏10月		町人	継紙
	財政改革の意見を求める被仰渡書、先年より百姓町人御用銀用立・家中知行の内四ヶ一借上・在々より5石宛の借米・本年国元不作・江戸屋敷類焼、〈端裏付札〉享保之頃カ所々御注進入申立置候				
AK342-13	被仰渡	(享保3年)(1718) 閏10月		百姓	継紙
	財政改革の意見を求める被仰渡書、先年より郷役人増・郷中より借銀・当春中家中知行の内四ヶ一借上・在々より5石宛借米・国元不作・江戸屋敷類焼・財政改革の意見を申し出るように百姓に求める、〈端裏付札〉享保年中半知初り之節カ				
AK342-14	被仰渡	(享保4年)(1719) 8月			継紙
	半知借上ニ付被仰渡書、半知召上の内御無沙汰物上納は半知御免の節上納のこと・江戸京登の者免除のことほか				
AK322.5-4	被仰渡	(享保7年)(1722) 9月			継紙
	諸士の風俗衰退ニ付達書、近年半知借上・去年御普請手伝い・米下直に付財用向差支、〈端裏付札〉享保寅年				
AK342-15	被仰渡	(享保14年)(1729) 5月			継紙
	知行差上等ニ付御条目、先頃御条目被仰出・知行御扶持役料の内指上度申出に付御満悦の思召、〈包紙〉享保十四歳酉五月御条目				

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK342-16	被仰渡	(享保14年)(1729)			継紙
	儉約ニ付意見を求める被仰渡書、一町中相談の上会所へ意見を申し出ること・4代義格公(克讓院)の被仰出もあったこと、追加あり				
AK312-28	被仰渡	(享保17年)(1732) 5月			切紙
	佐竹義堅の改名ニ付達書、佐竹豊前守義堅を義峰公の養子とし修理大夫を改名・15日に將軍に御目見、(端裏)享保年中				
AK342-17	被仰渡	(享保18年)(1733) 3月			継紙
	財用差支ニ付被仰渡書、5か年以来半知借上・此度御城堀浚手伝被仰付・今宮大学江戸登・当丑年より3か年嚴御簡略、(付札)享保十九年丑之年カ、(端裏付札)角館				
AK342-18	被仰渡	(延享元年)(1744) 11月			継紙
	財用逼迫ニ付被仰渡書、今年より3か年中簡略被立置・当年は早損過分・大坂の米錢材木下直・破船難船20艘・当暮数万両の不足、(包紙)御書付 延享元子ノ極月御小人飛脚ヲ以達ス				
AK342-19	被仰渡	(延享5年)(1748) 7月			継紙
	此度被仰出候去卯年差上高之内被返下候次第覚、100石につき1石5斗宛返下、(端裏)覚書 延享五年辰七月十三日宿継ヲ以、(包紙)御書付并覚書二通 延享五年辰七月 七月十三日以宿継御老中より写候御書付 (342-19~20は同一包紙)				
AK342-20	被仰渡	(延享5年)(1748) 7月			継紙
	去年は50年来無之不熟去差上高の内并給金差上銀の内割合を被返下、(端裏)御書付 延享五年辰七月十三日宿継ヲ以				
AK322.5-5	被仰渡	(宝暦元年)(1751) 12月			継紙
	諸士の生活規則ニ付被仰渡書、諸士以下衣服規制・吉凶のもてなし書を軽くすべきこと・祝儀を簡素にすべきことほか、(端裏)宝暦元辛未十二月十九日為上使梅津半五郎持参、(端裏付札)角館				
AK342-22	被仰渡	(宝暦7年)(1757) 7月7日			継紙
	銀札仕法停止御条目被仰渡書、銀札一匁70文の定に対し一匁3~4歩の相場・7月8日より停止・一匁一錢で引き替え(10か年賦)儉約の被仰渡、(包紙)宝暦七年丑七月八日銀札御仕法相止候ニ付窪田御屋敷より来ル御条目式通				
AK312-35	被仰渡	(宝暦8年)(1758) 8月			継紙
	御代替に付上意之覚、今度御代替・御幼年につき御入部迄間あり御用向き壱岐守様へ御相談・重き御用は求馬様へも聞かせられること				
AK312-36	被仰渡	(宝暦8年)(1758) 8月			継紙
	312-35と同内容				
AK312-37	被仰渡	(宝暦9年)(1759) 5月			継紙
	国目付下向ニ付触書、宝暦8年義教公家督相続・9年安西彦五郎・建部荒治郎が国目付として下向の触れ				

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK342-26	被仰渡	(宝暦13年)(1763) 2月			継紙
	儉約ニ付被仰渡書、不時物入続き借銀嵩み財政窮迫・去冬中大塚九郎兵衛出府言上・今後3年間厳御省略、 (端裏) 宝暦十三年未二月被仰渡候口付従御会所御渡				
AK342-29	被仰渡	(明和2年)(1765) 2月			継紙
	御用銀穀被仰付執達書、8代義敦の入部費用調達の被仰渡、去巳年上方御蔵元(銅)問屋被改・去寅年以来 幼年に付御在府・今年入部決定、(端裏) 明和二乙酉二月廿八日御条目江副執達 八日カ廿ノ字誤カ				
AK342-30	被仰渡	(明和2年)(1765) 2月			継紙
	御用銀穀被仰付執達書、342-29と同内容				
AK312-40	被仰渡	(明和2年)(1765) 9月			継紙
	行政改革ニ付被仰渡、宝暦8年幼年で家督相続・今年入部・今後質素の仕向に復す為に一統の協力要請、 (端書) 御自筆御書付写、(端裏) 明和弍乙酉九月十六日於御城				
AK342-31	被仰渡	(明和2年)(1765) 9月			継紙
	財用難澁ニ付儉約執達書、明年参府数度饗応の入方費用なし5~7年の儉約令予告、(端裏) 明和二乙酉九月 十六日於御城執達、(端裏付札) 佐竹主計				
AK342-32	被仰渡	(明和3年)(1766) 11月			継紙
	借上継続被仰渡書、午年より厳省略家中より借上・申年より上方蔵元借財・去酉年春御入部費用として銀米 割増借・今年は小役銀借上御免・去申年から在々給人は100石に付文銀70目借上・来亥年から卯年まで5年間 引継借上				
AK342-33	被仰渡	(明和9年)(1772) 10月			継紙
	御用銀被仰付達書、当春江戸表非常の大変に付御用銀穀指上により長屋等仮普請のところ10月大風で浅草御 殿ほか破損・昨年御下国御暇の使者を迎える為上屋敷御殿造営必要に付御用銀申付、(端裏) 明和九年辰十一 月廿八日石井嘉左衛門稲川新之允持参御直書				
AK312-50	被仰渡	(天明5年)(1785) 8月			継紙
	義敦公遺命ニ付被仰渡、(端書) 左近様御自筆写、(端裏) 天明五巳八月左近様御自筆				
AK312-58	被仰渡	(寛政2年)(1790) 7月			継紙
	家中座列ニ付被仰渡、先代様より家筋を以座列取扱の為難澁筋あり今般家中一統番割とする、(端裏) 寛政 二戌七月五日御改正被仰渡				
AK342-37	被仰渡	(寛政4年)(1792) 閏2月			継紙
	御用銀割当覚、去年廻米莫大海失・閏2月8日神田川江戸川浚并火除地土手御普請手伝の為高割銀仰付・更に 御用銀3貫目を角館に頼む				
AK312-60	被仰渡	(寛政6年)(1794) 閏11月			継紙
	足軽組ニ付被仰渡、30人組を25人に減員し新規召抱を制限ほか、(端裏付札) 佐竹主計・佐竹左衛門・佐竹 石見				

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK312-61	被仰渡	(寛政6年)(1794) 閏11月			継紙
	足軽組ニ付被仰渡、60人組を50人組とし新規召抱制限・病死後手廻共3人迄は1人に一人扶持を与えることほか				
AK312-62-1	被仰渡	(寛政7年)(1795) 9月			継紙
	郡奉行再設置ニ付被仰渡、高持百姓は所預の地内でも奉行支配、給人・足軽への御用は奉行から組頭へ申し達すること、〈端裏貼紙〉包紙に同じ、〈包紙〉寛政七卯九月十四日郡奉行取扱形等被仰渡候御書附老通御副役小田野又左衛門を以被相渡同十六日御屋敷番矢野清兵衛より小膳殿町送御判紙ニ而相達(312-62-1~3は同一包紙)				
AK312-62-2	被仰渡	(寛政7年)(1795) 9月			継紙
	郡奉行再設置ニ付被仰渡、「角館御所預之外郡村之儀は郡奉行支配被仰付候」、〈端裏貼紙〉寛政七卯九月八日御家門様御催足之段於御用所杉山善兵衛矢野清兵衛へ申渡梅津藤十郎殿御頼登城被成候処右御書付被相渡候而被仰渡候段翌九日立御飛脚ニ申来候右御書付猶御解ニ付八郎様を以御月番御引廻御掛合被成置候御月番岡本但馬殿ニ有之由承知致候				
AK312-64-1	被仰渡	(寛政8年)(1796) 2月26日			切紙
	郡奉行取扱形伺への答書、生保内村御境口支配の件・角館外山の取扱の件、〈端裏〉石川勘左衛門手扣書付、〈包紙〉寛政七卯年郡奉行被仰付御支配村々郡奉行支配被仰付候ニ付生保内村御境口之義是迄之通御支配被成達へく哉之御住イ被成并外山是迄之通御支配山可有御坐哉之御窺被成達候ニ付右被仰渡御添役小田内又左衛門手扣書付式通ヲ以御用処ニ而被仰渡書付翌辰二月晦日御屋敷番小林惣助より達ス(312-64-1~2とも同一包紙)				
AK312-64-2	被仰渡	(寛政8年)(1796)			切紙
	〈端裏〉又左衛門手扣				
AK312-65	被仰渡	(寛政10年)(1798)		家中・与下・ 今宮源助	切紙
	防火ニ付被仰渡、家中は家中の纏印へ駆け付けること・与下は其町の組頭の纏印へ駆け付けること・今宮源助支配足軽5人を差し出すこと、〈包紙〉寛政十年五月十六日御家中御与下今宮源助御支配午足軽へ出火之節駆走候而人勢纏相防可申旨被仰出候御書付也				
AK372-2	被仰渡	(享和元年)(1801) 8月			継紙
	郷校養老式執行ニ付被仰渡書、老人への下賜品・教諭書の渡し方・期日・出席者・服装などに付通知、〈端裏付札〉享和元酉八月八日被仰渡同十一日達 養老御式御書附、〈端裏付札〉佐竹河内				
AK312-67	被仰渡	(享和3年)(1803) 10月		(塩谷右膳)	継紙
	塩谷右膳へ被仰渡候書附、右膳組下も一郷に関わる用は処支配の指揮下に入れること、〈包紙〉享和三亥十月十一日相達候塩谷右膳殿へ被仰渡候ニ付為御指心得之右被仰渡御書附被相渡候壱通 右御書付御文面之内違候処有之候付十一月廿四日御書替御渡同廿六日達				
AK288-9-1	被仰渡	文化2年(1805) 8月			継紙
	石黒氏由緒書扣、〈包紙〉文化二年丑秋石黒家柳橋家へ被仰渡候御控二枚入(288-9-1~2とも同一包紙)				
AK288-9-2	被仰渡	(文化2年)(1805) 9月		柳橋三郎兵衛・ 柳橋小門	折紙
	柳橋家由緒書扣				

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK372-3	被仰渡	(文化8年)(1811) 4月			継紙
	郷校係り役任命手順変更の覚書、塩谷右膳組下の教授任命は評定所・右膳・当人であったのを評定所・北家・当人と改める、教授以下の役は北家が学館と相談の上申し渡し右膳へ伝えること、〈端裏〉文化八年四月十二日				
AK312-83	被仰渡	(文政10年)(1827) 9月		角館給人組頭	継紙
	角館給人の御本陳御目見ニ付被仰渡、組頭は六郷大曲御止宿の節御目見被仰付候事(教授・同見習・御山役も同様)、〈包紙〉文政十亥九月被仰渡御書附巻枚入				
AK342-48	被仰渡	(文政11年)(1828) 12月			継紙
	儉約ニ付被仰渡書、御省略に付5か年中儉約のため守るべき箇条を示す、342-46・47と対になる被仰渡				
AK312-84	被仰渡	(文政13年)(1830) 3月			継紙
	在々給人願出取扱ニ付被仰渡、私用で出府して長滞在の給人がいる・願事はなるべく支配を以て申立のこと・支配は早速評定所へ申立てすること、〈端裏〉文政十三年寅三月				
AK342-60	被仰渡	(天保7年)(1836) 5月			継紙
	御用金被仰渡町触、天保4年の大凶作に数万の米穀手当てで救助・去12月に3か年の宛行の内から借上・その他のものも借上、〈端裏〉天保七年申五月御調達被仰渡				
AK342-61	被仰渡	(天保7年)(1836) 10月			継紙
	御備米ニ付被仰渡町触、百姓町人は11才~69才までその年の作合に応じ米穀指出させ申~寅年まで7か年中年々その所へ備置くよう被仰出				
AK611-15	被仰渡	(天保7年)(1836) 10月			継紙
	米高値ニ付被仰渡書、〈端裏〉天保七年申十月米価被仰渡、〈端裏付札〉角館				
AK342-65	被仰渡	(天保9年)(1838) 3月			継紙
	余米買上ニ付被仰渡書、巳年大凶作・申年より5升宛の備米、342-62・64と対になる被仰渡				
AK342-66	被仰渡	(天保11年)(1840) 12月			継紙
	大儉継続ニ付被仰渡、天保7申年から当11子年まで5年間大儉執行・来丑年から巳年まで引継大儉・差上高役料銀穀ともこれまでとおり借上、〈包紙〉被仰渡書式通入				
AK322.5-8	被仰渡	(弘化3年)(1846) 6月			継紙
	去十二月中儉約令被仰出、着服の規定・料理・贈答・振舞等につき定める、〈端裏〉弘化三年七月御出服				
AK342-68	被仰渡	(嘉永5年)(1852) 2月			継紙
	借高半知に弛める町触、嘉永2年国目付来藩・一同困窮の儀深くお気の毒に思召し別段の御沙汰をもって今年借高半知				

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK322.5-9	被仰渡	(万延元年)(1860) 4月			継紙
	入国旅人の取扱形ニ付被申渡、向触により入国の者・諸国の御家中諸寺院社人朱印所持者は境口番所を通ず・六十六部ほかの者は領内を徘徊させないことを高階弥十郎へ申し渡すべきこと、〈端裏〉万延元年申五月、〈端裏付札〉高階弥十郎				
AK393-1	被仰渡	(慶応3年)(1867) 4月			継紙
	蝦夷地警衛御免ニ付通達書、3月22日老中小笠原老岐守より申し渡される・先年下され候蝦夷地領分指上・開墾に要した費用については後日処理すること、〈端裏〉蝦夷地警衛御免				
AK393-2	被仰渡	(慶応3年)(1867) 4月			継紙
	京都警衛御免ニ付通達書、1月25日伝奏飛鳥井中納言の呼びだしにより26日長瀬隼之助を差出し達を受ける、〈端裏〉京都御警衛御免				
AK312-98	被仰渡	正月24日			継紙
	組下糸井文六の処分ニ付答書(本藩から北家への答書)、屹度遠慮申渡の処松庵寺へ入寺に付組下支配の意に任せる旨				
AK280-26	被仰渡、伺答書	正月			継紙
	系図家伝再吟味ニ付伺書并付札、付札による答書あり、元禄年中差出の証文を写をもって指し出す事・由緒書・古書・系図の差出し方				
AK322.5-11	被仰渡	2月			継紙
	徒者の取締りに付被仰渡書、火の用心・博奕禁止は公儀被仰渡・今年は昨年の大不作に付特に徒者を厳しく取り締まること				
AK342-73	被仰渡	2月			継紙
	参府費用ニ付御用銀被仰渡書、去春中入部費用として御用銀穀を掛けたが当年の参府費用を大坂表で借用できるか覚束ないため参府の上役場御饗応の入費莫大の金高の予定				
AK342-74	被仰渡	2月			継紙
	参府費用ニ付御用銀穀被仰渡書、去年中入部費用調達無事御入部・去春中銀穀当指上させ此度も参府費用御頼み				
AK342-76	被仰渡	2月			継紙
	銭預消判取扱形被仰渡書、50文以下の少預かりのみ許可、〈端裏付札〉角館				
AK322.5-12	被仰渡	亥 3月			切紙
	世上物騒に付被申渡、去秋頃より上方筋道中・在々所々まで物騒、夜盗・追殺・火付等多く関東も同前、在々・城下共用心のこと				
AK342-77	被仰渡	3月			継紙
	入部費用銀穀再応被仰渡書、今年入部費用御用立候様被仰出				
AK342-79	被仰渡	3月			継紙
	入部費用ほか協力方被仰渡書、今年入部の手当不足・先頃国許で領民一統へ差上割合申渡し				
AK342-81	被仰渡	3月			継紙
	儉約ニ付被仰渡書、元来分限不相応の多くの家臣団を抱えている・百年の治平になれて華美になる・家中の半知借上・町人百姓からも借銀、〈端裏付札〉享保年中カ				

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK288-6	被仰渡 北家家人石川長助家系図ニ付被仰渡	4月		佐竹主計	折紙
AK312-126	被仰渡 矢野造酒改易ニ付申渡書、去年凶書の用米取扱にて坂本伊兵衛が新屋村へ払候代銭納入遅れ矢野造酒を下田七右衛門の取扱とし代銭の引当として塩俵を新屋村に預け舟道相立次第積み登らせる申し立て伊兵衛逐電	戊 4月		矢野造酒	継紙
AK312-104	被仰渡 家督御礼御目見の席順ニ付覚書、享和の定めにより家格上位でも局住代勤の者は家督者の下位とすること、312-105に対する答書	酉 5月			継紙
AK280-2	被仰渡 古文書系図提出命令、(綴紐) 卯五月御国目付御下向已前御条目并御会所惣触	卯 5月	(御会所)		継紙
AK280-5	被仰渡写 古文書系図提出命令、古文書は藩士のほか寺社・修験・軽奉公者・陪臣・百姓・町人まで拡大、280-2の写	5月	(御会所)		縦帳(4)
AK280-3	被仰渡写 文書処提出の古文書系図ニ付伺覚、280-2の前半部の写、貼紙による回答(2枚)あり		(御会所)		縦帳(2)
AK611-12	被仰渡 下延村地内注進開ニ付被仰渡覚、下延村の内明通上河原・大瀬・蔵野三ヶ所の開発に付角館給人蓮沼源右衛門の願に対し開発成就の節は辛労免として半高を与える	卯 6月21日	加藤三郎兵衛・ 関勘左衛門	河内殿屋敷番	継紙
AK288-23	被仰渡 御紋幕使用禁止被仰渡覚、手控、参勤旅中へ亦四郎罷り出候節旅宿で御紋の幕を使用したことに付今後軍用以外の使用を禁ずる、(包紙) 覚 御紋幕之一件被仰渡候御書附	6月			継紙
AK312-125	被仰渡 新家取立者の格付ニ付達書、献上物等で武士に召立の者は新家と唱え旧家の次席とすること・旗本新家の者は小姓番に入れないこと・献上物で給人や近進並となった者は古来のそれより下の席4代目から新旧差別なしほか	6月			継紙
AK322.5-13	被仰渡 火事頻発ニ付触書、仙北并下筋村々出火度々・この度当町大火・関所で入国者を厳しく吟味すること	6月			継紙
AK342-84	被仰渡 知行ほか差上度申出ニ付被仰渡書、去12月江戸御屋敷数か所類焼に付知行・扶持の内から借り上げること	7月1日			切紙
AK312-127	被仰渡 義堅養子ニ付被仰渡、御前は病身にて長年の若殿様を養子とし御前に代わって旧例を段々復す	7月			切紙
AK342-85	被仰渡 借上割合を弛める被仰渡書、江戸御屋敷三度の類焼・数年半知借上・去々年普請御手伝・今年は三ヶ一の借上	7月			継紙

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK342-86	被仰渡	7月			継紙 十か年御簡略の被仰渡書、去々年の儉約令に基づき再び被仰渡・長年の指上米を先年久保田諸士は免除・在々給人も過半は減らす・金銀の両替の損失は年に2万両・10年間簡略の仕法執行
AK342-88	被仰渡	7月			継紙 知行ほか借上被仰渡書、今年は100石につき60石の割で借上・去丑年からの五匁銀の割は御免・在々給人は100石につき70石借上
AK342-89	被仰渡	亥 7月			継紙 半知ほか借上被仰渡書、去冬金銀通用改正・来春参勤の御用銀不足につき当亥年より丑年迄3年間知行半知借上
AK312-29	被仰渡	8月			継紙 藩政改革の意見を求める達書、財用難渋につき知行の内から前の倍を借上、義宣・義隆・義処公時代からの慣習も改める予定なので良い意見があったら申し出ること
AK342-91	被仰渡	8月			継紙 知行借上被仰渡書、財用差支の処当秋老中方数度饗応には諸普請并御入用莫大・当春中領内へ数万石の買米中は今年の大坂廻米のほか明年も別米必要・今年は知行100石につき60石借上・役料・御給・合力金は是迄通り
AK342-92	被仰渡	8月			継紙 知行借上被仰渡書、342-91と同内容
AK342-93	被仰渡	8月			継紙 知行借上被仰渡書、昨年12月被仰出の通り家中困窮につき昨年三ヶ一差上高四ヶ一の割合に弛めたが今年救米・貸米は数百ヶ村に及び収納は大滞りにつき昨年通り四ヶ一とすること、(端裏付札) 享保年中カ
AK345-5	被仰渡	8月			継紙 商判運上銭廃止通知、何も迷惑に相成り不融通にて指支御免・商人とも近来運上銭に事を寄せ諸物高直
AK342-94	被仰渡	9月			継紙 知行借上被仰渡書、今年は半知借高の内3分の1に弛め置く
AK342-96	被仰渡	9月			継紙 大儉ニ付被仰渡書、財用困難につき5~7年の儉約令施行を予告・明年参府し数度の饗応費用を弁ずる方法なし
AK342-98	被仰渡	9月			継紙 儉約ニ付上意被仰渡書、「去秋中為申知候通格別令改革質素之御斗意被成置候」
AK342-99	被仰渡	巳 9月			継紙 儉約ニ付被仰渡、積年財用向難儀今年は米が非常の高直・衣服等は見苦しくてもよい
AK342-100	被仰渡	丑 9月			継紙 知行ほか借上被仰渡書、一昨年非常の不作・去年中割増被仰付・7月中半知割合・借銀被仰出・当丑年より巳年迄5か年借上

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK385-1	被仰渡	辰 9月			継紙 玄猪御祝儀復活の覚、数十年中止の玄猪を復活・翌年から具足餅の下賜廃止の通知、(端裏) 御与下御家中江
AK342-103	被仰渡	丑 10月19日			継紙 儉約被仰渡書、今丑10月21日～巳年迄5年間大儉・夜詰は4人に限ること・省略方懸り役家老1人・膳番納戸役より1人任命ほか
AK342-104	被仰渡	10月			継紙 行財政改革ニ付被仰渡書、幼年で家督相続・今年上方表回米差滞・銅方も難渋・財政建て直しの決意
AK342-105	被仰渡	10月			継紙 行財政改革ニ付被仰渡書、342-104と同内容
AK342-107	被仰渡	卯 11月			継紙 財用難渋ニ付被仰渡書、御曹司様御袴着儀式以来相応の合力を受ける・1070兩持参で上京の処不足の為500兩拝借・今年領内凶作・当夏中米は非常の高直・財用片付高垣嘉右衛門を差下す
AK342-109	被仰渡	11月			継紙 役銀扶持借上ニ付被仰渡書、蔵入高・諸役銀減少・近年打続作毛不熟・江戸大坂の借銀嵩む・役銀局住扶持給を借上
AK342-111	被仰渡	午 11月			継紙 大儉中借上分一部返付被仰渡書、巳年凶作以来諸色高直・子年より昨年まで聊かの手当を与える・卯年より三年間大儉の仕法・一昨年諸病流行に付前年の半分の手当支給・今年借上の家中小役銀給銀の3分の1を返す
AK342-114	別紙	11月			継紙 物成米扶持米取扱形被仰渡別紙、家中知行物成米を村方より御蔵へ納める・玄米3合5勺積で蔵から渡す・余米は代銀渡し・困米の余りは買い上げのこと
AK322.5-15	被仰渡	閏11月			継紙 諸士の生活規則ニ付被仰渡書、衣類諸道具とも質素にすること・召使人数を減員してもよいこと・祝儀等を軽く行うこと・音信贈答もお互い申し合わせてやることほか
AK322.5-16	被仰渡	丑 12月			継紙 御奥向への出入ニ付掟書ほか
AK342-112	被仰渡	12月			継紙 知行借上被仰渡書、去作毛不熟・城下町在々の大所数多焼失・今年廻米一円無之・100石の内60石借上
AK342-113	被仰渡	12月			継紙 知行借上緩和ニ付被仰渡書、去年より何十年にも無之米の下直・従来三ヶ一借上を今年は四ヶ一の割合に返す・儉約令を命ず、(端裏付札) 元文の後カ
AK342-116	被仰渡	亥 12月			継紙 大儉等ニ付被仰渡書、今年重御用で上府出仕・借財も700金余・銀25貫目拝借・来子年から蔵に御省略

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK342-117	被仰渡	未 12月			継紙
	大俵継続并指上借上銀緩和被仰渡書、去申年より大俵執行仰出・戌年より当未年迄継続・来申年より5年間引継大俵・差上高并役料銀穀とも是迄通り借上・但し来申年から指上銀・借上銀穀割合を別紙の通り弛めること、342-67に別紙あり				
AK342-67	別紙	12月			継紙
	銀穀借上割合を弛める被仰渡書別紙、去申年より借上の銀穀割合を来申年より弛める・高10石に付銀5匁宛借上の分を弛めることほか、342-117の被仰渡の別紙				
AK342-119	被仰渡	12月			継紙
	給銀役料ほか借上割増ニ付被仰渡書、150石以上の部屋住御給銀残らず借上ほか				
AK342-120	被仰渡	12月			継紙
	拝借取扱形ほか被仰渡書、巳年凶作に付莫大な救助手当・30石以下は扶持の者は今年から薪方木炭代上納銀の内半銀に弛めおくこと・文政の度被仰渡の通り掟を守るべきこと				
AK342-3	被仰渡写				縦帳(5)
	(文末) 右之ヶ条書辰五月松野茂右衛門下向之節持参同六月十三日大塚九郎兵衛へ会合之席ニ而披見				

(4) 達書・触書

AK312-13	佐竹主計殿江宇右衛門殿より口上ニ而被仰遣候覚	延宝9年(1681) 7月11日	(渋江宇右衛門)	佐竹主計	切紙
	組下給人取扱ニ付被仰渡扣、今宮の本指南の者を矢田野四郎左衛門与下とし1日・15日に主計へ見舞いすること、公用は藩庁から北主計へ伝えること、矢田野与下の願書は矢田野氏から藩庁へ出すこと、(包紙) 延宝年中角館ニ而矢田野四郎左衛門様へ被仰渡候書附之扣				
AK322.5-1	諸掟触書	元禄14年(1701) 12月			継紙
	公用者の賄・人足・伝馬は現地の肝煎が判紙を見て定以外は徴収すること・賄は一汁二菜に限ることほか				
AK322.5-2	諸掟触書	元禄14年(1701) 12月			継紙
	322.5-1と同内容				
AK614-3	植木孫右衛門・矢野造酒達書	享保3年(1718) 正月29日	植木孫右衛門・ 矢野造酒	矢野主水	継紙
	今泉村開堰へ本田除堰水加水許可書				
AK651-2	矢野造酒ほか達書	享保3年(1718) 3月24日	矢野造酒ほか2名	相川村徳右衛門	切紙
	水の目林へ杉植立ニ付被申渡書、村内内沼・外沼・水のみ平林へ杉百本余植付につき褒美被下				
AK651-3	矢野造酒ほか達書	享保6年(1721) 6月4日	矢野造酒ほか2名	相川村喜右衛門ほか2名	継紙
	水のみ雑木林ニ付地頭林の証拠拝領願答書、村内吉田表田地の水元内沼・外沼・赤沼の水のみ林に雑木植付により近年田地日枯のないこと				

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK611-8	町触	(元文3年)(1738) 7月			継紙
	漆実買上げの町触、漆実の蠟紋りを禁止し全部を藩役所に売り渡すこと、(端裏) 元文三年午七月				
AK611-9	御検地方達書写	元文6年(1741) 3月	仁平宅左衛門ほか 2名	左衛門殿屋敷 番	継紙
	下川原の帰属変更ニ付被申渡書写、連名で享保12年11月14日に仰渡された文書留置の写、(包紙) 享保十式年未十一月被仰渡ニ付御検地方申渡候書附写留書より写取候控壺枚 元文六年酉三月				
AK342-21	銀札引替役所達書、丁代・庄屋願書	(宝暦5年)(1755) 8月～9月	銀札引替役所、 丁代・庄屋	庄屋・丁代、 銀札引替役所	継紙
	銀札町方取扱形覚書、領内の者は他所商の為の正銀引替禁止・質物500文以下は銀札使用自由・角館札元五井孫左衛門(引替所)				
AK312-31	御検地役達書	(宝暦7年)(1757) 7月24日	茂木勇右衛門ほか 4名		切紙
	知行所減高覚、仙北郡野中村・佐竹河内分当高33石8斗6升8合外6石9斗減高、(包紙) 宝暦七丑年御知行所野中村平均御竿二而打減高斗付同七月廿四日於御会処御検地役茂木祐右衛門杯岡崎造酒ニ相渡候書付本紙也				
AK312-55	町触	(寛政元年)(1789) 9月			継紙
	評定奉行設置ほか諸役改正の町触、能代奉行・郷村奉行廃止、座列は勘定奉行・評定奉行・町奉行(能代支配兼帯)・財用奉行の順、御用所中の勘定所は勘定奉行日々出勤し御本丸御勘定所と称し二の丸御勘定所と区別する				
AK280-7	御記録所達書	(寛政3年)(1791) 9月	(御記録所)		横帳(3)
	文書処提出の古文書系図ニ付覚、明和5年提出文書は返付され系図15冊は留め置かれる、小野寺丈助ほか20名分の青印書の写				
AK280-8	御記録所達書	寛政8年(1796) 10月	御記録所	佐竹主計	継紙
	文書処提出の古文書ニ付通知、北家家臣の明和年中提出分につき連絡、(包紙) 御与下明和年中御文書所に古文書差出候ニ付此度御青印并被仰渡之写入御本書御戸箱ニ有リ 寛政八年辰十月 御家中衆在中				
AK342-41	北家達書	(寛政12年)(1800) 3月			継紙
	北家家臣内役被仰渡書、北家の給人に対する達書、年来重く内役申し渡し泰俊院(佐竹義躬)の時廃止の意向を遂げられず今年没・義文家督・内役を弛めるために省略の良案を求める、(端裏) 寛政十二年申三月廿八日被仰渡				
AK288-10	御記録所達書	文化5年(1808) 2月18日	(御記録所)		継紙
	大内氏由緒ニ付返報、文化2年提出の北家人太内才蔵系図指添の願書につき吟味の状況を知らせる、(端裏) 太内小左衛門義被仰達被下候節返事				
AK327-1	前小屋市右衛門御預達書	(文化7年)(1810)		河内	継紙
	罪人御預け通達書、前小屋市右衛門不調法につき知行召上げ御預け被仰付候事、(端裏) 河内殿屋敷番				
AK322.5-6	諸掟触書	(文政元年)(1818) 4月		御足軽・御小人 ほか	継紙
	足軽・御小人以下庶民の生活規制触書、足軽以下鶏役所守は供人召連年礼禁止・同人等の妻子奉公の事・下座の事ほか、(端裏) 文政元年四月、(端裏付札) 文政元年四月御会所よりノ御触書ナリ、(宛名) 御足軽・御小人・御町同心・諸御使番・御中屋・御草履取・御厩之もの・御升取・御餌刺・御木屋方・惣御蔵守・御材木場守・御萱場守・御萱手・御学館小役人・御晝屋御掃除之者・諸御細工人手代・惣山下代・御鳥見・鶏役前守				

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK342-45	条田宇左衛門達書	文政8年(1825) 2月	条田宇左衛門	御町方一統	継紙
	角館町内備錢借用形ニ付被仰渡書、町内和合の為御備錢貸付の方法・預主田口幸右衛門より渡すこと、〈端裏〉文政八酉二月和合錢御備町方へ被仰渡、〈端裏付札〉角館				
AK387-4	佐竹義術達書	(天保2年)(1831) 6月	(佐竹義術)		継紙
	東義陳出仕の節山方家送迎覚、〈端裏〉御直々御頭武藤東右衛門・望月伊太夫・生田目九蔵江御演説有之候処被仰含候御扣 天保二年卯六月廿七日、〈包紙〉天保二年卯六月義陳公御出仕候節山方家送迎之義ニ付御直々御武頭江被仰含候御趣意御書付御扣				
AK342-95	北家達書	(天保6年)(1835) 9月			継紙
	財用向難渋ニ付被仰渡御条目、財政難渋について北家から組下への達書、〈端裏〉北主より家中へ 天保六年九月				
AK288-43	御蔵役衆・御金役衆申渡書	子 3月2日	御蔵役衆・御金役衆	五井孫左衛門	切紙
	代地并小役銀給付通知、本堂城廻村の平均竿入の結果五井孫左衛門へ代地返付のこと・小役銀を渡すべきことの通知				
AK280-9	御記録所達書	3月	御記録所	佐竹主計	継紙
	北家并同家臣ほか提出の古文書系図ニ付通知				
AK280-10	組下被仰渡覚	3月	御記録所		横帳(5)
	文書処提出の古文書系図ニ付被仰渡覚、御記録所達書写				
AK280-15	御記録所達書	3月	御記録所	佐竹主計組下 角館給人滑川 宇兵衛	切紙
	文書処提出の古文書ニ付通知、佐藤源右衛門より今宮撰津守江之書翰壱通被返付青印書被添下候				
AK280-16	御記録所達書	3月	御記録所	佐竹主計	継紙
	系図書并伝来文書返付覚、北家と同家臣系図伝来文書の明和年中提出分				
AK280-20	御記録所達書	卯 8月	御記録所	佐竹河内家人 太田常右衛門	切紙
	文書処提出の古文書ニ付通知、梅津半右衛門より太田九左衛門・小野崎七左衛門宛書状のこと				
AK779-1	北家達書	8月			継紙
	軽業三芝居興業許可の申渡書、北家当主が数年久保田定府のため角館町衰微につき軽業・三芝居の興業を今年より来戊秋まで許可のこと				
AK280-22	御記録所達書	9月	御記録所	佐竹主計	折紙
	文書処提出の古文書ニ付通知、提出した古文書の返付の一覧、〈包紙〉御記録処より御渡書附入				
AK312-113	佐竹義文達書	亥 10月	(佐竹義文)		継紙
	留守中家中取扱委任覚、当主滞府中家老以下処置の委任、〈包紙〉覚				

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK322.5-10	触書	10月			継紙
	無焼印升使用禁止触書、升屋理右衛門の焼印升使用のこと・理右衛門と手代二人廻在のこと、〈端裏〉文政十一年十一月				
AK312-115	北家達書	戊 12月			継紙
	屋形様加冠ニ付江戸登并出仕以前の外出禁止覚				

2 上申文書

(1) 北家

AK312-17	佐竹主計願書稿	元禄13年(1700) 2月26日	(佐竹主計義隣)		縦帳(3)
	拝領の五百石ニ付願書稿、1万5千石の芦名家断絶後明暦2年角館に移り生活困窮につき手当拝領のこと				
AK312-33	佐竹義邦届書	(宝暦8年)(1758) 7月	(佐竹義邦)		切紙
	北家在府被仰渡ニ付請書、藩主代替で幼君の為入国迄間があるので北家当主が久保田へ引越を命ぜられる(22日)・角館仕置は久保田在府のまま・この年7代義明没・8代義敦家督				
AK312-34	佐竹義邦届書	(宝暦8年)(1758) 7月	(佐竹義邦)		切紙
	角館留守中の心得形申論、312-33と同内容				
AK386-3	佐竹義躬伺書	(宝暦13年)(1763) 2月	(佐竹義躬)		継紙
	佐竹又四郎元服出仕ニ付伺書、幸之助様(義敦弟左近義方)ほかへの献上物・詰所ほかについて伺い、付札(伺いに対する回答)あり				
AK386-4	佐竹義躬伺書	(宝暦13年)(1763) 2月	(佐竹義躬)		継紙
	386-3と同内容、付札なし				
AK312-57	佐竹義躬願書	(寛政元年)(1789) 6月	佐竹亦四郎(義躬)		横帳(3)
	北家家人御目見の節名改被仰付度願、小野崎氏の御前における名改被仰付たき願(旧習復活の願)、〈包紙〉寛政元西七月三日相返り候石井宇仲持参式通之内 小の崎弥三郎先規願書被仰立御心				
AK312-52	佐竹義躬願書	(寛政元年)(1789) 9月	(佐竹義躬)		横帳(3)
	元旦壱番座の年始御礼日変更願、この度申し渡す法令の趣を守りそれぞれ職分を相励むべきなり、〈包紙〉寛政元西九月被仰立候御口上書御控				
AK312-63	佐竹義躬伺書	(寛政7年)(1795) 10月	佐竹主計(義躬)		横帳(2)
	郡奉行と所預の支配権ニ付伺書并付札、村方地形内はすべて郡奉行支配下に入る旨の付札、南部街道筋は本町橋まで町方より岩瀬船渡まで往還通など指揮				

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK787-2	佐竹主計願書	寛政7年(1795) 10月	佐竹主計		折紙
	放鷹川狩地拝領願并付札、義隣代より角館東前郷村から雲然村の地を慰所として拝領のところ郡奉行設置に付地形拝領致したき願、付札による答書あり、〈包紙〉寛政七年卯十一月郡奉行被相達ニ付角館地廻并西川等之義御用所ニ御窺被成御張下ケノ御書付ニ而被仰渡候				
AK312-68	佐竹義珍願書	(文化2年)(1805) 2月	(佐竹義珍)		継紙
	組下処分取扱形ニ付被仰立草稿、文化元年支配者が組下に遠慮を命じた場合藩庁へ直ちに届け許した場合も届けるように改めたのに反対する意見、〈包紙〉覚書写 文化貳年丑三月湯沢より被遣候被御立御草稿				
AK288.3-1	御記録所江被仰立控	文化2年(1805) 閏8月			縦帳(12)
	家系改めにつき系譜書出取り纏め差出の旨申立				
AK288-11	佐竹義文届書	(文化5年)(1808) 7月	御名(佐竹義文)		折紙
	大内氏由緒書写、太内才蔵先祖小左衛門は刈和野給人の後河内義隣に奉公、〈包紙〉覚草稿 太内小左衛門被仰出				
AK327-2	佐竹河内伺書草稿	(文化7年)(1810) 8月	佐竹河内		折紙
	預り人取扱形伺書草稿、前小屋市右衛門預かりには髪・髭・囲内の火の使用その他のこと、〈包紙〉文化七年午八月中前古屋市右衛門殿御預被仰付候御書附老通入				
AK386-8	佐竹義文伺書	(文政2年)(1819)	(佐竹義文)		継紙
	義厚公元服に付伺書稿、義宣公13歳・義処公10歳で元服・屋形様(義厚)は明後年13歳で元服の予定				
AK312-75	草稿	(文政6年)(1823)	(佐竹義文)		縦帳(6)
	疋田定綱弾劾文章稿				
AK312-76	佐竹河内伺書	(文政7年)(1824) 閏8月	佐竹河内		折紙
	知行高一万石以上の家格ニ付伺書、又四郎出府の御万石以上に相成次第江戸表并於道中承り候仁有り候はば新地等加増答可然かの伺い、〈付札〉加増と可被相答候				
AK312-77	佐竹河内伺書	(文政7年)(1824) 閏8月	佐竹河内		切紙
	知行高一万石以上の家格ニ付伺書、312-76の写				
AK312-78-1	佐竹義術願書	(文政7年)(1824)	(佐竹義術)		継紙
	合力金願書草稿、天明年中祖父主計江戸登の節四百金拝領、当年万石以上の家格とされ江戸登費用嵩みに付合力金拝領願、〈包紙〉覚 江戸出府ニ而被仰達候御願書被下書				
AK312-78-2	佐竹義術願書	西 8月	御名(佐竹義術)		継紙
	合力金願書草稿、〈端裏〉義術公被仰立覚書写				
AK312-79	佐竹義術願書	(文政8年)(1825)	佐竹河内義術		切紙
	合力金願書草稿、312-78の3通目か、〈包紙〉覚 品々小書付、包紙と本文があわず				

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK312-81	佐竹義術願書	(文政8年)(1825) 6月	佐竹又四郎(義術)		横帳(3)
	北家御目見座席ニ付願書、北家御目見は二ツ目敷居の内が旧例なのだが6月4日の目見得の節敷居外の座席であったので旧例に戻してもらいたい旨の願い、〈端裏〉文政八酉六月義術公様御出府之節御席形御願書、〈包紙〉覚 新家被仰渡覚				
AK312-82	佐竹義術願書答書	(文政8年)(1825)			継紙
	北家御目見座席ニ付願書、又四郎出府御目見の節御座間二ツ目敷居外であったので慣例に反するとして訴え出したことに対する返書、312-81に対する答書				
AK312-91	佐竹河内伺書	(天保11年)(1840) 3月	佐竹河内		折紙
	北家組下席順確認願、林取立役加勢は城下加勢の次第・在々給人旧家は旗本新家の上席、貼紙(伺いに対する答書)あり				
AK288-30	佐竹主計願書	子 3月	佐竹主計		折紙
	北家家臣由緒書写拝領願、主計家附人石川長助家の元禄中提出の由緒書写交付願				
AK312-105	北家伺書	酉 5月20日			切紙
	出仕家督御目見の節差添家人ニ付覚書、北家から本藩への伺書、〈包紙〉覚				
AK312-106	北家願書	酉 6月	御名		横帳(2)
	北家家人の養子縁組ニ付口上覚、北家人の養子取組の際組下との間の取組を先例通り認めてもらいたいこと				
AK312-116	北家願書	9月			継紙
	一門并引渡の年始・出仕登城の節家来の通用口ニ付願書草稿、旧来大番所口通用の処大番所脇口通用と改められたことに対する反論				
AK312-138	北家伺書、答書	9月			切紙(2)
	2枚綴じ、御境口守の支配ニ付伺書并答書、生保内村御境口守高階囚獄始め境係の役目は郡奉行支配下に入るのか・所預の支配に入るのか伺い、召捕者に詮議や横死者の与下検使派遣はどうすべきか伺い、答書は横死者の検使は郡奉行から出す・境口守は従来通り、〈答書端書〉又左衛門手扣				
AK312-114	佐竹河内願書	10月26日	佐竹河内(義文)		折紙
	足軽再勤許可願、北家支配30人・塩谷右膳支配30人・中屋敷組20人都合80人、中屋敷組が郡方へ御付被仰付無調法5人御暇内2人再奉公残3人の再勤願				
AK288-12	佐竹義文届書		(佐竹義文)		切紙
	大内氏系図一件ニ付書状				
AK312-117	北家願書草稿	子			継紙
	一門并引渡の年始・出仕登城の節家来の適用口ニ付願書草稿、年始・出仕・家督御礼登城の節同伴の刀番や御目見の家来通用口を大番処口から同処脇口に改められてことに対する反論、〈端裏〉タテモノ子年、〈包紙〉御覚書草稿				
(2) 北家以外					
AK614-1	徳兵衛ほか願書	正徳4年(1714) 8月5日	椿村肝煎徳兵衛ほか 2名		切紙
	開堤普請願書、柏木田村堰水引替について				

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK614-2	徳兵衛ほか願書	正徳4年(1714) 8月8日	椿村肝煎徳兵衛 ほか2名	石川七郎兵衛・ 水平円兵衛	切紙
	開堤堰ごみ上願書、椿村開堰のごみをとることについて、〈包紙〉上 椿村郷中				
AK651-1	徳右衛門願書	享保2年(1717) 8月27日	相川村徳右衛門		継紙
	水の目林証扱拝領願、角館御郷代石黒形右衛門の申付により杉を百余本・村内内沼・外沼・水のめ平林の内へ植付林の証扱拝領願、〈包紙〉上 相川村徳右衛門 願之通証扱渡下書有				
AK651-4	多兵衛ほか願書	享保6年(1721) 6月3日	相川村肝煎多兵衛 ほか3名		継紙
	水の目雑木林ニ付地頭林の証扱拝領願、〈包紙〉享保六年丑六月五日 上 相川村 願之通証扱渡下書入 台林之事				
AK611-2-1	治右衛門ほか願書	享保8年(1723) 8月5日	仙北郡相川村肝煎 治右衛門ほか3名		切紙
	畑返野開竿入并屋敷地拝領願、(差出) 仙北郡相川村肝煎治右衛門・同村肝煎多兵衛・同老百姓勘左衛門・同同市兵衛、〈綴じひも〉三返永之御用、〈包紙〉上 相川村 享保九年五月八日石川七郎兵衛御検地ニ参右口上之返出開江御竿入御開畑十六人之者屋敷引渡相済				
AK611-2-2	願書別紙	享保8年(1723) 8月5日			折紙
	611-2-1の別紙、屋敷地頭16人の名前と畑返覚				
AK611-3	与惣右衛門ほか願書	享保9年(1724) 2月20日	仙北郡黒沢村肝煎 与惣右衛門ほか12 名	小野崎郷右衛 門	継紙
	新開竿入并屋敷地拝領願、(差出) 仙北郡黒沢村肝煎与惣右衛門・黒沢村屋敷願主理右衛門・六右衛門・甚左衛門・与治右衛門・三十郎・重兵衛・長吉・同村老百姓佐藤右衛門・与右衛門・文右衛門・治部・吉兵衛、〈包紙〉上 黒沢村 享保九年辰ノ四月廿四日ニ石川七郎兵衛・荒井造酒御検使ニ参見分之上願之通相済				
AK611-4	七右衛門ほか願書	享保9年(1724) 2月29日	今泉村肝煎七右衛 門ほか5名	小野崎郷右衛 門	切紙
	新開竿入并屋敷地拝領願、(差出) 今泉村老百姓吉兵衛・助左衛門・久七・忠右衛門・八右衛門・同村肝煎七右衛門、〈包紙〉上 今泉村 享保九年辰ノ四月廿四日ニ石川七郎兵衛・荒井造酒御検使参見分之上願之通相済				
AK614-4	長左衛門届書	享保12年(1727) 9月15日	野中村長左衛門	仁平宅左衛門 ほか2名	継紙
	勝楽村下川原御開堰筋見立ほか申立書				
AK611-5	新右衛門ほか願書	享保13年(1728) 3月28日	仙北郡椿村老百姓 新右衛門ほか4名	水平円兵衛	継紙
	肝煎交代願口上書、徳兵衛60歳で病身につき退役し同人倅伝重郎を任命されたき願、(差出) 仙北郡椿村老百姓新右衛門・治兵衛・六右衛門・与五右衛門・利右衛門、〈包紙〉上 椿村				
AK611-6	徳兵衛ほか願書	享保13年(1728) 3月28日	椿村肝煎徳兵衛 ほか5名	水平円兵衛	継紙
	村内地形境混乱ニ付竿入願、(差出) 椿村肝煎徳兵衛・同村老百姓新右衛門・治兵衛・利右衛門・六右衛門・与五右衛門				

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK614-5	長左衛門願書	享保13年(1728) 5月6日	野中村長左衛門	水平円兵衛	切紙
	下川原御開新堰掛越樋材木拝領願、〈包紙〉上 野中村長左衛門				
AK611-7	藤兵衛願書	享保19年(1734) 6月21日	勝楽町丁中庄屋藤兵衛	石川七郎兵衛・池田喜八郎	切紙
	水屋すそ流れ無之二付水道ニ致度願を却下されたき願ニ付口上書				
AK614-7	太田村肝煎ほか願書	寛保3年(1743) 9月30日	太田村肝煎・同村長百姓・今泉村肝煎・同村長百姓	須田形右衛門・岩屋瀬兵衛	継紙
	本田水元真木川堰根留普請願				
AK611-10	上桧木内村肝煎答書写	延享3年(1746) 5月16日	上桧木内村肝煎・同村老百姓	戸島角右衛門ほか2名	継紙
	佐竹主計指紙下御開井水元等ニ付答書写、桧木内村・玉川村は主計指紙下で水元は本田余水掛かり新水元見立新田開発の計画ほか				
AK614-8	旧記写	延享3年(1746) 9月17日	今泉村肝煎七右衛門ほか5名	豊島太郎兵衛ほか2名	継紙
	石神御開の水元新堤築立ニ付答書写、(差出) 今泉村肝煎七右衛門・同村長百姓吉兵衛・仁右衛門・長右衛門・伝兵衛・庄兵衛				
AK280-4	草刈十右衛門伺書、御記録所答書	(明和3年)(1766) 8月16日	草刈十右衛門、御記録所	御記録所、草刈重右衛門	切紙(2)
	文書処提出の系図ニ付伺書并答書、嫡庶についての草刈十右衛門の伺書と答書、〈包紙〉御記録所再御吟味ニ付右伺書入				
AK611-11	与五左衛門ほか願書	明和4年(1767) 3月3日	仙北郡黒沢村肝煎与五左衛門ほか4名	進藤久右衛門	継紙
	本田水開発田地并新屋敷吟味願、国安三右衛門・潮田喜内の竿入以前に吟味を願ひ出る、(差出) 仙北郡黒沢村肝煎与五左衛門・同村組頭巳之助・同村長百姓佐藤右衛門・同文右衛門・同佐五右衛門、〈包紙〉上黒沢村 御開本田水元起候義并本納屋敷へ直々ニ付公義調候義御吟味願之事				
AK372-4	塩谷右膳伺書	(文化8年)(1811) 7月	(塩谷右膳)		折紙
	郷校係り役の処分に付伺書扣、組下二名の作事不当の処分につき学館への申立、〈包紙〉塩谷右膳殿組下吉成小早人・大野直記郷校俗事方勤中不当之筋有之右膳殿之御断被成置候処御同人より御挨拶申来候書付也 文化八年未七月				
AK787-3	常世弥左衛門願書	(天保14年)(1843) 9月19日	常世弥左衛門	竹内政五郎ほか3名	継紙
	塙証文返付猶予願書、小鳥狩り禁止のため先年献上の塙証文返付猶予願、〈包紙〉常世承之助より証文式通り同人手紙式通入 天保十四年卯九月廿四日相極候				
AK787-4	常世弥左衛門願書	(天保14年)(1843) 9月24日	常世弥左衛門	竹内政五郎ほか3名	継紙
	塙証文返付無之様願書				

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK312-132	仁保多右衛門忠進書 財政御財用向不如意改善策に付忠進書、〈包紙〉仁保多右衛門忠進書	子 2月28日	仁保多右衛門		継紙
AK342-2	山方才三郎上京之節御伺書写 財政に関する書状、付札による答書あり	2月			縦帳(5)
AK611-25	願書抜書 村人渴命ニ付助成願抜書	卯 3月7日			継紙
AK614-6	下川原御開場堰御普請口覚 代物ノ23貫290文	酉 3月24日	池田喜八郎		切紙
AK614-9	長野村肝煎ほか願書草稿 洪水欠込の土鼻街道普請願稿、去年の10月人足・柴・杭準備普請・当春雪融水で街道欠落・新開危険	卯 3月26日	長野村肝煎貳人・ 同村長百姓十人		継紙
AK614-10	長野村肝煎ほか願書写 洪水欠込の土鼻街道普請願扣、度々洪水にて鼻街道欠落・御検使見分の上御普請成し下されたく願	卯 4月6日	長野村肝煎兩人・ 組頭拾貳人	高野一郎右衛門・ 門・森源右衛門	継紙
AK312-110	小野崎小門願書 御付人座順ニ付願書、付人5人のうち最上席のところ正徳年中高祖父の代に矢野主水の下とされたので訂正願	子 7月26日	小野崎小門		横帳(2)
AK312-80	御記録方願書 記録方役所建立願、目付罷り出或いは謡子等之節は出勤も相成らずその度ごと休みとなり出入りも繁く大切の御用洩れる	7月	四人		切紙

3 書状

(1) 佐竹氏

AK312-14	光聚院書状 光聚院自筆、徳寿丸(義苗)の元服につき左衛門義明が江戸登りしたことに對する礼状	(延宝9年)(1681) 3月16日	光しゅ院	主計(義隣)	折紙
AK312-45	佐竹義邦書状 職責苦勞のねぎらいのこと・塩谷急登のこと・その他時勢に関すること、〈包紙〉午五月廿九日達六月十二日返事済 松齋様 岡本亦太郎	(安永3年)(1774) 7月25日	松齋(佐竹義邦)	岡本亦太郎	切紙
AK312-134	佐竹義路書状 右近様下国延引の件・壹岐守様呉服橋御門御番被仰付・米非常の高値に付御前米は秋田から差登らせのこと・上方儒者昨日到着、〈端裏〉丁未六月朔日到三日付ニ而返事済	(天明7年)(1787) 5月29日	佐竹山城義路	佐竹主計	継紙
AK312-51	佐竹山城書状 左近義方(義敦の弟)御直書のことほか	(天明7年)(1787) 6月9日	佐竹山城(義路)	主計(義躬)	継紙

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK185-1	佐竹義躬書状 曹溪寺廟所一件ニ付被仰出、〈包紙〉御直書 寛政九巳七月被仰出曹溪寺一件ニ付	(寛政9年)(1797) 7月2日	(佐竹義躬)	矢野主水	継紙
AK387-2	御案紙 嘉永5年の北家からの書状の写、〈表紙〉御案紙 嘉永五年壬子正月改 御在郷御書出被下候義有	嘉永5年(1852)			縦帳(38)
AK312-136	佐竹河内書状草稿 亀丸養子につき返状草稿、312-135に対する返書	(元治元年)(1864) 11月17日	佐竹河内	小野岡右衛門 ほか2名	継紙
AK312-101	佐竹義邦書状 前欠、定府一件・東家慎御免の件ほか	3月1日	歴翁(佐竹義邦)	河内	継紙
AK312-100	佐竹義邦書状 後欠(猶書部分)、入梅の挨拶	閏5月8日	歴翁(佐竹義邦)	河内	継紙
AK312-107	佐竹義邦書状 上欠、源藏願いの事ほか	6月5日	歴翁(佐竹義邦)	河内	継紙
AK312-109	佐竹義広書状 4月29日角館・湯沢・大館へ義広の義に付被仰渡のこと	7月24日	山城義広	河内(佐竹義躬)	継紙
AK387-3	御案紙 前欠、各所書状控、北家からの書状の写				縦帳(15)

(2) 佐竹氏以外

AK312-32	石塚義陳書状 銀札事件処理の礼状と祝状、〈包紙〉佐竹河内様 石塚孫太夫 丑八月十七日達九月四日返答済	(宝暦7年)(1757) 8月15日	石塚孫太夫義陳	佐竹河内(義邦)	折紙
AK312-47	石塚市正書状 戸村十太夫義敬に預けられていたのを許されて帰宅	(安永3年)(1774) 11月11日	市正	松齋(佐竹義邦)	折紙
AK338-2-1	石塚市正書状 無尽加入の誘い、〈包紙〉松齋様 市正 三〇〇〇之上披見 十三日御返答済	3月4日	市正	松齋(佐竹義邦)	継紙
AK338-2-2	石塚市正書状添状 無尽の参加者名、〈端裏〉〇〇〇無尽人数				継紙
AK312-112	石塚市正書状 高柿嘉右衛門持参の用事延引の件ほか、〈端裏〉石塚市正殿より来候御自筆書、〈包紙〉覚	3月21日	市正	河内	継紙

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK312-39	今宮義栄書状 銀札事件処理の労をねぎらう	10月14日	今宮又三郎義栄	佐竹河内	継紙
AK611-22	植木孫右衛門書状 谷地町道橋造りには白岩村のほか7か村の人足を加える旨	10月1日	植木孫右衛門	白岩村肝煎 三之助	折紙
AK312-59	宇都宮孫綱書状 義和の婚儀ほか、〈包紙〉佐竹主計様 宇都宮小膳	(寛政5年)(1793) 3月15日	小膳孫綱	主計	折紙
AK386-6	宇都宮重綱書状 6月24日出仕并名改御札相済む知らせと祝儀の御札、〈包紙〉佐竹主計様 宇都宮四郎	(寛政5年)(1793) 7月28日	宇四郎重綱	主計(義躬)	折紙
AK387-15	宇都宮小膳書状 300貫文の借用無利子での承知の報に接しその礼状、〈包紙〉佐竹主計様 宇都宮小膳	12月15日	小膳	主計	
AK312-38	大塚九郎兵衛書状 至急相談したき旨、〈端裏〉河内様 九郎兵衛 四月五日朝応対	4月5日	九郎兵衛(資永)	河内	継紙
AK611-17	大山十右衛門書状 椿村開検地の件は黒沢三右衛門口上書持参	3月14日	大山十右衛門	太田喜兵衛・ 高柿嘉右衛門	折紙
AK312-21	岡本元朝書状 御入部は一両年中に成し置かるべし・采女の後嗣の又八郎の事など	(宝永元年)(1704) 11月22日	岡本又太郎元朝	佐竹主計(義命)	継紙
AK280-13	岡本元朝書状 慶長8年以前の知行判紙(常州分)は実物を提出のこと	正月30日	岡本又太郎元朝	佐竹左衛門	折紙
AK280-14	岡本元朝書状 提出の古文書類吟味のこと、家ごとに相違あるため御実記を指出すべし	2月3日	岡本又太郎元朝	佐竹又四郎	折紙
AK280-25	岡本元朝書状 山方氏系図の事・証文真偽の事ほか	2月19日	岡本又太郎元朝	佐竹又四郎	横帳(2)
AK280-17	岡本元朝書状 好間兵部の断絶理由の聞伝を尋ねる	5月6日	岡本又太郎元朝	佐竹左衛門	折紙
AK280-18	岡本元朝書状 先祖の男女兄弟の分書付提出のこと	8月16日	岡本又太郎元朝	佐竹左衛門	折紙
AK280-19	岡本元朝書状 系図受取の通知	8月25日	岡本又太郎元朝	佐竹左衛門	折紙

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK280-21	岡本元朝書状 芦名義勝は慶長11年にはまだ盛重と称していたのを知らずに偽文書を提出している者がある	9月6日	岡本又太郎元朝	佐竹又四郎	折紙
AK280-23	岡本元朝書状 山ノ入・南酒出家系の事・北家先祖の事・常州清音寺正宗寺の古記の事	12月9日	岡本又太郎元朝	佐竹又四郎	折紙
AK280-24	岡本元朝書状 組下衆の証文提出は1月10日過ぎでもよいこと・大坂の役への組下参陣のこと	12月18日	岡本又太郎元朝	佐竹左衛門	折紙
AK342-121	岡本元貴・石塚義陳連署状 佐竹図書義邦の出府を求める書状、銀札仕法の改正と停止を主張する派の誘い、〈包紙〉丑三月廿八日当時達ス以後後飛脚早々返答 佐竹図書様 石塚源太夫・岡本又太郎	(宝暦7年)(1757) 3月26日	(岡本元貴・石塚義陳)		継紙
AK312-46	岡本元貴書状 岡本元貴が生涯塾居を免ぜられて家老再任となった後の心情	(安永3年)(1774) 5月27日	岡本亦太郎(元貴)	松斎(佐竹義邦)	切紙
AK312-44	岡本元貴書状 財政窮迫の節家老再任につき心情を述べる	(安永3年)(1774) 6月26日	岡本亦太郎(元貴)	主計(義躬)	継紙
AK312-74	岡本元長書状 詩経・書経筆写の件ほか、〈包紙〉河内様 又太郎 丑ノ九月達ス	丑 9月8日	岡又太良元長	河内	横帳(4)
AK387-6	小田野正信書状 継目出仕・名改の知らせ	正月3日	小田野九郎(亀松)正信	河内	折紙
AK387-7	小田野正信書状 継目出仕・名改の知らせ	正月3日	小田野九郎(亀松)正信	主計	折紙
AK288-16	小野崎隼太書状写 系図写所望に付準備したので取りに来てもらいたい、〈包紙〉小野崎隼太所より同喜内所へ遣候手紙写壹枚	(宝永2年)(1705) 閏4月16日	小野崎隼太	小野崎喜内	切紙
AK288-18	小野崎隼太書状 小野崎三之丞書状書抜、小野崎三之丞より小野崎九郎左衛門宛て書状(閏9月27日付)の写、〈包紙〉小野崎九郎左衛門所へ小野崎三之丞処より参候書状書抜壹枚	(宝永4年)(1707) 10月11日	小野崎隼太		継紙
AK312-48	塩谷久綱書状 久保田城焼失のこと(7日)・財用窮迫のこと・組下のことほか、〈包紙〉十月廿八日書 佐竹河内様 塩谷伯耆	(安永7年)(1778) 10月28日	伯耆久綱	河内(佐竹義躬)	継紙
AK387-8	谷素外書状 青帳出来送付の知らせ	2月22日	谷素外	皆川素人	切紙

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK387-9	谷素外書状 青帳出来につき上々様へ3冊・御手前様方へ2冊返上のこと	2月22日	素外	皆川素人	継紙
AK387-12	谷素外書状 尾長塩雁二羽の御札ほか、宛名の住所は神田お玉が池横瀬式部	7月21日	(素外)	素人	継紙
AK387-11	谷素外書状 5月23日付書状への返事、4月以後伊勢・大和・紀州・太宰府・京・大坂を旅行して帰庵	7月22日	谷素外	一謙亭(義躬)	継紙
AK387-10-1	谷素外書状 俳諧について	10月28日	谷素外	路逸・素人・平素	継紙
AK611-20	戸嶋久米之允ほか連署状 柏木田村地内開高佐竹主計分知高ニ付質問書、関筋起高の内150石の分地は元禄9年で向庄九郎分と共に検地役の張紙がありこの頃のいきさつを尋ねる	10月2日	戸嶋久米之允ほか 4名	矢野主水ほか 2名	継紙
AK312-42	戸村義敬書状 武藤為右衛門参候につき様子を聞いた・奥方様が4月27日に女子安産のことほか	(安永2年)(1773) 5月17日	戸十太夫(義敬)	主計	継紙
AK312-41	戸村義敬書状 9月26日家老に任命され横手城代と兼任は困難、〈包紙〉角たて御隠居様へ 十太夫	(安永2年)(1773) 12月9日	十太夫(義敬)	角館御隠居	継紙
AK386-5	戸村敦寛書状 10月7日佐竹山城義路の死を悼む、〈包紙〉佐竹主計様 戸村長膳	(寛政3年)(1791) 10月9日	戸村長膳敦寛	佐主計(義躬)	切紙
AK387-5	戸村敦寛書状 年始之挨拶、〈包紙2枚〉①書物入②佐又四郎様 戸村長膳	正月5日	戸村長膳敦寛	佐又四郎	折紙
AK312-111	茂木知文書状 十二所手廻共願の儀ほか、〈包紙〉佐竹主計様 茂木左太衛門	8月11日	茂木左太衛門知文	佐竹主計	継紙
AK342-101	羽石小七郎書状 真壁掃部助殿被仰含之次第、財用向指支此度莫大の御物入につき上方・江戸・領内へ借銀申し付けの為借銀調達被相成人別吟味書出のこと、〈包紙〉被仰含御書付 主計様 羽石小七郎	9月27日	羽石小七郎		折紙
AK342-102	羽石小七郎書状 真壁掃部助殿被仰含ニ付口上書、人別書出は本御家中・塩谷美作の与下は別段被仰渡につき北家与下のみ書出すべきこと	10月5日	羽石小七郎		折紙
AK372-5-1	真壁登幹ほか連署状 角館書院教授任命并授業ニ付達書、〈包紙〉丑八月廿一日岡甚之助持参 佐竹主計殿 真壁図書・岡本但馬・宇都宮小膳・疋田斎 (372-5-1~2とも同一包紙)	(寛政5年)(1793) 8月19日	真壁図書登幹ほか 3名	佐竹主計	継紙

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK372-5-2	別紙 佐瀬源五左衛門・常代頼母を教授候補者とし指名	(寛政5年)(1793) 8月19日	佐瀬源左衛門・ 常代頼母		切紙
AK312-135	真崎兵庫ほか連署状 12代義堯公は40才であり壹岐守の子亀丸(11才)を養子とすることに対する意見を求める、〈端裏〉元治元子十一月十六日御飛脚ヲ以、〈包紙2枚〉①元治元年子十一月十六日御飛脚持参壹岐守様御嫡子ヲ御養子被成候御相談 佐竹河内殿 小野岡右衛門・岡本又太郎・真崎兵庫②元治元子十一月十六日御飛脚を以相達候御老中御達着御用書并御別答御草稿右品者屋形様御四十歳ニ被為成候得共御継嗣不被為有壹岐守様御嫡子亀丸様御十一歳被為成ヲ御養子被遊旨御相談ニ候	(元治元年)(1864) 11月14日	真崎兵庫ほか2名	佐竹河内	継紙
AK312-99	藤太郎書状 3年ぶりの出初で東家訪問、塩谷伯耆の借用方(2万両)の件ほか	2月14日	藤太郎	河内	継紙
AK312-121	某書状 前欠、壹岐守思召は国家御太切ニ被思召候事、今宮又三郎に対する返書	11月21日		今宮又三郎	継紙
AK312-43	某書状 江戸よりの書状、差出人・宛名共不明、副役のこと・千賀氏三谷への返金并表万沢一件の仕送金の件・必需金5000両のところ当用500両達し困惑のことほか	12月13日			継紙
AK312-8	書状写	2月			縦帳(28)
AK312-7	書状写	3月24日			縦帳(7)
AK312-5	書状写 前欠	10月～12月			縦帳(47)
AK312-9	書状写	12月			縦帳(17)
AK312-3	書状写 重職進退に関する書状稿				縦帳(19)
AK312-6	書状写				罫紙(7)

4 記録類

AK289-1	義隣公御代	元和5～延宝6年 (1619～1677)			縦帳(9)
AK387-14	取調書 北家隠居参勤途中御目見御例取調書草稿、〈包紙2枚〉①義隣様より御代々御隠居御目見之御例御取調之御草稿也②取調書入	天和2～安永8年 (1682～1779)			継紙

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK387-1	宝永元年拔書 岩城伊予守隠居・采女家督について	宝永元～3年 (1704～1711)			縦帳(5)
AK288-24	御証文之写 北家の由緒を認め扇紋幕と義の一字使用を認めた、〈包紙〉義格公ヨリ義命江被下の御証文写	宝永5年(1708) 9月2日	義格	主計(佐竹義命)	折紙
AK312-25	享保十一年午六月八日御移徒之節覚	享保11年(1726) 6月8日			横帳(3)
AK386-2	義躬元服被仰付之例書 佐竹義躬元服についての抜書	(宝暦13年)(1763) 2月			縦帳(2)
AK312-2	宝暦十四甲申五月十六日以来銅山一件太田内蔵丞筆記之内要書抜書 銅山出銅減少致すべきこと	宝暦14年(1764) 5月～6月			縦帳(14)
AK280-6	家系由緒書古書物等差上候人数覚	(明和4年)(1767)			横帳(4)
AK209-19	廿六日御宮参御料理被下共に 御夕御膳御相伴ほか	明和8年(1771) 4月26日			縦帳(3)
AK386-1	於枝様御引越書抜 寛政11年2月23日御出足、於枝は義躬三女・宇都宮重綱妻	寛政9～11年 (1797～1799)			縦帳(5)
AK288-45	御記録之控 北家系譜訂正願ニ付御記録之扣	文化9年(1812) 正月			縦帳(4)
AK288-25	北家系譜訂正願 宝永年中下付の北家系譜の一部訂正願	(文化9年)(1812) 11月	佐竹河内		横帳(2)
AK288-26	北家系譜訂正願 宝永年中下付の北家系譜の一部訂正願	文化9年(1812) 11月			横帳(3)
AK386-7	文化十四丁丑年御祝用留書 義厚公御袴着御祝用留書	文化14年(1817) 2月～5月			縦帳(9)
AK212-9	御用書取文通留書 御用状の写	文政3年(1820) 6月～7月			罫紙(87)

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-10	御用書取文通留書 御用状の写	文政3年(1820) 9月～10月			罫紙(107)
AK212-11	御用書取文通留書 御用状の写	文政3年(1820) 11月～12月			罫紙(82)
AK212-13	秋田御用状控 御用状の写	文政4年(1821) 正月7日～21日			罫紙(29)
AK212-14	江戸より申達候御用状控 御用状の写	文政4年(1821) 正月23日			罫紙(23)
AK212-16	東家日記抜書	文政5・7年 (1822・1824)			縦帳(24)
AK289-2	義隣様御一代御記録 元和5～天和4	天保4年(1833) 2月			縦帳(100)
AK289-3	義明公御一代御記録 寛永20～延宝4	天保4年(1833) 2月			縦帳(6)
AK289-4	義命公御一代御記録 延宝3～延宝6	天保4年(1833) 2月			縦帳(4)
AK212-21	御記録処日記 屋形様御直書次第記	天保10・14年 (1839・1843)			縦帳(7)
AK288-1	御先代ヨリ御法号 義信～義陳	天保15年(1844) 正月	御記録方小野崎九 右衛門・竹内外衛		縦帳(15)
AK312-102	角館諸事覚書 扶持過渡の件・御殿廻り修繕中月次講釈会読会は教授宅で行うこと・組下蓮沼九七郎取囲のことほか	3月29日～4月14日	主水		継紙
AK288-22	北家由緒書 紋所・軍器・年始御礼座席のことほか、草稿	西 6月	御名		横帳(3)
AK209-3	御旧記抜書 北家当主・義明～義躬までの出仕の記録の抜書				縦帳(6)

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK288-21	北家法号道号覚 義信・義住・義廉・義斯・義憲の法名と没年月日				折紙
AK288-27-1	口上覚 宝永年中拝領の北家系譜の訂正願、〈包紙〉御書附(288-27-1～3まで同一包紙)				継紙
AK288-27-2	別紙 宝永年中拝領の北家系譜の訂正願、義住・義廉・義憲、草稿				切紙
AK288-27-3	演説 宝永年中拝領の北家系譜の訂正願				継紙
AK288-33	佐竹東家由緒書 「義治公男左近大夫政義ハ当家之元祖也」、義賢19才の六郷一揆まで				継紙

5 給人・家人系図・由緒書

AK280-11	口上覚写 北家家人由緒書ほかに付口上覚、〈包紙〉文化九申十一月被仰立書付入	子 3月	佐竹主計		横帳(3)
AK288-31	北家家臣由緒書 慶長7年御供の者、同19年大坂登御供の者、寛永3年義継(彦次郎)の廃嫡後の刈和野移転、北義隣が同5年相続してから付け置かれた者ほか	卯 12月10日			横帳(8)
AK312-49	勤功書付 仙北郡代官・本方吟味役・御前様付頭役を26年勤め元文3年大番入役43年勤めた、〈包紙〉勤功書付 安藤伝左衛門	安永9年(1780) 8月		安藤伝左衛門	継紙
AK288-7	石川氏由緒書 先祖蔵人政途が義隣の附人を付け置れる	未 3月14日	石川力蔵		切紙
AK288-8	口上覚 石黒氏系図改めに付口上覚、祖父形右衛門代から富山松平出雲守家臣石黒求馬と同苗名乗合天明7年系図由緒書差下し、〈包紙〉上 石黒松之助	(文化2年)(1805) 7月12日	石黒松之助		切紙
AK288-44	臼井孫兵衛由緒書 祖父矢野金右衛門は矢野平治右衛門の三男で彦二郎に小姓奉公し、彦二郎廃嫡後、北家中刈和野へ移される、金右衛門の子忠右衛門は母方の姓をとり臼井と名乗る、〈包紙〉竹内七之助先祖 明和八年卯正月御小座御書物之内より出ル臼井孫兵衛由緒書一通	2月26日	臼井孫兵衛		切紙
AK280-12	御青印書写 梅津憲忠書一通	文政2年(1819) 8月		佐竹河内家人 太田常右衛門	切紙

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK288-14	小野氏由緒書 中祖新左衛門通利（治左衛門と改）が義隣の附人を命ぜられた	(文政6年)(1823) 3月14日	小野新兵衛		折紙
AK288-15	小野崎氏系図写 某（将監）～通賢、〈包紙〉小野崎喜内御文処所江指出候系図之写 壺通	宝永4年(1707) 9月21日	小野崎七左衛門通 敬		継紙
AK288-17	小野崎氏由緒書写 〈包紙〉由緒書写壺通 小野崎弥三郎	文政6年(1823) 3月	小野崎弥三郎		折紙
AK288-19	小野崎氏系図写 小野崎弥市兵衛通都一流系図、通老～憲通、〈包紙〉系図写、〈包紙付札〉小野崎弥市兵衛所より同隼太所 へ遣候系図写壺枚		小野崎弥市兵衛	小野崎隼太	継紙
AK288-32	北家家臣先祖覚 小野崎弥三郎ほか18名	未 12月			折紙
AK288-20	別紙之覚 菊地氏由緒書、永禄年中から一子相伝の藩主大札ほか規式取扱方の家系、〈包紙〉覚 菊地新蔵人	(文化9年)(1812)	菊地新蔵人		縦帳(5)
AK312-133	御系譜拔書 菅沢衆の北家与下組入覚書、延宝2年1月7日御城で与力を組と改称の旨被仰渡、北家当主の主張により組下 と称することとなる、延宝5年6月今宮弾正与下の菅沢衆が北家与下となる、正徳・享保期に与下増加のこと、 〈端裏〉御系譜写左ニ 明曆二丙申八月三日角館ニ移ル 義隣公	延宝2～享保3年 (1674～1718)			継紙
AK288.3-2	口上書之下書 本家高瀬円兵衛、秋田家の家士、文化3年までの由緒	正月	高瀬忠兵衛		縦帳(17)
AK288.3-3-1	森氏由緒書 中祖森佐五右衛門以来之覚、佐五右衛門～正助、〈包紙〉上 森正助（288.3-3-1～2とも同一包紙）	午 4月			切紙
AK288.3-3-2	森氏由緒書 中祖森佐五右衛門以来之覚	庚午 4月	森正助		折紙
AK288-28	彦次郎様江戸へ詰被遊候内 格年二江戸番相勤候者共子 孫有人之覚 矢野長左衛門子孫矢野主水ほか15人				折紙
AK288-29	北家家臣覚 矢野主水ほか14名、小野崎七左衛門ほか14名				折紙

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
------	-----	----	-------	----	--------

6 知行関係（証文・分知許可）

AK611-19	御指紙写	元禄7・13年 (1694・1700)		本明寺	継紙
	勝楽村地内上川原野ほか御差紙写、勝楽村の内上川原野・下野・岩瀬海道より東野谷地新開并畑返りのこと、〈端裏〉御差紙写				
AK611-1	新開指紙写	元禄8年(1695) 6月19日	梅津与左衛門ほか 3名	佐竹左衛門	継紙
	角館下延村の内新開指紙写、寛永14年4月三森五左衛門・小高八兵衛宛指紙がでたが普請成らず宛先を北家に書き替えのこと				
AK312-26	代知覚	享保16年(1731) 7月27日	御金蔵	佐竹左衛門	切紙
	小荒川村上り地の内当高1斗8升9合				
AK312-27	代知覚	享保16年(1731) 7月27日	御金蔵	佐竹左衛門	切紙
	(文末) 右は御朱印ノ内、312-26の写				
AK345-1	仙北郡今泉村当指上高毛引 目録	享保16年(1731) 9月22日	川井権八ほか2名		継紙
	佐竹左衛門分、引当高合45石9斗2升4合				
AK345-2	指上米請取書	享保16年(1731) 11月12日	水野善兵衛・ 平沢縫殿	黒沢村肝煎	継紙
	佐竹左衛門分、米51石5斗7合				
AK312-30	足軽御蔵出定御証扱写	元文3年(1738) 9月16日	篠原吉右衛門	太田喜兵衛	継紙
	足軽前知行地形を蔵入地とし蔵出米で渡すこととした、佐竹主計(義処)支配足軽分、証扱の文書は9月11日付小田野斎から角館御米蔵衆あて、〈包紙〉御足軽御蔵出定御証扱式枚之写				
AK345-3	宥赦高覚	延享3年(1746) 9月2日	石川七郎兵衛・ 岡部甚兵衛	佐尾儀右衛門	切紙
	黒沢村1石2斗7升				
AK288-34	知行高譲渡証文	明和5年(1768) 3月28日	柳川八右衛門	五井孫左衛門	切紙
	柏木田村の5石を祝儀として調銭55貫文で譲渡、〈包紙〉西明寺村ニ而御代地被下候長野埋り候 高四斗三合 五井孫左衛門				
AK288-35	知行高分知許可書	明和6年(1769) 7月23日	御勘定所	五井孫左衛門	切紙
	長野村・柏木田新田村7石(太田逸学知行高之内)分地許可				
AK288-36	知行高分知許可書	明和6年(1769) 7月23日	御勘定所	五井孫左衛門	切紙
	柏木田新田村5石(柳川八右衛門知行高之内)分地許可				
AK288-38	知行高譲渡証文	明和6年(1769) 2月25日	太田逸学	五井孫左衛門	切紙
	長野村・柏木田新田村7石を祝儀として調銭84貫文で譲渡				

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK288-37	知行高譲渡証文	安永2年(1773) 5月25日	矢野門平	五井孫左衛門	切紙
	仙北郡齋内村の当高7石5斗を祝儀調銭50貫文で譲渡				
AK288-40	知行高譲渡証文	安永3年(1774) 11月15日	矢野清三	五井孫左衛門	切紙
	野田村10石を祝儀として調銭120貫文で譲渡、〈包紙〉証文壱通、〈包紙付札〉野田村拾石 矢野清三				
AK288-39	知行高分知許可書	安永3年(1774) 11月20日	御勘定所	五井孫左衛門	切紙
	野田村10石(矢野清蔵知行高之内)分地許可				
AK288-42	知行高譲渡証文	安永6年(1777) 7月12日	石黒形右衛門	五井孫左衛門	切紙
	齋内村7石を祝儀として調銭84貫文で譲渡、〈包紙〉証文一(裏書)此証文参候ハ酉七月廿四日形右衛門様御持参被成候御文意ニ未々何等之口口無是候故御口上ニ而申上候				
AK288-41	知行高分知許可書	安永6年(1777) 8月15日	御勘定所	五井孫左衛門	切紙
	齋内村7石(石黒形右衛門知行之内)分地許可				
AK345-4	増宥赦許可通知并請書	寛政8年(1796) 7月	長野村仮肝煎多右衛門ほか	進藤久右衛門	継紙
	長野村の増宥赦について、(通知差出)大森彦四郎・阿部清左衛門・小堀久蔵、(通知受取)郡奉行諸橋文大夫代官片岡庄左衛門、(請書差出)長野村仮肝煎多右衛門・右同断御高肝煎惣四郎・同長百姓庄左衛門・同文四郎・同小兵衛・同平右衛門・同又右衛門・同多郎右衛門・同忠右衛門・同庄三郎・同長右衛門・同長蔵・同与次兵衛、〈端裏〉寛政八年辰七月				
AK611-13	御請証文	寛政9年(1797) 11月	相川村肝煎徳右衛門ほか25名	条田宇左衛門	継紙
	相川村地内開発御請状、6年以前から開発に着手し明春完成の御請、(差出)相川村肝煎徳右衛門・五右衛門・同村長百姓伊兵衛・喜右衛門・久兵衛・五郎兵衛・彦右衛門・小八郎・久平・権太郎・藤四郎・彦十郎・長太郎・与四郎・善五郎・伊助・六兵衛・市助・徳蔵・作之丞・喜三郎・作平・善太郎・勘左衛門・藤右衛門・清之丞、〈端裏〉巳十一月相川村新発御受状				
AK312-85	代知覚受取書	文政13年(1830) 7月2日	石橋良蔵	御金蔵衆	切紙
	代知給付御判紙受取書、当高2升1合、仙北郡齋内村上り地				
AK312-86	代知覚受取書	文政13年(1830) 8月	蓮沼隆蔵	御金蔵衆	切紙
	代知給付御判紙受取書、当高8合、仙北郡齋内村上り地				
AK312-87	代知覚受取書	文政13年(1830) 8月12日	竹村平八郎	御金蔵衆	切紙
	代知給付御判紙受取書、当高9升4合、米沢新田村御開				
AK312-88	代知覚受取書	文政13年(1830) 7月2日	栗原主税	御金蔵衆	切紙
	代知給付御判紙受取書、当高4升7合、仙北郡齋内村御開				
AK312-89	代知覚受取書	天保2年(1831) 8月	蓮沼隆蔵	御金蔵	切紙
	代知給付御判紙受取書、当高3升4合、仙北郡齋内村上り地				

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK611-14	御取替証文 長戸呂村開高所務ニ付為取替証文、長戸呂村は北家の開指紙下で石黒氏が水元普請し開発の約定を元禄年間にした定に関する事	天保2年(1831) 11月5日	木村伊右衛門・ 佐藤左伝	石黒形右衛門	継紙
AK611-16	北家口上書 下延村開川役ニ付口上、下延村亡所の堰普請・田地成就の九左衛門が野山川支配・川用所は武村亀之助の勝手次第	西 11月26日	小野崎七左衛門 ほか2名	小野崎金左衛門・菅波長左衛門	切紙
AK611-18	鑓見内村開発普請料ほか覚 戌～丑年分、甚兵衛・道庵へ相渡候分				継紙
AK611-21	柏木田村田畑帳尻写 分米合280石5斗8升3合				継紙
AK611-24	国見村帳尻写 分米合1689石2斗9升8合				継紙

7 起請文

AK789-1	起請文 月剣皆伝起請文、月剣皆伝の神文	元禄9年(1696) 7月30日	小峰治部左衛門朝綱		切紙
AK312-16	起請文 親類をも依怙しないこと、支配中不作法の儀、見聞の節は依怙なく申し上げること	元禄12年(1699) 12月2日	東海林数馬・ 矢野八兵衛		切紙
AK312-18	起請文 御前の御用、年寄共寄合の話、歩行目付へ申し渡すこと、目付の申し上げることの仲介をすること、台所の無駄がないよう気付いたことを申し上げることほか	元禄15年(1702) 7月8日	矢野主水ほか2名		切紙
AK312-137	起請文 御為の儀・御前御用・御台所の儀、裏に寛延4年～明和3年までの氏名花押あり	寛延4～明和3年 (1751～1766)			切紙
AK312-69	起請文 用向・嘶を他へ洩らさぬこと・身内の者を依怙最負しないこと・命ぜられた仕事は怠らずにやることほか、 (包紙) 御入目附	文化4年(1807) 4月19日	高畑市郎兵衛ほか 2名		切紙
AK312-119	起請文 御前御用・年寄どもの話の内容・歩行目付への仰せ付け・目付共の申し上げことを仲介することほか、 下書(年月日・差出なし)				切紙

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
------	-----	----	-------	----	--------

8 その他

AK312-15	御口上書	(元禄3年)(1690) 2月28日		佐竹左衛門	切紙
	白鳥拝領御礼のこと・今日屋形様虻川へ鷹野に御出・仙北筋の鳥密猟監視のこと、別紙に能曲目あり、〈包紙〉御口上書 佐竹左衛門殿				
AK342-1	美濃国多羅郷百姓茶代銀御引替無之二付御判申受罷下候節札元并湊小宿共贈答一件	宝暦7年(1757) 2月			縦帳(67)
AK312-56	御口上覚	(寛政元年)(1789) 7月9日			継紙
	御入部御祝儀案内口上覚、7月11日広間で料理を下さるので四ツ時まで登城のこと、〈包紙〉御口上覚 西七月九日上使大山養助持参之口上覚				
AK312-53	口演覚	(寛政元年)(1789) 9月			継紙
	左近様口演覚、この度御改正被仰出・義和公入部(5月15日久保田着)・左近下国の上諸事申し渡すべきところ実現困難				
AK787-1	蓮沼射翁日記写	寛政2年(1790)			切紙
	上桧木内村大婦山崎に関する覚書、蓮沼射翁日記写を庄司大之進が差し上げた書付、〈包紙〉蓮沼射翁日記写庄司大之進江指上候書附入部時文政九年戌六月二日				
AK372-1	口達	(寛政6年)(1794) 7月			継紙
	督学派遣の口達書、助教小野岡織負と教授細井兵吉の仙北筋への派遣予告				
AK312-62-3	郡奉行氏名	(寛政7年)(1795) 9月			切紙
	郡奉行再設置ニ付被仰渡、六郡の郡奉行の氏名				
AK312-66	書載写	享和3年(1803) 8月29日			縦帳(8)
	廻座諸士席論ニ付申上候手扣、河内一人御納戸江罷出申上候手控、佐竹河内自筆の貼札あり				
AK651-5	手控	(文化2年)(1805) 閏8月			継紙
	相川村台林明山願并林守人数ニ付申渡手扣、文化二丑閏八月五日付の御代官佐尾武膳の申渡あり、〈包紙〉				
AK312-72	御沙汰書	(文化8年)(1811)			継紙
	藩主巡覧ニ付思召の旨沙汰状、郷校へも立寄・武芸武器も御覧、〈端裏〉文化八年藩主巡見				
AK312-90	御口上覚	(天保10年)(1839) 9月27日			切紙
	佐竹義厚少将昇進御祝儀通知、祝儀として塩鷹一羽を拝領被仰付旨の通知、〈端裏〉天保十亥九月廿九日上使加藤小八郎被指越少将御昇進ニ付御祝儀拝領御口上				

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK338-1	金子借用証文 通札1200貫文を庄屋備錢より借用、月一分半の利足	文久元年(1861) 6月	佐尾郷助・ 佐尾儀右衛門	庄屋佐藤重左 衛門	切紙
AK312-95	言上覚 佐竹義堯江戸滞府の真意を伺う言上覚	(元治元年)(1864)	(佐竹虎菊)		継紙
AK342-5	三谷御取扱之次第 三谷への3000両の借金の返済についての評議の伺書	4月2日・4日	大久保久治ほか5名		縦帳(14)
AK312-103	口上 組下の徒者召捕ニ付取極め書、塩谷弥太郎方より申し越しのことにつき答書、〈包紙〉午四月十九日塩谷弥太郎持参用事書附一封 午ノ年塩谷弥太郎へ相談之上同所与下屋敷ニ居候徒者を出来口捕口口極り候事	午 4月19日			縦帳(2)
AK342-9	三谷勘四郎へ被下置候御直筆并同人へ今宮大学差遣自筆書附写 借金の返金について	子 4月			縦帳(9)
AK387-13	久保田御帰之節御途中江罷出候覚 岩瀬舟場向へ町人・舟場手前へ在々給人・足軽・本明寺門前へ惣与下被出候	亥 5月			継紙
AK614-12	六月七日より八日迄洪水破損之覚 新町大柳前街道深サ三尺ほか	卯 6月9日	長野村肝煎惣四郎	森源右衛門	切紙
AK614-11	長野村川欠見分覚 大麻苅街道土鼻街道開共に欠落・斉内川端大田袋懸り開道共に欠落	卯 6月13日	池田喜八郎		切紙
AK312-130	代舌 屋形様角館ニ而武器御覧ニ付通知、河内所蔵并組下共の武器・塩谷右膳組下の武器とも帳面2冊に書き出すこと	6月24日			継紙
AK312-131	猶書 屋形様角館ニ而組下武芸御覧ニ付通知、御立寄当日ではなく翌日御立の節再び御宅へ入れらせ御免のつもり、312-130の猶書	6月24日			切紙
AK342-4	六郡中へ奉指上候書載之控 大坂商人から郡奉行への願書の写	丑 6月	和泉屋利助	六郡御郡方	縦帳(5)
AK312-108	小羽割当数覚 小羽并三尺覆小羽百間千枚横を以都合前割	7月			継紙
AK327-3	口達之覚 笹板木羽隠出ニ付口達書、手前与下石橋角兵衛養子専太郎が其元与下西宮弥右衛門・糸井弥惣右衛門に頼まれて隠した木羽の件	8月25日			継紙

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK312-120	副書 今宮氏処分に関する副書、今宮一件いずれの御沙汰なく	9月			継紙
AK342-7	十一月廿九日美濃宅寄合候 持参演説之覚 来3月以降の江戸への仕送と藩主帰国の費用捻出について	11月29日			縦帳(8)
AK312-78-3	賀式祝儀覚書	丑 11月			切紙
AK342-6	年寄中演説覚 上方での一万両の調達について、〈表紙〉匹田久太夫自筆 午十二月後藤七左衛門出府之節相渡候草稿	12月4日	匹田久太夫		縦帳(11)
AK317-2	井口長兵衛不届之次第 井口長兵衛から御前の身持が好色で召使女中の歌江を気に入って重用している旨の讒言があり不届き	12月			縦帳(5)
AK342-8	十二月十九日差出願書写、 御直書写、十二月廿日差出 候願書写、十二月廿日差出 候再願書写 合冊、借金の返金について金主からの願書	亥 12月	三谷勘四郎		縦帳(31)
AK312-11	言上覚				縦帳(34)
AK312-118	覚 備忘録、北東文面のこと・片御苗字付のことほか				切紙
AK317-1	御番衆一件取綴書 4月29日御部屋において松平外記及刃傷候一件御詮議ニ付被召出、西丸御書院番酒井山城守組22名				縦帳(11)
AK387-10-2	兼題 杜鵑・皐月雨・田植、三題についての俳句				継紙
AK387-10-3	別紙 五人の句の採点表				切紙
AK611-23	御城破損人足高貳百石二付 害人宛 御城破損修理人足割当覚、小野崎左門ほか25名、高ノ991石1斗2升5合				横帳(3)
AK789-2	射撃極意書写 〈端裏〉弥勒院より為尋候御尋書				継紙

II 戊辰・明治期

1 戊辰期

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212.1-2	被仰渡 新庄表に於ける戦死者ニ付通達、新庄表で官軍に大勝利し戦死者の供養と家族への手当を命ずる、〈包紙〉御直筆御書附写	(慶応4年)(1868) 7月17日	(佐竹義堯)		継紙
AK212.1-1	奥羽鎮撫総督府御沙汰書 庄内征討命令書写、〈包紙〉御書附写	(慶応4年)(1868) 7月	(奥羽鎮撫総督府)	佐竹右京大夫	継紙
AK212.1-3-1	被仰渡 横手へ賊兵押し来たるにつき鉄砲戦士編成のこと、〈包紙〉佐竹河内殿 真崎兵庫 八月九日付也 (312.1-3-1~2とも同一包紙)	(慶応4年)(1868)	(佐竹義堯)	佐竹河内	継紙
AK212.1-3-2	真崎睦貴書状 3-1の添状	(慶応4年)(1868) 8月9日	真崎兵庫睦貴	佐竹河内	継紙
AK212.1-4	久保田政庁達書 軍功取調ニ付通達、〈包紙〉政庁 佐竹虎菊江	(明治元年)(1868) 9月21日	政庁	佐竹虎菊	継紙

2 明治期

AK312-97	演説覚 書物御相手役辞任願書、〈包紙〉覚 川崎新助	(明治2年)(1869) 6月	川崎新助		折紙
AK288-2	御家中由緒御書上写 北家家中の由緒書の写をまとめたもの、矢野弁蔵ほか	明治3年(1870) 4月			縦帳(30)
AK288-3	自中祖義隣年代取調 中祖義隣より之年代、義尚まで	明治3年(1870) 4月			縦帳(4)
AK288-4	御附人家筋取調帳 矢野弁蔵ほか29名	明治3年(1870) 9月	御記録方		縦帳(7)

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK312-12-2	御勤日記	(明治3年)(1870) 10月～12月			縦帳(130)
AK288-5	御家中銘々由緒書上 小野崎弥三郎ほか	明治4年(1871) 2月			縦帳(152)
AK342-72	佐竹虎菊願書 家禄献納願口上書、現米80石を3年間で献納	(明治4年)(1870) 3月	佐竹虎菊	田中左門	継紙
AK288-13	大内氏由緒確認書 大内小左衛門の先祖は北義廉・義隣に付け置かれた家柄であること	明治4年(1871) 6月		佐竹虎菊元家 人大内小左衛 門	継紙
AK312-12-1	御勤日記	(明治8年)(1875) 正月～12月			縦帳(251)
AK312-12-4	御勤日記	(明治17年)(1884) 正月～12月			縦帳(228)
AK312-12-3	御勤日記	(明治20年)(1887) 正月～12月			縦帳(215)
AK312-4	御勤日記	10月～12月			縦帳(20)

Ⅲ 御日記

1 北家御日記

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-1	北家御日記 一	延宝2年(1674) 正月～6月			縦帳(93)
	県指定有形文化財(書跡第15号) 昭和42年9月26日、1～765まで指定、指定名称は「佐竹北家日記」				
AK212-1-2	北家御日記 二	延宝2年(1674) 7月～12月			縦帳(106)
AK212-1-3	北家御日記 三	延宝3年(1675) 正月～9月			縦帳(163)
AK212-1-4	北家御日記 四	延宝3年(1675) 9月～12月			縦帳(66)
AK212-1-5	北家御日記 五	延宝4年(1676) 正月～8月			縦帳(129)
AK212-1-6	北家御日記 六	延宝4年(1676) 9月～12月			縦帳(69)
AK212-1-7	北家御日記 七	延宝5年(1677) 正月～10月			縦帳(87)
AK212-1-8	北家御日記 八	延宝6年(1678) 正月～12月			縦帳(163)
AK212-1-9	北家御日記 九	延宝7年(1679) 正月～12月			縦帳(154)
AK212-1-10	北家御日記 一〇	延宝8年(1680) 正月～12月			縦帳(178)
AK212-1-11	北家御日記 一一	天和元年(1681) 正月～12月			縦帳(83)
AK212-1-12	北家御日記 一二	天和2年(1682) 正月～12月			縦帳(137)

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-13	北家御日記 一三	天和3年(1683) 正月～11月			縦帳(151)
AK212-1-14	北家御日記 一四	天和4年(1684) 正月～12月			縦帳(121)
AK212-1-15	北家御日記 一五	貞享元年(1684) 3月～8月			縦帳(98)
AK212-1-16	北家御日記 一六	貞享元年(1684) 8月～12月			縦帳(80)
AK212-1-17-2	光聚院様御葬礼御法事留書	貞享元～2年 (1684～1685) 12月29日～正月29日			縦帳(25)
AK212-1-17-1	北家御日記 一七	貞享2年(1685) 正月～6月			縦帳(110)
AK212-1-18	北家御日記 一八	貞享2年(1685) 2月～12月			縦帳(110)
AK212-1-19	北家御日記 一九	貞享2～3年 (1685～1686) 12月～6月			縦帳(79)
AK212-1-20	北家御日記 二〇	貞享3年(1686) 正月～5月			縦帳(100)
AK212-1-21	北家御日記 二一	貞享3年(1686) 6月～12月			縦帳(75)
AK212-1-23	北家御日記 二三	貞享3年(1686) 5月～8月			縦帳(50)
AK212-1-22	北家御日記 二二	貞享3年(1686) 8月～12月			縦帳(52)
AK212-1-24	北家御日記 二四	貞享4年(1687) 正月～9月			縦帳(69)
AK212-1-25	北家御日記 二五	貞享4年(1687) 正月			縦帳(129)

III 御日記

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-27	北家御日記 二七	貞享4年(1687) 2月～6月			縦帳(64)
AK212-1-26	北家御日記 二六	貞享4年(1687) 9月～12月			縦帳(63)
AK212-1-28	北家御日記 二八	貞享4年(1687) 12月			縦帳(9)
AK212-1-29	北家御日記 二九	貞享5年(1688) 正月～6月			縦帳(80)
AK212-1-30	北家御日記 三〇	貞享5年(1688) 正月～7月			縦帳(104)
AK212-1-31	北家御日記 三一	元禄元年(1688) 7月～12月			縦帳(77)
AK212-1-33	北家御日記 三三	元禄元年(1688) 7月～12月			縦帳(82)
AK212-1-32	北家御日記 三二	元禄元年(1688) 8月～12月			縦帳(84)
AK212-1-34	北家御日記 三四	元禄2年(1689) 正月～8月			縦帳(98)
AK212-1-35	北家御日記 三五	元禄2年(1689) 8月～12月			縦帳(60)
AK212-1-36	北家御日記 三六	元禄2年(1689) 正月～7月			縦帳(54)
AK212-1-37	北家御日記 三七	元禄2年(1689) 7月～12月			縦帳(57)
AK212-1-38	北家御日記 三八	元禄3年(1690) 正月～5月			縦帳(55)
AK212-1-40	北家御日記 四〇	元禄3年(1690) 5月～12月			縦帳(64)
AK212-1-39	北家御日記 三九	元禄3年(1690) 正月～7月			縦帳(64)

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-41	北家御日記 四一	元禄3年(1690) 7月～12月			縦帳(61)
AK212-1-42	北家御日記 四二	元禄4年(1691) 正月～8月			縦帳(73)
AK212-1-44	北家御日記 四四	元禄4年(1691) 8月～12月			縦帳(67)
AK212-1-43	北家御日記 四三	元禄4年(1691) 正月～12月			縦帳(143)
AK212-1-45	北家御日記 四五	元禄5年(1692) 正月～7月			縦帳(69)
AK212-1-46	北家御日記 四六	元禄5年(1692) 7月～12月			縦帳(65)
AK212-1-47	北家御日記 四七	元禄5年(1692) 正月～12月			縦帳(149)
AK212-1-48	北家御日記 四八	元禄6年(1693) 正月～6月			縦帳(65)
AK212-1-49	北家御日記 四九	元禄6年(1693) 6月～12月			縦帳(64)
AK212-1-50	北家御日記 五〇	元禄7年(1694) 正月～6月			縦帳(96)
AK212-1-52	北家御日記 五二	元禄7年(1694) 6月～12月			縦帳(88)
AK212-1-51	北家御日記 五一	元禄7年(1694) 正月～12月			縦帳(102)
AK212-1-53	北家御日記 五三	元禄8年(1695) 正月～12月			縦帳(99)
AK212-1-54	北家御日記 五四	元禄8年(1695) 正月～8月			縦帳(45)
AK212-1-55	北家御日記 五五	元禄9年(1696) 正月～12月			縦帳(112)

III 御日記

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-56	北家御日記 五六	元禄9年(1696) 正月～12月			縦帳(176)
AK212-1-57	北家御日記 五七	元禄10年(1697) 正月～5月			縦帳(89)
AK212-1-59	北家御日記 五九	元禄10年(1697) 6月～12月			縦帳(87)
AK212-1-58	北家御日記 五八	元禄10年(1697) 正月～12月			縦帳(102)
AK212-1-60	北家御日記 六〇	元禄11年(1698) 正月～6月			縦帳(79)
AK212-1-62	北家御日記 六二	元禄11年(1698) 6月～12月			縦帳(84)
AK212-1-61	北家御日記 六一	元禄11年(1698) 正月～12月			縦帳(114)
AK212-1-63	北家御日記 六三	元禄12年(1699) 正月～5月			縦帳(88)
AK212-1-64	北家御日記 六四	元禄12年(1699) 5月～9月			縦帳(94)
AK212-1-65	北家御日記 六五	元禄12年(1699) 9月～12月			縦帳(56)
AK212-1-66	北家御日記 六六	元禄13年(1700) 正月～12月			縦帳(191)
AK212-1-67	北家御日記 六七	元禄14年(1701) 正月～5月			縦帳(70)
AK212-1-68	北家御日記 六八	元禄14年(1701) 5月～9月			縦帳(88)
AK212-1-69	北家御日記 六九	元禄14年(1701) 9月～12月			縦帳(63)
AK212-1-73	北家御日記 七三	元禄15年(1702) 正月～9月			縦帳(180)

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-72	北家御日記 七二	元禄15年(1702) 10月～12月			縦帳(67)
AK212-1-70	北家御日記 七〇	元禄15年(1702) 正月～12月			縦帳(88)
AK212-1-71	北家御日記 七一	元禄15年(1702) 3月～4月			縦帳(33)
AK212-1-74	北家御日記 七四	元禄16年(1703) 正月～5月			縦帳(110)
AK212-1-75	北家御日記 七五	元禄16年(1703) 5月～12月			縦帳(97)
AK212-1-76	北家御日記 七六	元禄16年(1703) 正月～11月			縦帳(70)
AK212-1-78	北家御日記 七八	元禄16年(1703) 11月～12月			縦帳(38)
AK212-1-77	北家御日記 七七	元禄16年(1703) 8月～9月			縦帳(40)
AK212-1-79	北家御日記 七九	元禄17年(1704) 正月～12月			縦帳(120)
AK212-1-80	北家御日記 八〇	元禄17年(1704) 正月～8月			縦帳(105)
AK212-1-81	北家御日記 八一	宝永元年(1704) 8月～9月			縦帳(37)
AK212-1-82	北家御日記 八二	宝永元年(1704) 10月～11月			縦帳(29)
AK212-1-83	北家御日記 八三	宝永元年(1704) 11月～12月			縦帳(42)
AK212-1-84	北家御日記 八四	宝永2年(1705) 正月～4月			縦帳(57)
AK212-1-111	北家御日記 一一一	宝永2年(1705) 正月～2月			縦帳(43)

III 御日記

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-112	北家御日記 一一二	宝永2年(1705) 閏4月			縦帳(28)
AK212-1-85	北家御日記 八五	宝永2年(1705) 5月～7月			縦帳(48)
AK212-1-87	北家御日記 八七	宝永2年(1705) 5月～12月			縦帳(82)
AK212-1-86	北家御日記 八六	宝永2年(1705) 7月～9月			縦帳(51)
AK212-1-88	北家御日記 八八	宝永2年(1705) 9月～10月			縦帳(50)
AK212-1-89	北家御日記 八九	宝永3年(1706) 7月～9月			縦帳(38)
AK212-1-90	北家御日記 九〇	宝永3年(1706) 9月～10月			縦帳(41)
AK212-1-91	北家御日記 九一	宝永3年(1706) 10月～11月			縦帳(39)
AK212-1-93	北家御日記 九三	宝永4年(1707) 正月～5月			縦帳(111)
AK212-1-94	北家御日記 九四	宝永4年(1707) 5月～7月			縦帳(65)
AK212-1-95	北家御日記 九五	宝永4年(1707) 7月～8月			縦帳(63)
AK212-1-96	北家御日記 九六	宝永4年(1707) 8月～10月			縦帳(70)
AK212-1-92	北家御日記 九二	宝永4年(1707) 正月～7月			縦帳(151)
AK212-1-97	北家御日記 九七	宝永5年(1708) 正月～閏正月			縦帳(62)
AK212-1-98	北家御日記 九八	宝永5年(1708) 閏正月～2月			縦帳(37)

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-99	北家御日記 九九	宝永5年(1708) 2月～3月			縦帳(54)
AK212-1-100	北家御日記 一〇〇	宝永5年(1708) 4月			縦帳(32)
AK212-1-101	北家御日記 一〇一	宝永5年(1708) 4月～5月			縦帳(35)
AK212-1-102	北家御日記 一〇二	宝永5年(1708) 5月～7月			縦帳(36)
AK212-1-103	北家御日記 一〇三	宝永5年(1708) 7月～8月			縦帳(28)
AK212-1-104	北家御日記 一〇四	宝永5年(1708) 8月～9月			縦帳(51)
AK212-1-106	北家御日記 一〇六	宝永5年(1708) 10月～11月			縦帳(35)
AK212-1-105	北家御日記 一〇五	宝永5年(1708) 11月～12月			縦帳(37)
AK212-1-107	北家御日記 一〇七	宝永6年(1709) 6月～7月			縦帳(41)
AK212-1-108	北家御日記 一〇八	宝永6年(1709) 7月～9月			縦帳(52)
AK212-1-110	北家御日記 一一〇	宝永6年(1709) 9月～10月			縦帳(30)
AK212-1-109	北家御日記 一〇九	宝永6年(1709) 10月～12月			縦帳(77)
AK212-1-113	北家御日記 一一三	宝永7年(1710) 8月～閏8月			縦帳(30)
AK212-1-114	北家御日記 一一四	宝永7年(1710) 閏8月～9月			縦帳(31)
AK212-1-115	北家御日記 一一五	宝永7年(1710) 9月～10月			縦帳(25)

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-116	北家御日記 一一六	宝永7年(1710) 11月～12月			縦帳(50)
AK212-1-119	北家御日記 一一九	正徳元年(1711) 正月～4月			縦帳(127)
AK212-1-120	北家御日記 一二〇	正徳元年(1711) 4月～5月			縦帳(28)
AK212-1-121	北家御日記 一二一	正徳元年(1711) 5月～6月			縦帳(37)
AK212-1-122	北家御日記 一二二	正徳元年(1711) 6月			縦帳(35)
AK212-1-123	北家御日記 一二三	正徳元年(1711) 6月～9月			縦帳(81)
AK212-1-124	北家御日記 一二四	正徳元年(1711) 9月～12月			縦帳(91)
AK212-1-125	北家御日記 一二五	正徳2年(1712) 正月～3月			縦帳(76)
AK212-1-126	北家御日記 一二六	正徳2年(1712) 3月～5月			縦帳(81)
AK212-1-127	北家御日記 一二七	正徳2年(1712) 5月～7月			縦帳(76)
AK212-1-128	北家御日記 一二八	正徳2年(1712) 8月～12月			縦帳(131)
AK212-1-129	北家御日記 一二九	正徳3年(1713) 正月～3月			縦帳(74)
AK212-1-130	北家御日記 一三〇	正徳3年(1713) 3月～5月			縦帳(51)
AK212-1-131	北家御日記 一三一	正徳3年(1713) 5月～7月			縦帳(119)
AK212-1-132	北家御日記 一三二	正徳3年(1713) 8月～10月			縦帳(56)

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-133	北家御日記 一三三	正徳3年(1713) 10月～12月			縦帳(65)
AK212-1-134	北家御日記 一三四	正徳4年(1714) 正月～3月			縦帳(95)
AK212-1-135	北家御日記 一三五	正徳4年(1714) 3月～6月			縦帳(89)
AK212-1-136	北家御日記 一三六	正徳4年(1714) 7月～9月			縦帳(74)
AK212-1-137	北家御日記 一三七	正徳4年(1714) 9月～12月			縦帳(69)
AK212-1-138	北家御日記 一三八	正徳5年(1714) 正月～3月			縦帳(66)
AK212-1-139	北家御日記 一三九	正徳5年(1715) 3月～5月			縦帳(68)
AK212-1-140	北家御日記 一四〇	正徳5年(1715) 5月～7月			縦帳(67)
AK212-1-141	北家御日記 一四一	正徳5年(1715) 7月～10月			縦帳(73)
AK212-1-142	北家御日記 一四二	正徳5年(1715) 11月～12月			縦帳(50)
AK212-1-143	北家御日記 一四三	正徳6年(1716) 正月			縦帳(36)
AK212-1-144	北家御日記 一四四	正徳6年(1716) 2月～3月			縦帳(59)
AK212-1-145	北家御日記 一四五	正徳6年(1716) 3月			縦帳(20)
AK212-1-146	北家御日記 一四六	正徳6年(1716) 4月～5月			縦帳(37)
AK212-1-147	北家御日記 一四七	正徳6年(1716) 5月～6月			縦帳(27)

III 御日記

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-148	北家御日記 一四八	享保元年(1716) 6月			縦帳(22)
AK212-1-149	北家御日記 一四九	享保元年(1716) 7月～8月			縦帳(50)
AK212-1-150	北家御日記 一五〇	享保元年(1716) 8月～10月			縦帳(57)
AK212-1-151	北家御日記 一五一	享保元年(1716) 11月			縦帳(14)
AK212-1-152	北家御日記 一五二	享保元年(1716) 11月～12月			縦帳(38)
AK212-1-153	北家御日記 一五三	享保2年(1717) 正月～2月			縦帳(43)
AK212-1-154	北家御日記 一五四	享保2年(1717) 2月～4月			縦帳(47)
AK212-1-155	北家御日記 一五五	享保2年(1717) 4月			縦帳(24)
AK212-1-156	北家御日記 一五六	享保2年(1717) 5月			縦帳(33)
AK212-1-157	北家御日記 一五七	享保2年(1717) 6月～7月			縦帳(33)
AK212-1-158	北家御日記 一五八	享保2年(1717) 7月～9月			縦帳(37)
AK212-1-159	北家御日記 一五九	享保2年(1717) 9月～10月			縦帳(45)
AK212-1-160	北家御日記 一六〇	享保2年(1717) 10月～12月			縦帳(49)
AK212-1-161	北家御日記 一六一	享保3年(1718) 正月～2月			縦帳(54)
AK212-1-162	北家御日記 一六二	享保3年(1718) 3月～4月			縦帳(66)

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-163	北家御日記 一六三	享保3年(1718) 5月～6月			縦帳(39)
AK212-1-164	北家御日記 一六四	享保3年(1718) 6月～9月			縦帳(60)
AK212-1-165	北家御日記 一六五	享保3年(1718) 9月～10月			縦帳(42)
AK212-1-166	北家御日記 一六六	享保3年(1718) 9月～閏10月			縦帳(21)
AK212-1-167	北家御日記 一六七	享保3年(1718) 11月～12月			縦帳(40)
AK212-1-168	北家御日記 一六八	享保4年(1719) 正月～4月			縦帳(84)
AK212-1-169	北家御日記 一六九	享保4年(1719) 4月～9月			縦帳(98)
AK212-1-170	北家御日記 一七〇	享保4年(1719) 9月～10月			縦帳(25)
AK212-1-171	北家御日記 一七一	享保4年(1719) 11月～12月			縦帳(30)
AK212-1-172	北家御日記 一七二	享保5年(1720) 正月～2月			縦帳(40)
AK212-1-173	北家御日記 一七三	享保5年(1720) 2月～3月			縦帳(44)
AK212-1-174	北家御日記 一七四	享保5年(1720) 4月～5月			縦帳(35)
AK212-1-175	北家御日記 一七五	享保5年(1720) 5月～6月			縦帳(30)
AK212-1-176	北家御日記 一七六	享保5年(1720) 7月～8月			縦帳(40)
AK212-1-177	北家御日記 一七七	享保5年(1720) 9月～10月			縦帳(22)

III 御日記

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-178	北家御日記 一七八	享保5年(1720) 10月			縦帳(18)
AK212-1-179	北家御日記 一七九	享保5年(1720) 11月～12月			縦帳(48)
AK212-1-180	北家御日記 一八〇	享保6年(1721) 正月～2月、5月			縦帳(12)
AK212-1-181	北家御日記 一八一	享保6年(1721) 3月～4月			縦帳(20)
AK212-1-182	北家御日記 一八二	享保6年(1721) 4月～5月			縦帳(25)
AK212-1-183	北家御日記 一八三	享保6年(1721) 6月～8月			縦帳(26)
AK212-1-184	北家御日記 一八四	享保6年(1721) 8月～10月			縦帳(23)
AK212-1-185	北家御日記 一八五	享保6年(1721) 10月～11月			縦帳(30)
AK212-1-186	北家御日記 一八六	享保6年(1721) 12月			縦帳(26)
AK212-1-187	北家御日記 一八七	享保7年(1722) 正月～2月			縦帳(35)
AK212-1-188	北家御日記 一八八	享保7年(1722) 2月			縦帳(19)
AK212-1-189	北家御日記 一八九	享保7年(1722) 3月～4月			縦帳(29)
AK212-1-190	北家御日記 一九〇	享保7年(1722) 4月～5月			縦帳(45)
AK212-1-191	北家御日記 一九一	享保7年(1722) 6月～7月			縦帳(35)
AK212-1-192	北家御日記 一九二	享保7年(1722) 7月～9月			縦帳(27)

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-193	北家御日記 一九三	享保7年(1722) 9月			縦帳(26)
AK212-1-194	北家御日記 一九四	享保7年(1722) 10月～11月			縦帳(35)
AK212-1-195	北家御日記 一九五	享保7年(1722) 11月～12月			縦帳(41)
AK212-1-196	北家御日記 一九六	享保8年(1723) 正月～2月			縦帳(46)
AK212-1-197	北家御日記 一九七	享保8年(1723) 2月～3月			縦帳(49)
AK212-1-198	北家御日記 一九八	享保8年(1723) 4月1日～8日			縦帳(11)
AK212-1-199	北家御日記 一九九	享保8年(1723) 4月10日～29日			縦帳(19)
AK212-1-200	北家御日記 二〇〇	享保8年(1723) 5月～6月			縦帳(42)
AK212-1-202	北家御日記 二〇二	享保8年(1723) 6月～7月			縦帳(31)
AK212-1-203	北家御日記 二〇三	享保8年(1723) 7月～9月			縦帳(33)
AK212-1-204	北家御日記 二〇四	享保8年(1723) 9月～10月			縦帳(29)
AK212-1-205	北家御日記 二〇五	享保8年(1723) 10月			縦帳(22)
AK212-1-206	北家御日記 二〇六	享保8年(1723) 11月			縦帳(36)
AK212-1-207	北家御日記 二〇七	享保8年(1723) 11月～12月			縦帳(37)
AK212-1-208	北家御日記 二〇八	享保9年(1724) 正月			縦帳(40)

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-209	北家御日記 二〇九	享保9年(1724) 2月～3月			縦帳(60)
AK212-1-210	北家御日記 二一〇	享保9年(1724) 4月～閏4月			縦帳(56)
AK212-1-211	北家御日記 二一一	享保9年(1724) 5月			縦帳(19)
AK212-1-201	北家御日記 二〇一	享保9年(1724) 5月～6月			縦帳(11)
AK212-1-212	北家御日記 二一二	享保9年(1724) 6月～7月			縦帳(55)
AK212-1-213	北家御日記 二一三	享保9年(1724) 8月～9月			縦帳(27)
AK212-1-214	北家御日記 二一四	享保9年(1724) 9月～10月			縦帳(41)
AK212-1-215	北家御日記 二一五	享保9年(1724) 10月～12月			縦帳(40)
AK212-1-216	北家御日記 二一六	享保10年(1725) 正月			縦帳(31)
AK212-1-217	北家御日記 二一七	享保10年(1725) 正月～2月			縦帳(26)
AK212-1-218	北家御日記 二一八	享保10年(1725) 2月			縦帳(22)
AK212-1-219	北家御日記 二一九	享保10年(1725) 3月			縦帳(27)
AK212-1-220	北家御日記 二二〇	享保10年(1725) 4月～5月			縦帳(48)
AK212-1-221	北家御日記 二二一	享保10年(1725) 6月			縦帳(24)
AK212-1-222	北家御日記 二二二	享保10年(1725) 7月			縦帳(31)

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-223	北家御日記 二二三	享保10年(1725) 3月～9月			縦帳(39)
AK212-1-224	北家御日記 二二四	享保10年(1725) 9月～10月			縦帳(40)
AK212-1-225	北家御日記 二二五	享保10年(1725) 10月～11月			縦帳(26)
AK212-1-226	北家御日記 二二六	享保10年(1725) 10月～12月			縦帳(29)
AK212-1-227	北家御日記 二二七	享保10年(1725) 11月～12月			縦帳(55)
AK212-1-228	北家御日記 二二八	享保11年(1726) 正月			縦帳(48)
AK212-1-229	北家御日記 二二九	享保11年(1726) 正月～3月			縦帳(44)
AK212-1-230	北家御日記 二三〇	享保11年(1726) 3月～4月			縦帳(43)
AK212-1-231	北家御日記 二三一	享保11年(1726) 5月～6月			縦帳(36)
AK212-1-232	北家御日記 二三二	享保11年(1726) 7月～8月			縦帳(44)
AK212-1-233	北家御日記 二三三	享保11年(1726) 10月～12月			縦帳(56)
AK212-1-235	北家御日記 二三五	享保12年(1727) 正月～2月			縦帳(31)
AK212-1-236	北家御日記 二三六	享保12年(1727) 2月～4月			縦帳(27)
AK212-1-234	北家御日記 二三四	享保12年(1727) 正月～閏4月			縦帳(41)
AK212-1-237	北家御日記 二三七	享保12年(1727) 5月～7月			縦帳(22)

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-238	北家御日記 二三八	享保12年(1727) 7月～8月			縦帳(22)
AK212-1-239	北家御日記 二三九	享保12年(1727) 9月～12月			縦帳(38)
AK212-1-118	北家御日記 一一八	享保13年(1728) 4月～12月			縦帳(87)
AK212-1-240	北家御日記 二四〇	享保14年(1729) 8月～閏9月			縦帳(43)
AK212-1-241	北家御日記 二四一	享保14年(1729) 閏9月～12月			縦帳(44)
AK212-1-242	北家御日記 二四二	享保15年(1730) 正月～2月			縦帳(44)
AK212-1-243	北家御日記 二四三	享保15年(1730) 2月～4月			縦帳(33)
AK212-1-244	北家御日記 二四四	享保15年(1730) 4月～7月			縦帳(40)
AK212-1-245	北家御日記 二四五	享保15年(1730) 7月			縦帳(34)
AK212-1-246	北家御日記 二四六	享保15年(1730) 8月			縦帳(31)
AK212-1-247	北家御日記 二四七	享保15年(1730) 9月			縦帳(21)
AK212-1-248	北家御日記 二四八	享保15年(1730) 10月			縦帳(26)
AK212-1-249	北家御日記 二四九	享保15年(1730) 11月～12月			縦帳(49)
AK212-1-250	北家御日記 二五〇	享保16年(1731) 正月			縦帳(33)
AK212-1-251	北家御日記 二五一	享保16年(1731) 2月～3月			縦帳(70)

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-252	北家御日記 二五二	享保16年(1731) 4月			縦帳(31)
AK212-1-253	北家御日記 二五三	享保16年(1731) 5月～6月			縦帳(50)
AK212-1-254	北家御日記 二五四	享保16年(1731) 7月～8月			縦帳(46)
AK212-1-255	北家御日記 二五五	享保16年(1731) 8月～10月			縦帳(36)
AK212-1-256	北家御日記 二五六	享保16年(1731) 10月～11月			縦帳(44)
AK212-1-257	北家御日記 二五七	享保16年(1731) 12月			縦帳(26)
AK212-1-258	北家御日記 二五八	享保17年(1732) 正月			縦帳(32)
AK212-1-259	北家御日記 二五九	享保17年(1732) 2月～3月			縦帳(54)
AK212-1-260	北家御日記 二六〇	享保17年(1732) 4月			縦帳(34)
AK212-1-261	北家御日記 二六一	享保17年(1732) 5月～閏5月			縦帳(49)
AK212-1-262	北家御日記 二六二	享保17年(1732) 閏5月～7月			縦帳(49)
AK212-1-263	北家御日記 二六三	享保17年(1732) 6月～7月			縦帳(54)
AK212-1-264	北家御日記 二六四	享保17年(1732) 7月～8月			縦帳(25)
AK212-1-265	北家御日記 二六五	享保18年(1733) 正月～2月			縦帳(30)
AK212-1-266	北家御日記 二六六	享保18年(1733) 2月～3月			縦帳(38)

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-267	北家御日記 二六七	享保18年(1733) 3月～5月			縦帳(60)
AK212-1-268	北家御日記 二六八	享保18年(1733) 6月～7月			縦帳(39)
AK212-1-269	北家御日記 二六九	享保18年(1733) 7月～9月			縦帳(53)
AK212-1-270	北家御日記 二七〇	享保18年(1733) 9月～12月			縦帳(74)
AK212-1-271	北家御日記 二七一	享保19年(1734) 正月～3月			縦帳(46)
AK212-1-272	北家御日記 二七二	享保19年(1734) 3月～4月			縦帳(40)
AK212-1-273	北家御日記 二七三	享保19年(1734) 5月～7月			縦帳(45)
AK212-1-274	北家御日記 二七四	享保19年(1734) 7月～9月			縦帳(41)
AK212-1-275	北家御日記 二七五	享保19年(1734) 10月～11月			縦帳(53)
AK212-1-276	北家御日記 二七六	享保19年(1734) 11月～12月			縦帳(25)
AK212-1-277	北家御日記 二七七	享保20年(1735) 5月～7月			縦帳(42)
AK212-1-278	北家御日記 二七八	享保20年(1735) 7月～9月			縦帳(46)
AK212-1-279	北家御日記 二七九	享保20年(1735) 10月			縦帳(30)
AK212-1-280	北家御日記 二八〇	享保20年(1735) 11月～12月			縦帳(28)
AK212-1-281	北家御日記 二八一	享保20年(1735) 12月			縦帳(22)

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-282	北家御日記 二八二	享保21年(1736) 正月～3月			縦帳(62)
AK212-1-283	北家御日記 二八三	元文元年(1736) 4月～7月			縦帳(62)
AK212-1-284	北家御日記 二八四	元文元年(1736) 7月～12月			縦帳(76)
AK212-1-285	北家御日記 二八五	元文2年(1737) 正月～4月			縦帳(104)
AK212-1-286	北家御日記 二八六	元文2年(1737) 正月～4月			縦帳(70)
AK212-1-287	北家御日記 二八七	元文2年(1737) 4月～8月			縦帳(78)
AK212-1-288	北家御日記 二八八	元文2年(1737) 8月～12月			縦帳(81)
AK212-1-289	北家御日記 二八九	元文3年(1738) 正月～4月			縦帳(70)
AK212-1-290	北家御日記 二九〇	元文3年(1738) 4月			縦帳(21)
AK212-1-291	北家御日記 二九一	元文3年(1738) 4月～8月			縦帳(102)
AK212-1-292	北家御日記 二九二	元文3年(1738) 8月～12月			縦帳(91)
AK212-1-293	北家御日記 二九三	元文4年(1739) 正月～2月			縦帳(29)
AK212-1-294	北家御日記 二九四	元文4年(1739) 正月～4月			縦帳(77)
AK212-1-295	北家御日記 二九五	元文4年(1739) 4月～7月			縦帳(85)
AK212-1-296	北家御日記 二九六	元文4年(1739) 7月～12月			縦帳(124)

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-297	北家御日記 二九七	元文5年(1740) 正月～4月			縦帳(82)
AK212-1-298	北家御日記 二九八	元文5年(1740) 5月～7月			縦帳(72)
AK212-1-299	北家御日記 二九九	元文5年(1740) 8月～12月			縦帳(99)
AK212-1-300	北家御日記 三〇〇	寛保元年(1741) 正月～6月			縦帳(98)
AK212-1-301	北家御日記 三〇一	寛保元年(1741) 7月～12月			縦帳(130)
AK212-1-302	北家御日記 三〇二	寛保2年(1742) 正月～6月			縦帳(148)
AK212-1-303-2	北家御日記 三〇三一二	寛保2年(1742) 正月			縦帳(32)
AK212-1-303-1	北家御日記 三〇三一	寛保2年(1742) 3月			縦帳(21)
AK212-1-303-3	北家御日記 三〇三一三	寛保2年(1742) 4月			縦帳(18)
AK212-1-303-5	北家御日記 三〇三一五	寛保2年(1742) 5月			縦帳(16)
AK212-1-303-4	北家御日記 三〇三一四	寛保2年(1742) 6月			縦帳(13)
AK212-1-303-6	北家御日記 三〇三一六	寛保2年(1742) 7月			縦帳(14)
AK212-1-303-7	北家御日記 三〇三一七	寛保2年(1742) 8月			縦帳(18)
AK212-1-303-8	北家御日記 三〇三一八	寛保2年(1742) 9月			縦帳(15)
AK212-1-303-9	北家御日記 三〇三一九	寛保2年(1742) 10月			縦帳(14)

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-303-10	北家御日記 三〇三一一〇	寛保2年(1742) 11月			縦帳(15)
AK212-1-303-11	北家御日記 三〇三一一一	寛保2年(1742) 12月			縦帳(16)
AK212-1-304	北家御日記 三〇四	寛保3年(1743) 正月～6月			縦帳(146)
AK212-1-306	北家御日記 三〇六	寛保3年(1743) 7月			縦帳(84)
AK212-1-305	北家御日記 三〇五	寛保3年(1743) 正月～12月			縦帳(234)
AK212-1-307	北家御日記 三〇七	寛保4年(1744) 正月～8月			縦帳(115)
AK212-1-309	北家御日記 三〇九	寛保4年(1744) 9月～12月			縦帳(52)
AK212-1-308	北家御日記 三〇八	寛保4年(1744) 正月～5月			縦帳(76)
AK212-1-310	北家御日記 三一〇	延享元年(1744) 5月～9月			縦帳(65)
AK212-1-311	北家御日記 三一一	延享元年(1744) 9月～12月			縦帳(65)
AK212-1-312	北家御日記 三一二	延享2年(1745) 正月～4月			縦帳(84)
AK212-1-313	北家御日記 三一三	延享2年(1745) 4月～9月			縦帳(68)
AK212-1-315	北家御日記 三一五	延享2年(1745) 9月～12月			縦帳(63)
AK212-1-316	北家御日記 三一六	延享2年(1745) 正月～5月			縦帳(86)
AK212-1-314	北家御日記 三一四	延享2年(1745) 6月～12月			縦帳(101)

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-317	北家御日記 三一七	延享3年(1746) 正月～3月			縦帳(57)
AK212-1-318	北家御日記 三一八	延享3年(1746) 3月～9月			縦帳(83)
AK212-1-321	北家御日記 三二一	延享3年(1746) 9月～12月			縦帳(69)
AK212-1-319	北家御日記 三一九	延享3年(1746) 正月～7月			縦帳(91)
AK212-1-320	北家御日記 三二〇	延享3年(1746) 8月～12月			縦帳(53)
AK212-1-322	北家御日記 三二二	延享4年(1747) 正月～4月			縦帳(76)
AK212-1-323	北家御日記 三二三	延享4年(1747) 正月～4月			縦帳(45)
AK212-1-324	北家御日記 三二四	延享4年(1747) 正月～6月			縦帳(39)
AK212-1-325	北家御日記 三二五	延享4年(1747) 4月～9月			縦帳(70)
AK212-1-326	北家御日記 三二六	延享4年(1747) 5月～12月			縦帳(73)
AK212-1-327	北家御日記 三二七	延享4年(1747) 7月～11月			縦帳(45)
AK212-1-328	北家御日記 三二八	延享4年(1747) 9月～12月			縦帳(79)
AK212-1-329	北家御日記 三二九	延享5年(1748) 正月～4月			縦帳(76)
AK212-1-330	北家御日記 三三〇	延享5年(1748) 正月～8月			縦帳(73)
AK212-1-332	北家御日記 三三二	延享5年(1748) 正月～11月			縦帳(76)

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-331	北家御日記 三三一	延享5年(1748) 4月～8月			縦帳(76)
AK212-1-333	北家御日記 三三三	寛延元年(1748) 9月～12月			縦帳(75)
AK212-1-334	北家御日記 三三四	寛延元年(1748) 9月～10月			縦帳(29)
AK212-1-335	北家御日記 三三五	寛延元年(1748) 11月～12月			縦帳(78)
AK212-1-336	北家御日記 三三六	寛延2年(1749) 正月～2月			縦帳(45)
AK212-1-341	北家御日記 三四一	寛延2年(1749) 正月～2月			縦帳(58)
AK212-1-344	北家御日記 三四四	寛延2年(1749) 正月～7月			縦帳(119)
AK212-1-340	北家御日記 三四〇	寛延2年(1749) 正月～12月			縦帳(67)
AK212-1-350	北家御日記 三五〇	寛延2年(1749) 3月～4月			縦帳(30)
AK212-1-337	北家御日記 三三七	寛延2年(1749) 3月～4月			縦帳(57)
AK212-1-342	北家御日記 三四二	寛延2年(1749) 4月～5月			縦帳(37)
AK212-1-349	北家御日記 三四九	寛延2年(1749) 5月～6月			縦帳(45)
AK212-1-338	北家御日記 三三八	寛延2年(1749) 5月～7月			縦帳(58)
AK212-1-343	北家御日記 三四三	寛延2年(1749) 6月			縦帳(23)
AK212-1-339	北家御日記 三三九	寛延2年(1749) 7月～9月			縦帳(22)

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-348	北家御日記 三四八	寛延2年(1749) 8月～9月			縦帳(37)
AK212-1-347	北家御日記 三四七	寛延2年(1749) 9月			縦帳(21)
AK212-1-346	北家御日記 三四六	寛延2年(1749) 10月～11月			縦帳(36)
AK212-1-345	北家御日記 三四五	寛延2年(1749) 12月			縦帳(8)
AK212-1-351	北家御日記 三五―	寛延3年(1750) 正月～2月			縦帳(38)
AK212-1-361	北家御日記 三六一	寛延3年(1750) 正月～4月			縦帳(105)
AK212-1-353	北家御日記 三五三	寛延3年(1750) 4月～6月			縦帳(53)
AK212-1-355	北家御日記 三五五	寛延3年(1750) 4月～9月			縦帳(83)
AK212-1-352	北家御日記 三五二	寛延3年(1750) 7月			縦帳(31)
AK212-1-354	北家御日記 三五四	寛延3年(1750) 7月～8月			縦帳(25)
AK212-1-356	北家御日記 三五六	寛延3年(1750) 8月			縦帳(31)
AK212-1-358	北家御日記 三五八	寛延3年(1750) 9月			縦帳(25)
AK212-1-357	北家御日記 三五七	寛延3年(1750) 9月～10月			縦帳(30)
AK212-1-359	北家御日記 三五九	寛延3年(1750) 10月～12月			縦帳(36)
AK212-1-362	北家御日記 三六二	寛延3年(1750) 10月～12月			縦帳(74)

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-360	北家御日記 三六〇	寛延3年(1750) 11月～12月			縦帳(25)
AK212-1-117	北家御日記 一一七	寛延4年(1751) 正月～6月			縦帳(109)
AK212-1-363	北家御日記 三六三	寛延4年(1751) 正月～6月			縦帳(73)
AK212-1-367	北家御日記 三六七	寛延4年(1751) 正月～閏6月			縦帳(117)
AK212-1-364	北家御日記 三六四	寛延4年(1751) 6月～10月			縦帳(71)
AK212-1-366	北家御日記 三六六	寛延4年(1751) 6月～12月			縦帳(126)
AK212-1-368	北家御日記 三六八	寛延4年(1751) 7月～12月			縦帳(65)
AK212-1-365	北家御日記 三六五	宝暦元年(1751) 10月～12月			縦帳(75)
AK212-1-371	北家御日記 三七一	宝暦2年(1752) 正月～5月			縦帳(94)
AK212-1-369	北家御日記 三六九	宝暦2年(1752) 正月～6月			縦帳(89)
AK212-1-370	北家御日記 三七〇	宝暦2年(1752) 6月～12月			縦帳(94)
AK212-1-372	北家御日記 三七二	宝暦3年(1753) 正月～3月			縦帳(45)
AK212-1-374	北家御日記 三七四	宝暦3年(1753) 4月～6月			縦帳(32)
AK212-1-375	北家御日記 三七五	宝暦3年(1753) 7月～9月			縦帳(33)
AK212-1-376	北家御日記 三七六	宝暦3年(1753) 9月～12月			縦帳(33)

III 御日記

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-373	北家御日記 三七三	宝暦3年(1753) 正月～5月			縦帳(73)
AK212-1-377	北家御日記 三七七	宝暦3年(1753) 6月～9月			縦帳(77)
AK212-1-378	北家御日記 三七八	宝暦3年(1753) 9月～12月			縦帳(111)
AK212-1-379	北家御日記 三七九	宝暦4年(1754) 正月～閏2月			縦帳(41)
AK212-1-381	北家御日記 三八一	宝暦4年(1754) 3月～6月			縦帳(33)
AK212-1-383	北家御日記 三八三	宝暦4年(1754) 7月～10月			縦帳(39)
AK212-1-384	北家御日記 三八四	宝暦4年(1754) 11月～12月			縦帳(20)
AK212-1-380	北家御日記 三八〇	宝暦4年(1754) 正月～4月			縦帳(87)
AK212-1-382	北家御日記 三八二	宝暦4年(1754) 5月～12月			縦帳(57)
AK212-1-387	北家御日記 三八七	宝暦5年(1755) 正月			縦帳(14)
AK212-1-385	北家御日記 三八五	宝暦5年(1755) 正月～4月			縦帳(68)
AK212-1-386	北家御日記 三八六	宝暦5年(1755) 正月～6月			縦帳(85)
AK212-1-388	北家御日記 三八八	宝暦5年(1755) 5月～8月			縦帳(130)
AK212-1-389	北家御日記 三八九	宝暦5年(1755) 9月～12月			縦帳(63)
AK212-1-390	北家御日記 三九〇	宝暦6年(1756) 正月～4月			縦帳(68)

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-391	北家御日記 三九一	宝暦6年(1756) 5月～12月			縦帳(130)
AK212-1-392	北家御日記 三九二	宝暦7年(1757) 正月～5月			縦帳(94)
AK212-1-393	北家御日記 三九三	宝暦7年(1757) 5月～8月			縦帳(108)
AK212-1-394	北家御日記 三九四	宝暦7年(1757) 8月～12月			縦帳(106)
AK212-1-395	北家御日記 三九五	宝暦8年(1758) 正月～4月			縦帳(146)
AK212-1-396	北家御日記 三九六	宝暦8年(1758) 5月～9月			縦帳(166)
AK212-1-397	北家御日記 三九七	宝暦8年(1758) 7月～9月			縦帳(45)
AK212-1-398	北家御日記 三九八	宝暦8年(1758) 10月～12月			縦帳(143)
AK212-1-399	北家御日記 三九九	宝暦9年(1759) 正月～3月			縦帳(121)
AK212-1-400	北家御日記 四〇〇	宝暦9年(1759) 4月～6月			縦帳(138)
AK212-1-401	北家御日記 四〇一	宝暦9年(1759) 7月～閏7月			縦帳(101)
AK212-1-402	北家御日記 四〇二	宝暦9年(1759) 8月～10月			縦帳(74)
AK212-1-403	北家御日記 四〇三	宝暦9年(1759) 10月～12月			縦帳(79)
AK212-1-404	北家御日記 四〇四	宝暦10年(1760) 正月～5月			縦帳(112)
AK212-1-405	北家御日記 四〇五	宝暦10年(1760) 6月～7月			縦帳(88)

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-406	北家御日記 四〇六	宝暦10年(1760) 8月～10月			縦帳(147)
AK212-1-407	北家御日記 四〇七	宝暦10年(1760) 11月～12月			縦帳(108)
AK212-1-408	北家御日記 四〇八	宝暦11年(1761) 正月～2月			縦帳(92)
AK212-1-409	北家御日記 四〇九	宝暦11年(1761) 3月～4月			縦帳(118)
AK212-1-410	北家御日記 四一〇	宝暦11年(1761) 5月～6月			縦帳(130)
AK212-1-411	北家御日記 四一一	宝暦11年(1761) 8月～9月			縦帳(118)
AK212-1-412	北家御日記 四一二	宝暦11年(1761) 10月～12月			縦帳(147)
AK212-1-413	北家御日記 四一三	宝暦12年(1762) 正月～4月			縦帳(125)
AK212-1-414	北家御日記 四一四	宝暦12年(1762) 4月～5月			縦帳(107)
AK212-1-415	北家御日記 四一五	宝暦12年(1762) 6月～9月			縦帳(129)
AK212-1-416	北家御日記 四一六	宝暦12年(1762) 10月～12月			縦帳(143)
AK212-1-417	北家御日記 四一七	宝暦13年(1763) 正月～3月			縦帳(127)
AK212-1-418	北家御日記 四一八	宝暦13年(1763) 4月～6月			縦帳(122)
AK212-1-419	北家御日記 四一九	宝暦13年(1763) 7月～9月			縦帳(95)
AK212-1-420	北家御日記 四二〇	宝暦13年(1763) 10月～12月			縦帳(99)

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-421	北家御日記 四二一	宝暦13年(1763) 正月～12月			縦帳(62)
AK212-1-422	北家御日記 四二二	宝暦14年(1764) 正月～3月			縦帳(135)
AK212-1-423	北家御日記 四二三	宝暦14年(1764) 4月～5月			縦帳(122)
AK212-1-424	北家御日記 四二四	明和元年(1764) 6月～8月			縦帳(138)
AK212-1-425	北家御日記 四二五	明和元年(1764) 9月～11月			縦帳(91)
AK212-1-426	北家御日記 四二六	明和元年(1764) 9月～12月			縦帳(31)
AK212-1-427	北家御日記 四二七	明和元年(1764) 12月			縦帳(95)
AK212-1-428	北家御日記 四二八	明和2年(1765) 正月～3月			縦帳(126)
AK212-1-429	北家御日記 四二九	明和2年(1765) 4月～5月			縦帳(104)
AK212-1-430	北家御日記 四三〇	明和2年(1765) 6月～8月			縦帳(113)
AK212-1-431	北家御日記 四三一	明和2年(1765) 9月～10月			縦帳(70)
AK212-1-432	北家御日記 四三二	明和2年(1765) 11月～12月			縦帳(86)
AK212-1-433	北家御日記 四三三	明和3年(1766) 正月～4月			縦帳(155)
AK212-1-434	北家御日記 四三四	明和3年(1766) 5月～9月			縦帳(145)
AK212-1-435	北家御日記 四三五	明和3年(1766) 10月～12月			縦帳(144)

III 御日記

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-436	北家御日記 四三六	明和4年(1767) 正月～4月			縦帳(150)
AK212-1-437	北家御日記 四三七	明和4年(1767) 5月～8月			縦帳(123)
AK212-1-438	北家御日記 四三八	明和4年(1767) 9月～10月			縦帳(137)
AK212-1-439	北家御日記 四三九	明和4年(1767) 11月～12月			縦帳(135)
AK212-1-440	北家御日記 四四〇	明和5年(1768) 正月～3月			縦帳(116)
AK212-1-442	北家御日記 四四二	明和5年(1768) 4月～6月			縦帳(18)
AK212-1-443	北家御日記 四四三	明和5年(1768) 7月～12月			縦帳(34)
AK212-1-441	北家御日記 四四一	明和5年(1768) 4月～7月			縦帳(95)
AK212-1-444	北家御日記 四四四	明和5年(1768) 8月～12月			縦帳(119)
AK212-1-445	北家御日記 四四五	明和6年(1769) 正月～3月			縦帳(45)
AK212-1-446	北家御日記 四四六	明和6年(1769) 4月～6月			縦帳(65)
AK212-1-447	北家御日記 四四七	明和6年(1769) 7月～9月			縦帳(67)
AK212-1-448	北家御日記 四四八	明和6年(1769) 10月～12月			縦帳(73)
AK212-1-449	北家御日記 四四九	明和7年(1770) 正月～3月			縦帳(51)
AK212-1-450	北家御日記 四五〇	明和7年(1770) 4月～6月			縦帳(66)

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-451	北家御日記 四五一	明和7年(1770) 7月～9月			縦帳(45)
AK212-1-452	北家御日記 四五二	明和7年(1770) 10月～12月			縦帳(40)
AK212-1-453	北家御日記 四五三	明和8年(1771) 正月～3月			縦帳(41)
AK212-1-454	北家御日記 四五四	明和8年(1771) 4月～12月			縦帳(91)
AK212-1-455	北家御日記 四五五	明和9年(1772) 正月～3月			縦帳(39)
AK212-1-456	北家御日記 四五六	明和9年(1772) 4月～6月			縦帳(45)
AK212-1-457	北家御日記 四五七	安永元年(1772) 7月～12月			縦帳(57)
AK212-1-458	北家御日記 四五八	安永2年(1773) 正月～3月			縦帳(42)
AK212-1-459	北家御日記 四五九	安永2年(1773) 4月～6月			縦帳(34)
AK212-1-460	北家御日記 四六〇	安永2年(1773) 7月～9月			縦帳(29)
AK212-1-461	北家御日記 四六一	安永2年(1773) 10月～12月			縦帳(33)
AK212-1-462	北家御日記 四六二	安永3年(1774) 正月～3月			縦帳(46)
AK212-1-464	北家御日記 四六四	安永3年(1774) 4月～6月			縦帳(32)
AK212-1-465	北家御日記 四六五	安永3年(1774) 7月～9月			縦帳(35)
AK212-1-463	北家御日記 四六三	安永3年(1774) 10月～12月			縦帳(35)

III 御日記

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-466	北家御日記 四六六	安永4年(1775) 正月～3月			縦帳(43)
AK212-1-467	北家御日記 四六七	安永4年(1775) 4月～6月			縦帳(41)
AK212-1-468	北家御日記 四六八	安永4年(1775) 6月～9月			縦帳(50)
AK212-1-469	北家御日記 四六九	安永4年(1775) 10月～12月			縦帳(58)
AK212-1-470	北家御日記 四七〇	安永5年(1776) 正月～3月			縦帳(51)
AK212-1-471	北家御日記 四七一	安永5年(1776) 4月～6月			縦帳(38)
AK212-1-472	北家御日記 四七二	安永5年(1776) 7月～9月			縦帳(39)
AK212-1-473	北家御日記 四七三	安永5年(1776) 10月～11月			縦帳(21)
AK212-1-474	北家御日記 四七四	安永6年(1777) 正月～3月			縦帳(34)
AK212-1-475	北家御日記 四七五	安永6年(1777) 4月～7月			縦帳(36)
AK212-1-476	北家御日記 四七六	安永6年(1777) 7月～12月			縦帳(59)
AK212-1-477	北家御日記 四七七	安永7年(1778) 正月～3月			縦帳(42)
AK212-1-478	北家御日記 四七八	安永7年(1778) 4月～6月			縦帳(32)
AK212-1-479	北家御日記 四七九	安永7年(1778) 7月～9月			縦帳(49)
AK212-1-480	北家御日記 四八〇	安永7年(1778) 10月～12月			縦帳(42)

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-481	北家御日記 四八一	安永8年(1779) 正月～3月			縦帳(49)
AK212-1-482	北家御日記 四八二	安永8年(1779) 4月～6月			縦帳(48)
AK212-1-483	北家御日記 四八三	安永8年(1779) 7月～9月			縦帳(33)
AK212-1-484	北家御日記 四八四	安永8年(1779) 10月～12月			縦帳(70)
AK212-1-485	北家御日記 四八五	安永9年(1780) 正月～2月			縦帳(30)
AK212-1-486	北家御日記 四八六	安永9年(1780) 3月～5月			縦帳(99)
AK212-1-487	北家御日記 四八七	安永9年(1780) 6月～9月			縦帳(73)
AK212-1-488	北家御日記 四八八	安永9年(1780) 10月～12月			縦帳(45)
AK212-1-490	北家御日記 四九〇	安永10年(1781) 正月～3月			縦帳(66)
AK212-1-489	北家御日記 四八九	天明元年(1781) 4月～6月			縦帳(87)
AK212-1-492	北家御日記 四九二	天明元年(1781) 7月～9月			縦帳(58)
AK212-1-491	北家御日記 四九一	天明元年(1781) 10月～12月			縦帳(85)
AK212-1-493	北家御日記 四九三	天明2年(1782) 正月～3月			縦帳(79)
AK212-1-494	北家御日記 四九四	天明2年(1782) 4月～6月			縦帳(57)
AK212-1-495	北家御日記 四九五	天明2年(1782) 7月～9月			縦帳(64)

III 御日記

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-496	北家御日記 四九六	天明2年(1782) 10月～12月			縦帳(89)
AK212-1-497	北家御日記 四九七	天明3年(1783) 正月～3月			縦帳(80)
AK212-1-498	北家御日記 四九八	天明3年(1783) 4月～6月			縦帳(79)
AK212-1-499	北家御日記 四九九	天明3年(1783) 7月～9月			縦帳(98)
AK212-1-500	北家御日記 五〇〇	天明3年(1783) 10月～12月			縦帳(107)
AK212-1-501	北家御日記 五〇一	天明4年(1784) 正月～3月			縦帳(132)
AK212-1-502	北家御日記 五〇二	天明4年(1784) 4月～6月			縦帳(78)
AK212-1-503	北家御日記 五〇三	天明4年(1784) 7月～9月			縦帳(65)
AK212-1-504	北家御日記 五〇四	天明4年(1784) 10月～12月			縦帳(59)
AK212-1-505	北家御日記 五〇五	天明5年(1785) 正月～6月			縦帳(112)
AK212-1-506	北家御日記 五〇六	天明5年(1785) 7月～9月			縦帳(74)
AK212-1-507	北家御日記 五〇七	天明5年(1785) 10月～12月			縦帳(60)
AK212-1-508	北家御日記 五〇八	天明6年(1786) 正月～3月			縦帳(40)
AK212-1-509	北家御日記 五〇九	天明6年(1786) 4月～6月			縦帳(71)
AK212-1-510	北家御日記 五一〇	天明6年(1786) 7月～9月			縦帳(35)

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-511	北家御日記 五一一	天明6年(1786) 10月～12月			縦帳(69)
AK212-1-512	北家御日記 五一二	天明7年(1787) 正月～3月			縦帳(56)
AK212-1-513	北家御日記 五一三	天明7年(1787) 4月～6月			縦帳(45)
AK212-1-514	北家御日記 五一四	天明7年(1787) 7月～9月			縦帳(64)
AK212-1-515	北家御日記 五一五	天明7年(1787) 10月～12月			縦帳(51)
AK212-1-516	北家御日記 五一六	天明8年(1788) 正月～3月			縦帳(50)
AK212-1-517	北家御日記 五一七	天明8年(1788) 4月～6月			縦帳(54)
AK212-1-518	北家御日記 五一八	天明8年(1788) 7月～9月			縦帳(44)
AK212-1-519	北家御日記 五一九	天明8年(1788) 9月～12月			縦帳(69)
AK212-1-520	北家御日記 五二〇	寛政元年(1789) 正月～3月			縦帳(44)
AK212-1-521	北家御日記 五二一	寛政元年(1789) 4月～5月			縦帳(32)
AK212-1-522	北家御日記 五二二	寛政元年(1789) 6月～9月			縦帳(78)
AK212-1-523	北家御日記 五二三	寛政元年(1789) 10月～12月			縦帳(42)
AK212-1-524	北家御日記 五二四	寛政2年(1790) 正月～6月			縦帳(67)
AK212-1-525	北家御日記 五二五	寛政2年(1790) 7月～12月			縦帳(52)

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-526	北家御日記 五二六	寛政3年(1791) 正月～3月			縦帳(91)
AK212-1-527	北家御日記 五二七	寛政3年(1791) 7月～12月			縦帳(79)
AK212-1-528	北家御日記 五二八	寛政4年(1792) 正月～3月			縦帳(84)
AK212-1-529	北家御日記 五二九	寛政4年(1792) 4月～6月			縦帳(64)
AK212-1-530	北家御日記 五三〇	寛政4年(1792) 7月～9月			縦帳(61)
AK212-1-531	北家御日記 五三一	寛政4年(1792) 10月～12月			縦帳(48)
AK212-1-532	北家御日記 五三二	寛政5年(1793) 正月～6月			縦帳(79)
AK212-1-533	北家御日記 五三三	寛政5年(1793) 7月～12月			縦帳(86)
AK212-1-534	北家御日記 五三四	寛政6年(1794) 正月～12月			縦帳(118)
AK212-1-535	北家御日記 五三五	寛政7年(1795) 正月～6月			縦帳(40)
AK212-1-536	北家御日記 五三六	寛政7年(1795) 7月～12月			縦帳(83)
AK212-1-537	北家御日記 五三七	寛政8年(1796) 正月～6月			縦帳(84)
AK212-1-538	北家御日記 五三八	寛政8年(1796) 7月～12月			縦帳(72)
AK212-1-539	北家御日記 五三九	寛政9年(1797) 正月～6月			縦帳(77)
AK212-1-540	北家御日記 五四〇	寛政9年(1797) 7月～12月			縦帳(96)

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-541	北家御日記 五四一	寛政10年(1798) 正月～6月			縦帳(85)
AK212-1-542	北家御日記 五四二	寛政10年(1798) 7月～12月			縦帳(61)
AK212-1-543	北家御日記 五四三	寛政11年(1799) 正月～3月			縦帳(27)
AK212-1-544	北家御日記 五四四	寛政11年(1799) 4月～6月			縦帳(121)
AK212-1-545	北家御日記 五四五	寛政11年(1799) 7月～12月			縦帳(116)
AK212-1-546	北家御日記 五四六	寛政12年(1800) 正月～3月			縦帳(128)
AK212-1-547	北家御日記 五四七	寛政12年(1800) 3月～6月			縦帳(210)
AK212-1-548	北家御日記 五四八	寛政12年(1800) 7月～12月			縦帳(140)
AK212-1-549	北家御日記 五四九	享和元年(1801) 正月～5月			縦帳(139)
AK212-1-550	北家御日記 五五〇	享和元年(1801) 6月～7月			縦帳(105)
AK212-1-551	北家御日記 五五一	享和元年(1801) 8月～12月			縦帳(95)
AK212-1-552	北家御日記 五五二	享和2年(1802) 正月～6月			縦帳(160)
AK212-1-553	北家御日記 五五三	享和2年(1802) 7月～12月			縦帳(153)
AK212-1-554	北家御日記 五五四	享和3年(1803) 正月～4月			縦帳(102)
AK212-1-555	北家御日記 五五五	享和3年(1803) 5月～7月			縦帳(69)

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-556	北家御日記 五五六	享和3年(1803) 8月～9月			縦帳(48)
AK212-1-557	北家御日記 五五七	享和3年(1803) 9月～12月			縦帳(46)
AK212-1-558	北家御日記 五五八	文化元年(1804) 正月～6月			縦帳(81)
AK212-1-559	北家御日記 五五九	文化元年(1804) 7月～12月			縦帳(104)
AK212-1-560	北家御日記 五六〇	文化2年(1805) 正月～5月			縦帳(106)
AK212-1-561	北家御日記 五六一	文化2年(1805) 6月～7月			縦帳(121)
AK212-1-562	北家御日記 五六二	文化2年(1805) 8月～12月			縦帳(132)
AK212-1-563	北家御日記 五六三	文化3年(1806) 正月～6月			縦帳(200)
AK212-1-564	北家御日記 五六四	文化3年(1806) 7月～12月			縦帳(86)
AK212-1-565	北家御日記 五六五	文化4年(1807) 正月～6月			縦帳(168)
AK212-1-566	北家御日記 五六六	文化4年(1807) 7月～12月			縦帳(141)
AK212-1-569	北家御日記 五六九	文化5年(1808) 正月～5月			縦帳(117)
AK212-1-567	北家御日記 五六七	文化5年(1808) 6月～7月			縦帳(39)
AK212-1-568	北家御日記 五六八	文化5年(1808) 8月～12月			縦帳(81)
AK212-1-570	北家御日記 五七〇	文化6年(1809) 正月～5月			縦帳(95)

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-571	北家御日記 五七一	文化6年(1809) 6月			縦帳(95)
AK212-1-572	北家御日記 五七二	文化6年(1809) 7月～12月			縦帳(184)
AK212-1-573	北家御日記 五七三	文化7年(1810) 正月～3月			縦帳(81)
AK212-1-574	北家御日記 五七四	文化7年(1810) 3月～7月			縦帳(119)
AK212-1-576	北家御日記 五七六	文化7年(1810) 8月～9月			縦帳(177)
AK212-1-575	北家御日記 五七五	文化7年(1810) 11月～12月			縦帳(83)
AK212-1-577	北家御日記 五七七	文化8年(1811) 正月～6月			縦帳(213)
AK212-1-578	北家御日記 五七八	文化8年(1811) 7月～8月			縦帳(122)
AK212-1-579	北家御日記 五七九	文化8年(1811) 9月～12月			縦帳(51)
AK212-1-580	北家御日記 五八〇	文化9年(1812) 正月～6月			縦帳(64)
AK212-1-581	北家御日記 五八一	文化9年(1812) 7月～12月			縦帳(70)
AK212-1-582	北家御日記 五八二	文化10年(1813) 正月～6月			縦帳(80)
AK212-1-583	北家御日記 五八三	文化10年(1813) 7月～12月			縦帳(92)
AK212-1-584	北家御日記 五八四	文化10年(1813) 11月～12月			縦帳(20)
AK212-1-585	北家御日記 五八五	文化11年(1814) 正月～6月			縦帳(69)

III 御日記

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-586	北家御日記 五八六	文化11年(1814) 7月～12月			縦帳(63)
AK212-1-588	北家御日記 五八八	文化12年(1815) 正月～6月			縦帳(87)
AK212-1-587	北家御日記 五八七	文化12年(1815) 正月～12月			縦帳(17)
AK212-1-589	北家御日記 五八九	文化12年(1815) 7月～8月			縦帳(98)
AK212-1-590	北家御日記 五九〇	文化12年(1815) 7月～12月			縦帳(70)
AK212-1-591	北家御日記 五九一	文化12年(1815) 9月～12月			縦帳(125)
AK212-1-592	北家御日記 五九二	文化12年(1815) 10月～12月			縦帳(91)
AK212-1-593	北家御日記 五九三	文化13年(1816) 正月～3月			縦帳(83)
AK212-1-595	北家御日記 五九五	文化13年(1816) 4月～7月			縦帳(111)
AK212-1-596	北家御日記 五九六	文化13年(1816) 7月～8月			縦帳(82)
AK212-1-597	北家御日記 五九七	文化13年(1816) 閏8月～9月			縦帳(84)
AK212-1-599	北家御日記 五九九	文化13年(1816) 10月～12月			縦帳(74)
AK212-1-594	北家御日記 五九四	文化13年(1816) 正月～6月			縦帳(105)
AK212-1-598	北家御日記 五九八	文化13年(1816) 7月～12月			縦帳(116)
AK212-1-600	北家御日記 六〇〇	文化14年(1817) 正月～3月			縦帳(97)

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-602	北家御日記 六〇二	文化14年(1817) 4月～6月			縦帳(134)
AK212-1-603	北家御日記 六〇三	文化14年(1817) 7月～8月			縦帳(140)
AK212-1-604	北家御日記 六〇四	文化14年(1817) 9月～10月			縦帳(90)
AK212-1-606	北家御日記 六〇六	文化14年(1817) 11月～12月			縦帳(49)
AK212-1-601	北家御日記 六〇一	文化14年(1817) 正月～6月			縦帳(103)
AK212-1-605	北家御日記 六〇五	文化14年(1817) 7月～12月			縦帳(121)
AK212-1-608	北家御日記 六〇八	文化15年(1818) 正月～3月			縦帳(81)
AK212-1-609	北家御日記 六〇九	文政元年(1818) 4月～6月			縦帳(86)
AK212-1-610	北家御日記 六一〇	文政元年(1818) 7月～9月			縦帳(104)
AK212-1-611	北家御日記 六一一	文政元年(1818) 10月～12月			縦帳(115)
AK212-1-607	北家御日記 六〇七	文化15年(1818) 正月～6月			縦帳(109)
AK212-1-612	北家御日記 六一二	文政元年(1818) 7月～11月			縦帳(43)
AK212-1-613	北家御日記 六一三	文政元年(1818) 11月～12月			縦帳(44)
AK212-1-614	北家御日記 六一四	文政元年(1818) 7月～12月			縦帳(50)
AK212-1-615	北家御日記 六一五	文政2年(1819) 正月～3月			縦帳(122)

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-616	北家御日記 六一六	文政2年(1819) 正月～6月			縦帳(57)
AK212-1-617	北家御日記 六一七	文政2年(1819) 正月～6月			縦帳(132)
AK212-1-618	北家御日記 六一八	文政2年(1819) 6月～8月			縦帳(104)
AK212-1-620	北家御日記 六二〇	文政2年(1819) 7月～12月			縦帳(109)
AK212-1-619	北家御日記 六一九	文政2年(1819) 9月～10月			縦帳(86)
AK212-1-621	北家御日記 六二一	文政2年(1819) 11月～12月			縦帳(95)
AK212-1-622	北家御日記 六二二	文政3年(1820) 正月～2月			縦帳(99)
AK212-1-624	北家御日記 六二四	文政3年(1820) 3月～4月			縦帳(131)
AK212-1-625	北家御日記 六二五	文政3年(1820) 5月～7月			縦帳(87)
AK212-1-626	北家御日記 六二六	文政3年(1820) 7月～12月			縦帳(85)
AK212-1-623	北家御日記 六二三	文政3年(1820) 正月～6月			縦帳(109)
AK212-1-627	北家御日記 六二七	文政4年(1821) 正月～6月			縦帳(110)
AK212-1-628	北家御日記 六二八	文政4年(1821) 7月～12月			縦帳(108)
AK212-1-629	北家御日記 六二九	文政5年(1822) 正月～6月			縦帳(83)
AK212-1-630	北家御日記 六三〇	文政5年(1822) 7月～12月			縦帳(114)

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-631	北家御日記 六三一	文政6年(1823) 正月～6月			縦帳(114)
AK212-1-632	北家御日記 六三二	文政6年(1823) 7月～12月			縦帳(106)
AK212-1-633	北家御日記 六三三	文政7年(1824) 正月～2月			縦帳(41)
AK212-1-634	北家御日記 六三四	文政7年(1824) 3月～6月			縦帳(66)
AK212-1-635	北家御日記 六三五	文政7年(1824) 7月～9月			縦帳(71)
AK212-1-636	北家御日記 六三六	文政7年(1824) 9月～11月			縦帳(47)
AK212-1-637	北家御日記 六三七	文政7年(1824) 10月～12月			縦帳(73)
AK212-1-638	北家御日記 六三八	文政8年(1825) 正月～3月			縦帳(77)
AK212-1-639	北家御日記 六三九	文政8年(1825) 4月～6月			縦帳(73)
AK212-1-640	北家御日記 六四〇	文政8年(1825) 6月～7月			縦帳(83)
AK212-1-641	北家御日記 六四一	文政8年(1825) 8月～10月			縦帳(60)
AK212-1-642	北家御日記 六四二	文政8年(1825) 11月～12月			縦帳(62)
AK212-1-643	北家御日記 六四三	文政9年(1826) 正月～2月			縦帳(27)
AK212-1-644	北家御日記 六四四	文政9年(1826) 2月～4月			縦帳(50)
AK212-1-645	北家御日記 六四五	文政9年(1826) 4月～5月			縦帳(42)

III 御日記

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-646	北家御日記 六四六	文政9年(1826) 5月～6月			縦帳(30)
AK212-1-647	北家御日記 六四七	文政9年(1826) 7月～8月			縦帳(33)
AK212-1-648	北家御日記 六四八	文政9年(1826) 8月～9月			縦帳(31)
AK212-1-649	北家御日記 六四九	文政9年(1826) 10月			縦帳(32)
AK212-1-650	北家御日記 六五〇	文政9年(1826) 11月～12月			縦帳(40)
AK212-1-651	北家御日記 六五一	文政10年(1827) 正月～2月			縦帳(48)
AK212-1-652	北家御日記 六五二	文政10年(1827) 3月～4月			縦帳(36)
AK212-1-653	北家御日記 六五三	文政10年(1827) 4月～6月			縦帳(30)
AK212-1-654	北家御日記 六五四	文政10年(1827) 6月～閏6月			縦帳(27)
AK212-1-655	北家御日記 六五五	文政10年(1827) 7月～8月			縦帳(24)
AK212-1-656	北家御日記 六五六	文政10年(1827) 8月～9月			縦帳(44)
AK212-1-657	北家御日記 六五七	文政10年(1827) 9月～12月			縦帳(54)
AK212-1-658	北家御日記 六五八	文政11年(1828) 正月～4月			縦帳(42)
AK212-1-659	北家御日記 六五九	文政11年(1828) 4月～6月			縦帳(41)
AK212-1-660	北家御日記 六六〇	文政11年(1828) 7月～9月			縦帳(44)

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-661	北家御日記 六六一	文政11年(1828) 10月～12月			縦帳(28)
AK212-1-662	北家御日記 六六二	文政12年(1829) 正月～2月			縦帳(34)
AK212-1-663	北家御日記 六六三	文政12年(1829) 3月～6月			縦帳(26)
AK212-1-664	北家御日記 六六四	文政12年(1829) 7月～8月			縦帳(50)
AK212-1-665	北家御日記 六六五	文政12年(1829) 8月～10月			縦帳(42)
AK212-1-666	北家御日記 六六六	文政12年(1829) 11月～12月			縦帳(37)
AK212-1-667	北家御日記 六六七	文政13年(1830) 正月～3月			縦帳(37)
AK212-1-668	北家御日記 六六八	文政13年(1830) 3月			縦帳(62)
AK212-1-669	北家御日記 六六九	文政13年(1830) 4月～5月			縦帳(39)
AK212-1-670	北家御日記 六七〇	文政13年(1830) 5月～6月			縦帳(26)
AK212-1-671	北家御日記 六七一	文政13年(1830) 7月～9月			縦帳(41)
AK212-1-672	北家御日記 六七二	文政13年(1830) 9月～11月			縦帳(44)
AK212-1-673	北家御日記 六七三	天保元年(1830) 12月			縦帳(14)
AK212-1-674	北家御日記 六七四	天保2年(1831) 正月～4月			縦帳(65)
AK212-1-675	北家御日記 六七五	天保2年(1831) 4月～6月			縦帳(48)

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-676	北家御日記 六七六	天保2年(1831) 6月			縦帳(46)
AK212-1-677	北家御日記 六七七	天保2年(1831) 7月			縦帳(21)
AK212-1-678	北家御日記 六七八	天保2年(1831) 8月～9月			縦帳(57)
AK212-1-679	北家御日記 六七九	天保2年(1831) 10月～12月			縦帳(57)
AK212-1-680	北家御日記 六八〇	天保3年(1832) 正月～2月			縦帳(54)
AK212-1-681	北家御日記 六八一	天保3年(1832) 3月～6月			縦帳(80)
AK212-1-682	北家御日記 六八二	天保3年(1832) 7月～11月			縦帳(56)
AK212-1-683	北家御日記 六八三	天保3年(1832) 11月～12月			縦帳(47)
AK212-1-684	北家御日記 六八四	天保4年(1833) 正月～3月			縦帳(67)
AK212-1-685	北家御日記 六八五	天保4年(1833) 5月			縦帳(24)
AK212-1-686	北家御日記 六八六	天保4年(1833) 7月			縦帳(26)
AK212-1-687	北家御日記 六八七	天保5年(1834) 7月～9月			縦帳(32)
AK212-1-688	北家御日記 六八八	天保5年(1834) 10月～11月			縦帳(51)
AK212-1-689	北家御日記 六八九	天保5年(1834) 12月			縦帳(23)
AK212-1-690	北家御日記 六九〇	天保6年(1835) 正月～2月			縦帳(25)

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-691	北家御日記 六九一	天保6年(1835) 4月～6月			縦帳(70)
AK212-1-693	北家御日記 六九三	天保6年(1835) 7月～8月			縦帳(47)
AK212-1-694	北家御日記 六九四	天保6年(1835) 8月～10月			縦帳(34)
AK212-1-695	北家御日記 六九五	天保6年(1835) 11月～12月			縦帳(66)
AK212-1-692	北家御日記 六九二	天保6～7年 (1835～1836) 12月～3月			縦帳(46)
AK212-1-696	北家御日記 六九六	天保7年(1836) 正月～2月			縦帳(32)
AK212-1-697	北家御日記 六九七	天保7年(1836) 2月～4月			縦帳(52)
AK212-1-698	北家御日記 六九八	天保7年(1836) 5月			縦帳(28)
AK212-1-699	北家御日記 六九九	天保7年(1836) 10月			縦帳(38)
AK212-1-700	北家御日記 七〇〇	天保7年(1836) 11月～12月			縦帳(46)
AK212-1-701	北家御日記 七〇一	天保8年(1837) 正月			縦帳(27)
AK212-1-702	北家御日記 七〇二	天保8年(1837) 5月～6月			縦帳(37)
AK212-1-703	北家御日記 七〇三	天保9年(1838) 2月～4月			縦帳(80)
AK212-1-704	北家御日記 七〇四	天保9年(1838) 7月			縦帳(21)
AK212-1-705	北家御日記 七〇五	天保9年(1838) 11月			縦帳(28)

III 御日記

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-706	北家御日記 七〇六	嘉永3年(1850) 11月～12月			縦帳(10)
AK212-1-707	北家御日記 七〇七	嘉永4年(1851) 正月～3月			縦帳(36)
AK212-1-708	北家御日記 七〇八	嘉永4年(1851) 4月～6月			縦帳(18)
AK212-1-709	北家御日記 七〇九	嘉永4年(1851) 7月			縦帳(25)
AK212-1-710	北家御日記 七一〇	安政6～7年 (1859～1860) 10月～3月			縦帳(82)
AK212-1-711	北家御日記 七一一	万延元年(1860) 3月～7月			縦帳(65)
AK212-1-712	北家御日記 七一二	元治元年(1864) 正月～5月			縦帳(90)
AK212-1-713	北家御日記 七一三	元治元年(1864) 6月～10月			縦帳(51)
AK212-1-714	北家御日記 七一四	慶応元年(1865) 8月～12月			縦帳(57)
AK212-1-715	北家御日記 七一五	慶応2年(1866) 正月～6月			縦帳(100)
AK212-1-716	北家御日記 七一六	慶応3年(1867) 正月～6月			縦帳(94)
AK212-1-718	北家御日記 七一八	慶応4年(1868) 正月～4月			縦帳(67)
AK212-1-717	北家御日記 七一一七	慶応4年(1868) 5月～8月			縦帳(54)
AK212-1-719	北家御日記 七一九	明治2年(1869) 2月～10月			縦帳(107)
AK212-1-720	北家御日記 七二〇	明治3年(1870) 8月～10月			縦帳(89)

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-721	北家御日記 七二一	明治3年(1870) 10月～12月			縦帳(72)
AK212-1-722	北家御日記 七二二	明治3～4年 (1870～1871) 12月～2月			縦帳(156)
AK212-1-723	北家御日記 七二三	明治4年(1871) 3月～4月			縦帳(126)
AK212-1-724	北家御日記 七二四	明治4年(1871) 4月～6月			縦帳(74)
AK212-1-725	北家御日記 七二五	明治4年(1871) 7月～8月			縦帳(95)
AK212-1-726	北家御日記 七二六	明治4年(1871) 9月～10月			縦帳(103)
AK212-1-727	北家御日記 七二七	明治4年(1871) 11月～12月			縦帳(83)
AK212-1-728	北家御日記 七二八	明治5年(1872) 正月～4月			縦帳(119)
AK212-1-729	北家御日記 七二九	明治5年(1872) 5月～8月			縦帳(83)
AK212-1-730	北家御日記 七三〇	明治5年(1872) 10月～12月			縦帳(50)
AK212-1-731	北家御日記 七三一	明治6年(1873) 正月～3月			縦帳(83)
AK212-1-732	北家御日記 七三二	明治6年(1873) 4月～6月			縦帳(67)
AK212-1-733	北家御日記 七三三	明治6年(1873) 7月～9月			縦帳(71)
AK212-1-734	北家御日記 七三四	明治6年(1873) 10月～12月			縦帳(80)
AK212-1-735	北家御日記 七三五	明治7年(1874) 正月～3月			縦帳(41)

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-736	北家御日記 七三六	明治7年(1874) 3月～7月			縦帳(76)
AK212-1-737	北家御日記 七三七	明治7年(1874) 7月～9月			縦帳(47)
AK212-1-738	北家御日記 七三八	明治7年(1874) 10月～12月			縦帳(84)
AK212-1-739	北家御日記 七三九	明治8年(1875) 正月～3月			縦帳(58)
AK212-1-740	北家御日記 七四〇	明治8年(1875) 4月～6月			縦帳(65)
AK212-1-741	北家御日記 七四一	明治8年(1875) 7月～12月			縦帳(88)
AK212-1-742	北家御日記 七四二	明治9年(1876) 正月～6月			縦帳(92)
AK212-1-743	北家御日記 七四三	明治9年(1876) 7月～12月			縦帳(79)
AK212-1-744	北家御日記 七四四	明治9年(1876) 正月～12月			縦帳(227)
AK212-1-745	北家御日記 七四五	明治10年(1877) 正月～7月			縦帳(90)
AK212-1-746	北家御日記 七四六	明治10年(1877) 8月～12月			縦帳(51)
AK212-1-747	北家御日記 七四七	明治11年(1878) 正月～12月			縦帳(98)
AK212-1-748	北家御日記 七四八	明治11年(1878) 正月～12月			縦帳(190)
AK212-1-749	北家御日記 七四九	明治12年(1879) 正月～6月			縦帳(48)
AK212-1-750	北家御日記 七五〇	明治12年(1879) 7月～12月			縦帳(60)

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-1-751	北家御日記 七五一	明治13年(1880) 正月～6月			縦帳(48)
AK212-1-752	北家御日記 七五二	明治13年(1880) 7月～12月			縦帳(57)
AK212-1-753	北家御日記 七五三	明治13年(1880) 正月～12月			縦帳(60)
AK212-1-754	北家御日記 七五四	明治14年(1881) 正月～6月			縦帳(42)
AK212-1-755	北家御日記 七五五	明治14年(1881) 7月～12月			縦帳(51)
AK212-1-756	北家御日記 七五六	明治14年(1881) 正月～12月			縦帳(159)
AK212-1-758	北家御日記 七五八	明治15年(1882) 正月～12月			縦帳(183)
AK212-1-757	北家御日記 七五七	明治15年(1882) 7月～12月			縦帳(60)
AK212-1-760	北家御日記 七六〇	明治16年(1883) 正月～12月			縦帳(195)
AK212-1-761	北家御日記 七六一	明治18年(1885) 正月～12月			縦帳(198)
AK212-1-762	北家御日記 七六二	明治22年(1889) 正月～12月			縦帳(203)
AK212-1-763	北家御日記 七六三	明治23年(1890) 正月～12月			縦帳(158)
AK212-1-764	北家御日記 七六四	明治24年(1891) 正月～12月			縦帳(187)
AK212-1-759	北家御日記 七五九	明治25年(1892) 正月～12月			縦帳(186)
AK212-1-765	北家御日記 七六五	明治27年(1894) 正月～12月			縦帳(64)

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK209-1	御出仕・御家督・御元服・御名改	延宝2～6年 (1674～1678)			縦帳(8)
AK209-2	御成御立寄	延宝5年(1677)			縦帳(4)
AK209-4	天和元酉年義明公御家督御礼御出府御旧記抜書	天和元年(1681) 9月2日～24日			縦帳(20)
AK209-5	元禄拾二卯年義命公御家督御礼御出府御旧記抜書	元禄12年(1699) 閏9月21日～10月8日			縦帳(10)
AK209-6	元禄十六年未八月義格公御乗出二付義命江戸登旧記写	元禄16年(1703) 8月7日～9月15日			縦帳(27)
AK209-7	御乗出日記書抜	元禄16～天明8年 (1703～1788)			縦帳(177)
	〈表紙裏〉覚 元禄十六未八月天祥院殿義格公御乗出二付実相院殿義命公御登、正徳五未九月円明院殿義峰公御乗出二付義命公御登、宝暦三酉十一月恭温院殿義明公御乗出二付本来院殿義邦公御登、宝暦十三未二月源通院殿義敦公御乗出二付義邦公御登、天明八申十月天樹院殿義和御乗出泰俊院殿義躬公御登				
AK312-1	御留書	宝永6年(1709) 正月～6月			縦帳(132)
AK209-9	宝永八卯年義格公御入部二付義命公御出府御日記抜書	宝永8年(1711) 5月8日～6月2日			縦帳(21)
AK212-2	御日記御旧記抜書	宝永8～正徳5年 (1711～1715)			縦帳(73)
	一丁目に明治17年1月1日の日記挟み込み				
AK209-8	正徳五未七月義峰公御乗出二付義命江戸登旧記写	正徳5年(1715) 7月30日～10月12日			縦帳(42)
AK209-10	享保二酉年義峰公様御入部義命公様義拋公様御出府御旧記抜書	享保2年(1717) 5月26日～7月14日			縦帳(22)
AK212-3	享保六年丑御留書写	享保6年(1721) 正月～10月			縦帳(169)
AK209-11	享宝十一年午年義拋公御家督御礼御出府御旧記抜書	享保11年(1726) 正月17日～2月14日			縦帳(15)

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK209-12	宝暦元未歳通霄院様御入国 二付靈徳院様本来院様御出 府御留書写 別紙一枚挟み込み	宝暦元年(1751) 5月16日～6月8日			縦帳(12)
AK209-13	宝暦三酉十一月義明公御乗 出二付義邦江戸登旧記写	宝暦3年(1753) 9月15日～11月6日			縦帳(44)
AK209-14	宝暦五亥五月義明公御入部 二付義邦公御出府御旧記抜 書	宝暦5年(1755) 5月12日～6月9日			縦帳(21)
AK209-15	宝暦五年義邦公御家督御礼 御旧記抜書	宝暦5年(1755) 5月16日～6月15日			縦帳(43)
AK212-4	御日記抄	宝暦13年(1763) 2月11日・17日			縦帳(4)
AK209-16	宝暦十三未年二月義敦公御 乗出二付義邦江戸登旧記写	宝暦13年(1763) 11月6日～23日			縦帳(26)
AK209-17	明和二年義敦公御入部之節 義邦公義躬公御定府御旧記 抜書、寛政元酉年義和公御 入部二付義躬公御出府御日 記抜書 合冊	明和2・寛政元年 (1765・1789)			縦帳(35)
AK209-18	明和六丑年義躬公様御家督 御礼御旧記抜書	明和6年(1769) 10月1日～26日			縦帳(28)
AK289-5	義躬公御日記抜書	明和6～寛政11年 (1769～1799)			縦帳(141)
AK212-5	御日記抜書 明和7年と安永3年の日記が合冊	明和7・安永3年 (1770・1774)			縦帳(36)
AK212-6	天明御日記抜書 〈表紙〉但元年正月より六月迄不相見逐而吟味	(天明元年)(1781) 7月～12月			縦帳(39)
AK209-20	天明八年申十月義和公御乗 出二付義躬江戸登旧記写	天明8年(1788) 5月9日～23日			縦帳(29)
AK212-7	寛政三辛亥歳御記録	寛政3年(1791) 正月～12月			縦帳(50)
AK209-21	御格式御用留書	寛政11年(1799) 6月3日～9月26日			縦帳(15)

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-8	寛政十二庚申御留書写 文化12年9月21日の記載あり	寛政12年(1800) 2月13日			縦帳(12)
AK212-12	文政四辛巳年留書	文政4年(1821) 正月1日～2月20日			罫紙(68)
AK212-15	文政五壬午年留書	文政5年(1822) 3月19日～5月5日			罫紙(31)
AK212-18-1	北家年代略 一 延宝2～8年分	天保6年(1835) 正月18日			縦帳(38)
AK212-18-2	北家年代略 二 天和元～貞享5年分	天保6年(1835) 6月13日			縦帳(54)
AK212-18-3	北家年代略 三 元禄2～16年分、折紙一枚挟み込み(家人取立加増記録)	天保6年(1835) 10月3日			縦帳(105)
AK212-19	天保七年日記 北家御日記抜書、最終丁に天保10年9月29日の記載あり	天保7年(1836) 正月～8月			縦帳(11)
AK212-20	北家年代略 八 延享4～5年分	天保9年(1838) 12月			縦帳(11)
AK212-22	北家記録略 宝暦2～5年分	天保10年(1839) 3月			縦帳(66)
AK212-23	北家日記之略 寛延3～4年分	天保10年(1839) 4月			縦帳(48)
AK212-24	北家年代略 宝暦7年1月分	天保10年(1839) 7月			縦帳(3)
AK212-25-1	御日記抜書 一 延宝2～8年分	天保10年(1839)			縦帳(50)
AK212-25-2	御日記抜書 二 天和元～貞享4年分	天保10年(1839)			縦帳(46)

佐竹北家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AK212-25-3	御日記抜書 三 元禄元～16年分	天保10年(1839)			縦帳(92)
AK212-25-4	御日記抜書 四 宝永元～7年分	天保11年(1840)			縦帳(47)
AK212-25-5	御日記抜書 五 212-25-5-1・2合冊、貞享2年分・正徳元～5年分	天保10・11年 (1839・1840) 10月・9月			縦帳(5)
AK212-25-6-1	御日記抜書 六ノ一 享保元～5年分	天保9年(1838) 11月			縦帳(46)
AK212-25-6-2	御日記抜書 六ノ二 享保元～5年分	天保11年(1840) 12月			縦帳(46)
AK212-25-7	御日記抜書 七 享保6～10年分	天保10年(1839) 3月			縦帳(29)
AK212-26	御日記抜書 明和4～5年分	天保11年(1840) 8月			縦帳(88)
AK212-27	御記録略抄 明和7～安永3年分	天保12年(1841) 2月			縦帳(56)
AK212-28	御記録略抄 寛政元～3年分	天保12年(1841) 6月			縦帳(67)
AK212-29	宝暦十三抜書	天保13年(1842) 3月			縦帳(9)
AK212-17	江戸御持参なり御日記御用	11月29日～12月30日			罫紙(23)
AK312-10	御日記抜書	12月1日～正月2日			縦帳(11)

佐竹西家文書目録

I 江戸期

1 下達文書

(1) 御条目

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO289-1	御条目	(享保17年)(1732) 5月			切紙
	豊前守様(義堅)が御養子となり名を修理大夫様と改め向後若殿様と称し奉る、豊前守は義堅のこと				
AO288-23-1	御条目	元文4年(1739) 4月27日			豎紙
	徳寿丸様御弘被仰渡御条目、〈包紙〉元文四年未ノ四月廿七日 徳寿丸様弘被仰渡御条目書付入(288-23-1~2は同一包紙)、「徳寿丸様は今度若殿様御嫡子様として公儀へ仰達が相済候」				
AO288-23-2	御条目添状	元文4年(1739) 4月		所預衆	切紙
	〈端裏貼札〉所預衆江、徳寿丸様が若殿様になった御歎を城下へ申し上げるべし				
AO317-8	御条目	寛延2年(1749) 10月			切紙
	御遺領被仰出之趣、〈包紙〉寛延貳年巳十月廿五日上使川井小六郎を以被仰渡候御書付				
AO312-105	御条目	(宝暦元年)(1751) 12月			継紙
	宝暦元年被仰渡候条目、〈包紙〉宝暦元年未十二月廿一日上使岡忠治ヲ以被仰渡候御条目				
AO317-11	御条目	宝暦3年(1753) 9月			切紙
	御遺領被仰出に付仰書、〈裏貼紙〉佐竹大和、〈包紙〉宝暦三年丙五月廿一日上使小野崎喜内を以被仰渡候書付				
AO342-1	御条目	(宝暦7年)(1757) 11月			継紙
	御財用難渋に付御達				
AO317-55	御条目	(宝暦8年)(1758) 5月			切紙
	御遺領仰出に付安堵之為御知、使者は赤須九左衛門、〈端裏〉佐竹六郎				
AO317-58	御条目	(宝暦8年)(1758) 5月			切紙
	御遺領被仰出之趣、〈端裏〉大館、〈包紙〉宝暦八年寅五月始上使伊勢鉄太を以被仰渡候御書附、317-55と内容				
AO312-112	御条目	(宝暦8年)(1758) 8月			切紙
	主君(義敦)幼年のため御用向壱岐守様へ御相談并に御国事は求馬様にも御同様被為聞候				

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO343-3	御条目	(宝暦8年)(1758) 8月			継紙
	知行高借上之御達、〈包紙〉宝暦八年寅八月九日為上使鷲尾源兵衛を以被仰渡候御条目二通				
AO312-113	御条目	(宝暦9年)(1759) 5月			継紙
	御国目付御取扱之達、国目付安西彦五郎・建部荒治郎				
AO312-101	御条目	(宝暦13年)(1763) 5月			切紙
	御直に御用向被為聞之仰書、主君(義敦)幼年により今まで御用向は壱岐守・求馬に相談していたが御目見得も済んだのでこれからは直に御用向をお聞きになること				
AO343-4-1	別紙覚	(明和元年)(1764) 10月			継紙
	國中此表共々古来之質素に可復事、〈包紙〉御条目御別紙、〈包紙裏書〉明和元年申十一月廿一日上使生田目惣内				
AO343-4-2	御条目	(明和元年)(1764) 10月	(佐竹大和)		継紙
	「元来数十年財用追年差支に至候砌にて家督以来打続候」、〈貼紙〉佐竹大和				
AO342-4-1	御条目	(明和2年)(1765) 2月			継紙
	御入部御用筋御滞被相弁候様被成置度思召之仰出、〈包紙〉明和二乙酉歳二月十六日 上使小野崎忠助鈴木与市左衛門罷越候節之御条目并御書付口達書老通(342-4-1~2は同一包紙)				
AO342-4-2	口達	(明和2年)(1765) 2月			切紙
	御条目添状				
AO342-14-1	御条目	(明和2年)(1765) 3月			継紙
	被仰渡御書付、今年入部之手当甚乏しきにつき、〈包紙〉明和二乙酉四月二日上使佐藤惣蔵ヲ以被仰渡候御条目御書付二通(342-14-1~2は同一包紙)				
AO342-5	被仰出御書付写	明和4年(1767) 閏9月20日			豎帳(6)
	財用向御難渋につき、〈表紙〉明和四年亥閏九月二十日御膳番益戸助四郎土屋吉兵衛大山伊織所より奉札に而登城之間ニ仰出於小書院ニ被渡候直々御直筆御書附写式通				
AO343-5-2	御条目	(明和5年)(1768) 12月			継紙
	御財用差支に付御借用御達				
AO343-6-3	御条目	(明和6年)(1769) 9月			継紙
	信太又六を以被仰渡之御書付、「今年より五ヶ年家中差上銀領中江茂備へ手当追々申渡候」				
AO343-8-2	御条目	(明和9年)(1772) 4月			継紙
	諸事嚴重御省略之御条目、御自筆御書附写、「此度江戸表之火災非常之大変にて両屋敷類焼之儀」、〈包紙〉御条目 明和九年辰四月六日上使岡藤太罷越候節				

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO342-6	御条目	天明元年(1781) 8月			継紙
	御自筆之写、財用向御難渋につき、〈端裏〉天明元年丑八月十四日大殿様御登城屋形様御出座ニ而被仰渡候				
AO343-9-2	御条目	(天明5年)(1785) 8月			継紙
	被仰渡御条目並御執達書、「委細者左近様被仰渡并年寄共可及執達もの也」、343-9-1・3と対になる御条目				
AO343-10	御条目	(天明8年)(1788) 正月			継紙
	大儉之仕法相立之御達、「当申年より来戌年迄四六御割合外二百石ニ付銀五拾目御借上被仰付候」				
AO373-1-1	御条目	(寛政年間) (1789~1801) 8月			継紙
	「人方教育之為を存候而学館建立し教導之役々申付候」、〈包紙〉御条目				
AO312-41-2	御条目	(文化8年)(1811) 正月			切紙
	用所造管儀全く御先代之御遺志に基く、〈包紙〉御条目				
AO343-11-1	御条目	(文化13年)(1816) 11月			継紙
	嚴重御簡略に付御達覚、「来子年より三ヶ年中嚴に御簡略に付被仰出候」				
AO343-11-2	御条目	(文化13年)(1816) 11月			継紙
	嚴重御簡略に付御達覚、「七月中廻銅松前沖有て破船之損失有之九月中戸嶋駅焼失能代町火災に付莫大之損失」				
AO343-12-2	御条目	(文政11年)(1828) 9月			継紙
	嚴重御省略の御達、「当子年より来ル辰年迄五箇年中四六割合被仰付候」				
AO343-12-3	御条目	(文政11年)(1828) 9月			継紙
	嚴重御省略の御達、「我等幼年ニて国家之基業を承御目見以下万端無滞相済候」				
AO343-13	御条目	(文政11年)(1828) 9月			継紙
	四六割合申付之執達、343-12-3と同内容、〈包紙〉御簡条書				
AO383-3	御条目	(文政11年)(1828) 9月			継紙
	衣服ほか生活に関する規制、21ヶ条、〈包紙〉御条目				
AO312-46-1	御条目	(天保9年)(1838) 11月			継紙
	余米家口に応じ相渡之御条目、「今年非常之凶作之儀、例年十分之一にも相当候、領内之余米無残蔵入に致置、家口に応じ相渡候」、〈包紙〉御条目				
AO289-4	御条目	(天保13年)(1842) 7月			切紙
	御嫡子雄丸様(義睦)御曹司様と称し奉るべき仰出、〈包紙〉御条目				

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO317-61	御条目 御国目付御取扱方御思食、国目付丹羽五左衛門・三浦甚五郎、〈包紙〉御条目	正月			切紙
AO342-21	御条目 御財用覚、「今年より三ヶ年厳御省略被成置候」	2月			継紙
AO342-31	御条目 手繰相成候面々多少によらず御用銀可被差上覚	2月			継紙
AO342-27	御条目 「去秋作毛至而不熟に付今年一円廻米難相成」、〈端裏〉佐竹大和	3月		(佐竹大和)	継紙
AO342-37	御条目 「財用之儀元来分限に応し数多の諸士も扶助し且不時の物入相重り候」、〈包紙〉御条目	3月			継紙
AO343-26-1	御条目 三ヶ年嚴重之差略相立候仰書	3月			継紙
AO288-48	御条目 豊前守様養子となり修理大夫様と改め向後は若殿様と称し屋形様同様に存じ奉ること、〈包紙〉上意之覚	5月			豎紙
AO317-60	御条目 諸士への仰諭、諸士の風俗を改めるべし	6月			切紙
AO343-20	御条目 御借高三ヶ一之割合被仰付御状	6月			継紙
AO343-22	御条目 三箇年間引続銀穀借上之執達	6月			継紙
AO312-107	御条目 質素儉約や役務勤励の達書	7月			継紙
AO342-22	御条目 御手当被成下之思食方	7月			継紙
AO342-30	御条目 御差支に付執達、「御財用向至而御差支第一蔵入米穀諸収納銀連年相減」	7月			継紙
AO343-16	御条目 「御財用向連々指支近年別而被及逼迫候」、〈端裏〉大館	7月		(大館)	継紙
AO342-28	御条目 御財用に関する仰出、「今年指上高三ヶ一之割合ニ被仰渡候」、〈端裏〉大館	8月		(大館)	継紙

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO342-33	御条目 財用向重畳急迫に付御達書	8月			切紙
AO343-15	御条目 知行高割増を以て借置之御達	8月			継紙
AO343-18	御条目 知行御借上之思召	8月			継紙
AO322.5-5	御条目 3ヶ条、「御公儀大切ニ奉存昼夜無油断相心得可相勤事」ほか	9月7日			切紙
AO312-102	御条目 御自筆御書付写、財用改革の推進について	9月			継紙
AO317-64-2	御条目 御遺領被仰出之御条目、使者は高垣彦右衛門、〈包紙〉御条目	9月			切紙
AO322.5-2	御条目 5ヶ条、「政事法令ハ御先代より之旧式を可守事」、〈端裏〉佐竹大和	9月		(佐竹大和)	切紙
AO342-35	御条目 御財用に関する仰出	9月			継紙
AO383-2	御条目 諸士風俗相衰に付御達ほか	9月			継紙
AO342-34	御条目 去年御借高より今年割増高之内半分積を以て当年斗被返置之思召、〈端裏〉大館	10月		(大館)	切紙
AO312-108	御条目 御遺領被仰出に付御条目、「御遺領相統承認の知らせのため岡百助を差下す」、〈包紙〉御条目	11月			切紙
AO322.5-3	御条目 3ヶ条、〈端裏〉大館	11月		(大館)	切紙
AO322.5-4	御条目 「先般蝦夷地御警固被仰付猶箱館表松前地御警衛向をも相心得候様との御沙汰に候」、〈包紙〉御条目	11月			継紙
AO342-8-2	御条目 仰出並執達書、今年非常之凶作之儀につき	11月			継紙
AO342-25	御条目 御財用向御差問之儀に付御書付、〈包紙〉御書付	11月			継紙

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO342-36	御条目 財用向差支に付御達	11月			継紙
AO342-38	御条目 格段御省略之思召	11月			継紙
AO342-40	御条目 財用向御差支に付御達	11月			切紙
AO343-17	御条目 財用難渋に付御執達、「一昨年非常之凶作にて領民飢饉に相迫候」、「三ヶ年中大儉之仕法相立」	12月			継紙
AO343-25	御条目 御財用に関する思食、「銀札御執行被相正候以来数万両之不足金」、「此度明年廻銅代御前借御心当之内五百貫目相減候」、「銀札通用中品々迷惑之次第も有之候所当秋より通用被改置」	12月			継紙
(2) 執達					
AO343-9-1	執達 被仰渡御条目並御執達書、「此度御家中知行高百石ニ付六拾石小役銀之内百石ニ付文銀五拾目宛右指上」、343-9-2・3と対になる執達	(天明5年)(1785) 8月			継紙
AO373-1-2	執達 「今般格別之思召を以御学館御取建人材御教育被成置候」、373-1-1の御条目と対になる執達	(寛政年間) (1789~1801) 8月			継紙
AO312-41-1	執達 此度御政務之場所被成御造営、〈包紙〉御条目並執達書入 文化八未正月 上使茂木理蔵 (312-41-1~2は同一包紙)	(文化8年)(1811) 正月			継紙
AO343-12-1	執達 嚴重御省略の御達、「去ル寅年江戸三屋敷御類焼以来今年迄二十三箇年」、「当子年より来ル辰年迄五箇年之間御手元之御用を始内外嚴重之御儉約被仰出候」、「今年上野御靈屋向御普請御手伝被蒙」	(文政11年)(1828) 9月			継紙
AO342-7	執達 御財用向御難渋之儀、一昨巳年大凶作ニ付	(天保6年)(1835) 12月			継紙
AO312-46-2	執達 余米家口に応じ相渡之執達	(天保9年)(1838) 11月			継紙
AO343-26-2	執達 三ヶ年嚴重之差略相立候仰書、「此度猶江戸表被仰渡候」	3月			継紙

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO343-28	執達 御省略心得執達書、「今年より来ル巳年迄三ケ年中御家中是迄之御割合之通御借上被成置候」	6月			継紙
AO317-64-1	執達 御遺領被仰出之執達	9月			継紙
AO312-109	執達 朝政御一新につき政令を大変革いたすべし、〈包紙2枚〉①執達②御条目 佐竹大和	10月			継紙
AO312-115	執達 御遺領被蒙仰に付執達、312-108の御条目と対になる執達、〈包紙〉執達	11月			継紙
AO342-8-1	執達 仰出並執達書、「御条目を以被仰出候通今年は古来稀なる凶作ニ而万端之御入物莫大御不足相立候」	11月			継紙
AO342-23	執達 322.5-4の御条目と対になる執達、「先般蝦夷地御警固被蒙仰猶箱館表松前地御警衛向をも相心得候様との御沙汰ニ候」、〈包紙〉執達	11月			継紙

(3) 被仰渡

AO650-1	被仰渡 北比内薪剪山之覚、「剪山御免之証摺之焼印板判長木沢赤沢両所之者共ニ相渡候」	貞享4年(1687) 3月23日	及川南右衛門・ 岡半左衛門	大館板判御調 役人衆	継紙
AO312-122	被仰渡書 元禄から文政の被仰渡の写をまとめたもの	元禄8～文政8年 (1695～1825)			縦帳(30)
AO288-4	被仰渡 御文書御改につき岡本又太郎宅まで文書提出のこと	(元禄10年) (1697)8月			継紙
AO288-8	被仰渡 御附人御尋之書付、高橋・前小屋ほか大館給人の由緒を差し出すこと	元禄15年(1702) 8月		佐竹六郎	継紙
AO288.6-1	被仰渡 御分流之面々紋幕使用に関する御達、御紋幕の使用は軍用であり平時は御前にても使用しないこと	(宝永年間) (1704～1711) 正月			継紙
AO288.6-2	被仰渡 御分流之面々紋幕使用に関する御達、288.6-1と同内容	(宝永年間) (1704～1711) 正月			継紙

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO209-3	被仰渡	正徳4年(1714) 2月5日			切紙
	御目見被仰付之家来並使者脇指之扱仰出、御前にて脇差を帯びるべからず				
AO611-15	被仰渡	享保18年(1733) 12月11日	菊地重左衛門・ 笹村兵左衛門		継紙
	釈迦内村本郷枝郷開出高に付ての覚、〈包紙〉享保十八年丑十二月釈迦内村本郷枝郷共御開出高御取務被遊候御用所より被仰渡候書付入				
AO383-1	被仰渡	(宝暦元年)(1751) 12月		(大館)	継紙
	諸向質樸之思食御達、諸士衣服之儀ほか、〈端裏〉大館				
AO337-1	被仰渡	(宝暦4年)(1754) 9月		(佐竹大和)	継紙
	銀札用上意之覚、〈端裏〉佐竹大和				
AO343-1-1	被仰渡	(宝暦5年)(1755) 11月			継紙
	被仰渡候書付、「領内銀札通用之儀伺相済仕法不容易事故先達而申渡候」、〈包紙〉宝暦五亥ノ年霜月廿一日那珂儀右衛門平沢縫殿を以被仰渡候御書付並老中よりの覚書都合式通入				
AO343-1-2	被仰渡	(宝暦5年)(1755) 11月			継紙
	老中覚書、「銀札通用筋者段々被仰渡候通ニ而近来至り御城下融通宜ク相成候得共在々端々ニ者取請兼候」				
AO343-2	被仰渡	(宝暦7年)(1757) 7月7日			継紙
	銀札御仕法被止置候御趣意ほか				
AO342-14-2	口演	(明和2年)(1765) 3月			継紙
	被仰渡御書付、「知行高百石拾目宛上納銀を二拾目に相増」				
AO343-5-1	被仰渡	(明和5年)(1768) 12月			継紙
	御財用差支に付御借用御達、〈包紙〉明和五年子十二月廿四日上使森川金伍を以被仰渡候御条目並御老中御執達書共ニ式通 (343-5-1~2は同一包紙)				
AO343-6-1	被仰渡	(明和6年)(1769) 9月			継紙
	信太又六を以被仰渡之御書付、「諸運上役銀無滞差上候様可致候」				
AO343-6-2	被仰渡	(明和6年)(1769) 9月		(佐竹大和)	継紙
	信太又六を以被仰渡之御書付、「御家中知行高当丑年より来ル巳年迄五ケ年御借上被成候」、〈端裏〉佐竹大和				
AO343-8-1	被仰渡	(明和9年)(1772) 4月		(佐竹大和)	継紙
	諸事嚴重御省略之御条目、〈端裏〉佐竹大和				

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO342-24	被仰渡	(安永8年)(1779) 5月			継紙
	「知行御扶持役料之内差上」、〈包紙〉安永八年正月御条目 上使加藤伝十郎				
AO343-9-3	被仰渡	(天明5年)(1785) 8月			継紙
	被仰渡御条目並御執達書、左近様御自筆写、343-9-1・2と対になる被仰渡、〈包紙〉上使矢野和十郎ヲ以被仰渡御条目並左近様御自筆写御年寄衆御執達書右三通入 天明五年巳八月十八日				
AO343-23	被仰渡	2月			継紙
	御用銀穀被仰付之覚				
AO343-29	被仰渡	2月			継紙
	銀穀之内差上御弁用有之様に致度覚				
AO317-62	被仰渡	3月7日			継紙
	横手仕置(戸村組下で渋江・梅津が指南となったこと)にならい身共与力之儀も御暇覚悟の上で久保田へ申し上げるべし、〈包紙〉御城より御与下へ被仰渡書付				
AO342-41	被仰渡	3月			継紙
	御財用向覚				
AO343-24	被仰渡	3月			継紙
	銀穀之内多少に関らず存寄次第御用立被成度旨之仰出				
AO288-53	被仰渡	6月29日			切紙
	差し出す系譜の書き方について				
AO317-59	被仰渡	7月			切紙
	「御前ニ而者御病身の御事故若殿様を御養子に被成置候義被仰渡者也」				
AO342-26	被仰渡	7月	(佐竹大和)		継紙
	「今年知行高百石ニ付六拾石禄之高下ニ寄御割を以被借置」、〈端裏〉佐竹大和				
AO343-27-1	被仰渡	7月	(佐竹石見)		継紙
	〈端裏〉佐竹石見、〈包紙〉御書付並覚書				
AO343-27-2	被仰渡	7月	(佐竹石見)		継紙
	此度被仰出候去卯年差上高之内被返下候次第覚、〈端裏〉佐竹石見				
AO369-1	被仰渡	7月			縦帳(2)
	養老御執行御達、「当八月十八日於御学館御积菜養老御執行被成置候」				
AO343-14	被仰渡	8月			継紙
	御財用重畳之御指支に付執達、〈端裏〉佐竹丹後				

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO387-2	江戸表被仰渡御書付写 役儀作法など、〈包紙〉江戸表被仰渡御書付写	亥 8月			継紙
AO312-111	被仰渡写 〈包紙〉上より御与下へ被仰渡御書付写壺通 御与下出仕之節ハ御家老御披露之事有万事御訴訟取次ハ御家老之事	9月7日			切紙
AO342-32	被仰渡 格段之御仕向方思召之覚	9月			継紙
AO342-39-2	御財用覚 「家中之内壺人此表江可被指登候」	11月21日			切紙
AO342-39-1	別紙 「御払今年中御渡方被延置候外無之候」、〈包紙〉覚（342-39-1～2は同一包紙）	11月			継紙
AO342-29	被仰渡 「御財用向御差支之儀は積年之儀ニ而従先代様度々被仰知候」、〈端裏〉佐竹大和	11月	(佐竹大和)		継紙
AO343-19	被仰渡 思慮可被申出旨之申渡	11月			継紙
AO383-4	被仰渡 古風之実儀を相守り質素に被成度覚、7ヶ条	11月			継紙
AO288-60	被仰渡 直丸様御嫡子として次郎様と改め御曹司様と可奉称仰出	12月			切紙
AO343-21	被仰渡 御財用上意之覚、「来成年より五ヶ年中厳に重き儉約之仕法相立候」、〈端裏〉佐竹大和	12月	(佐竹大和)		継紙
AO384-4	被仰渡書 被仰渡の写、「諸祝儀ニ而日夜宴等を致候事堅く不相成候」ほか				縦帳(15)

(4) その他

AO322.5-1	掟書 3ヶ条、武具・衣装・振舞について	慶長14年(1609) 4月1日			切紙
AO317-1	御判紙写	寛永～明治 (1624～1912)			縦帳(95)

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO288-41	古内茂右衛門ほか達書	(元禄9年)(1696) 10月30日	古内茂右衛門ほか 3名		切紙
	佐竹六郎(義武)に嗣子なく末期養子にて佐竹主殿末子猪之助(義方)に家督を譲り、猪之助幼少にて主殿が仕置を行うこと、〈包紙〉書付式通 佐竹六郎分				
AO611-12-2	御判紙	元禄10年(1697) 11月7日	義処	佐竹六郎	継紙
	「九千石六ツ成 大館」ほか、〈包紙〉御判紙				
AO317-4	御文書所達書	元禄13年(1700) 11月	御文書所		継紙
	慶長八年以前之知行御黒印所持方扱之覚、系図並び証文等を提出すること				
AO288.3-3	御文書所達書	元禄14年(1701) 4月13日	(御文書所)	佐竹六郎	切紙
	斎藤喜兵衛由緒之覚、山拋人斎藤和泉と肝煎斎藤喜右衛門の由緒書に不備があるため書付をもって申し出るべし				
AO288.3-2	秋田史館達書	宝永元年(1704) 6月	(秋田史館)	佐竹六郎	切紙
	小林辰之助伝来之御書付覚、伝来之書を記録に載せ返却する				
AO288.3-1	秋田史館達書	宝永4年(1707) 正月	秋田史館	佐竹六郎	切紙
	大畑内記記録類被仰付之覚、青印書				
AO288-16	秋田史館達書	宝永6年(1709) 6月	(秋田史館)	佐竹六郎	継紙
	提出した10通の古文書の返却について、「新作之書ものにて不及写被返付もの也」				
AO288.3-5-2	秋田史館達書	宝永6年(1709) 6月	(秋田史館)	前小屋市右衛門	切紙
	古来の書を御用のため留め置く				
AO288-19-1	御老衆御参覚	享保10年(1725) 7月29日	川井左太夫・ 矢野源太郎		折紙
	御願の口上書熟覧吟味を遂げ追て申し渡すべし				
AO288-20	長瀬徳右衛門・大山文右衛門 を以御老中より御挨拶覚	(享保10年)(1725) 9月16~21日			継紙
	義久先祖に関する本藩家老とのやりとりをまとめたもの、〈包紙〉御家柄之儀ニ付御用所御老衆御参書其□□候御書付 享保十年巳				
AO288-19-4	渋江宇右衛門被仰渡候覚	(享保10年)(1725) 9月21日			切紙
	9月21日御用所で大塚九郎兵衛・黒沢宇一郎へ申渡、288-20に覚の内容あり				
AO288-21	老衆より之答書	(享保10年)(1725) 9月21日			継紙
	巳九月廿一日佐竹石見願被頼大塚九郎兵衛黒沢宇一郎ニ申渡覚、口上書并覚書共ニ預置候、〈包紙〉巳ノ年秋老衆より之答書				

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO312-11	若殿様御口上之覚	享保17年(1732) 5月			継紙
	若殿様(義堅)屋形様の御養子となる御礼首尾能被仰上候、山方清兵衛を差し下し仰せ遣わす、(包紙3枚) ①若殿様御口上書一通②若殿様御口上書一通 享保十七年子閏五月九日御飛脚を以到来③御口上之覚 佐竹石見江				
AO312-28	佐竹壱岐守・佐竹求馬達書	(宝暦8年)(1758) 8月1日	壱岐守・求馬		継紙
	屋形様御幼年につき御達写				
AO312-88	主計より御用状写并指控口上書写	(明和元年)(1764) 11月8日～14日	佐竹主計		縦帳(11)
	今宮大学・石塚市正の罪科の御条目について、将監・山城が写し大和に送ったもの				
AO312-96-4	今宮大学罪科申渡書	(明和元年)(1764) 11月		今宮大学	継紙
	今宮大学・石塚市正御科之一件、「御役召放生生涯蟄居被仰付」、上使小瀬縫殿助・組頭御刀番小野崎斎				
AO312-96-5	石塚市正罪科申渡書	(明和元年)(1764) 11月		石塚市正	継紙
	今宮大学・石塚市正御科之一件、「知行高三ヶ一召上生涯蟄居被仰付」、上使和田掃部助・御用人後藤七右衛門				
AO343-7	口達之覚	(明和9年)(1772) 3月		(大館)	継紙
	六郡在々江銀穀調達の儀口達之覚、(端裏)大館、(包紙)菅谷喜太郎黒木忠兵衛被指越ニ付御年寄中より之口達書壱通 明和九年辰四月四日				
AO317-57	向政芳ほか達書	安永2年(1773) 8月11日	向庄九郎政芳ほか 4名	佐竹石見(義種)	折紙
	御出仕之節被下物についての証文、家督出仕につき儉約中故太刀馬代金百疋のみ、(包紙)証文				
AO317-15	大越範国ほか達書	寛政元年(1789) 7月29日	大越源十郎範国 ほか2名	佐竹石見(義幹)	折紙
	佐竹義種御家督之節之御証文、継目御礼の御道具拝領は儉約中故太刀馬代金百疋のみ、(包紙)証文、(包紙貼札)義種公御家督御先規被仰立候節御渡候証文				
AO317-56	梅津忠喬ほか達書	享和3年(1803) 8月17日	梅津藤十郎忠喬 ほか2名	佐竹石見(義幹)	折紙
	御出仕之節被下物についての証文、家督出仕につき儉約中故太刀馬代金百疋のみ、(包紙)				
AO317-17	向政伊ほか達書	文政8年(1825) 9月26日	向右近政尹ほか2名	佐竹参河(義茂)	折紙
	佐竹参河出仕之際之御証文、出仕の際の御道具拝領は儉約中故太刀馬代金百疋のみ、(包紙)証文				
AO312-45	御巡見様御向触写	天保9年(1838) 4月			縦帳(10)
	五月二日相達				

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO288-24	家系取調之儀達写 安永年間の本丸焼失後の系図取調について	3月			縦帳(9)
AO288-42-1	老衆答書 先代六郎に下された系図・御証文や伝来の覚に相違あり口上書留置候、〈包紙〉巳之秋系譜之儀申立候節之書付(288-42-1~3は同一包紙)	巳 9月10日	大塚九郎兵衛・黒沢宇市郎	御取次長瀬徳左衛門・大山文右衛門	折紙
AO343-30	別紙箇条覚 知行借上に関する達書写、御家中知行半知御割合に而被召上之覚ほか	11月			縦帳(19)
AO317-65	町触 「近年風俗おとろへ万端不行迹之者有之、屋舗屋舗火之本弥念を入下候」				継紙

(5) 回文・判紙(西家当主→家人)

AO317-34	御判紙写 小林家に伝わる西家当主からの判紙をまとめたもの	永禄~嘉永 (1558~1854)	小林兵左衛門		縦帳(65)
AO386-23-1	回文 伯母多賀谷家知母病氣療養から帰宅、(宛先)梅沢三治・城忠誠・池田帛橋・小瀬伊教・伊藤保吉・中川清・神沢胤綱・神沢理吉・佐藤才記・加藤左門(清友)・石川新・大山甲蔵・井上金吾・小野崎剛太・阿久津三之允・大腰源吉・古川鉄之助・横山玄隆、〈包紙〉回文 佐竹義純 卅日返ス(386-23-1~2は同一包紙)	3月27日	佐竹義純	梅沢三治ほか 17名	継紙
AO386-23-2	回文 伯母死去につき4月5日まで忌、〈端裏〉卅日返ル、(宛先)386-23-1と同じ	3月28日	佐竹義純	梅沢三治ほか 17名	継紙

2 上申文書

(1) 願書・届書

AO312-106-4	惣給人願書 長寿様御閑居に関する書状、「若殿様幼年につき御隠居の御訴訟御延引被遊被下候」	(天和3年)(1683) 閏5月22日	惣給人		継紙
AO288-1	前小屋伝右衛門ほか願書 義房の隠居御暇の届について	天和3年(1683) 閏5月23日	前小屋伝右衛門 ほか3名	御膳番衆中	継紙

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO312-106-1	佐竹義房願書 長寿様御閑居に関する書状、〈包紙〉上 長寿様御閑居ニ付〜御書付四通 生田目隼人田中三右衛門 (312-106-1〜4は同一包紙)	(天和3年)(1683) 6月15日	(佐竹義房)		切紙
AO312-106-2	佐竹義房願書写 長寿様御閑居に関する書状、312-106-1の写	(天和3年)(1683) 6月15日	(佐竹義房)		切紙
AO312-106-3	佐竹義房願書写 長寿様御閑居に関する書状、312-106-1の写	(天和3年)(1683) 6月15日	(佐竹義房)		切紙
AO312-99	佐竹義房願書 口上書案、閑居御暇の願、後半は312-106と同内容	(天和3年)(1683)	(佐竹義房)		切紙
AO288.3-6	佐竹六郎願書 前小屋市右衛門願出之趣、「市右衛門の願い通り本名小場に改めること宜しく被仰上」	(宝永年間) (1704〜1711) 9月20日	佐竹六郎		切紙
AO185-1	常秀寺上書 当寺開基の法名について、〈包紙〉上 二 常秀寺	正徳5年(1715) 6月9日	長雄山常秀寺現住 運竜	前小屋民部・ 平山半左衛門	切紙
AO186-1	御系図之儀に付遍照院江七日之御行被仰付御祈禱有之候時御立願之覚	正徳6年(1716) 4月19日			継紙
AO312-12	御山見共回答書 津軽領との山境についての経緯をまとめたもの	延享3年(1746) 5月8日	御山見久助ほか2名		横帳(6)
AO312-32	御答書 右者箕作茂左衛門ニ御答申上候書附扣大学自筆、草稿	宝暦11年(1761) 9月23日	佐竹主計ほか5名		縦帳(5)
AO327-1	角館給人御尋并御答書四通写 佐竹主計組下角館給人与頭蓮沼七左衛門口上ほか	明和4年(1767) 10月			縦帳(15)
AO288-35-2	御直書御別紙御答	(明和4年)(1767)			継紙
AO288-27	佐竹義茂願書 御座順被仰立、座列についての願書、288-28と同内容、草稿	(嘉永年間) (1848〜1854) 8月	佐竹近江(義茂)		横帳(3)
AO288-28	佐竹義茂願書 家筋之覚、288-27と同内容	(嘉永年間) (1848〜1854) 8月	佐竹近江(義茂)		横帳(3)

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO288-47	佐竹義茂願書 座列についての願書、前半は288-27・28と同内容	(嘉永年間) (1848~1854) 10月	佐竹近江(義茂)		縦帳(4)
AO317-18	義茂公御代御席順被仰立二御別紙合冊 南家との座列について	嘉永6年(1853) 8月			縦帳(45)
AO317-19	義茂公御代御席順被仰立御別紙 317-18の御別紙と同内容	嘉永6年(1853) 10月			縦帳(53)
AO317-53-1	佐竹石見願書 淡路私列座之儀	辰 2月30日	御名所(佐竹石見)		横帳(2)
AO317-53-2	佐竹石見覚 317-53-1と同内容	辰 2月27日	御名所(佐竹石見)		横帳(2)
AO317-66	佐竹石見願書草稿 〈包紙〉覚、317-53-2の草稿	2月27日	(佐竹石見)		継紙
AO317-49	佐竹石見願書草稿 317-53-1の草稿、〈包紙〉司筆書付 式通 (二枚)	2月30日	(佐竹石見)		横帳(2)
AO386-19	某届書 義統卒年月日法名御書付可被差出	辰 7月23日			切紙
AO317-52	羽生七兵衛願書 出府御免之願書、病にて同姓弁之助代わりに出府の願	7月	羽生七兵衛		折紙
AO288.3-4	羽生新七願書 御系図並御附人等之儀に付覚、羽生将監の子孫と申者について公儀からの御尋に対する回答	11月13日	羽生新七		継紙
AO317-51	歎願書 佐竹九郎家中歎願書、「私共主家久府へ移住被仰付候につき私共儀数百年の奉公により御召立被成下候事」		佐竹九郎家中一統		縦帳(2)

(2) 巡見使回答

AO312-13	此度御巡見様御尋二付申上候事 巡見使の質問に対する小繫村の回答	延享3年(1746) 5月20日	小繫村肝煎太郎兵衛・同村長百姓与次右衛門	下遠采女	継紙
----------	------------------------------------	---------------------	----------------------	------	----

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO312-19	御巡見様御通被遊候節御答 申上候覚 巡見使の質問に対する岩瀬村の回答	延享3年(1746) 5月20日	岩瀬村肝煎太左衛門 ほか2名	下遠采女	縦帳(6)
AO312-20	御巡見様御通被遊候節御案 内二罷出御尋二付御答申上 候覚 巡見使の質問に対する前山村の回答	延享3年(1746) 5月20日	前山村肝煎三左衛門	下遠采女	縦帳(9)
AO312-23	御巡見様御尋二付御答申上 候覚帳 巡見使の質問に対する綴子村の回答	延享3年(1746) 5月20日	綴子村肝煎八郎兵衛 ほか2名	下遠采女	縦帳(9)
AO312-25	御巡見様御通御尋御答申上 書上帳 巡見使の質問に対する川口村の回答	延享3年(1746) 5月20日	川口村肝煎七郎兵衛 ほか4名	下遠采女	縦帳(8)
AO312-26	御巡見様御扱之覚 「巡見様通り被遊候二付歩伝馬碓関迄当所寄郷共ニ先年之通り通シニ参候」、〈包紙〉白沢村	延享3年(1746) 5月21日	白沢村肝煎源右衛門 ほか3名	塩谷孫左衛門	切紙
AO312-18	御案内之覚 巡見使の質問に対する長坂村の回答、〈包紙〉上 長坂村	延享3年(1746) 5月22日	長坂村肝煎与五左衛門・同村長百姓喜左衛門	前小屋新蔵人	継紙
AO312-17	御巡見様御通被遊候節御案 内仕御尋二付御答申上候御書 巡見使の質問に対する釈迦内村の回答、21日に小田内助右衛門・小松三左衛門に提出、〈包紙〉上 釈迦内村	延享3年(1746) 5月23日	釈迦内村肝煎庄左衛門 ほか2名	塩谷孫左衛門	継紙
AO312-15	御答申上候口上書 巡見使の質問に対する今泉村の回答、〈包紙〉上 秋田郡北比内今泉村	延享3年(1746) 5月24日	今泉村肝煎十右衛門 ほか2名	下遠采女	継紙
AO312-22	御巡見様御通之節御尋品々 御答書上帳 巡見使の質問に対する早口村の回答	延享3年(1746) 5月25日	早口村肝煎多兵衛・同村長百姓又八	下遠采女	縦帳(6)
AO312-24	御巡見様此度御通被遊諸事 御尋二付御答書上ケ帳 巡見使の質問に対する餅田村の回答	延享3年(1746) 5月25日	肝煎五郎兵衛・同嘉左衛門		縦帳(12)
AO312-14	山口勘兵衛様御尋被遊候覚 巡見使の質問に対する坊沢村の回答、〈包紙〉上 坊沢村	延享3年(1746) 5月29日	坊沢村肝煎平兵衛・同村長百姓藤右衛門	下遠采女	継紙

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO312-16	御尋申上候覚	延享3年(1746) 5月	長走村肝煎弥太郎 ほか2名		継紙
	山口勘兵衛様御家来衆御尋申上候覚、巡見使の質問に対する長走村の回答、〈包紙〉上 長走村				
AO312-21	御巡見様江御尋二付申上口 上覚帳	延享3年(1746) 5月	白沢村源右衛門 ほか2名	塩谷孫左衛門	縦帳(8)
	巡見使の質問に対する白沢村の回答				
AO317-12	角館江御尋御答書写	明和4年(1767) 10月2日～19日			縦帳(17)
	国目付の質問に対する回答をまとめたもの				

3 藩主直書

(1) 義処

AO387-9-1	佐竹義処御直書	(延宝8年)(1680) 5月23日	義処	佐竹石見	折紙
	「公方様(家綱) 今月八日薨去館林宰相様御養君被仰出」、〈包紙〉御書				
AO387-10-13	佐竹義処御直書	(元禄12年)(1699) 4月28日	義処	佐竹六郎	折紙
	「十二日在所被下御暇同日登城御礼申上候」、〈包紙〉佐竹六郎殿 義処、〈包紙裏書〉元禄十二年卯ノ五月十二日ニ参候御町送ニて御老中より参候				
AO387-10-3	佐竹義処御直書	(元禄13年)(1700) 4月28日	義処	佐竹六郎	折紙
	「二日着府四日登城参勤之御礼申上候」、〈包紙〉佐竹□□ 義処、〈包紙裏書〉元禄十三年辰四月廿八日御尋にて参候御直書				
AO387-11-2	佐竹義処御直書	正月6日	義処	佐竹六郎	折紙
	年賀御挨拶、「二日登城年頭御礼申上候」、〈包紙〉佐竹六郎殿 義処				
AO387-11-3	佐竹義処御直書	正月6日	義処	佐竹六郎	折紙
	年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼申上候」、〈包紙〉佐竹□□□ 義処				
AO387-11-4	佐竹義処御直書	正月6日	義処	佐竹六郎	折紙
	年賀御挨拶、「二日登城年頭之御礼申上候」、〈包紙〉佐竹六郎殿 義処				
AO387-11-7	佐竹義処御直書	正月6日	義処	佐竹六郎	折紙
	年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼申上御盃頂戴時服拝領満悦」、〈包紙〉佐竹六郎殿 義処				
AO387-11-6	佐竹義処御直書	正月7日	義処	佐竹六郎	折紙
	年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼申上候」、〈包紙〉佐竹六郎殿 義処				

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO387-11-8	佐竹義処御直書 年賀御挨拶、「二日登城首尾能御礼申上候」	正月7日	義処	佐竹六郎	折紙
AO387-11-5	佐竹義処御直書 年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼申上候満悦」、〈包紙〉佐竹六郎殿 義処	正月9日	義処	佐竹六郎	折紙
AO387-11-1	佐竹義処御直書 年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼申上大悦」、〈包紙〉佐竹六郎殿 義処	正月21日	義処	佐竹六郎	折紙
AO387-10-6	佐竹義処御直書 「十一日着府十五日登城参勤之御礼申上候」、〈包紙〉佐竹六郎殿 義処	4月16日	義処	佐竹六郎	折紙
AO387-10-8	佐竹義処御直書 「十三日参着十五日参勤之御礼被仰付之」、〈包紙〉佐竹六郎殿 義処	4月16日	義処	佐竹六郎	折紙
AO387-9-6	佐竹義処御直書 「道中無恙十三日参府十八日御礼相濟」、〈包紙〉佐竹石見殿 右京	4月21日	右京義処	佐竹石見	折紙
AO387-10-7	佐竹義処御直書 「廿一日帰国之御暇被仰出廿二日登城御礼申上候」、〈包紙〉佐竹六郎殿 義処	4月23日	義処	佐竹六郎	折紙
AO387-10-4	佐竹義処御直書 「十四日上使在所被下御暇十五日登城御礼申上候」、〈包紙〉佐竹六郎殿 義処	4月26日	義処	佐竹六郎	折紙
AO387-10-2	佐竹義処御直書 「十二日着府廿一日登城参勤之御目見申上候」、〈包紙〉佐竹六郎殿 義処	4月27日	義処	佐竹六郎	折紙
AO387-10-10	佐竹義処御直書 「十三日参府廿二日参勤之御礼申上之」、〈包紙〉佐竹六郎殿 義処	4月27日	義処	佐竹六郎	折紙
AO387-9-4	佐竹義処御直書 「十二日参府廿六日参勤之御礼相濟」、〈包紙〉佐竹石見殿 右京	4月29日	右京義処	佐竹石見	折紙
AO387-10-14	佐竹義処御直書 「廿六日在所御暇被下之廿七日登城御礼申上候」、〈包紙〉佐竹六郎殿 義処	5月2日	義処	佐竹六郎	折紙
AO387-10-9	佐竹義処御直書 「廿一日帰国之被下御暇同日登城御礼申上候」、〈包紙〉佐竹六郎殿 義処	5月6日	義処	佐竹六郎	折紙
AO387-10-11	佐竹義処御直書 「十三日参府十五日登城参勤之御目見申上候」、〈包紙〉佐竹六郎殿 義処	5月7日	義処	佐竹六郎	折紙
AO387-10-1	佐竹義処御直書 「修理事初而之入国之条可被致満悦候」、〈包紙〉佐竹六郎殿 義処	6月19日	義処	佐竹六郎	折紙

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO387-9-2	佐竹義処御直書 「其方病氣無油断保養尤候」、〈包紙〉佐竹石見殿 義処	8月4日	義処	佐竹石見	折紙
AO387-9-3	佐竹義処御直書 「小場幽齋病氣不相叶先頃死去」、〈包紙〉佐竹石見殿 義処	8月5日	右京義処	佐竹石見	折紙
AO387-10-12	佐竹義処御直書 「四郎三郎儀遠慮仕罷有候段達上聞被遊御免候」、〈包紙〉佐竹六郎殿 義処	8月10日	義処	佐竹六郎	折紙
AO387-10-5	佐竹義処御直書 「参河儀被相果無心元候」、〈包紙〉小場六郎殿 義処	11月18日	義処	小場六郎	折紙
AO387-9-5	佐竹義処御直書 「蜜柑一箱相贈候可有賞味候」、〈包紙〉徳雲院様御直書蜜柑御拝領之御書也	11月22日	義処	佐竹石見	折紙

(2) 義格

AO387-14-3	佐竹義格御直書 年賀御挨拶、「三日登城家督初而年始之御礼首尾克申上候」、〈包紙2枚〉①御直書老通 元禄十七年申ノ正月十一日久保田ニ御拝領（裏書）右ハ御目代様被遊御座候節②佐竹六郎殿 義格	(元禄17年)(1704) 正月3日	義格	佐竹六郎	折紙
AO387-14-6	佐竹義格御直書 年賀御挨拶、「三日登城年始之御礼首尾好申上候」、〈包紙3枚〉①御直書 渋江内膳殿より正月廿一日之御目付ニ而御届被成候同廿五日ニ当着申候 宝永四年丁亥正月廿六日②佐竹六郎殿 義格	(宝永4年)(1707) 正月3日	義格	佐竹六郎	折紙
AO387-14-2	佐竹義格御直書 年賀御挨拶、「二日叙任初而年始之御礼首尾克申上候」	正月3日	義格	佐竹六郎	折紙
AO387-14-4	佐竹義格御直書 年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾好申上候」、〈包紙〉佐竹六郎殿 大膳	正月3日	大膳義格	佐竹六郎	折紙
AO387-14-5	佐竹義格御直書 年賀御挨拶、「三日登城年始御礼首尾能申上候」、〈包紙〉佐竹六郎殿 義格	正月3日	義格	佐竹六郎	折紙
AO387-14-7	佐竹義格御直書 年賀御挨拶、「三日登城年始之御礼首尾好申上候」、〈包紙〉佐竹六郎殿 義格	正月3日	義格	佐竹六郎	折紙
AO387-14-8	佐竹義格御直書 年賀御挨拶、「三日登城年始之御礼首尾好申上候」、〈包紙3枚〉①宝永二乙二月二日ニ御直書御拝領②御直書 老通③佐竹六郎殿 義格	正月3日	義格	佐竹六郎	折紙

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
(3) 義峰					
AO387-16-9	佐竹義峰御直書	(享保6年)(1721) 正月3日	右京義峰	佐竹石見	折紙
年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾能申上候」、〈包紙2枚〉①享保六年丑ノ二月三日 御直書老通②佐竹石見殿 右京					
AO387-17-9	佐竹義峰御直書	(享保9年)(1724) 4月15日	右京義峰	佐竹石見	折紙
「七日着府十五日登城参勤之御礼申上」、〈包紙〉御直書 享保九年辰壬四月廿一日仕舞屋形様御参勤被遊候御知せ					
AO387-17-14	佐竹義峰御直書	(享保11年)(1726) 4月14日	右京義峰	佐竹石見	折紙
「朔日着府十三日登城参勤之御礼申上」、〈包紙2枚〉①御直書(裏書) 享保十一年午ノ四月中御小人御飛脚ニ而参候②佐竹石見殿 右京					
AO387-17-15	佐竹義峰御直書	(享保13年)(1728) 4月1日	右京義峰	佐竹石見	折紙
「廿四日着府朔日登城参勤之御礼申上」、〈包紙2枚〉①享保十三年申ノ四月十日到来②佐竹石見殿 右京					
AO387-16-8	佐竹義峰御直書	(寛保3年)(1743) 正月3日	右京義峰	佐竹石見	折紙
年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾好申上候」、〈包紙3枚〉①御直書 江幡藤治右衛門・同勇治 寛保三年亥ノ八月五日ニ御渡仕舞申候 当正月之直書②御直書③佐竹石見殿 右京					
AO387-17-4	佐竹義峰御直書	(延享元年)(1744) 4月15日	右京義峰	佐竹石見	折紙
「六日着府十五日登城参勤之御礼申上」、〈包紙3枚〉①延享元年子七月七日仕廻 御直書 江幡藤治右衛門・馬場目友弥②御直書③佐竹石見殿 右京					
AO387-17-10	佐竹義峰御直書	(延享3年)(1746) 4月15日	右京義峰	佐竹石見	折紙
「朔日着府十五日登城参勤之御礼申上」、〈包紙2枚〉①延享三年寅五月二十五日仕廻 御直書 江幡隼人・羽生七兵衛②佐竹石見殿 右京					
AO387-17-6	佐竹義峰御直書	(延享5年)(1748) 4月11日	右京義峰	佐竹石見	折紙
「二日着府十一日登城参勤之御礼申上」、〈包紙3枚〉①延享五年辰ノ五月三日 御直書②御直書③佐竹石見殿 右京					
AO387-16-4	佐竹義峰御直書	(寛延2年)(1749) 正月3日	右京義峰	佐竹石見	折紙
年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾好申上候」、〈包紙3枚〉①御直書 寛延貳年巳正月廿八日到来 巳ノ五月十六日仕舞 江幡隼人・江幡勇治・平河八五郎②御直書③佐竹石見殿 右京					
AO387-16-1	佐竹義峰御直書	正月3日	右京義峰	佐竹石見	折紙
年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾能申上候」、〈包紙2枚〉①御直書②佐竹石見殿 右京					
AO387-16-2	佐竹義峰御直書	正月3日	右京義峰	佐竹石見	折紙
年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾能申上候」、〈包紙2枚〉①御直書②佐竹石見殿 右京					

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO387-16-3	佐竹義峰御直書 年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾能申上候」、〈包紙2枚〉①御直書②佐竹石見殿 右京	正月3日	右京義峰	佐竹石見	折紙
AO387-16-6	佐竹義峰御直書 年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾好申上候」、〈包紙2枚〉①御直書②佐竹石見殿 右京	正月3日	右京義峰	佐竹石見	折紙
AO387-16-7	佐竹義峰御直書 年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾能申上候」、〈包紙2枚〉①御直書②佐竹石見殿 右京	正月3日	右京義峰	佐竹石見	折紙
AO387-16-11	佐竹義峰御直書 年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾好申上候」、〈包紙2枚〉①御直書②佐竹石見殿 右京	正月3日	右京義峰	佐竹石見	折紙
AO387-16-12	佐竹義峰御直書 年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾能申上候」、〈包紙2枚〉①御直書一通②佐竹石見殿 右京	正月3日	右京義峰	佐竹石見	折紙
AO387-17-8	佐竹義峰御直書 年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾好申上候」、〈包紙〉佐竹石見殿 右京	正月3日	右京義峰	佐竹石見	折紙
AO387-16-5	佐竹義峰御直書 年賀御挨拶、「年始之規式無滯段々相済候」、〈包紙2枚〉①御直書 入②佐竹石見殿 右京	正月7日	右京義峰	佐竹石見	折紙
AO387-15	佐竹義峰御直書 年賀御挨拶、別紙(2月14日入記)あり、〈包紙〉佐竹近江殿 次郎	2月1日	右京義峰	佐竹石見	折紙
AO387-16-10	佐竹義峰御直書 「五日着府十五日登城参勤御礼申上」、〈包紙〉佐竹石見殿 右京	4月15日	右京義峰	佐竹石見	折紙
AO387-17-2	佐竹義峰御直書 「廿八日着府十五日登城参勤之御礼申上」、〈包紙〉佐竹石見殿 右京	4月15日	右京義峰	佐竹石見	折紙
AO387-17-3	佐竹義峰御直書 「五日着府十五日登城参勤之御礼申上」、〈包紙2枚〉①御書②佐竹石見殿 右京	4月15日	右京義峰	佐竹石見	折紙
AO387-17-5	佐竹義峰御直書 「七日着府十五日登城参勤之御礼申上」、〈包紙〉佐竹石見殿 右京	4月15日	右京義峰	佐竹石見	折紙
AO387-17-7	佐竹義峰御直書 「六日着府十五日登城参勤之御礼申上」、〈包紙〉佐竹石見殿 右京	4月15日	右京義峰	佐竹石見	折紙
AO387-17-11	佐竹義峰御直書 「七日着府十三日登城参勤之御礼申上」、〈包紙〉佐竹石見殿 右京	4月15日	右京義峰	佐竹石見	折紙

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO387-17-12	佐竹義峰御直書	4月15日	右京義峰	佐竹石見	折紙
	「二日着府十五日登城参勤之御礼申上」、〈包紙2枚〉①御直書②佐竹石見殿 右京				
AO387-17-13	佐竹義峰御直書	4月15日	右京義峰	佐竹石見	折紙
	「八日着府十五日登城参勤之御礼申上」、〈包紙2枚〉①御直書②佐竹石見殿 右京				
AO387-17-1	佐竹義峰御直書	10月15日	右京義峰	佐竹石見	折紙
	「朔日着府十五日登城参勤之御礼申上」、〈包紙〉佐竹石見殿 右京				

(4) 義真

AO387-21-1	佐竹義真御直書	(寛延3年)(1750) 正月3日	左兵衛義真	佐竹大和	折紙
	年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾好申上候」、〈包紙3枚〉①寛延三年庚午正月廿四日ニ到来 御直書 午ノ二月五日 江幡勇治・中村喜三郎兩人仕舞②御直書③佐竹大和殿 左兵衛				
AO387-20-1	佐竹義真御直書	(寛延4年)(1751) 正月3日	左兵衛義真	佐竹大和	折紙
	年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾好申上候」、〈包紙3枚〉①寛延四年未ノ二月十四日江幡隼人・同金五郎仕舞候 御直書老通 御小人御飛脚赤田弥七郎組新兵衛持参②佐竹大和殿 左兵衛③御直書				
AO387-21-2	佐竹義真御直書	(宝暦2年)(1752) 4月12日	左兵衛義真	佐竹大和	折紙
	「二日着府十二日登城参勤之御礼申上」、〈包紙3枚〉①宝暦貳年申ノ四月廿九日到来 御直書 当番江幡勇治・原野源八 申ノ五月三日ニ仕舞②佐竹大和殿 左兵衛③御直書				
AO387-20-2	佐竹義真御直書	(宝暦3年)(1753) 正月3日	左兵衛義真	佐竹大和	折紙
	年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾好申上候」、〈包紙3枚〉①宝暦三年酉二月十二日到来同十五日仕舞 御直書 山片与一郎・江幡藤治右衛門②御直書 ③佐竹大和殿 左兵衛				
AO387-21-3	佐竹義真御直書	4月15日	左兵衛義真	佐竹大和	折紙
	「十三日初而御暇被仰出之」、〈包紙〉佐竹大和殿 左兵衛				

(5) 義局

AO387-22-2	佐竹義局御直書	(寛延4年)(1751) 4月15日	右京義局	佐竹大和	折紙
	「十一日初而御暇被仰出之」、〈包紙2枚〉①寛延四年辛未五月二日到来 御直書 同三日ニ仕舞 当番江幡勇治・平河八五郎②佐竹大和殿 右京				
AO387-23-1	佐竹義局御直書	(宝暦5年)(1755) 正月3日	右京義局	佐竹大和	折紙
	年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾好申上候」、〈包紙3枚〉①宝暦五年亥二月十九日到来 御直書 当番山片与一郎・中村喜三郎 同五年亥五月八日仕舞②御直書③佐竹大和殿 右京				

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO387-23-3	佐竹義局御直書	(宝暦7年)(1757) 正月3日	右京義局	佐竹大和	折紙
	年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾好申上候」、〈包紙2枚〉①宝暦七年丑二月十八日到来 御直書②佐竹大和殿 右京				
AO387-23-2	佐竹義局御直書	正月3日	右京義局	佐竹大和	折紙
	年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾好申上候」、〈包紙2枚〉①御直書②佐竹大和殿 右京				
AO387-22-1	佐竹義局御直書	4月13日	右京義局	佐竹大和	折紙
	「九日着府十三日登城参勤之御礼申上」、〈包紙2枚〉①佐竹大和殿 右京②御直書老通				
(6) 義敦					
AO387-25-4	佐竹義敦御直書	(明和2年)(1765) 正月3日	右京義敦	佐竹大和	折紙
	年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾好申上候」、〈包紙2枚〉①御直書 明和二乙酉載二月八日御飛脚ヲ以相達ス②佐竹大和殿 右京				
AO387-24-8	佐竹義敦御直書	(明和3年)(1766) 4月22日	右京義敦	佐竹大和	折紙
	「七日着府廿二日登城参勤之御礼申上」、〈包紙2枚〉①御直書 明和三年丙戌五月十三日以御飛脚相達②御直書				
AO387-25-2	佐竹義敦御直書	(明和4年)(1767) 正月5日	右京義敦	佐竹大和	折紙
	年賀御挨拶、〈包紙2枚〉①御直書 明和四丁亥歳二月九日御飛脚ヲ以到来②佐竹大和殿 右京				
AO387-26-4	佐竹義敦御直書	(明和5年)(1768) 4月15日	右京義敦	佐竹右膳	折紙
	「六日着府十五日登城参勤御礼申上」、〈包紙2枚〉①御参勤之御直書 明和五子年五月四日以御飛脚達ス②佐竹右膳殿 右京				
AO387-27	佐竹義敦御直書	(明和6年)(1769) 正月3日	右京義敦	佐竹右膳	折紙
	年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾好申上候」、〈包紙2枚〉①御直書 明和六年己丑二月十二日相達候 当番斎藤大蔵・原野兵之進②佐竹右膳殿 右京				
AO387-24-6	佐竹義敦御直書	(明和7年)(1770) 4月15日	右京義敦	佐竹大和	折紙
	「九日着府十五日登城参勤之御礼申上」、〈包紙2枚〉①明和七庚寅年五月四日以御飛脚達 御直書老通 御参勤ニ付被下之②佐竹大和殿 右京				
AO387-25-9	佐竹義敦御直書	(明和8年)(1771) 正月3日	右京義敦	佐竹大和	折紙
	年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾好申上候」、〈包紙2枚〉①年始御直書以御飛脚相達ス 御用番土屋弥五左衛門添状別ニ有リ 明和八卯正月廿六日②佐竹大和殿 右京				
AO387-24-4	佐竹義敦御直書	(明和9年)(1772) 5月15日	右京義敦	佐竹大和	折紙
	「五日着府十五日登城参勤之御礼申上」、〈包紙3枚〉①以御飛脚御用番自平元茂助達 御直書 明和九辰年六月七日②御直書③佐竹大和殿 右京				

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO387-25-6	佐竹義敦御直書 年賀御挨拶、〈包紙3枚〉①御直書 安永二巳年二月廿日ニ相達ス②上③佐竹大和殿 右京	(安永2年)(1773) 正月3日	右京義敦	佐竹大和	折紙
AO387-24-2	佐竹義敦御直書 「廿四日着府朔日登城参勤之御礼申上」、〈包紙2枚〉①御用番從梅津小右衛門以御飛脚達 御直書 安永三甲午年就御参勤六月三日②佐竹大和殿 右京	(安永3年)(1774) 5月1日	右京義敦	佐竹大和	折紙
AO387-25-3	佐竹義敦御直書 年賀御挨拶、〈包紙2枚〉①御直書 安永四年乙未二月六日御用番ニ付自岡本又太良以御飛脚達②佐竹大和殿 右京	(安永4年)(1775) 正月3日	右京義敦	佐竹大和	折紙
AO387-24-1	佐竹義敦御直書 「五月廿四日着府今朔日初而登城万端首尾好候」、〈包紙3枚〉①安永五年申十月六日以御飛脚達ス 御直書 例年之通五月御参勤ニ被得候此度御直書頂戴 御用番細井伝右衛門ヨリ書状添②御直書③佐竹大和殿 右京	(安永5年)(1776) 9月1日	右京義敦	佐竹大和	折紙
AO387-24-7	佐竹義敦御直書 年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾好申上候」、〈包紙3枚〉①安永六年丁酉二月十一日 御直書 御用番ニ付自真壁掃部之助以御飛脚達②御直書③佐竹大和殿 右京	(安永6年)(1777) 正月3日	右京義敦	佐竹大和	折紙
AO387-25-8	佐竹義敦御直書 年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾好申上候」、〈包紙3枚〉①御直書 安永八巳亥年二月四日御飛脚到来 御家老御用番須田美濃ヨリ書状別ツニ有②御直書③佐竹大和殿 右京	(安永8年)(1779) 正月3日	右京義敦	佐竹大和	折紙
AO387-25-1	佐竹義敦御直書 年賀御挨拶、〈包紙2枚〉①御直書 安永九庚子年二月十三日御用番戸村一学奉り書状添以御飛脚達ス②佐竹大和殿 右京	(安永9年)(1780) 正月3日	右京義敦	佐竹大和	折紙
AO387-24-5	佐竹義敦御直書 「就病氣去年中より当春中迄滞府致養生朔日病後初而登城御礼申上」、〈包紙3枚〉①御直書入②安永九庚子七月廿日以御飛脚達ス 御直書(裏書) 去年有訳ケ御病養生之仍御願被遊御滞府今度御全快御登城御参勤御礼被仰上ニ付賜此尊書御用番戸村一学書帖添③佐竹大和殿 右京	(安永9年)(1780) 6月6日	右京義敦	佐竹大和	折紙
AO387-25-5	佐竹義敦御直書 年賀御挨拶、〈包紙2枚〉①御直書 安永十辛丑年二月四日以御飛脚達ス 御用番小瀬亦七郎書帖添②佐竹大和殿 右京	(安永10年)(1781) 正月3日	右京義敦	佐竹大和	折紙
AO387-26-3	佐竹義敦御直書 「朔日参府以後初而登城御礼申上」、〈包紙3枚〉①御直書入②御直書一通 天明二壬寅年七月廿三日以御飛脚達ス 御用番戸村一学御用帖添③佐竹丹後殿 右京	(天明2年)(1782) 6月13日	右京義敦	佐竹丹後	折紙
AO387-28-1	佐竹義敦御直書 年賀御挨拶、〈包紙2枚〉①御直書 天明三癸卯年二月十八日ニ達ス 御用番匹田斎以奉書御飛脚到来②佐竹丹後殿 右京	(天明3年)(1783) 正月3日	右京義敦	佐竹丹後	折紙

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO387-28-2	佐竹義敦御直書	(天明4年)(1784) 正月3日	右京義敦	佐竹丹後	折紙
	年賀御挨拶、〈包紙2枚〉①御直書 天明四甲辰年閏正月十三日御用番戸村一学ヨリ御用帖添以御飛脚達ス②佐竹丹後殿 右京				
AO387-26-1	佐竹義敦御直書	(天明4年)(1784) 7月9日	右京義敦	佐竹丹後	折紙
	「七日登城(参勤)御礼申上万端首尾好候」、〈包紙2枚〉①御直書 天明四年辰七月十九日以御飛脚達ス御用番小瀬又七郎御用帖添②佐竹丹後殿 右京				
AO387-26-2	佐竹義敦御直書	(天明5年)(1785) 正月3日	右京義敦	佐竹丹後	折紙
	年賀御挨拶、〈包紙2枚〉①御直書一通 天明五年巳二月廿三日朝以御飛脚達ス 岡本刑部より御用帖添②佐竹丹後殿 右京				
AO387-25-7	佐竹義敦御直書	正月3日	右京義敦	佐竹大和	折紙
	年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾好申上候」、〈包紙2枚〉①御直書②佐竹大和殿 右京				
AO387-24-3	佐竹義敦御直書	4月15日	右京義敦	佐竹大和	折紙
	「十三日初而御暇被仰出之」、〈包紙〉佐竹大和殿 右京				
(7) 義和					
AO387-30-3	佐竹義和御直書	(天明6年)(1786) 正月3日	次郎義和	佐竹丹後	折紙
	年賀御挨拶、〈包紙2枚〉①御直書 天明六丙午二月十二日夜如先例以御飛脚達ス 御用番向勘七良副簡有リ②佐竹丹後殿 次郎				
AO387-30-2	佐竹義和御直書	(天明7年)(1787) 正月3日	次郎義和	佐竹丹後	折紙
	年賀御挨拶、〈包紙2枚〉①御直書 天明七丁未年正月廿五日以御飛脚達ス 御用番大越源十郎御用帖添②佐竹丹後殿 次郎				
AO387-30-1-1	佐竹義和御直書	(天明8年)(1788) 正月3日	次郎義和	佐竹丹後	折紙
	年賀御挨拶、〈包紙2枚〉①御直書 天明八戊申年正月廿四日御飛脚ヲ以達 御用番岡本但馬御用帖アリ②佐竹丹後殿 次郎				
AO387-30-1-2	入記	(天明8年)(1788) 正月23日			切紙
	御直書壺封				
AO387-29-4	佐竹義和御直書	(天明9年)(1789) 正月3日	右京義和	佐竹石見	折紙
	年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾好申上候」、〈包紙2枚〉①御直書 天明九年巳酉年正月廿八日御飛脚ヲ以達 御用番匹田斎御用帖アリ②佐竹石見殿 右京				
AO387-31-2	佐竹義和御直書	(寛政元年)(1789) 4月25日	右京義和	佐竹石見	折紙
	「廿三日登城御暇之御礼申上」、〈包紙2枚〉①御直書 寛政元己酉年五月八日御飛脚ヲ以達 御用番岡本但馬有御用帖②佐竹石見殿 義和				

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO387-31-6	佐竹義和御直書	(寛政2年)(1790) 4月15日	右京義和	佐竹石見	折紙
	「三日着府十五日登城参勤之御礼申上」、〈包紙2枚〉①御直書 寛政二庚戌五月朔日申下刻達 御用番向帯刀来書有り②佐竹石見殿 右京				
AO387-31-9-1	佐竹義和御直書	(寛政4年)(1792) 4月13日	右京義和	佐竹石見	折紙
	「二日着府十三日登城参勤之御礼申上」、〈包紙2枚〉①御直書 寛政四年壬子四月廿一日達 御用番匹田斎有来書②佐竹石見殿 右京				
AO387-31-9-2	入記	(寛政4年)(1792) 4月22日			切紙
	御直書壺通				
AO387-29-10	佐竹義和御直書	(寛政5年)(1793) 正月3日	右京義和	佐竹石見	折紙
	年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾好申上候」、〈包紙2枚〉①御直書 寛政五年癸丑二月十日辰中刻達 御用番匹田斎有来書②佐竹石見殿 右京				
AO387-29-6	佐竹義和御直書	(寛政7年)(1795) 正月3日	右京義和	佐竹石見	折紙
	年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾好申上候」、〈包紙〉御直書 寛政七巳卯正月廿四日辰下刻達 御用番宇都宮小膳来書有り				
AO387-29-1	佐竹義和御直書	(文化元年)(1804) 6月1日	右京義和	佐竹石見	折紙
	「十二日着府朔日登城参勤之御礼申上」、〈包紙3枚〉①御直書 文化元年子六月十日申刻到着②御直書入③佐竹石見殿 右京				
AO387-29-5-1	佐竹義和御直書	(文化2年)(1805) 正月3日	右京義和	佐竹石見	折紙
	年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾好申上候」、〈包紙2枚〉①御直書 御老中小野崎正九郎殿奉札添 文化二乙丑年正月廿九日朝五半時達②御直書(387-29-5-1~3は同一包紙)、〈包紙29-5-1のみ〉佐竹石見殿 右京				
AO387-29-5-3	入記	(文化2年)(1805) 正月27日			切紙
	御直書壺封				
AO387-31-4	佐竹義和御直書	(文化3年)(1806) 7月1日	右京義和	佐竹石見	折紙
	「廿一日着府朔日登城参勤之御礼申上」、〈包紙3枚〉①御直書 文化三年寅七月九日申中刻老中小野岡大和より御飛脚を以相達②御直書③佐竹石見殿 右京				
AO387-29-9-1	佐竹義和御直書	(文化4年)(1807) 正月3日	右京義和	佐竹石見	折紙
	年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾好申上候」、〈包紙2枚〉①文化四年卯二月六日戌中刻相達②佐竹石見殿 右京 (387-29-9-1~2は同一包紙)				
AO387-29-9-2	入記	(文化4年)(1807) 2月5日			切紙
	御直書壺封				

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO387-31-8	佐竹義和御直書	(文化5年)(1808) 4月15日	右京義和	佐竹石見	折紙
	「三日着府十五日登城参勤之御礼申上」、〈包紙3枚〉①御直書 文化五戊辰四月廿三日申中刻小野岡大和殿奉札ヲ以相達②御直書③佐竹石見殿 右京				
AO387-31-3	佐竹義和御直書	(文化7年)(1810) 4月15日	右京義和	佐竹石見	折紙
	「三日着府十五日登城参勤之御礼申上」、〈包紙2枚〉①御直書 文化七年午四月廿五日達 疋田斎殿より御奉札添②佐竹石見殿 右京				
AO387-29-7	佐竹義和御直書	(文化8年)(1811) 正月3日	右京義和	佐竹石見	折紙
	年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾好申上候」、〈包紙2枚〉①御直書 文化辛未二月十五日卯中刻到達 小野崎正九郎殿ヨリ御奉札添②佐竹石見殿 右京				
AO387-31-1	佐竹義和御直書	(文化9年)(1812) 4月15日	右京義和	佐竹石見	折紙
	「二日着府十三日登城参勤之御礼申上」、〈包紙2枚〉①御直書 文化九年申四月廿三日達 疋田斎殿より御奉札添②佐竹石見殿 右京				
AO387-29-2	佐竹義和御直書	(文化12年)(1815) 正月3日	右京義和	佐竹石見	折紙
	年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾好申上候」、〈包紙3枚〉①御直書 文化十二年亥二月二日辰下刻到着②御直書入③佐竹石見殿 右京				
AO387-29-3	佐竹義和御直書	正月3日	右京義和	佐竹石見	折紙
	年賀御挨拶、「二日登城年之御礼首尾好申上候」、〈包紙〉佐竹石見殿 右京				
AO387-29-8	佐竹義和御直書	正月3日	右京義和	佐竹石見	折紙
	年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾好申上候」、〈包紙2枚〉①佐竹石見殿 右京②御直書				
AO387-31-7	佐竹義和御直書	4月15日	右京義和	佐竹石見	折紙
	「朔日着府十五日登城参勤之御礼申上」、〈包紙〉佐竹石見殿 右京				
AO387-31-5	佐竹義和御直書	6月11日	右京義和	佐竹石見	折紙
	「二日着府十一日登城参勤之御礼申上」、〈包紙〉佐竹石見殿 右京				

(8) 義厚

AO387-32-1-1	佐竹義厚御直書	(天保6年)(1835) 正月3日	右京義厚	佐竹大炊助	折紙
	年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾好申上候」、〈包紙2枚〉①年始之御直書入 天保六年未二月十一日寅ノ下刻達ス②佐竹大炊助殿 右京				
AO387-32-1-2	入記	(天保6年)(1835) 2月9日			切紙
	御直書壱通				

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO387-33-8	佐竹義厚御直書	(天保7年)(1836) 4月15日	右京義厚	佐竹大炊助	折紙
「二日着府十五日登城参勤之御礼申上」、〈包紙〉①御直書 天保七申四月廿七日②佐竹大炊助 右京					
AO387-32-4	佐竹義厚御直書	(天保10年)(1839) 正月3日	右京義厚	佐竹大炊助	折紙
年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾好申上候」、〈包紙〉天保十年己亥二月廿五日達 佐竹大炊助殿 右京					
AO387-33-1	佐竹義厚御直書	(天保11年)(1840) 6月1日	右京義厚	佐竹大炊助	折紙
「四月廿七日着府朔日登城参勤之御礼申上」、〈包紙2枚〉①天保十一年庚子六月 御直書入②佐竹大炊助殿 右京					
AO387-32-7	佐竹義厚御直書	(天保12年)(1841) 正月3日	右京義厚	佐竹大炊助	折紙
年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾好申上候」、〈包紙〉天保十二年辛丑閏正月 佐竹大炊助殿 右京					
AO387-33-2	佐竹義厚御直書	(天保13年)(1842) 4月21日	右京義厚	佐竹大炊助	折紙
「二日着府廿一日登城参勤之御礼申上」、〈包紙2枚〉①天保十三年壬寅五月三日達 御直書老通②佐竹大炊助殿 右京					
AO387-32-2	佐竹義厚御直書	正月3日	右京義厚	佐竹大炊助	折紙
年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾好申上候」、〈包紙2枚〉①御直書入②佐竹大炊助殿 右京					
AO387-32-3	佐竹義厚御直書	正月3日	右京義厚	佐竹大炊助	折紙
年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾好申上候」、〈包紙〉佐竹大炊助殿 右京					
AO387-32-5	佐竹義厚御直書	正月3日	右京義厚	佐竹大炊助	折紙
年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾好申上候」、〈包紙〉佐竹大炊助殿 右京					
AO387-32-6	佐竹義厚御直書	正月3日	右京義厚	佐竹大炊助	折紙
年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾好申上候」、〈包紙〉佐竹大炊助殿 右京					
AO387-33-7	佐竹義厚御直書	正月3日	右京義厚	佐竹大炊助	折紙
年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾好申上候」、〈包紙2枚〉①御直書老通入②佐竹大炊助殿 右京					
AO387-33-11	佐竹義厚御直書	正月3日	右京(義厚)	佐竹大炊助	折紙
年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾好申上候」、〈包紙2枚〉(佐竹)大炊助殿 右京					
AO387-35	佐竹義厚御直書	正月3日	右京義厚	佐竹石見	折紙
年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾好申上候」、〈包紙2枚〉佐竹石見殿 右京					
AO387-33-10	佐竹義厚御直書	4月15日	右京義厚	佐竹大炊助	折紙
「朔日着府十五日登城参勤之御礼申上」、〈包紙2枚〉①御直書②佐竹大炊助殿 右京					

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO387-34	佐竹義厚御直書 「今度国許江初而御暇被仰出難有仕合候」、〈包紙〉佐竹石見殿 右京	4月15日	右京義厚	佐竹石見	折紙
AO387-33-5	佐竹義厚御直書 「十日着府十五日登城参勤之御礼申上」、〈包紙〉佐竹大炊介殿 右京	4月16日	右京義厚	佐竹大炊介	折紙
AO387-33-6	佐竹義厚御直書 「朔日着府十九日登城参勤之御礼申上」、〈包紙〉佐竹大炊助殿 右京	4月21日	右京義厚	佐竹大炊助	折紙
AO387-33-3	佐竹義厚御直書 「二日着府廿二日登城参勤之御礼申上」、〈包紙〉佐竹大炊助殿 右京	4月22日	右京義厚	佐竹大炊助	折紙
AO387-33-4	佐竹義厚御直書 「十二日着府十五日登城参勤之御礼申上」、〈包紙〉佐竹大炊助殿 右京	4月27日	右京義厚	佐竹大炊助	折紙
AO387-33-9	佐竹義厚御直書 「先月九日着府十五日登城参勤之御礼申上」、〈包紙2枚〉①御直書②佐竹大炊助殿 右京	6月4日	右京義厚	佐竹大炊助	折紙

(9) 義堯

AO387-38-1	佐竹義堯御直書 「二日着府十八日登城参勤之御礼申上」、〈包紙2枚〉①御直書入 万延元年庚申四月廿九日相達候 但御着府之節②佐竹近江殿 右京	(万延元年)(1860) 4月18日	右京義就	佐竹近江	折紙
AO387-37-3-1	佐竹義堯御直書 年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾好申上候」、〈包紙2枚〉①佐竹大和殿 右京②(朱書)元治二年乙丑二月十三日酉下刻達	(元治2年)(1865) 正月3日	右京義堯	佐竹大和	折紙
AO387-37-3-3	入記 御直書尅通	(元治2年)(1865) 2月11日			切紙
AO387-37-2-1	佐竹義堯御直書 年賀御挨拶、〈包紙〉①義堯公御直書 御膳番小泉新吉・当番御納戸役原野豊 慶応三丁卯二月十五日達(裏書)御年始御直書 岡本又太郎殿奉書 [] 二而参り、(札朱書)慶応三丁卯二月十五日酉ノ上刻相達ス(387-37-2-1~2は同一包紙)	(慶応3年)(1867) 正月3日	右京義堯	佐竹大和	折紙
AO387-36-2	佐竹義堯御直書 年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾好申上候」、〈包紙〉佐竹近江殿 右京	正月3日	右京義就	佐竹近江	折紙
AO387-38-3	佐竹義堯御直書 年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾好申上候」、〈包紙〉佐竹近江殿 右京	正月3日	右京義就	佐竹近江	折紙

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO387-36-1	佐竹義堯御直書 年賀御挨拶、〈包紙〉佐竹近江殿 右京	正月3日	右京義堯	佐竹近江	折紙
AO387-37-1	佐竹義堯御直書 年賀御挨拶、〈包紙〉佐竹義純殿 義堯、〈札2枚〉①補弼佐竹大和②大和殿御分	正月3日	義堯	佐竹義純	折紙
AO387-38-2	佐竹義堯御直書 「廿九日着府十五日登城参勤之御礼申上」、〈包紙〉佐竹近江殿 右京	5月15日	右京義就	佐竹近江	折紙

4 書状

(1) 佐竹氏

AO288-10	佐竹義長書状 「大館湯沢両家之座席前後之事」、〈包紙〉壱岐守様より御渡御書付之写	元禄16年(1703) 9月16日	佐竹壱岐守義長	佐竹六郎	継紙
AO288-14-2	佐竹義方書状写 西家の分流について	宝永5年(1708) 9月	佐竹六郎義方	小場勘解由	切紙
AO288-15-2	佐竹義方書状写 288-14-2と同内容	宝永5年(1708) 9月	佐竹六郎義方	小場勘解由	切紙
AO288-14-1	佐竹義方書状写 西家の分流について、〈包紙〉御書写 御証文写 御青印写 都而四通 (288-14-1~4は同一包紙)	(宝永5年)(1708)	佐竹六郎	前小屋市右衛門	切紙
AO288-15-3	佐竹義方書状写 〈裏書〉宝永六年此御書付御文書所より参候ニ付前小屋市右衛門殿へ此通ニ御認被遣候尤従公義相渡り候市右衛門分相渡候、288-14-1と同内容	(宝永5年)(1708)	佐竹六郎	前小屋市右衛門	折紙
AO312-96-2	佐竹将監・佐竹山城連署状 今宮大学・石塚市正御科之一件	(明和元年)(1764) 11月27日	佐竹将監・佐竹山城	佐竹大和	継紙
AO288-35-3	佐竹石見書状草稿	(明和4年)(1767) 11月	(佐竹石見)		継紙
AO317-14	安永十年丑二月中殿付御状之儀ニ付御老中御内意有之勘ケ由殿より被仰遣候御状御返答御草稿 佐竹義休書状草稿	安永10年(1781) 2月17日	(佐竹義休)	(勘ケ由)	縦帳(11)

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO387-13-1	佐竹義苗書状 年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾能申上候」、〈包紙〉佐竹六郎 義苗	正月2日	義苗	佐竹六郎	折紙
AO387-18-1	佐竹義堅書状 年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾能申上候」、〈包紙2枚〉①佐竹石見殿 修理②若殿様御直書	正月3日	修理義堅	佐竹石見	折紙
AO387-18-3	佐竹義堅書状 年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾能申上候」、〈包紙3枚〉①御直書②若殿様御直書③佐竹石見殿 修理	正月3日	修理義堅	佐竹石見	折紙
AO289-15-2	佐竹義尚夫人書状 初春の祝詞	正月5日	虎きくうち	九郎殿御うち	折紙
AO289-15-3	佐竹義尚書状 初春の祝詞	正月5日	虎菊	九郎殿御内室	折紙
AO387-39-2	佐竹河内書状 年始御祝詞	正月5日	河内	大館殿御内室	折紙
AO387-39-3	佐竹河内夫人書状 年始御しくし	正月5日	河内内	大和との御内室	折紙
AO387-13-2	佐竹義林書状 年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾能申上候」、〈包紙〉佐竹六郎 義林	正月6日	義林	佐竹六郎	折紙
AO387-13-3	佐竹義林書状 年賀御挨拶、「二日登城年始之御礼首尾能申上候」、〈包紙〉佐竹六郎殿 義林	正月6日	義林	佐竹六郎	折紙
AO387-13-4	佐竹義林書状 年賀御挨拶、「二日登城年頭之御礼首尾能申上候」、〈包紙〉佐竹六郎殿 義林	正月6日	義林	佐竹六郎	折紙
AO289-15-1	佐竹義尚書状 当月20日の諒光院三回忌・麗正院七回忌の法事について	正月12日	虎菊(義尚)	九郎	折紙
AO387-18-2	佐竹義堅書状 年賀御挨拶、「其表屋形様御機嫌能御超歳」、〈包紙2枚〉①御直書②佐竹石見殿 修理	正月12日	修理義堅	佐竹石見	折紙
AO312-5-2-1	佐竹義易書状 「論地赤沢之内樋打沢にて薪伐候事」、草稿	巳 2月21日	佐竹参河守(義易)	毛馬内九左衛門	折紙
AO312-5-2-2	佐竹義易書状 「論地赤沢之内樋打沢にて薪伐候事」	巳 2月28日	佐竹参河守(義易)	毛馬内九左衛門	折紙

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO312-5-1-2	佐竹義易書状 「論地長木沢之内中滝にて船板を取り申す」、「中滝は論地でなく当領分に候」	3月5日	佐竹参河守(義易)	毛馬内三左衛門	折紙
AO312-5-2-3	佐竹義易書状 「論地之内榎柏木の当領にて八ヶ所の剪疵付候由」	巳 3月5日	佐竹参河(義易)	毛馬内九左衛門	折紙
AO312-5-2-4	佐竹義易書状 「論地之内小滝之沢水沢其外にて薪を剪申候」、草稿	4月1日	佐竹参河守(義易)	毛馬内九左衛門	折紙
AO312-97-5	佐竹参河守書状 御山境之書状、「大光寺村庄左衛門と申者当領山で材木盗剪申召捕候」	4月3日	佐竹参河守	津軽百助	折紙
AO387-12-1	佐竹義林書状 「廿六日参府朔日登城参勤之御礼相済」、〈包紙〉佐竹六郎殿 義林	4月7日	義林	佐竹六郎	折紙
AO387-19-1	佐竹義堅書状 「二日着府十三日登城参勤之御礼申上」、〈包紙2枚〉①御直書②佐竹石見殿 修理	4月16日	修理義堅	佐竹石見	折紙
AO387-19-2	佐竹義堅書状 「二日着府十五日登城参勤之御礼申上」、〈包紙2枚〉①御直書②佐竹石見殿 修理	4月21日	修理義堅	佐竹石見	折紙
AO312-5-1-1	佐竹義易書状 論地之内水沢にて毛馬内の子共が薪を伐る、水沢は袈裟掛坂より北方であり論地であること	4月24日	佐竹参河守(義易)	毛馬内三左衛門	折紙
AO387-19-4	佐竹義堅書状 「朔日着府十三日登城参勤之御礼申上」、〈包紙〉佐竹石見殿 修理	4月24日	修理義堅	佐竹石見	折紙
AO387-19-3	佐竹義堅書状 「御国元江初而御暇被仰出」、〈包紙2枚〉①御直書②佐竹石見殿 修理	5月9日	修理義堅	佐竹石見	折紙
AO312-97-2	佐竹式部大輔書状 御山境之書状、南部より欠落した長三郎が山中根小屋に罷有り	5月25日	佐竹式部大輔	米津左近	折紙
AO387-12-2	佐竹義林書状 「二日江府暇乞昨夜大田原止宿候」、〈包紙〉佐竹六郎殿 義林	6月6日	義林	佐竹六郎	折紙
AO387-39-1	佐竹河内書状 暑中御見舞	6月18日	河内	大館殿御内室	折紙
AO387-39-4	佐竹河内夫人書状 暑中御見舞	6月18日	河内内	大和	折紙

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO387-39-5	佐竹河内夫人書状 暑中御見舞	6月18日	河内内	大和との御内室	折紙
AO387-39-7	佐竹虎菊夫人書状 暑中御見舞	6月26日	虎菊内	九郎	折紙
AO387-39-8	佐竹虎菊夫人書状 暑中御見舞	6月26日	とら菊内	九ろうとの御宇 ち	折紙
AO387-39-9	佐竹虎菊書状 暑中御見舞	6月26日	登良菊	九郎殿御内室	折紙
AO387-39-10	佐竹義尚書状 暑中御見舞	6月26日	虎菊義尚	九郎	折紙
AO312-97-3	佐竹式部大輔書状 御山境之書状、「佐久間喜左衛門が欠落して当地へ参候」	6月	佐竹式部大輔	北村久左衛門・ 森岡采女	折紙
AO312-6-1	佐竹義易書状 「論地長木沢之内に当領之者根城申候由」	7月10日	佐竹式部大輔(義 易)	内堀織部	折紙
AO312-6-3	佐竹義易書状 「論地之内に当領之者根城申候由当領大治村に宿借り申候与七郎論地之内水沢にて根城申候」、「大治村万九郎・毛馬内つちと申者水沢山中にて薪取申候」	7月19日	佐竹式部大輔義易	内堀織部	折紙
AO386-24	佐竹右京大夫書状案 「此度の縁組について年内に返答仕候」、(包紙) 蒔田権佐殿田中孫十郎殿へ御書御案文之写	7月27日	佐竹右京大夫	蒔田権佐・ 田中孫十郎	折紙
AO312-6-4	佐竹義易書状 「論地之内水沢・札立場・袈裟懸坂之山にて当領之百姓等薇(ぜんまい)之根を掘申候」	7月28日	佐竹式部大輔(義 易)	内堀織部	折紙
AO387-12-3	佐竹義苗書状 「能被仰付十日登城首尾能相勤候」、(包紙) 佐竹六郎殿 義苗	8月10日	義苗	佐竹六郎	折紙
AO312-4	佐竹義易書状 「百姓論地に新屋敷被立罷在候由」	10月18日	佐竹式部大輔(義 易)	毛馬内権佐	折紙
AO312-6-2	佐竹義易書状 「論地長木沢之内領中之者小屋を焼申候」	10月24日	佐竹式部大輔(義 易)	内堀織部	折紙

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO312-5-3-2	佐竹義易書状 「論地長木沢之内にて炭焼申事無之と申越候は無心元候」	11月7日	佐竹式部大輔(義易)	中野造酒	折紙
AO387-39-6	佐竹河内夫人書状 寒中御見舞	11月27日	河内内	屋満登	折紙
AO289-14	佐竹主計書状 昨夕の使者に対する返礼、「与下一件御吟味も御無沙汰被成置云々」	11月	佐竹主計	佐竹右膳	継紙
AO312-5-3-1	佐竹義易書状 「論地長木沢之内山にて炭焼申候由」	12月3日	佐竹式部大輔(義易)	中野造酒	折紙
AO312-3	佐竹義易書状 「論地長木沢之内での炭焼につき内堀織部の許に御理申候」	12月	佐竹式部大輔(義易)	毛馬内三左衛門	折紙
AO312-117	書状案紙 若殿様任官御祝儀(2月26日根岸司宛)ほか				縦帳(51)
AO176-1	保呂羽山御別当宛御書 折紙17通を綴じたもの		佐竹義易	保呂羽山別当	横帳(17)
AO176-2	保呂羽山御別当宛御書 折紙49通を綴じたもの		佐竹義房、佐竹義武、佐竹義方	保呂羽山別当	横帳(49)
AO312-121	往復書状写 佐竹大和書状(正月26日)ほか6通あり				縦帳(52)
AO317-71	春來書留 佐竹主計書状写・小野寺藤太郎書状写・佐竹松斎(義遵)書状写・佐竹山城書状写・今宮大学書状写・佐竹左近書状写・山城親類江申渡候手控(安永9)				縦帳(44)

(2) 佐竹家臣

AO312-98-1	石塚義貞書状 直書被成下之附文、「此度被成下御直書候」、〈包紙〉佐竹近江殿 石塚孫太夫	2月10日	石塚孫太夫義貞	佐竹近江	継紙
AO312-98-2	石塚義貞書状 直書被成下之附文、312-98-1と同内容、〈包紙〉佐竹近江殿 石塚孫太夫	2月14日	石塚孫太夫義貞	佐竹近江	継紙
AO312-98-3	石塚義貞書状 直書被成下之附文、312-98-1と同内容、〈包紙〉佐竹大炊助殿 石塚孫太夫	2月25日	石塚孫太夫義貞	佐竹大炊助	継紙

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO312-98-4	石塚義貞書状 直書被成下之附文、312-98-1と同内容、〈包紙〉	2月10日	石塚源一郎義貞	佐竹大炊助	継紙
AO312-98-5	石塚義貞書状 直書被成下之附文、312-98-1と同内容、〈包紙〉	正月27日	石塚源一郎義貞	佐竹大炊助	継紙
AO317-48	石塚孫太夫書状 「御登城可被成」、〈裏書〉	10月29日	石塚孫太夫	佐竹参河	切紙
AO386-20	石塚孫太夫書状 宏徳院様御葬礼に付御焼香被仰付、〈端裏〉	10月29日	石塚孫太夫	佐竹参河	切紙
AO386-22	石塚孫太夫書状 大御法事御執行に付為伺御機嫌御帳被指出之為御通知、〈端裏〉	11月1日	石塚孫太夫	佐竹参河	切紙
AO312-98-8	宇都宮孟綱書状 直書被成下之附文、312-98-1と同内容、〈包紙〉	5月1日	宇都宮帯刀孟綱	佐竹大炊助	継紙
AO387-14-1	岡本元朝書状 年賀御挨拶、「於江府年始被成江戸より御直書被遣候」、〈包紙〉	正月16日	岡本又太郎元朝	佐竹六郎	折紙
AO387-37-2-2	岡本元賢書状 「此度被成下御直書候」、〈包紙〉	(慶応3年)(1867) 2月13日	岡本又太郎元賢	佐竹大和	切紙
AO342-42	御財用に関する書状写 7通 (6/2、6/24、6/26、8/9、8/25、6/13、6/25)		岡本又太郎ほか	小野岡市太夫 ほか	豎帳(47)
AO312-98-7	小瀬伊紀書状 直書被成下之附文、312-98-1と同内容、〈包紙〉	5月6日	小瀬又七郎伊紀	佐竹大炊助	継紙
AO312-98-6	小瀬伊紀書状 直書被成下之附文、312-98-1と同内容、〈包紙〉	6月13日	小瀬又七郎伊紀	佐竹大炊助	継紙
AO312-103	小貫宇右衛門書状 若殿様下筋御巡覽之為御知、〈端書〉	9月9日	宇右衛門	大和	継紙
AO387-37-3-2	小野岡義礼書状 「此度被成下御直書候」、〈包紙〉	(元治2年)(1865) 2月11日	小野岡右衛門義礼	佐竹大和	継紙
AO387-29-5-2	小野崎通恒書状 「此度年始被成下御直書候」、〈包紙〉	(文化2年)(1805) 正月27日	小野崎庄九郎通恒	佐竹石見	切紙

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO288-19-2	黒沢道矩・大塚九郎兵衛連署状 長瀬徳右衛門・大山文右衛門との内談について別紙(288-19-3)を披見遊さるべし	2月28日	黒沢宇一郎道矩・大塚九郎兵衛	佐竹石見	折紙
AO288-19-3	黒沢道矩・大塚九郎兵衛連署状 石見殿御願いの儀は御発駕前にて延引に及ぶ、288-19-2の別紙	2月28日	黒沢宇一郎・大塚九郎兵衛		折紙
AO288-57	小室源吉書状 家筋吟味について、塩谷慶之進ほか、朱書の追記あり、〈端裏〉御用筋大館屋敷番前小屋寛右衛門様 小室源吉	5月23日	小室源吉	前小屋寛右衛門	継紙
AO312-100	佐藤源右衛門書状 「式部大輔殿御跡職并御膳番衆御代官所無御相違由」	2月15日	佐藤源右衛門	六郎	折紙
AO317-50	塩谷伯耆書状 「御登城可被成」、〈裏書〉佐竹参河殿 塩谷伯耆	11月13日	塩谷伯耆	佐竹参河	切紙
AO312-123	渋江内膳書状 「屋形様当月廿五日御発駕東京江御登」	8月19日	内膳	大和	継紙
AO387-41	東禅院玄亮書状 年賀御挨拶、〈包紙〉佐竹大和様 東禅院	正月5日	東禅院玄亮	佐竹大和	折紙
AO387-42	東禅院玄秀書状 暑中御見舞、〈包紙〉佐竹大和様 東禅院	6月2日	東禅院玄秀	佐竹大和	折紙
AO312-116	戸村義国書状 「御指南之中村角之助抛人之者兩人来月に参着仕候」	9月14日	義国	参河守	継紙
AO317-20	前沢東市・大工学助連署状 屋形様参内し天盃を頂戴する、〈包紙〉佐竹大和殿 大工学助前沢東市	(文久3年)(1863) 10月10日	前沢東市・大工学助	佐竹大和(義茂)	折紙
AO312-98-9	真壁貞幹書状 直書被成下之附文、312-98-1と同内容、〈包紙〉佐竹大炊助殿 真壁掃部助	2月9日	真壁掃部助貞幹	佐竹大炊助	継紙
AO312-97-1	松野大学・大須賀隼人連署状 御山境之書状、「御領内で船板取候事」、312-97-1~6まで6枚綴じ	5月25日	松野大学・大須賀隼人	佐竹式部大輔	折紙
AO288-14-4	某書状 系図・証文の返却に対する挨拶	(宝永5年)(1708) 9月16日			継紙

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO312-96-3	某書状 今宮大学・石塚市正御科之一件	(明和元年)(1764) 11月25日		小野岡市太夫	継紙
AO387-43	年始寒暑御状 年始寒暑御状宛先控				折紙
(3) 老中・隣藩・水戸					
AO387-1	安藤対馬守書状 「佐竹石見明朔日五時御城江可差出候」、〈包紙〉佐竹右京大夫殿留守居	10月30日	安対馬	佐竹右京大夫 殿留守居	切紙
AO288-54	小泉新左衛門書状 先祖に関する問い合わせへの回答、〈包紙〉出羽秋田前小屋民部様平山半左衛門様 常州小田小泉新左衛門	11月15日	小泉新左衛門	前小屋民部・ 平山半左衛門	折紙
AO387-7	酒井石見守書状 太刀馬代持参の礼状、〈包紙〉佐竹大和殿 酒石見守	10月18日	酒石見守	佐竹大和	継紙(2)
AO387-8	酒井雅楽頭書状 「佐竹石見明日四時御城江可差出候」、〈包紙〉佐竹右京大夫殿留守居	6月4日	酒雅楽	佐竹右京大夫 殿留守居	切紙
AO288-50-2	常秀寺運龍書状 小場元祖大炊介義躬の御影再興について	正徳5年(1715) 6月14日	常秀寺現住運龍		切紙
AO288-55	常秀寺運龍書状 先祖七世義実・八世義忠の御法名について、〈包紙〉佐竹元千代様御家老狩野七左衛門殿中島主鈴殿 常州水戸小場邑常秀寺	6月20日	常秀寺運龍	狩野七左衛門・ 中島主鈴	折紙
AO386-21	常秀寺大車書状 御開基義実公御石碑御改葬一件、〈包紙〉佐竹石見様御近習 水戸小場村常秀寺大車	5月27日	水戸小場邨常秀寺 大車	佐賀内蔵丞・ 黒沢又兵衛	折紙
AO386-25	常秀寺大車書状 当寺御開基義実公御石碑御回葬之事、386-21とほぼ同内容、〈包紙〉佐竹石見様御内佐賀内蔵丞様黒沢又兵衛様 水戸小場村常秀寺	5月27日	水戸小場村常秀寺 大車	佐竹石見様御 近習	折紙
AO312-97-6	津軽信隆書状 御山境之書状、「当領正左衛門御領内で椗木盗取、山廻衆に搦捕被申候」	3月16日	津軽百助信隆	佐竹参河守	折紙
AO312-97-4	津軽信隆書状 御山境之書状、「津軽領の境目を堅く守るべし」	4月2日	津軽百助信隆	佐竹三河守	折紙

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO337-2	津軽より来状写 贗札之件に付、別紙(覚)2枚あり	11月17日～2月12日			縦帳(17)
AO185-2	伝灯院書状 地藏菩薩之書付	享保2年(1717) 8月17日	常州水戸小場邑伝 灯院	佐竹元千代	折紙
AO288-59	伝灯院書状 「開基伝灯院殿石碑奉彫刻候」(碑文の詞書あり)、〈包紙〉佐竹元千代様御家中秋田領前小屋民部殿平山半左衛門殿 水戸領内小場村伝灯院	2月28日	伝灯院	前小屋民部・ 平山半左衛門	継紙
AO387-44	本多伯耆守書状 「佐竹石見明朔日五時御城江可差出候」、〈包紙〉佐竹右京大夫殿留守居	5月30日	本伯耆	佐竹右京大夫 殿留守居	切紙
AO387-45	本多伯耆守書状 「御札相済太刀馬代持参」、〈包紙〉佐竹石見殿 本伯耆守	6月2日	本伯耆守	佐竹石見	切紙
AO387-46	松平右近書状 「在所到着御札之使者我等宅江可差出候」、〈包紙〉佐竹右京大夫殿留守居	6月4日	松右近	佐竹右京大夫 殿留守居	切紙
AO387-47	水野和泉守書状 「佐竹石見明三日四時御城江可差出候」、〈包紙〉佐竹右京大夫殿留守居	11月2日	水和泉	佐竹右京大夫 殿留守居	切紙
AO288-61	龍光院逸堂書状 〈包紙〉佐竹元千代様御家中前小屋民部殿平山半左衛門殿 下野国喜連川町龍光院逸堂	3月15日	龍光院逸堂	前小屋民部・ 平山半左衛門	折紙

5 由緒書・系図

(1) 系図

AO288.2-1	惣系図 八木から完戸まで131家および諸寺院、御一家系図ほか	寛文5年(1665) 8月	戸村十太夫		横帳(116)
AO288.2-2	佐竹御系図 全 清和源氏佐竹御系図、稲本豊間高部小川系図佐竹一家から矢野川井系図まで	元禄3年(1690) 7月6日			縦帳(113)
AO288-14-3	御書付之写 小場氏系図、義易・亀千代・義統・女子	(宝永5年)(1708)			継紙

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO288.2-14-4	小場氏系図 初代義躬～九代義宗	正徳5年(1715) 6月13日	小場村正学院・ 平沢松右衛門		継紙
AO288.2-13	佐竹小場氏系図 義躬～義休	明和4年(1767) 9月3日	佐竹大和(義村)		豎帳(16)
AO288.2-3	小場氏系図 義成～義武				切紙
AO288.2-14-1	関東より参候御系図写 義宗・義尚の死去年について、〈包紙〉関東より参候御系図写四通 寛政十二年庚申五月八日 (288.2-14-1～4は同一包紙)				切紙
AO288.2-14-2	小場氏系図 義躬～義宗、〈端書〉此本書ハ常州増井正宗寺什物之系図ニ御座候先年伝灯院大館へ持参致候写之内書抜		伝灯院		継紙
AO288.2-14-3	佐竹系図 「常陸国増井正宗寺者佐竹累代之墓所也」		伝灯院		継紙
AO288.2-15	元禄年中小場系引証二不仕 分古書写 「長山氏家蔵系図」/「異本号水戸本」/「藤澤道場所蔵佐竹系」/「古本酒出氏所蔵」/「宇留野所蔵系」/「北酒出家蔵系」、〈表紙〉但大和此度指出候古系図ニ大概引合申分に御坐候				豎帳(8)
(2) 系譜・由緒書・家蔵文書					
AO289-9	佐竹義寛御名乗書 礼紙あり、〈包紙〉御名乗	明暦2年(1656) 4月		小場六郎	折紙(2)
AO289-7	佐竹義房御名乗書 礼紙あり、〈包紙〉御名乗	明暦2年(1656) 11月		小場六郎	折紙(2)
AO288-56	御系譜御座順次序 上巻 系譜・証文等の提出の一覧、288-46へつづく	元禄～宝永 (1688～1711)			継紙
AO288-46	御系譜御座順次序 中下巻 御家柄之儀に付抜書、288-56のつづき	正徳～安政 (1711～1860)			継紙
AO288-63-1	御家譜 上 大館邸、西家家譜	元禄8～享保8年 (1695～1723)			豎帳(87)

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO288-63-2	御家譜 中 大館邸、西家家譜、別紙1枚あり	享保10～元文元年 (1725～1736)			縦帳(41)
AO288-63-3	御家譜 下 大館邸、西家家譜	明和3～天明8年 (1766～1788)			縦帳(80)
AO288-2	小場氏由緒書 小場氏の由緒について	元禄11年(1698) 4月17日			継紙
AO288-7	御当家分流之面々 酒出金太夫先祖／河合九郎兵衛先祖／真崎兵庫先祖／大沢弥五兵衛先祖／高久新右衛門先祖／小瀬縫殿助先祖／高垣彦右衛門先祖／小田野刑部先祖／佐竹六郎先祖／前小屋市右衛門先祖／石塚源太夫先祖／大山弥太夫先祖／戸村十太夫先祖／小野市太夫先祖／天神林刑部先祖／宇留勝源兵衛先祖／佐竹左衛門先祖／佐竹中務先祖／今宮文四郎先祖／古内茂右衛門先祖／佐竹淡路先祖、分流の由緒をまとめたもの	元禄13年(1700) 3月	岡本又太郎元朝	中村又左衛門・大和田内記	縦帳(30)
AO288-3	小場氏由緒書 小場氏の由緒について、追啓(別紙)あり、〈端裏〉辰ノ七月四日分	(元禄13年)(1700) 7月4日	佐竹六郎		継紙(2)
AO288-15-1	小場氏由緒書 288-3と同内容、〈包紙〉義方公御考之書付証文下書二通(288-15-1～3は同一包紙)	(元禄13年)(1700) 7月4日	佐竹六郎		継紙
AO288-11	小場氏由緒書 文書所から西家へ下された由緒書、「義重公義宣公より下され候御書組下并家来等に伝来の者あれば差出すべし」	宝永3年(1706) 7月	(御文書所)	佐竹六郎	継紙
AO288-12	小場氏由緒書 288-11に対する返答書	宝永3年(1706) 9月20日	佐竹六郎	(御文書所)	継紙
AO317-7	陪臣記録留書写 家人の由緒について、別紙(佐竹元千代家人)あり	宝永3年(1706) 10月			横帳(10)
AO288-13	雑書 上 (朱書)△七ノ仁、○佐竹六郎義方所藏徳雲院様御書写○戸村家人由緒書写○菊地新左衛門所藏覚書写○大窪丹後覚書写、「如斯之類不被載于御記録然自然為御用光得私写之者也」、元禄期に収集した家蔵の文書の臨写本	宝永3年(1706) 12月6日	中村光得		縦帳(60)
AO288-51	御証文草稿 御一族・御家子・御分流之諸士・嫡家在之御家子・同諸士の由緒をまとめたもの	宝永5年(1708) 9月	義格	佐竹主計ほか	縦帳(27)
AO288-22	佐竹氏由緒書 「右此一冊者常州国久慈郡太田郷之内増井村万秀山正宗寺佐竹系図以古本写之進上者也」	享保2年(1717) 7月	同国那珂郡小場邑 月溪山伝灯院		縦帳(20)

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO288-65	御記録所御書附写 二 「文化四丁卯年南家小場家之考稿」 / 「座列考」 / 「南家小場家吟味考」 / 「小場家吟味考六通」 / 「嘉永之度小場家申出」	文化～嘉永 (1804～1854)	御記録所		縦帳(97)
AO288-25	由緒書 佐竹西家由緒書	文化2年(1805) 11月	佐竹石見		縦帳(24)
AO289-11	御元祖義躬様御伝に付書上	文化9年(1812) 6月9日			縦帳(2)
AO288-43	佐竹御代々 ほかに「預置御代々」 / 「小場代々」 / 「前小屋代々」 / 「江戸代々」 / 「北条代々」、「此書物増井正宗寺ニ而写申候」	未 6月19日	立原佐左衛門嘉隆	前小屋民部・ 平山半左衛門	継紙
AO288-62	小場氏由緒書 位牌・義躬御影・系図・書付・水戸寺社領調帳について	7月11日		前小屋民部・ 平山半左衛門	継紙
AO288-39-1	小場氏由緒書 〈包紙〉書附 二通 (288-39-1～2は同一包紙)				縦帳(9)
AO288-39-2	小場氏由緒書別紙				縦帳(3)
AO288-69	別紙 小場氏由緒書、288-39-1とほぼ同内容		佐竹大和		縦帳(19)
AO288-72	御別紙草稿 小場氏由緒書、288-69の草稿				縦帳(13)
AO288-40	小場氏由緒書 元禄11年指出の由緒書についての伝来の覚等の写				継紙
AO288-44	小場氏由緒書 小場氏の由緒と系図・証文提出に関する願書				継紙
AO288-45	義武公以降御家督調書 義武～義茂の家督・出仕の年月日				切紙
AO288-58	家筋御吟味書付 小林兵右衛門ほか				切紙
AO288-67	御旧記抜書 小場氏由緒に関する抜書				縦帳(38)

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO288-68	小場家考草稿 小場氏由緒書				縦帳(10)
AO288-71	引証古書附写 「義躬為元祖之証」 / 「佐竹御苗字従前称来之証」 / 「佐竹系図引証本之内義宣兄弟伝」 / 「佐竹御家譜御一家其外諸家系図略々之内小場」				縦帳(34)
AO288-73	御記録所御書附写 一 「小場氏東氏南氏系図考」 / 「享保十四巳九月十日願申立候口上書并別紙書附写使大塚九郎兵衛黒沢宇一郎取次長瀬徳左衛門大山文右衛門」 / 「小場家筋吟味考」		御記録所		縦帳(70)
AO289-12-1	十七代義種死去年間糺書付 義種の死去した年月についての問い合わせ				切紙
AO289-12-2	十七代義種死去年答書 寛政11年6月隠居、文化13年閏8月6日死去				切紙

(3) 系図取纏・青印書

AO317-3	青印書写 佐竹六郎組下大館給人分、(端裏) 佐竹六郎分	元禄12年(1699) 8月	(御文書所)	佐竹六郎	継紙
AO288-5	小場氏・東氏・南氏系図考 三家の系図について吟味を遂げ上聞に達した旨の岡本元朝の書込あり	元禄13年(1700) 3月	岡本又太郎元朝	中村又左衛門・ 大和田内記	縦帳(28)
AO288-6	言上 系図の吟味に関する次第をまとめたもの	元禄13年(1700) 3月	岡本又太郎元朝	中村又左衛門・ 大和田内記	縦帳(25)
AO288-9	御分流之面々次第書付 分流の系図についての吟味の内容をまとめたもの	元禄15年(1702) 12月19日	岡本又太郎元朝	中村又左衛門・ 大和田内記	縦帳(16)
AO288-50-4	御青印書写 御青印御書翰写	宝永3年(1706) 11月		佐竹六郎	切紙
AO288-49	宝永六年戊丑ノ三月中御系 図御証文次第 附り覚書	宝永6年(1709) 3月30日			横帳(5)
AO288-17	青印書 提出した26通の古文書についての青印書、秋田藩家蔵文書6-1~26に該当	宝永7年(1710) 3月	秋田史館	佐竹六郎	継紙

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO288.3-5-1	青印書写 秋田藩家蔵文書24-18~20の青印書の写、〈包紙〉上	宝永7年(1710) 6月	(秋田史館)	前小屋市右衛門	切紙
AO288-26	御伝来御系図不引合処有之に付書上ほか 系図の引合ざる所を介川東馬が朱で訂正したものの扱いについて	文化9年(1812) 3月19日~8月14日			縦帳(4)
AO288-52	口上書 家中之面々御記録可被差出之口上	6月29日			継紙
AO288-42-2	系譜之儀申立候節之書付 系図・証文の付札に関する口上書について相談する	8月20日			折紙
AO288-42-3	系譜之儀申立候節之書付 288-42-2と同内容、草稿				折紙
AO317-63	御青印書之覚 青印書の発給先一覧(21通)、佐竹元千代以下同人組下・同人家人			佐竹元千代	継紙

(4) 一字書付

AO288-74-20	一字御書付 「一字之事心得存候恐々謹言」、礼紙あり	9月26日	義宣	小場六郎	折紙(2)
AO288-74-19	一字御書付 「義」の一字のみ、礼紙あり、〈包紙〉御一字(288-74-19~20は同一包紙)	9月26日	義宣	小場六郎	折紙(2)
AO288-74-17	一字御書付 「一字之事相心得存候恐々謹言」、礼紙あり、〈包紙〉(288-74-17~18は同一包紙)	(寛永16年)(1639) 2月27日	義隆	小場六郎	折紙(2)
AO288-74-18	一字御書付 「義」の一字のみ、礼紙あり	寛永16年(1639) 2月27日	義隆	小場六郎	折紙(2)
AO288-74-15	一字御書付 「一字之事相心得存候恐々謹言」、礼紙あり、〈包紙〉御一字(288-74-15~16は同一包紙)	明暦2年(1656) 正月21日	義隆	小場六郎	折紙(2)
AO288-74-16	一字御書付 「義」の一字のみ、礼紙あり	明暦2年(1656) 正月21日	義隆	小場六郎	折紙(2)

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO288-74-9	一字御書付 「一字之事心得存候謹言」、礼紙あり、〈包紙〉一字 (288-74-9~10は同一包紙)	貞享2年(1685) 6月23日	義処	佐竹六郎	折紙(2)
AO288-74-10	一字御書付 「義」の一字のみ、礼紙あり	貞享2年(1685) 6月23日	義処	佐竹六郎	折紙(2)
AO288-74-11	一字御書付 「一字之事心得存候謹言」、礼紙あり、〈包紙〉一字 (288-74-11~12は同一包紙)	元禄10年(1697) 7月6日	義処	佐竹六郎	折紙(2)
AO288-74-12	一字御書付 「義」の一字のみ、礼紙あり	元禄10年(1697) 7月6日	義処	佐竹六郎	折紙(2)
AO288-74-13	一字御書付 「一字之事心得存候謹言」、礼紙あり、〈包紙〉一字 (288-74-13~14は同一包紙)	享保3年(1718) 3月13日	義峰	佐竹石見	折紙(2)
AO288-74-14	一字御書付 「義」の一字のみ、礼紙あり	享保3年(1718) 3月13日	義峰	佐竹石見	折紙(2)
AO288-74-8	一字御書付 「一字之事心得存候謹言」、礼紙あり、〈包紙2枚〉①寛保四年子三月八日御一字御証文 御老中御証文 ②証文	寛保4年(1744) 3月8日	義峰	佐竹右膳	折紙(2)
AO288-74-7	一字御書付 「義」の一字のみ、礼紙あり、〈包紙〉一字証文	寛保4年(1744) 3月8日	義峰	佐竹右膳	折紙(2)
AO288-74-6	一字御書付 「一字之事心得存候謹言」	安永2年(1773) 8月11日	義敦	佐竹石見	折紙
AO288-74-5	一字御書付 「義」の一字のみ、〈包紙〉一字 (288-74-5~6は同一包紙)	安永2年(1773) 8月11日	義敦	佐竹石見	折紙
AO288-74-4	一字御書付 「一字之事心得存候謹言」、礼紙あり、〈包紙〉一字	享和3年(1803) 8月17日	義和	佐竹石見	折紙(2)
AO288-74-3	一字御書付 「義」の一字のみ、礼紙あり、〈包紙〉一字	享和3年(1803) 8月17日	義和	佐竹石見	折紙(2)
AO288-74-1	一字御書付 「一字之事心得存候謹言」、〈包紙〉一字 (288-74-1~2は同一包紙)	文政8年(1825) 9月26日	義厚	佐竹参河	折紙

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO288-74-2	一字御書付 「義」の一字のみ	文政8年(1825) 9月26日	義厚	佐竹参河	折紙

(5) 分限帳

AO317-9	大館給人分限帳 当調役人青柳恒右衛門・近藤重兵衛・根本惣左衛門・中村源惣・安士三左衛門・佐川伊太郎・横山源太郎・柏喜幸太・岩倉伊三郎・中田久米之助、給人の石高と支配地(村名)をまとめたもの	寛延4年(1751) 閏6月25日	青柳恒右衛門ほか		縦帳(87)
AO317-10	大館給人御扶持分限帳 当調役人安士三左衛門・青柳恒右衛門・近藤重兵衛・根本惣左衛門・中村源惣・中田久米之助・岩倉伊三郎・佐川伊太郎・横山源太郎・柏喜幸太、七人扶持以下、〈付札〉佐竹之称ヲ義房代ニ初テ被下候と申越ハ系図へ付札仕候	寛延4年(1751) 閏6月25日	安士三左衛門ほか		縦帳(16)
AO317-67	佐竹守雄元家人控 御蔵出高拾七石宛被下置候面々ほか				横帳(9)
AO317-70	佐竹九郎家人高扶持取調帳 西家分限帳、高五拾石竹田富之助以下、歩行・足軽・寺院				縦帳(31)
AO317-72	御証文伝来之佐竹六郎家来控 御証文伝来之子孫、前小屋又八以下				縦帳(2)

(6) その他(引証本・法名)

AO289-8-2	宦氏 佐竹義武、礼紙あり	貞享2年(1685) 6月23日	東清寺	佐竹六良	折紙(2)
AO289-8-1	奉占御判形 佐竹義武、礼紙あり、〈包紙〉上(289-8-1~2は同一包紙)	貞享2年(1685) 8月	遍照院尊慶	佐竹六良	折紙(2)
AO386-18	御代々室御法名 義信室~義易室、〈包紙〉宝永七年寅十一月十五日ニ江幡味右衛門御使者ニ為被登被成候御系図御用初候相違候て後公儀御渡被成候故此書付之通被仰上候写味右衛門同廿七日晩罷帰候	(宝永7年)(1710) 11月			折紙
AO289-10	佐竹義幹御名乗判形 〈包紙〉御名乗判形	享和3年(1803) 8月	如意山法印宥恭	佐竹岩見 (石見)	折紙
AO289-3	江戸御伝記御引証本 宏徳公御伝記引証略	文化9~12年 (1812~1814)	(佐竹義厚)		縦帳(51)

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO289-2	秋田御伝記御引証本 宏徳公御伝記御引証草稿	文化9～12年 (1812～1814)	(佐竹義厚)		縦帳(34)
AO289-6	佐竹義積法名書				切紙
AO386-17	御先祖御法名 義躬～義易、〈包紙〉御先祖御法名 常岩様マテ十一代之御法名				折紙
AO289-13	御通称 平元徳「山跡弥真登矢正山錯」、〈包紙2枚〉御通称				折紙

6 記録

(1) 日記・留書・手控

AO288-64	盃酒記 天正12・元和2・5・7・寛永2・4・慶安3・5・承応3・明暦2・3・万治元・3の正月元日等の座列図	天正12～万治3年 (1584～1660)				縦帳(9)
AO209-1	年頭盃酒記 全	元和2～元禄15年 (1616～1702)				縦帳(58)
AO288-50-1	佐竹一門知行書付	万治元年(1658) 12月3日	佐竹修理大夫	北条右近大夫 ほか3名		切紙
AO209-2	右大臣征夷大將軍源家綱公 薨御口四拾歳其次第覚書日記	延宝8年(1680) 5月8日				継紙
AO317-2	古書付写 貞享四年九月被仰渡、角館より被仰立候覚書写ほか	貞享～享保 (1684～1736)				縦帳(8)
AO209-42	北東南小場列座考ほか 北東南小場列座考／御分流甲乙定書／引渡廻座御改書付／鑑照院様御代引渡一番座二番座名乗付御書付／北東南小場御分元系	(元禄15年)(1697) 2月				縦帳(27)
AO317-6	引渡廻座列座御改書付 正月の座列について、巻末に岩堀宗六の解説文あり	元禄14～15年 (1701～1702) 12月～正月				縦帳(19)

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO288-50-5	引渡例座定格書付 元禄14年極月の座格写	元禄14年(1701) 12月	狩野七左衛門		継紙
AO312-8	江戸久保田御日帳写 〈表紙〉但し貫書、「右御日記者川又久矩処持之本書を以写取者也」、明和2年3月5日写	元禄16年(1703) 8月26日～12月5日			縦帳(21)
AO209-4	義方公江戸御登日記 未八月ヨリ九月マテ、前半部ナシ	元禄16年(1703) 9月29日～10月11日	川又郷左衛門		縦帳(84)
AO386-1	義方公奥様自江戸御入輿記 録 日記ヨリ抜書、別紙1枚挟み込みあり	宝永元年(1704) 3月6日～7月4日	御家老黒沢又兵衛 ほか2名		縦帳(62)
AO312-9	久保田御登日帳 「右ハ屋形様御入部ニ付殿様御六ツ年御目見ニ御登勘ケ由様御旁様御同道ニテ」	正徳元年(1711) 5月13日～6月8日	狩野七左衛門		縦帳(61)
AO312-10	屋形様御機嫌能御巡見被遊 候之依之当り候中万覚書之 事 屋形様御巡見万覚書	正徳3年(1713) 8月1日～8月29日			縦帳(68)
AO288-18	常陸御用日記 常陸での資料調査の状況を記したもの、〈貼札〉右御用ニ付上下四人ニテ入目金子貳拾九両余	正徳5年(1716) 6月2日～7月16日	前小屋民部・ 平山半左衛門		縦帳(39)
AO209-5	義村公御出仕日記 義村公御出仕御用記録、旧表紙あり(3枚)	享保3年(1718) 3月6日～4月9日	中島刑部左衛門初 生		縦帳(59)
AO209-6	戌ノ三月拾三日御出仕之節 御茶屋迄相詰之覚 挟箱の中身など	享保3年(1718) 3月18日	早坂民平・ 渡部庄左衛門		折紙
AO209-7-1	諸事御取扱 東家・小場家・大山家・多賀谷家、日記の抜粋、〈包紙〉御苗字御所領御取扱 五冊(209-7-1～5は同一包紙)	享保6～文化9年 (1721～1812)			縦帳(10)
AO386-2	義村公御婚礼記録 「卯正月二月小山権右衛門小林兵左衛門記録より抜書」、(巻末)安政四年巳十月十日抜書終	享保8年(1723) 正月10日～2月29日	羽生縫殿丞		縦帳(41)
AO209-8	御帰国御礼御使者ニ登候節 江戸逗留万留 拾月七日出足	享保9年(1724) 10月22日～11月15日			縦帳(24)

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)	
AO209-7-5	御苗字御所領之面々病中并 卒去之節御取扱 式 〈表題〉病中並死去之節御取扱、北家・東家・南家・小場家・戸村・大山・多賀谷・茂木	享保10～文政10年 (1725～1827)				縦帳(38)
AO209-13	御屋敷番日記	享保17～天保15年 (1732～1844)				横帳(2)
AO209-10	義休公御出仕日記 義休公御出仕御用御記録	寛保4年(1744) 正月18日～3月18日	小山縫殿丞信富			縦帳(88)
AO209-9	山城様御家督御礼被仰上候 御例書、義敦公様御入部之 上出仕継目被召出候御取扱 之次第写 寛保4年5月27日、明和2年4月	寛保4・明和2年 (1744・1765)				縦帳(25)
AO387-6	御巡見様御膳本 山口勘兵衛・神保新五左衛門・細井金五郎、巡見使の20日夕と21日朝の献立	(延享3年)(1746) 5月20～21日				継紙
AO209-11	御家督御礼被仰上候二付江 戸江登候万留書	寛延2年(1749) 9月19日～10月15日				縦帳(25)
AO209-12	江戸御登万日記 義村公江戸御上下日記	寛延2年(1749) 9月19日～11月14日	下遠清左衛門			縦帳(126)
AO209-14	御一門様方へ被仰渡候御書 付写 引渡座順の儀について、〈包紙〉	宝暦元年(1751) 12月29日				綴(2)
AO209-13	就御入部久保田江出府道中 逗留中万留書 寛延4年5月12日～6月15日、宝暦5年5月11日～6月15日	寛延4・宝暦5年 (1751・1755)				縦帳(30)
AO209-15	義村公江戸御登日記	宝暦3年(1753) 10月5日～11月24日				縦帳(77)
AO209-16	御家督御礼御用二江戸へ被 為指登候二付万留書	宝暦3年(1753) 10月5日～11月27日				縦帳(39)
AO209-7-2	御苗字御処領之面々諸事御 取扱 附北南小場之三家申 立書認形 北家・東家・南家・戸村家・多賀谷家・北南小場三家申立訴書認形、日記の抜粋	宝暦5～天明2年 (1755～1782)				縦帳(45)
AO209-7-4	御苗字御所領之面々病中并 卒去之節御取扱 書 北家・東家・南家・小場家・戸村家・多賀谷家	宝暦6～安永4年 (1756～1775)				縦帳(68)

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO312-27	大館出足当日より久保田逗留 中万留書覚、沓岐守様へ申 上候書上候別紙草稿函書自 筆二而指上候 合冊	宝暦7年(1757) 5月20日・6月12日			縦帳(11)
AO312-29	大館出足久保田へ登候に付 道中久保田逗留中万留書、 大館出足当日より久保田逗留 中万留書 合冊	宝暦8年(1758) 3月2日～9月5日			横帳(32)
AO312-31	亀田御家中騒動一件書付 口上書(4月18日)／覚(4月24日)、岩城藩士が秋田藩に退散した一件について	宝暦11年(1761) 5月3日			縦帳(9)
AO312-33-1	御用状控 主計自筆(8月2日)／大塚九郎兵衛自筆(7月2日、7月8日)／岡本又太郎自筆(7月16日)／大学自筆(9月21日)、財用についての御用状の控	宝暦11年(1761) 7月2日～9月21日			縦帳(33)
AO312-30	久保田逗留中万留書、宝暦 十一年巳七月廿四日より之御 用留書 合冊、「七月廿一日大館出足当日より」	宝暦11年(1761) 7月21日～10月15日			縦帳(45)
AO312-34	屋形様御目見二付江戸立帰 登大館出足より之万留書	宝暦13年(1763) 正月5日～2月2日			縦帳(21)
AO209-19	御家督御礼二付江戸立帰登 大館出足ヨリ万留書 御家督御礼大館出足より万留書草稿	宝暦13年(1763) 正月5日～2月15日			縦帳(30)
AO209-18	御家督御礼大館出足より万留 書	宝暦13年(1763) 正月5日～3月22日			縦帳(74)
AO209-17	江戸御登日記 義休公江戸御登日記	宝暦13年(1763) 正月5日～3月22日			縦帳(70)
AO209-20	御家御佳例御規式記 「右者宝暦十三年未十一月御年男小林金吾記録より写」	(宝暦13～14年) (1763～1764) 10月～正月			縦帳(23)
AO342-3	宝暦十四甲申二月ヨリ御用贈 答筆記 財用向に関する藩重役の会議の内容をまとめたもの	宝暦14年(1764) 2月～7月			縦帳(63)

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO312-35	宝暦十四年申三月石川縫殿丞を以年寄中より江戸表江被申達候覚書草稿、宝暦十四申六月又太郎自筆を以申達候御用状写 合冊	宝暦14年(1764) 3月・6月6日			縦帳(17)
AO312-36	明和元年以来懸合御用書附 別紙(8月14日覚書指添)あり	明和元年(1764) 8月			継紙(31)
AO312-37	御用二付久保田江出府万留書	明和元年(1764) 9月2日～11月14日			縦帳(30)
AO312-96-1	御自筆御書附写 今宮大学・石塚市正御科之一件	(明和元年)(1764) 11月			継紙
AO312-38	久保田逗留中万留書 「十月五日大館出足」	明和2年(1765) 10月5日～11月3日			縦帳(21)
AO312-39	内用二付国都江出府逗留中留書	明和3年(1766) 2月19日～4日7日			縦帳(31)
AO312-40	御用二付出府逗留中留書 「九月廿六日出足ヨリ蓋紙外ニ四拾壹枚」	明和4年(1767) 9月26日～10月15日			縦帳(43)
AO288-35-1	角館与下一件書附 〈包紙〉明和四年丁亥十月 角館与下一件二付御書附入(288-35-1～4は同一包紙)	明和4年(1767) 10月22日～11月13日			横帳(2)
AO288-35-4	角館一件久保田御逗留中御用御書附 「大殿様御在府中御書附若殿様へ預置」	(明和4年)(1767)			切紙
AO209-21	義休公御家督御用記録 義休公御家督御礼御用日記	明和6年(1769) 6月11日～8月30日	前小屋伝右衛門村精		縦帳(86)
AO209-27	義種公御出仕御用記録 御発駕7月22日・久府御着同25日・御出初同29日・御出仕8月11日・久府御発駕同28日・大館御着9月2日・義休公久府御発駕10月3日	安永2年(1773) 4月5日～10月2日	前小屋伝右衛門村精		縦帳(148)
AO317-13	与下一件留書 「穿宗院御直筆也」、正月の与下の座席に関する一件	安永4年(1775) 4月			縦帳(16)

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO209-24	義種公様江戸御登前後御留 主中別録 御料理方	寛政7年(1795) 4月～7月24日	渡部正左衛門ほか 2名		縦帳(42)
AO209-23	江戸御登日記 義種の江戸御登の記録	寛政7年(1795) 5月1日～11日	前小屋伝右衛門		縦帳(28)
AO385-1-1	文化新撰年中行事 上	(文化年間) (1804～1818) 正月1日～3月15日			縦帳(124)
AO385-1-2	文化新撰年中行事 下	(文化年間) (1804～1818) 3月18日～12月30日			縦帳(74)
AO317-16	鈴木助三郎手控写ほか 鈴木助三郎手控写・御膳番記・御入附日記	文化6～文政5年 (1809～1822)			横帳(3)
AO312-120	諸事留書覚 8月16日天樹院様御葬礼	(文化12年)(1815) 8月15日～9月10日			横半(30)
AO386-3	天樹院様御葬礼二付義隣公 御出府日記	文化12年(1815) 8月	黒沢長右衛門道形		縦帳(72)
AO312-119	久保田逗留中書留 7月7日天樹院様御一周忌御法事	(文化13年)(1816) 7月5日～閏8月5日			横半(18)
AO312-42	御目付様御使番丹羽五左衛 門様御番方三浦甚五郎様御 下向大館御城御巡見御取扱 記録 文政4年の御国目付の大館巡見の記録	文政元～4年 (1818～1821)	狩野茂左衛門		縦帳(202)
AO312-44	岩堀宗六内談覚 (朱書) 元治二年乙丑二月廿三日御記録御会候御家老馬場目鉄蔵勝頼所持之由ニテ御差上ル	(文政6年)(1823) 7月17日～30日			縦帳(16)
AO312-43	御記録方書載写 御記録方頭取山方太郎左衛門殿吟味形当候正月中御老衆へ被申上候書載御記録方御祐筆々頭岩堀宗六より内々借取写置候、(朱書) 元治二年乙丑二月廿三日御記録御会候御家老馬場目鉄蔵勝頼所持之由ニテ御差上ル	文政6年(1823)7月			縦帳(10)
AO209-25	江戸御登日記	文政7年(1824) 閏8月28日～11月30日	山田清蔵		縦帳(154)

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO209-26	義茂公御出仕前廉御取調別録	文政8年(1825)	羽生左司馬治篤		豎帳(44)
AO386-4	宏徳院様御本葬二付義茂公久保田御出府中記録 「此時御局住中也」	弘化3年(1846) 10月22日～11月19日	安島兵馬		豎帳(25)
AO312-47	御目附様御下向二付御用取纏記録 御国御目附様御下向二付嘉永元申年より同二酉年迄取纏記録	嘉永元～2年 (1848～1849)	御用係御家老前小屋安右衛門幹孝		豎帳(61)
AO209-37	家督御礼出府記録 義茂の家督御礼	(嘉永5年)(1852) 8月3日～16日			継紙
AO209-28	若殿様義倫公江戸御登記録 若殿様義倫公江戸御登御用記録、御発駕8月17日・久府御着同21日・御出初8月24日・江戸御着9月12日・御出仕9月21日・公方様御目見10月15日・亀田様御出仕10月22日・江戸御発駕10月25日・御帰城11月23日	嘉永6～7年 (1853～1854) 6月5日～11月23日	山方兵庫・佐藤龍太郎		豎帳(192)
AO312-1	杞憂危言録 癸丑甲寅以降、醒翁軒	嘉永6～慶応4年 (1853～1868)	佐竹義純		豎帳(22)
AO209-29	若殿様江戸御登御用記録	嘉永7年(1854) 8月17日～11月23日	前小屋安右衛門幹孝		豎帳(134)
AO312-2	屋形様御入部に付若殿様御独礼より御見習御出府・殿様御家督御礼御出府記録控	安政2年(1855) 6月17日～9月5日	伊多波弁蔵・中村重道		豎帳(97)
AO386-5	御婚礼御用記取纏下帳 若殿様義倫公当秋御婚礼被為遊候二付諸事書記	安政3年(1856) 2～8月	中村重道		豎帳(57)
AO029-2	御膳番日記呼出、御勘定役処日記 合冊、付御勘定場日記・御入附日記、日記類の取調帳	安政4年(1857) 3月			横帳(17)
AO209-30	義茂公江戸御登御用日記	安政4年(1857) 8月3日～11月3日	前小屋五蔵忠慶		豎帳(96)
AO386-6	御祝事別録取調帳 御箸初之部・御庖瘡之部・御髪置之部・御誕生之部・御袴着之部・御元服之部・横帳之部、此度御記録所へ御下ケ被相成候分	文久3年(1863) 正月23日			横帳(5)

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO386-7-1	麗正院様御逝去記録 上	文久4年(1864) 正月20日～2月6日			縦帳(68)
	義茂室の逝去記録、御逝去(1月20日)・御出棺(1月28日)・御本葬(2月5日)・大御法事御逮夜(2月6日)				
AO386-7-2	麗正院様御逝去記録 下	文久4年(1864) 正月19日～3月24日			縦帳(58)
	御家老日記御膳番日記抜萃				
AO317-21	御附役調	元治元年(1864) 9月22日			折紙
	宝暦～天保までの代々の附役の記録				
AO029-6	御日記呼出下帳並ニ諸別録	慶応元年(1865) 閏5月			横帳(20)
	延宝～慶応				
AO384-1	屋形様御四十二御年重之御祝記録	(慶応2年)(1866) 2月21～22日			縦帳(7)
	(朱書) 雑部、〈貼紙朱書〉 雑三十二				
AO029-7	御家老日記呼出帳	慶応3年(1867) 3月			横帳(8)
	延宝～慶応				
AO312-118	御用状案紙	2月7日～3月1日			横半(59)
AO029-11	覚	4月	黒沢太門		横帳(7)
	古書・書付の由来				
AO317-69	時服拝領人数	6月7日			横帳(5)
	御座之間・御広間・部屋住・廻座、今宮大学以下				
AO312-104	御口上覚	7月3日			切紙
	「当五日御入部御祝儀被成置候」、〈包紙〉 御口上覚				
AO209-41	御家督御祝義、於城様御立初御祝義	(甲子)8月17日			横帳(3)
AO386-26	屋形様御婚礼之御歎以御使者被仰上候次第御用状写	8月27日			縦帳(6)
AO312-33-2	留書書抜	8月27・29日			切紙
AO317-73	御自筆御書附写	9月			縦帳(6)
	「此度主計組下給人取扱之儀支配給人難取受義有之願申出候」、〈表紙裏〉 右者九月晦日八ツ過御登城御東御父子様此節湯沢御城於御所御直々御渡此外ニ古書付角館より被仰出書付同給人仰出候外ニも有之右同様ニ御渡也				

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO384-3	義章様御髮置次第	11月27日			罫紙(3)
AO209-7-3	御苗字御所領之面々童形御目見出仕家督御礼名改等之次第 附南家小場家乗輿御免考				罫帳(87)
	童形御目見之事ほか、(朱書)此一冊者御記録方総裁大越源十郎同大御番頭小貫佐渡取纏御家老小瀬又七郎遂吟味候出仕式之内書抜致し猶又此度吟味見当り候分朱書ニ致候				
AO209-35	御発駕御当日之御儀 発駕当日の次第を書き留めたもの				継紙
AO209-36	佐竹近江継目御礼作法書				罫帳(2)
AO209-38	御着城御当日之御儀 着城当日の次第を書き留めたもの				継紙
AO209-39	正月十一日於御座之間御用初御手続 御用初の次第を書き留めたもの				継紙
AO312-114	御不審之儀有之御預官員 「当廿二日御不審之儀有之御預官員但官ハ元之如」				継紙
AO312-124	執政御名代覚 歴代藩主忌日、執政御名代が法事に参加する日の一覧				継紙
AO317-42	書状留書 弥太郎書状(8月10日)ほか2通、「去冬中より小役銀一条ニ付」				罫帳(4)

(2) 官中秘策

AO209-22-1	官中秘策 目録 一名官中要録、西山元文(対馬宗氏ノ士)、巻ノ一〜三十九の目録	(西山元文)			罫帳(33)
AO209-22-2	官中秘策 一・二・三 此より第四卷ニ至迄日本国中人数石高郡名領主名前石高里数城数城下之名前且山城国ニおいてハ禁裡并諸公家衆之名前且禁裡之御構御殿之名目間数并毎年申東江之御礼儀公家衆参向之御会釈等ニ至迄附録之	西山元文			罫帳(102)
AO209-22-3	官中秘策 四・五 大日本国中人数都合之事など	西山元文			罫帳(62)
AO209-22-4	官中秘策 六・七・八 大日本国中諸大名家々由来之略記	西山元文			罫帳(90)

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO209-22-5	官中秘策 九・十・十一 大日本国中諸大名家々由来之略記、大猷院御代天下之大名悉御家来御成事、諸大名より諸献上物之事		西山元文		縦帳(86)
AO209-22-6	官中秘策 十二・十三・十四・十五 卷之十五の途中まで、諸大名定式勤方非常之取捌第一～四		西山元文		縦帳(90)
AO209-22-7	官中秘策 十五・十六・十七 卷之十五の途中から、諸大名定式勤方非常之取捌第五、武蔵国江戸城御草創之事		西山元文		縦帳(78)
AO209-22-8	官中秘策 十八・十九・二十 御城中座席之事、大日本国中諸大名江戸屋敷		西山元文		縦帳(104)
AO209-22-9	官中秘策 二十一・二十二 將軍宣下之事、万石以下伊呂波付 上		西山元文		縦帳(82)
AO209-22-10	官中秘策 二十三・二十四・二十五 万石以下伊呂波付 下、諸役人之事、諸御役人増高等之分類		西山元文		縦帳(84)
AO209-22-11	官中秘策 二十六・二十七・二十八 諸大名諸士罪科御仕置之先例、公事訴訟御定之事		西山元文		縦帳(65)
AO209-22-12	官中秘策 二十九・三十・三十一 公事訴訟御定之事		西山元文		縦帳(80)
AO209-22-13	官中秘策 三十二・三十三・三十四 年中行事(正月元日～二日、正月三日、正月四日～二月廿八日)		西山元文		縦帳(78)
AO209-22-14	官中秘策 三十五・三十六・三十七 年中行事(三月朔日～晦日、五月朔日～廿八日、六月)、当月諸大名参府御暇之事、当月諸献上之目録		西山元文		縦帳(107)
AO209-22-15	官中秘策 三十八・三十九 年中行事(八月～十月、十一月～十二月)、当月諸献上之目録、寒中献上目録		西山元文		縦帳(67)

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
------	-----	----	-------	----	--------

7 その他

(1) 目録

AO387-5-3	御献上目録	享保3年(1718) 3月13日	佐竹石見(義村)		折紙
「享保三年戊戌三月十三日継目御出仕被仰上候節御献上之御目録写也」、御太刀一腰・御小袖三・御馬一匹、〈包紙〉元禄拾年丑ノ七月六日御継目御定出先規ニ不相口御登城之砌御拝領之御一字（包紙と本文があわない）					
AO342-2	当寅年出銀御入用指引目録	宝暦8年(1758) 4月			縦帳(8)
≪5061貫200目、残6098貫930目					
AO387-5-2	御献上目録	明和6年(1769) 8月25日	佐竹大和義休		折紙
御太刀一腰・御馬一匹、大山伊織の請取書あり、〈包紙〉御継目御献上御目録 御太刀折紙 明和六年丑八月廿五日御老中御証文老通					
AO387-5-1	御献上目録	文政8年(1825) 9月26日	佐竹参河(義茂)		折紙
御太刀一腰・御馬一疋、渡辺五右衛門の受取書あり、〈包紙〉文政八年乙酉九月義茂様御出仕之節御一字御証文・御証文・被仰上御覚書・御目録					
AO029-1-1	御蔵書目録 乾	(天保3年)(1832)			縦帳(96)
安政5年の書込あり					
AO029-1-2	御蔵書目録 坤	天保3年(1832) 6月	岩堀宗六ほか5名		縦帳(69)
AO029-3	御家老部屋箆書籍取調帳	文久元年(1861) 10月			横帳(7)
AO029-4	目録 蔵書目録	(文久2年)(1862)	御財用頭		横帳(4)
AO029-5	大広間日記類取調帳	元治元年(1864) 11月			横帳(3)
AO288-38	佐竹家御譜代目録	未 6月19日	立原佐左衛門嘉隆	前小屋民部・ 平山半左衛門	継紙
天正3年5月日光山教城房天維写、佐竹家の宿老の由緒をまとめたもの					
AO387-5-4	御献上目録	巳 8月11日	佐竹石見		折紙
御太刀一腰・御馬一匹、須藤菰の請取書あり、〈包紙〉御太刀目録					
AO029-9	書籍外題				縦帳(10)

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO029-10	御上段御長持入記 書籍目録				縦帳(22)
AO029-12	大箆筒入別録類 御書附類・小箆筒壺之部～七之部				横帳(10)
AO029-14	蔵書目録				罫紙(8)
AO029-15	大館城蔵書目録				罫紙(30)
AO209-40	御格式目録 末尾に「明治以前雑端記」とあり				継紙
AO387-4	献上書綴		木村正巳ほか		綴 (86)

(2) 絵図

AO291.2-2-1	大館附近絵図 十二所藩境付近の絵図、彩色有	元和4年(1618) 7月16日			140×90
AO291.2-2-2	大館附近絵図 十二所藩境付近の絵図、彩色有	元和4年(1618) 7月16日			141×97
AO288-50-3	八月七日晚御番陰二而之御 振舞 座席の図	8月7日			切紙
AO291.2-1	大館部分絵図 長木川・通町・独鈷町・鉄砲場あり、彩色有				31×45
AO393-1-1	関力原・大坂合戦城絵図				
AO393-4	城絵図 断裂、一括り				(12鋪)
AO393-5	城絵図 断裂、一括り				(28鋪)
AO399-1	陣立之図 彩色有				51×37

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO525-2	浅草御屋敷御殿地絵図 浅草屋敷間取図				79×53
AO525-3-1	御座ノ間 陰間・御坐間絵図ほか、彩色有				39×29
AO525-3-2	陰間より御納戸切絵図 彩色有				41×28
AO525-3-3	御広間之図				33×41
AO525-3-4	金御書院之図				33×41
AO525-3-5	金ノ間御廊下之図				28×47
AO525-3-6	大御番所之図				28×41
AO525-3-7	御座之間之図				38×41
AO291.2-3	長木北封疆略絵図 津軽との藩境の縁絵図、彩色有	明治2年(1869) 9月			31×800

(3) 御指紙

AO611-1	御指紙 津連こ村・志戸橋村、〈包紙〉	元和3年(1617) 6月30日	梅津半右衛門	羽生縫殿丞	切紙 壹枚
AO611-2	御指紙 太館城廻・津連こ村・前山・あつき田・松峰・わき神六ヶ所、〈包紙〉	元和3年(1617) 8月20日	梅津半右衛門	羽生縫殿丞	切紙 壹枚
AO611-3	御指紙 今泉村・中山村・川口村、〈包紙〉	元和4年(1618) 閏3月13日	向右近	山方蔵人	切紙 壹枚
AO611-4	御指紙 比内之内二村、〈包紙〉	元和5年(1619) 4月22日	梅津半右衛門	羽生縫殿丞・ 山方蔵人	切紙 壹枚
AO611-5	御指紙 常葉村山添谷地、〈包紙〉	元和7年(1621) 正月23日	梅津半右衛門	羽生縫殿丞	切紙 壹枚

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO611-6	御指紙	元和9年(1623) 5月3日	梅津半右衛門	羽生七兵衛・ 山方蔵人	切紙
	比内板沢村・櫃ヶ崎村、〈包紙〉元禄九年五月三日御指紙 壹枚				
AO611-7	御指紙	寛永元年(1624) 5月27日	梅津半右衛門	羽生七兵衛	切紙
	荷上場之内、〈包紙〉寛永元年五月廿七日御指紙 壹枚				
AO611-8	御指紙	寛永3年(1626) 閏4月10日	梅津半右衛門	羽生七兵衛	切紙
	比内ノ内出川村・板沢村・わき神・七日市・かに沢、〈包紙〉寛永三年卯月十一日御指紙 壹枚				
AO611-9	御指紙	(寛永6年)(1629) 2月28日	梅津半右衛門	大館御城	切紙
	比内之内いけるい袋・すな袋・商人とめほか、〈包紙〉寛永六巳年卯月十日御指紙 壹枚				
AO611-10	御指紙	(寛永17年)(1640) 2月13日	梅津半右衛門	羽生七兵衛・ 山方蔵人	折紙
	比内之内横淵村・品類村、〈包紙〉寛永十七辰年二月十三日御指紙 壹枚				
AO611-11	御指紙	延宝6年(1678) 6月22日	渋江宇右衛門・ 梅津半右衛門	佐竹石見	継紙
	〈裏書〉享保九年八月日宇都宮帯刀、〈包紙〉延宝六年御指紙江享保九年御裏書被成御渡被成候外書付一通添				
AO611-12-1	御指紙	延宝6年(1678) 11月11日	渋江宇右衛門・ 梅津半右衛門	佐竹石見	切紙
	「比内道待沢海道より大川切上下」、〈包紙〉延宝六年十一月十一日御指紙 壹枚				
AO611-14	本指紙江添証拠	享保18年(1733) 12月24日	小瀬縫殿助	佐竹石見	継紙
	「享保九年指紙裏書に釈迦内村支郷書訳無之商人留村新開」、〈包紙〉本指紙江添証拠				
AO611-16	御指紙	延享3年(1746) 9月6日	大越甚右衛門	佐竹石見	継紙
	「粕田村始九ヶ村御指紙書替に付」、元和5年御指紙の書替、〈包紙〉上 粕田村始九ヶ村御指紙御書替仰渡				
AO611-13	御指紙御裏書ニ相添申候書付	辰 2月			継紙
	川口村・今泉村・房沢村・中羽立村・大館町、〈包紙〉御指紙御裏書ニ相添申候書付一枚、〈包紙裏書〉享保十三年申ノ五月廿二日御指紙御裏書門前ニ御屋敷番より参候				

(4) その他

AO312-7	裁許状写	延宝5年(1677) 6月4日	角左衛門ほか10名		継紙
	御山境之書付、南部領と秋田領の境争論、裁許絵図裏書(県C-345)と同内容				

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO650-2	焼印板判指上覚	元禄10年(1697) 5月12日	川野金右衛門・ 大山隼人		切紙
	焼印板判656枚、〈包紙〉支根刈沢板判初り之野代役人衆目録老通、支根刈剪通シ山登無之候ニ付右板判六百五十五枚御義ハ納置申事 元禄十年丑五月十二日				
AO317-5	起請文前書	(元禄16年)(1703)			切紙
	御一門所持、先代は徳雲院様(義処)				
AO187-1	金子受領証文	(宝永年間) (1704~1711) 6月25日	常秀寺運竜	中川作之助	切紙
	祝儀として金子10両・白銀3枚受領、〈包紙〉水戸領小場村常秀寺				
AO791-3	掬水流生花口伝	寛政5年(1793) 2月	掬水(斎藤庭隆)		豎帳(15)
	生花の口伝書				
AO324-7	石見知行所取立林	文化6年(1809)			綴(2)
AO750-1	小野岡市太夫殿鑑定御甲冑 御大小類	嘉永6年(1853) 9月			豎帳(23)
AO372-1	出仕之面々御試之事ほか	文久2~3年 (1862~1863) 3月22日~8月21日			切紙
	出仕之面々御試之事・春秋御試之事・養老御取行之節之事・武芸世話之事、学館における行事に関する書付				
AO342-9	元治元子年ヨリ卯年マテ四ヶ 年間借上高調	元治元~慶応3年 (1864~1867)			豎帳(2)
	借上高合1万1707石7升2合				
AO342-10	元治元子年より明治二巳年迄 六ヶ年間借上高調	元治元~明治2年 (1864~1869)			豎帳(7)
	残高ノ1万3658石2斗5升1合				
AO393-2	御軍事金取調帳	元治2年(1865) 2月			横帳(7)
	元治二丑年より来戌年迄十ヶ年中御返上金之中考、「当高拾六石より以上取調」				
AO590-1	表方・御内証諸払仕分控	慶応元年(1865) 10月			豎帳(16)
	表方払之部・御仕切払之部				
AO029-16	古書付覚	2月3日	御番頭、前小屋舎 人ほか2名		綴(2)
	書付2通綴じ				
AO175-3	密厳寺口上書	午 2月	密厳寺		豎帳(7)
	「私先祖東光坊事」ほか				

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO569-1	御代々様より当山江拝領被仰付候御筆并銅山奉行吟味役江拝領之分共覚 〈表紙朱書〉雑部、〈貼紙〉雑三十	申閏3月	院内銀山御付吟味役		縦帳(3)
AO326-1	御検使山田新八郎・平川堅之助見分形 久吉人相書	午 12月18日	山田新八郎・平川堅之助	佐竹九郎	横帳(2)
AO019-1	諸生方御蔵書取扱定				継紙
AO175-2	金砂山大権現之起 末尾に立原佐左衛門の書込あり		東清寺宥真		継紙
AO176-6	祭奠儀				縦帳(12)
AO176-7	祭奠儀 176-6と同内容				縦帳(13)
AO186-2	仏会座図				切紙
AO317-47	休日之覚 8日・18日・28日諸役人銃隊稽古につき休日				切紙
AO317-54	給金者名簿 向町・金坂・上町・浦町・片町・中城・下夕町				横帳(5)
AO327-4	科日数積之事 申立遠慮・被仰付遠慮・逼塞・蟄居閉門・遠慮・逼塞蟄居・閉門・改易・追放・御暇				縦帳(3)
AO369-2	火事御行列帳				縦帳(8)
AO399-2	九備之図、五十騎一備之営法 部分、5枚に断裂、(朱書)是ハ戦国ノ時諸事減少之法也如此減少セシハ或ハ長陳或ハ教度之軍師難成也、彩色有				60×70
AO750-6	刀剣関係書付 刀剣に関する書付を綴ったもの				綴(7)
AO750-7	刀剣関係書付 刀剣に関する書付を綴ったもの				綴(14)
AO750-8	刀剣関係書付 刀剣に関する書付を綴ったもの、26枚綴じと24枚綴じ(〈包紙〉書附入 刀剣類出入書附)				綴(50)

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO750-9	刀剣調査簿 同内容の簿冊2冊合冊、綾小路定利ほか				罫紙(21)
AO789-3	金利秘書 軍中铁砲之次第ほか、鉄砲の星稽古に関する書付				縦帳(25)
AO791-1	約礼 茶の作法書				縦帳(7)
AO791-2	茶湯小鏡 茶の作法書				縦帳(41)

II 戊辰期

1 下達文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO312-50	御用状案紙 御用状の草稿	(慶応4年)(1868) 3月5日～5月12日	前小屋忠則		横半(76)
AO310-2	御条目 天朝御政体之御条目、「我等藩屏之職掌相立候にて全く家中共一同勉勵之所由ニ候」、〈包紙〉御条目	(慶応4年)(1868) 6月			継紙
AO212.1-2-1	被仰渡 出兵戦士病氣帰郷者之扱方、〈包紙〉佐竹大和殿 小貫宇右衛門 (212.1-2-1～2は同一包紙)	(慶応4年)(1868) 8月			継紙
AO212.1-2-2	小貫頼房書状 被仰渡書添状、(端裏) 八月廿八日達御書付添	(慶応4年)(1868) 8月29日	小貫宇右衛門頼房	佐竹大和	継紙
AO312-58	御会処御触書	(慶応4年)(1868) 8月～12月			縦帳(52)
AO212.1-11	佐竹義堯達書 忠戦尽力速に掃攘之功を奏すべき御達	(慶応4年)(1868) 9月16日	(佐竹義堯)		継紙
AO212.1-4	行政官達書 御沙汰之写、軍功に対して二品を賜う	(慶応4年)(1868) 9月	行政官	秋田中将	継紙
AO212.1-13	総督府達書 「佐竹大和へ御褒賞ヒストール一挺御下賜」、〈包紙〉総督府御書附、〈切紙〉ヒストール壺挺 佐竹大和	(慶応4年)(1868) 9月	総督府	佐竹大和	継紙
AO212.1-14	行政官達書 「防寒毛布一着宛御下賜」	(慶応4年)(1868) 9月	行政官		継紙
AO212.1-17	被仰渡 「人馬之使立に付申渡」	(慶応4年)(1868) 9月			継紙
AO212.1-26-1	須田盛貞書状 達書添状、〈端裏〉慶応四年辰十月十八日達ス	(明治元年)(1868) 10月17日	須田政三郎盛貞	佐竹大和	継紙

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO212.1-26-2	奥羽鎮撫総督府達書	明治元年(1868) 10月	奥羽鎮撫総督府	秋田藩	切紙
	奥羽賊徒降伏につき解兵被仰出、〈端裏〉慶応四年戊辰十月十八日達老中御差添、〈包紙〉佐竹大和殿 須田政三郎 (212.5-26-2のみ)				
AO310-1	執達	(明治元年)(1868) 10月			継紙
	朝政御一新之御条目、「御大事之節一際憤発披忠勤候様兼々可被心懸候」、〈包紙〉執達				
AO312-60	御条目並執達写	(明治元年)(1868) 10月		佐竹大和	縦帳(8)
	先般朝政御一新に付、明治二年己巳正月廿日送達、正月十九日須田盛貞添状の写もあり				
AO312-53	廻文御証拠書簡案紙控	明治元年(1868) 10月～12月			縦帳(81)
	総督府達書・前小屋舎人届書ほかの写				
AO212.1-47	行政官達書	明治元年(1868) 12月6日	行政官	佐竹次郎	継紙
	佐竹次郎御賞詞、「任修理大夫叙従五位下」、〈端裏朱書〉明治元年戊辰十二月廿三日宿継奉札ヲ以達、〈包紙〉御書付				
AO312-57	行政官御沙汰書写	(明治元年)(1868) 12月	行政官	佐竹右京大夫	縦帳(5)
AO312-59-1	行政官御沙汰書	(明治元年)(1868) 12月	行政官	佐竹右京大夫	継紙
	酒井徳之助旧領の城地を溝口伯耆守とともに請取ること				
AO312-59-2	行政官御沙汰書	(明治元年)(1868) 12月	行政官	佐竹右京大夫	継紙
	上杉式部・酒井徳之助・酒井信三郎・織田寿重丸・松平豊態旧領の城地を溝口伯耆守とともに請取ること				
AO312-59-3	行政官御沙汰書	(明治元年)(1868) 12月	行政官	佐竹右京大夫	継紙
	酒井徳之助・磐城隆邦旧領の城地を請取ること				
AO212.1-5	御趣意書	(慶応4年)(1868)	(佐竹義堯)		継紙
	〈包紙〉御趣意書、出兵にあたっての心得				
AO212.1-19	被仰渡	(慶応4年)(1868)			継紙
	一軍進退之儀に付仰出				
AO312-52	御用状控	明治元～2年 (1868～1869)			縦帳(66)
	行政官達書・覚ほかの写				
AO212.1-112	佐竹義堯達書	明治4年(1871) 7月	(佐竹義堯)	佐竹九郎	継紙
	軍功御再調について、〈端裏〉義堯公 明治四年辛未十二月二十二日県庁伝達所ニ於テ渡部主馬佐野五郎太立会被仰渡候御書附				

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO212.1-122	御意被為在候大旨 御境の守護は平生から武備に油断無きよう				継紙

2 上申文書

AO212.1-9	佐竹大和願書 徳川家接待之儀につき申上	(慶応4年)(1868) 3月9日	佐竹大和		切紙
AO280-1	佐竹九郎家人筋目書 一族・家之子・御附人・御遷封以前・御国替以後・中絶・医者・茶道・近進	(明治4年)(1871) 3月4日			縦帳(31)
AO280-5	佐竹九郎家人筋目書 未三月四日差出候扣、280-1の控、戊辰戦争の軍功による扶助米が朱書されている	(明治4年)(1871) 3月4日			縦帳(34)
AO280-3	佐竹九郎足軽筋目書 塚田伊右衛門以下、戊辰戦争の軍功の記載あり				縦帳(10)
AO280-4	佐竹九郎歩行足軽実子養子書分 近進・歩行・足軽、戊辰戦争の軍功の記載あり				縦帳(13)
AO280-6	佐竹九郎足軽筋目書 280-2と3の内容を合わせたもの、草稿				縦帳(18)

3 書状

AO212.1-1	須田盛貞書状 肥州田尻宮内へ道案内5人を差し出すこと、〈包紙〉佐竹大和殿 須田政三郎	(慶応4年)(1868) 8月1日	須田政三郎	佐竹大和	切紙
AO212.1-15	小貫信久書状 鎗隊を廃し銃隊組立之申達、〈端裏朱書〉慶応四年辰九月十六日達、〈包紙〉佐竹大和殿 小貫宇右衛門、小貫頼房の間違いか	慶応4年(1868) 9月14日	小貫宇右衛門信久	佐竹大和	継紙
AO312-48	小貫頼房ほか連署状 御直筆申達之書状、〈端裏朱書〉慶応四年九月廿日酉刻達、〈包紙〉佐竹大和殿 岡本又太郎石塚源一郎佐藤源右衛門小貫宇右衛門	(慶応4年)(1868) 9月18日	小貫宇右衛門頼房 ほか3名	佐竹大和	継紙
AO212.1-10	須田盛貞書状 御軍事御用につき本陣へ召喚	(慶応4年)(1868) 9月19日	須田政三郎	佐竹大和	切紙

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO212.1-12	須田盛貞書状 南部進軍のため人馬差出さるべし	(慶応4年)(1868) 9月28日	須田政三郎盛貞	佐竹大和	切紙
AO212.1-28	須田盛貞書状 「沢主水正様より小場小伝治江御渡之御書付之趣に付」、〈包紙〉大館行 佐竹大和殿 須田政三郎 御軍事御用	(明治元年)(1868) 10月18日	須田政三郎盛貞	佐竹大和	継紙
AO212.1-30	須田盛貞書状 沢主水正様御達申渡、〈端裏〉慶応四年戊辰十月廿三日夜達ス	明治元年(1868) 10月24日	須田政三郎盛貞	佐竹大和	継紙
AO312-49	小貫頼房書状 御条目被仰出之為御知、〈端裏〉慶応四年辰十月廿七日達ス、〈包紙〉佐竹大和殿 小貫宇右衛門	(明治元年)(1868) 10月24日	小貫宇右衛門頼房	佐竹大和	継紙
AO212.1-27	小貫頼房書状 賊徒降伏に付帰陣方之申達、〈端裏〉慶応四年辰十一月朔日相達、〈包紙〉佐竹大和殿 小貫宇右衛門	明治元年(1868) 10月28日	小貫宇右衛門頼房	佐竹大和	継紙
AO312-51	御案紙 書状・覚・口上の草稿	(明治元年)(1868) 10月～11月	前小屋寛右衛門・ 浅野左馬助		縦帳(52)
AO212.1-18	佐藤信久書状 南部境御堅人勢可被差出仰出之申達、〈端裏〉慶応四年辰十一月四日達ス、〈包紙〉佐竹大和殿 佐藤源右衛門	(明治元年)(1868) 11月2日	佐藤源右衛門信久	佐竹大和	継紙
AO386-8	小貫頼房書状 若殿様御元服之儀申達、〈端裏朱書〉明治元年戊辰十一月十一日達、〈包紙〉佐竹大和殿 小貫宇右衛門	(明治元年)(1868) 11月8日	小貫宇右衛門頼房	佐竹大和	継紙
AO393-1-2	佐藤信久書状 松前出兵人撰申渡之書状、〈端裏朱書〉元治元年戊辰十一月十一日達別紙添 (元治は明治の誤り)、〈包紙〉佐竹大和殿 佐藤源右衛門	(明治元年)(1868) 11月9日	佐藤源右衛門信久	佐竹大和	継紙
AO386-9	小貫頼房書状 若殿様御元服為御知、「若殿様当九日御元服御式万端無御滞被為済」、〈端裏朱書〉明治元年戊辰十一月十三日達、〈包紙〉佐竹大和殿 小貫宇右衛門	(明治元年)(1868) 11月10日	小貫宇右衛門頼房	佐竹大和	継紙
AO212.1-32	須田盛貞書状 南部御警衛人撰之御沙汰につき南部警備隊長梅津隼人助の下へ付属の組下給人の内人選し派遣せよ、〈端裏朱書〉明治元年十月十四日達ス、〈包紙〉佐竹大和殿 佐藤源右衛門	明治元年(1868) 11月11日	佐藤源右衛門信久	佐竹大和	継紙
AO393-3	佐藤信久書状 「松前応援出兵御取調之旨有之出張ニ不相及候」、〈端裏〉明治元辰年十二月廿八日相達、〈包紙〉佐竹大和殿 佐藤源右衛門、393-1-2の続き	(明治元年)(1868) 11月26日	佐藤源右衛門信久	佐竹大和	継紙

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO212.1-46	須田盛貞書状	(明治元年)(1868) 12月14日	須田政三郎盛貞	佐竹大和	継紙
	従天朝直衣一領劔一振御頂戴之儀佐竹大和へ為御知、〈包紙〉佐竹大和殿 須田政三郎				
AO312-56	須田盛貞書状	(明治元年)(1868) 12月20日	須田政三郎盛貞	佐竹大和	継紙
	若殿様御参内天盃御頂戴之為御知、〈端裏朱書〉明治元年戊辰十二月廿三日達御書附添、〈包紙〉佐竹大和殿 須田政三郎				
AO317-22	須田盛貞書状	(明治元年)(1868) 12月26日	須田政三郎盛貞	佐竹大和(義純)	継紙
	佐竹大和御昇進為御知之書状、「若殿様従四位下侍従に昇進」、〈端裏〉明治元年辰十二月廿九日相達、〈包紙〉佐竹大和殿 須田政三郎				
AO212.1-111	根本順助・安士寛蔵連署状	(明治4年)(1871) 正月27日	根本順助・安士寛蔵		継紙
	〈端裏〉下札付ケ 未二月根本順助安士官蔵分相達候扣、〈包紙〉上 根本順助安士寛蔵 未二月相達書右指出扣アリ、戊辰戦争での根本永之助以下の等級についての上書				

4 軍功

(1) 軍功書

AO212.1-45	大館合戦卒軍功調	慶応4年(1868) 8月			縦帳(27)
	戊辰戦争(十二所合戦)の軍功を短くまとめたもの、佐藤弥左衛門ほか				
AO212.1-53	八月九日鬼ヶ城山合戦手柄	(慶応4年)(1868) 8月9日~9月11日			継紙
	8月9日鬼ヶ城山合戦から9月11日長木沢山崎合戦までの手柄・手負・討死				
AO212.1-34	軍功書	(明治元年)(1868) 11月30日	御足軽会沢啓助		横帳(2)
	戊辰戦争(十二所合戦)の軍功について、〈包紙〉上 御足軽会沢啓助				
AO212.1-35	軍功書	(明治元年)(1868) 11月30日	御足軽岩井作兵衛		継紙
	戊辰戦争(十二所合戦)の軍功について、〈包紙〉上 御足軽岩井作兵衛				
AO212.1-33	軍功書	明治元年(1868) 11月	御足軽佐藤鶴松		縦帳(14)
	戊辰戦争(十二所合戦)の軍功について				
AO212.1-36	軍功書	明治元年(1868) 11月	武田万吉		縦帳(5)
	戊辰戦争(十二所合戦)の軍功について				
AO212.1-37	軍功書	明治元年(1868) 11月	御足軽荒川千代治		縦帳(2)
	戊辰戦争(十二所合戦)の軍功について				

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO212.1-38	軍功書 戊辰戦争（十二所合戦）の軍功について	明治元年(1868) 11月	塚田吉五郎		縦帳(8)
AO212.1-39	軍功書 戊辰戦争（十二所合戦）の軍功について、〈包紙〉上	明治元年(1868) 11月	神成和吉 神成和吉		縦帳(5)
AO212.1-40	軍功書 戊辰戦争（十二所合戦）の軍功について	明治元年(1868) 11月	御足軽塚田又五郎		縦帳(17)
AO212.1-41	軍功書 戊辰戦争（十二所合戦）の軍功について	明治元年(1868) 11月	武田小左衛門		縦帳(2)
AO212.1-54	軍功書 戊辰戦争（十二所合戦）の軍功について、〈包紙〉上	明治元年(1868) 11月	御足軽荒川寅吉 荒川寅吉 荒川千代治（別置とあり）		縦帳(10)
AO212.1-48	軍功書 戊辰戦争（十二所合戦）の軍功について、〈包紙〉上	(明治元年)(1868) 12月1日	御足軽田山源吉 田山源吉		横帳(2)
AO212.1-49	軍功書 戊辰戦争（十二所合戦）の軍功について、〈包紙〉上	(明治元年)(1868) 12月1日	御足軽田山与七郎 兵衛 田山与七郎兵衛		切紙
AO212.1-43	軍功書 戊辰戦争（十二所合戦）の軍功について	明治元年(1868) 12月2日	前小屋伝吉		横帳(2)
AO212.1-44	戊辰合戦働之事 戊辰戦争（十二所合戦）の軍功について	明治元年(1868) 12月2日	前小屋新内蔵		横帳(5)
AO212.1-50	軍功書 戊辰戦争（十二所合戦）の軍功について	明治元年(1868) 12月2日	小頭名越吉右衛門・ 御足軽同豊吉		縦帳(11)
AO212.1-51	軍功書 戊辰戦争（十二所合戦）の軍功について	明治元年(1868) 12月2日	御足軽名越豊吉		縦帳(5)
AO212.1-121	軽卒戊辰之秋戦争書上 戊辰戦争の軍功について、横帳を縦帳に直している	明治元年(1868) 12月	御足軽小頭塚田伊 右衛門		縦帳(5)
AO212.1-6	大館并二近村百姓町人軍功 帳 〈貼紙〉大館佐竹義履 三一号、横帳の挟み込みあり	慶応4年(1868)			縦帳(34)

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO212.1-22	大館合戦御家中斥候戦書上 ほか	明治元～3年 (1868～1870)	早坂重右衛門ほか 6名		縦帳(27)
	「明治元年戊辰八月大館合戦御家中斥候戦書上」 / 「戦争書上」 / 「辰年戦争次第書」 / 「出兵覚書上」 / 「斥候勤中次第書」、〈貼紙〉大館佐竹義履 三六号				
AO212.1-42	御家中諸頭戦争書上	明治元～3年 (1868～1870)	狩野徳藏ほか3名		縦帳(61)
	「戦争書」 / 「戦争次第書」 / 「戦争始末書」 / 「行役中事件概略書上」 / 「慶応四辰八月出兵人別帳」 / 「戊辰秋軍功取調書」 / 「隊中功劳書上」、〈貼紙〉大館佐竹義履 二〇号				
AO212.1-69	戦争次第書	慶応4～明治3年 (1868～1870)	安藤伝左衛門ほか 4名		縦帳(38)
	「戦争書附」 / 「慶応四辰八月小荷駄始末書上書」 / 「軍中次第書」 / 「戦争次第書」 / 「戊辰戦争手扣」、〈貼紙〉大館佐竹義履 五号、戊辰戦争の軍功をまとめたもの、安藤伝左衛門・関易藏・石塚源四郎・石井庄之助・安士藤蔵				
AO212.1-70	戦争次第書	慶応4～明治4年 (1868～1871)	斎藤善作ほか14名		縦帳(72)
	「慶応四年辰戦争書」 / 「戊辰戦争手扣」 / 「慶応四戊辰年戦争次第書」 / 「辰年出兵次第書」 / 「争戦次第書」 / 「出兵次第書」 / 「争戦書」 / 「出兵次第書」 / 「慶応戊辰戦争次第書」 / 「出兵次第書」 / 「争戦次第書」 / 「出兵始末書」 / 「去辰年出兵次第書」 / 「慶応四年辰争戦次第書」 / 「戦争次第書」、〈貼紙〉大館佐竹義履 九号、戊辰戦争の軍功をまとめたもの、斎藤善作・安士鉄之助・青柳第六・泉源五郎・角田歩助・中田刀助・武石勝治・青柳文治・沼田又七郎・瀬尾縣治・角田又四郎・南山時治・根本武之助・高階文五郎・須藤源助				
AO212.1-72	戦争次第書	慶応4～明治3年 (1868～1870)	中村沖之助ほか7名		縦帳(47)
	「慶応四戊辰年戦争覚書」 / 「明治元辰八月中出兵次第書」 / 「戦争始末書」 / 「戦争次第書」 / 「戦争形状書」 / 「争戦次第書」 / 「慶応四辰八月戦争次第書立帖」 / 「戊辰戦争手扣」、戊辰戦争の軍功をまとめたもの、中村沖之助・安士順之助・岸慎三・小林才助・泉一三郎・角田百助・安士兵作・関丈助				
AO212.1-76	戦争次第書	慶応4～明治4年 (1868～1871)	石垣又兵衛ほか 13名		縦帳(64)
	「戦争書」 / 「慶応四辰年出兵次第書」 / 「戦争形状書」 / 「戊辰賊虜掃攘手扣」 / 「出兵次第書」 / 「出兵之次第書」 / 「出兵次第書」 / 「争戦次第書」 / 「慶応四年辰八月出兵始末書」 / 「慶応四戊辰出兵次第書」 / 「出兵次第書」 / 「慶応四辰ノ八月戦争次第書」 / 「慶応四辰年出兵次第書」 / 「出兵次第書」、〈貼紙〉大館佐竹義履 一〇号、戊辰戦争の軍功をまとめたもの、石垣又兵衛・片山小助・山本茂右衛門・安士寅之助・藤田時三郎・青柳庄藏・宇野五郎兵衛(謙助)・青柳権十郎・根本兵太郎・近藤俊平・安士熊五郎・塙敬助・河野長吉・中村権右衛門				
AO212.1-79	戦争次第書	明治元・3年 (1868・1870)	神成和吉ほか14名		縦帳(85)
	〈貼紙〉足軽ヨリ書上 二八号、〈貼紙〉大館佐竹義履、戊辰戦争の軍功をまとめたもの、神成和吉・田山源吉・田山与七郎・武田小左衛門・武田万吉・吉五良・佐藤武一郎・塚田又五郎・阿保八郎兵衛・武田蘂治・金沢慶助・岩井作兵衛・佐藤留吉・深井長助・桜井久吉				
AO212.1-80	戦争次第書	慶応4・明治3年 (1868・1870)	斎藤宇吉ほか14名		縦帳(100)
	戊辰戦争の軍功をまとめたもの、斎藤宇吉・斎藤健十郎・山ノ内徳松・斎藤斧松・桜井雄之助・山ノ(野)内貞治・芳賀喜久治・佐藤惣四郎・佐藤小右衛門・工藤武助・松沢兵三郎・佐藤弥七郎・佐藤辰藏・山内五三郎・根本久蔵				

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO212.1-82	戦争次第書	明治元・明治3年 (1868・1870)	名越豊吉ほか15名		縦帳(78)
	〈貼紙〉足軽ヨリ書上 三〇号、〈貼紙〉大館佐竹義履、戊辰戦争の軍功をまとめたもの、名越豊吉・佐々木東三郎・武田文太・塚田伊右衛門・武田文太郎・佐藤廉之助・大黒長之助・大沢熊吉・岩谷吉助・深井勘三郎・佐藤忠之助・武田東之助・工藤皆蔵・佐々木伝三郎・桜井久吉・佐藤留吉				
AO212.1-84	戦争次第書	慶応4～明治3年 (1868～1870)	小林俊雄ほか7名		縦帳(85)
	「戦争次第御届書」/「出兵次第書」/「去辰年中戦争次第書」/「慶応戊辰戦争記」/「慶応三辰八月戦争次第書」/「慶応四辰八月出兵書」/「戦争書」/「戦争御忠進」/「慶応四戊辰八月出兵次第書」、〈貼紙〉大館佐竹義履 四号、戊辰戦争の軍功をまとめたもの、小林俊雄・青柳弥八郎・田村忠之進・平塚源五郎・忍卯吉・長山源八郎・横山運之助・高久富之助				
AO212.1-90	抛人並百姓町人軍事書上	慶応4～明治3年 (1868～1870)	大館抛人石代庄助 ほか13名	平塚千蔵ほか 3名	縦帳(70)
	〈貼紙〉大館佐竹義履 三二号、大館抛人石代庄助・大館抛人山田貞治・御山守小室喜左衛門・雪沢村抛人要吉・大館町仁右衛門・大館新町儀兵衛・釈迦内村肝煎五郎・同村長百姓長之助・花岡村肝煎鳥潟牛之助・商人留郷肝煎久兵衛・前山村肝煎小笠原治五右衛門・同長百姓三左衛門・岩瀬村百姓幸助・越山村新組彦之丞・同甚七・新町髪結彦吉				
AO212.1-100	戦争次第書	慶応4～明治3年 (1868～1870)	青柳紋治ほか6名		縦帳(107)
	「去々戊辰戦争次第覚書」/「戦争書」/「慶応四戊辰戦争書」/「戦争次第書」/「戊辰戦争覚書」/「出兵次第書」/「戊辰戦争扣」、戊辰戦争の軍功をまとめたもの、青柳紋治・根本歳之助・根本三郎右衛門・武石常三郎・沼田此松・武石弥三郎・安土寛蔵				
AO212.1-113	戦争次第書	慶応4～明治4年 (1868～1871)	泉文録ほか15名		縦帳(92)
	「戦争次第書」/「戦争書」/「戦争次第書」/「戦争書」/「戦争書」/「戦争書」/「出兵次第書」/「小荷駄方勤中次第書」/「覚」/「小荷駄方勤中次第書」/「小荷駄方勤中次第書」/「小荷駄方勤中次第書」/「戦争次第書」/「慶応戊辰戦争記」/「出兵次第書」/「慶応四辰争戦始末書上帳」、〈貼紙〉大館佐竹義履 一一号、戊辰戦争の軍功をまとめたもの、泉文録・岸規矩治・武石形之助・沼田助左衛門・中田敬太郎・武石伝左衛門・関彦左衛門・岸宇兵衛・近藤甚一郎・泉静也・河野七郎左衛門・沼田波江・杉山弥右衛門・平塚玄番・石井喜四				
AO212.1-98	戦争次第書	明治元～3年 (1868～1870)	田伏小源太ほか6名	平塚千蔵・ 茂内政吉	縦帳(71)
	「戦争次第書」/「出兵次第書」/「出兵次第書」/「出兵始末書」/「慶応四戊辰戦争次第覚書」/「小荷駄方勤中次第書」/「戦争覚書」、戊辰戦争の軍功をまとめたもの、田伏小源太・根本常助・瀬尾歎一郎・富山勘助・青柳文四郎・泉静也・泉弥吉				
AO212.1-134	戦争次第書	(明治2年)(1869) 2月	二階堂鴻之進		縦帳(3)
	江幡吉次等御働之覚、戊辰戦争の軍功をまとめたもの				
AO212.1-102	辰年戦争次第書	明治3年(1870) 8月	一条一		横帳(3)
	戊辰戦争の軍功について				
AO212.1-68	戦争次第書	(明治3年)(1870)	中田市之助ほか7名		縦帳(61)
	「親易太郎戦争次第書」/「戦争書」/「去辰年戦争次第書」/「慶応四辰年戦争次第書」/「争戦次第書」/「戦争書」/「戦争次第書」/「慶応四戊辰八月争戦始末書上書」、〈貼紙〉大館佐竹義履 三号、戊辰戦争の軍功をまとめたもの、中田市之助・中田恒治・森戸三之助・長山力蔵・山本重助・杉山勝蔵・根本永之助・近藤要吉				

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO212.1-73	戦争次第書	(明治3年)(1870)	根本伝吉ほか10名		縦帳(91)
	戊辰戦争の軍功をまとめたもの、根本伝吉・山(野)内久治・桜井七之助・斎藤源治・佐藤弥吉・椿田岩吉・佐藤吉助・山内権蔵・桜庭文四郎・佐藤久作・佐藤勇吉				
AO212.1-74	戦争次第書	明治3年(1870)	工藤時之丞ほか8名		縦帳(69)
	戊辰戦争の軍功をまとめたもの、工藤時之丞・山内福松・山内時之助・須藤源三郎・椿田市左衛門・工藤重之丞・佐藤茂吉・須藤助五郎・工藤小三郎				
AO212.1-75	戦争次第書	明治3年(1870)	佐藤忠吉ほか9名		縦帳(44)
	戊辰戦争の軍功をまとめたもの、佐藤忠吉(弥左衛門)・椿田岩吉(利助)・斎藤源治(太左衛門)・桜井吉之助(角治)・山内吉治(形之助)・工藤多郎兵衛(金蔵)・山ノ内歩之郎(亦十助)・斎藤勘之丞・笹村喜三太・工藤民五郎				
AO212.1-77	戦争次第書	(明治3年)(1870)	田中千代介ほか10名		縦帳(86)
	「戦争覚書」「小荷駄勤中次第書」/「慶応四辰戦争始末書上書」/「慶応四辰戦争始末書上帳」/「慶応四辰八月争戦始末書上帳」/「慶応四辰年出兵始末書」/「慶応四辰年出兵次第書」/「出兵次第書」/「出兵次第書」/「争戦書」/「戦争書」、(貼紙)大館佐竹義履 二号、戊辰戦争の軍功をまとめたもの、田中千代介・安部又右衛門・近藤彦右衛門・横山市良右衛門・青柳弁六・沼田円左衛門・沼田喜久治・青柳新五兵衛・森戸糺・泉弟蔵・武石小文治				
AO212.1-78	戦争次第書	(明治3年)(1870)	吉田徳太郎ほか15名		縦帳(86)
	戊辰戦争の軍功をまとめたもの、吉田徳太郎・佐藤幸吉・斎藤岩松・山内与右衛門・桜庭文太郎・細葉見友八・山内慶吉・佐藤庄之助・田処国松・佐藤又兵衛・佐藤四郎治・斎藤健之助・桜井亦市・佐藤弥治右衛門・山野内権之丞・佐藤金吾				
AO212.1-81	戦争次第書	明治3年(1870)	工藤重蔵ほか7名		縦帳(64)
	戊辰戦争の軍功をまとめたもの、工藤重蔵・根本伝三郎・桜井角松・石代庄助・山田貞治・高橋久米松・工藤多郎兵衛・山田文喜治				
AO212.1-85	戦争次第書	明治3年(1870)	中田千代治ほか5名		縦帳(66)
	「戦争書」/「戦争書」/「戊辰戦争手扣」/「戦争次第書」/「慶応四辰年戦争覚書」/「出兵次第書」、(貼紙)大館佐竹義履 一二号、戊辰戦争の軍功をまとめたもの、中田千代治・大山市郎・関秀兵衛・斎藤豊吉・中村哲也・藤田忠五郎				
AO212.1-86	戦争次第書	明治3年(1870)	工藤重五郎ほか14名		縦帳(86)
	(貼紙)足軽ヨリ書上 二九号、(貼紙)大館佐竹義履、戊辰戦争の軍功をまとめたもの工藤重五郎、・佐藤弥五右衛門・山野内治兵衛・工藤勇太郎・五十嵐彦左衛門・工藤虎三郎・佐藤時松(幸之丞)・山内治三郎・佐藤時松・桜庭兵吉・桜井慶治・須藤福治・山内与五左衛門・佐藤留之助(喜兵衛)・山ノ内文太				
AO212.1-87	戦争次第書	明治3年(1870)	岸慎三ほか11名		縦帳(69)
	「大館給人二三男戊辰出兵書上取纏」/「出兵書上」/「戦争書」、(貼紙)大館佐竹義履 二四号、戊辰戦争の軍功をまとめたもの、岸慎三・小林才助・中田恒治・根本栄之助・杉山勝蔵・角田百助・長山力蔵・森戸三之助・中村沖之助・泉一三郎・安土順之助・近藤要吉				
AO212.1-92	軍功取調下帳	明治3年(1870)			縦帳(30)
	明治三年庚午冬調之、(貼紙)大館佐竹義履 二二号、戊辰戦争の軍功をまとめたもの、金剛隊・抛人石代庄助ほか				
AO212.1-95	戦争次第書	明治3年(1870)	古内幸治ほか8名		縦帳(84)
	「戦争次第覚書」/「戦争次第書」/「戦争次第書上帳」/「慶応四辰八月戦争始末書上帳」/「慶応四辰八月争戦始末書上帳」/「戦争次第書」/「戦争次第書」/「慶応四辰八月争戦始末書上帳」/「戦争次第書」、戊辰戦争の軍功をまとめたもの、古内幸治・大山泰治・横山貞助・中村源吉・根本倫治・棚谷源七郎・沼田源之助・中村長治・近藤豊				

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO212.1-96	戦争次第書	明治3年(1870)	中田太郎蔵ほか2名		縦帳(40)
	「争戦始末取調書」/「戦争次第書」/「戦争書」、戊辰戦争の軍功をまとめたもの				
AO212.1-140	戦争次第書	明治3~4年 (1870~1871) 10月~正月	古内作兵衛ほか8名		縦帳(107)
	「戦争次第書」/「慶応四戊辰八月戦争次第書」/「争戦次第書」/「戦争形状書」/「慶応四辰八月出兵次第書」/「戦争次第書」、(貼紙)大館佐竹義履 一三号、戊辰戦争の軍功をまとめたもの、古内作兵衛・中田一・白坂俊助・大沢正・河野昇・佐川平兵衛・石井虎之助・茂内政吉・泉民人				
AO212.1-67	戦争次第書	(明治3~4年) (1870~1871)	石井佐五郎ほか 10名		縦帳(110)
	「戦争次第書」/「出兵次第書」/「戦争書」/「戦争始末書」/「慶応四辰八月戦争次第書」/「戦争次第書」/「慶応四辰ノ八月戦争次第書」/「覚書」/「覚」/「戦争覚書」/「慶応四南賊征討次第書」、(貼紙)大館佐竹義履 一号、戊辰戦争の軍功をまとめたもの、石井佐五郎・青柳東三郎・根本八十吉・石塚和一郎・佐川吉左衛門・沼田芳松・塙鉄蔵・青柳隼・浜松新七・河野直助・横山勇喜				
AO212.1-71	戦争次第書	明治3~4年 (1870~1871)	沼田為助ほか12名		縦帳(94)
	「慶応四辰年戦争書附」/「戦争次第書」/「覚書」/「出兵次第書」/「戦争覚書」/「戦争次第書」/「慶応四辰年出兵次第書」/「去辰年出兵次第書」/「慶応四辰年出兵次第書」/「慶応四辰八月出兵次第書」/「慶応四辰年出兵次第書」/「去ル辰中戦争次第書」、(貼紙)大館佐竹義履 八号、戊辰戦争の軍功をまとめたもの、沼田為助・中村謙之進・青柳丹蔵・泉皆吉・瀬尾豊治・岸久治・石井文弥・森戸徳松・藤田勇之助・岸文治・泉新八・河野久米太郎・沢畑久五郎				
AO212.1-83	寺院戦争次第書、大館出兵 寺院御扱金更取帳	明治3~4年 (1870~1871)	金剛隊組頭館花真 雲ほか		縦帳(49)
	寺院の戊辰戦争の軍功をまとめたもの				
AO212.1-93	戦争次第書	明治3~4年 (1870~1871)	根本永蔵ほか6名		縦帳(70)
	「慶応四辰年出足次第書」「慶応四辰年戦争次第書」/「明治元辰年八月中出兵次第書」/「争戦次第書」/「戦争次第書」/「慶応四辰年戦争次第書」/「慶応四年戊辰戦争書」、戊辰戦争の軍功をまとめたもの、根本永蔵・根本房吉・安土正治・安部慶治・青柳形名・長山栄治・飯村辰蔵				
AO212.1-94	戦争次第書	明治3~4年 (1870~1871)	横山隼之助ほか8名		縦帳(76)
	「戦争次第書」/「親伝三郎出兵次第書(貼紙)大館佐竹義履 六号」/「戦争次第書」/「慶応四八月戦争始末書上」/「慶応四辰年戦争次第書」/「争戦次第書」/「出兵始末書」「戦争次第書」、戊辰戦争の軍功をまとめたもの、横山隼之助・中田友之助・岸千代治・近藤永吉・佐川勘内・長山七郎兵衛・横山徳之助・富山軍八郎・安土新五郎				
AO212.1-101	戦争次第書	明治3~4年 (1870~1871)	沼田助八ほか12名		縦帳(121)
	「戊辰戦争次第書」/「戦争次第書」/「戦争書」/「戦争次第書」/「慶応四辰八月出兵次第書」/「戦争覚書」/「戦争書」/「慶応四戊辰戦争覚書」/「慶応四戊辰戦争始末書」/「戦争次第書」/「争戦書」/「慶応四戊辰戦争次第書」、(貼紙)大館佐竹義履 一四号、戊辰戦争の軍功をまとめたもの、沼田助八・高久虎左衛門・河野三郎・杉山銀平・岸弁之助・宮崎金平・芳賀忠一郎・高久貞一郎・泉剛助・岸洗蔵・片岡駒吉・塙熊治・近藤恒蔵				
AO212.1-97	戦争次第書	明治3~4年 (1870~1871)	小林隼太ほか22名		縦帳(133)
	「戦争書」/「親主鈴戦争次第御届書」/「覚」/「戦争次第書」/「戦争覚書」/「戦争次第書」/「戦争次第書」/「戦争書」/「明治元辰八月中親富三郎出兵書」/「親鉄之助出兵次第書」/「慶応四年辰八月戦争書」/「親外記出兵始末書」/「親又蔵出兵次第書」/「慶応四戊辰年戦争次第書」/「嫡子宮三郎戦争形状書」/「慶応四辰年親兵右衛門出兵次第書」/「戦争書」/「同姓慶治戦争討死次第書」/「覚」/「同姓勝治戦争覚書」/「親直之助戦争次第書」/「親長治戦争次第書」、(貼紙)大館佐竹義履一五号、戊辰戦争の軍功をまとめたもの				

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO212.1-99	戦争次第書	明治3～4年 (1870～1871)	藤田勇太ほか11名		縦帳(129)
	「戦争次第書」/「慶応四辰八月出兵次第書」/「慶応四辰年戦争次第書」/「戦争次第書」/「戦争次第書」/「慶応四辰年出兵次第書」/「争戦次第書」/「争戦書」/「戦争次第書」/「戦争次第書」/「戦争形状書」/「戦争書」、戊辰戦争の軍功をまとめたもの、藤田勇太・泉未得・安土国蔵・近藤国五郎・森戸平吉・根本忠四郎・藤田平治・瀬尾謹吾・関此治・古内今右衛門・河野伝吉・岸千代治				
AO212.1-104	戦争次第書	明治3～4年 (1870～1871)	瀬尾寅之助ほか 11名		縦帳(82)
	「戦争覚書」/「慶応四辰八月出兵次第書」/「戦争次第書」/「慶応四辰年出兵次第書」/「慶応四辰八月出兵次第書」/「戦争次第書」/「小荷駄方勤覚書」/「戦争次第書」/「慶応四辰年争戦次第書」/「去辰年出兵次第書」/「戊辰南賊掃攘出兵次第書」/「慶応四辰八月戦争始末書」、(貼紙)大館佐竹義履 七号、戊辰戦争の軍功をまとめたもの、瀬尾寅之助・安藤直江・武石第力・富山熊治・青柳常之助・青柳寿助・柏喜衛門・石井喜兵衛・青柳左司馬・青柳駒五郎・泉重左衛門・山本彦四郎				
AO212.1-125	佐竹九郎家人並足軽農兵戦功有之召抱人別帳		前小屋文八郎ほか		縦帳(8)
	戊辰戦争の軍功をまとめたもの				
AO212.1-135	戦争次第書				縦帳(3)
	重蔵・仁右衛門御働之書上、戊辰戦争の軍功をまとめたもの				
AO212.1-144	佐竹九郎家人並軽卒軍功取調帳		村上鶴蔵ほか		縦帳(45)
	ほかに「佐竹九郎家人并ニ軽卒等外出兵人別帳」/「大館医者軍功調帳」、(貼紙)大館佐竹義履 二三号、戊辰戦争の軍功をまとめたもの				
AO212.1-145	戦争次第書		小林隼太ほか		縦帳(147)
	大館合戦軍功帳、戊辰戦争の軍功をまとめたもの				
(2) 人別帳・軍割帳					
AO212.1-3	秋田藩大館城佐竹大和支配軍割簿	慶応4年(1868) 4月29日～5月16日			縦帳(5)
	羽州庄内藩御征討出軍発令達、大館城出陣(4月29日)・秋田城出陣(閏4月15日)・大館城帰陣(5月16日)、(貼紙)大館佐竹義履 二五号				
AO212.1-24	大館合戦農兵取調帳	慶応4年(1868) 8月			縦帳(4)
	明治元年戊辰八月大館合戦農兵取調帳				
AO212.1-58	辰年戦争之砌御手負討死人数控	(慶応4年)(1868) 8月9日～9月17日			横半(8)
AO212.1-16	御足軽人別書上帳	慶応4年(1868) 9月	小頭重兵衛		横帳(5)
AO212.1-25	南部御進軍御供人別帳	明治元年(1868) 10月			横帳(11)

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO212.1-31	南部御進軍御供人別帳 隊長下遠健治以下315人	明治元年(1868) 10月			横帳(14)
AO212.1-7	大館御軍割帳 大館御軍割・御軍割・御番方御軍割・御軍割大館御足軽人別帳・御軍割、(貼紙) 大館佐竹義履 一八号	慶応4年(1868)			縦帳(36)
AO212.1-52	家人出兵人別帳 番頭下遠健治以下惣人数94人	(明治元年)(1868)			横帳(5)
AO212.1-55	御組下出張人別取調帳 鉄砲頭根本幾之助以下226人	明治元年(1868)			横帳(10)
AO212.1-143	御軍事御用諸品書上帳、当秋農兵被仰付人数書上帳、農兵書上、町兵書上 片山村・杉沢村・釈迦内村・松嶺村・大館町・大町・田町・花岡村・餅田村・山田村、横帳・継紙挟み込み	慶応4～明治2年 (1868～1869)	片山村ほか9町村	江楮左門・ 下遠健治	縦帳(58)
AO212.1-61	銃隊御取調帳 小隊司令狩野徳蔵以下	明治2年(1869) 2月			横帳(13)
AO212.1-62	辰八月諸寺院出兵取調帳 真言宗遍照院以下	明治2年(1869) 6月	組頭宝泉寺		横帳(3)
AO212.1-63	出兵人数御目見帳 鉄砲頭から御医者まで	明治2年(1869) 9月			横帳(17)
AO212.1-64	家人出兵人数御目見帳 鉄砲頭・軍監・斥候・戦士	明治2年(1869) 9月			横帳(4)
AO212.1-65	大館給人出兵御目見帳 鉄砲頭から小荷駄方まで	明治2年(1869) 9月			横半(26)
AO317-24	大館歩行足軽以下家数人口取調帳 家数112軒・人口493人	明治2年(1869) 11月	馬場目鉄蔵ほか2名		横帳(14)
AO317-28	御家中分限御書出控 前小屋安右衛門以下、局住・寺院・足軽、家数140軒・人員201人	明治2年(1869) 11月			横帳(18)
AO317-29	大館家人家数人口取調帳 戸数166軒・人口752人	明治2年(1869) 11月	馬場目鉄蔵ほか2名		横帳(22)

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO212.1-103	慶応四戊辰年出兵各隊人員 書上帳 戊辰戦争へ出兵した人員の書上	明治3年(1870) 10月			横帳(15)
AO212.1-59	従軍願子弟人名簿 住所・父姓名・本人姓名・年齢・妻子、総員711人	(明治7年)(1874) 11月			縦帳(50)
AO212.1-66	出兵人別覚 小頭佐藤弥左衛門以下				横帳(4)
AO212.1-116	御与下出張人別取調帳 鉄砲頭根本幾之助以下、戊辰戦争の出兵名簿				横帳(9)
AO212.1-117	家人出兵人別帳 番頭下遠健治以下、惣人数94人、戊辰戦争の出兵名簿				横帳(4)
AO212.1-118	御与下御足軽人別取調帳 鉄砲頭根本順助以下、♫193人、戊辰戦争の出兵名簿、ほかに御足軽・御日取・扱人				横帳(9)
AO212.1-119	佐竹大和手人数調帳 隊長中田太郎蔵、戊辰戦争の出兵名簿				横帳(9)
AO212.1-120	南部進軍惣人数覚 ほかに「出兵惣人数」・「御境口迄出張惣人数覚」、戊辰戦争の出兵人数				横帳(2)
AO212.1-123	戊辰合戦人別帳 〈貼紙〉人別書 一九号、〈貼紙〉大館佐竹義履				横帳(70)
AO212.1-124	御軍事取調帳 組頭根本順助以下				横帳(11)
AO212.1-126	支配御足軽出張人別帳 小頭槇田市左衛門以下、♫79人				横帳(4)
AO212.1-114	従軍願戸主人名簿 総員1114人、住所・姓名・年齢・家族、戊辰戦争へ従軍を願った戸主の名簿、折紙挟み込み	明治7年(1874)			縦帳(77)
AO212.1-127	御軍割人別取調帳 御出兵之節御供、御家老狩野源蔵以下				横帳(13)
AO212.1-128	御軍事へ出候人別調帳 御家老馬場目鉄蔵以下				横帳(5)

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO212.1-129	家人出兵人別帳 番頭下遠健治以下				横帳(5)
AO212.1-130	出兵人別取調帳 鉄砲頭根本順助以下				横帳(6)
AO212.1-131	出兵人別取調帳 出兵御足輕ほか、小頭塚田伊右衛門以下		狩野徳藏		横帳(5)
AO212.1-133	大和家人出兵人別帳 兵隊惣纏狩野源藏以下				横帳(4)
AO212.1-136	御軍割人別帳 御出兵之節御供、御家老狩野源藏以下				横帳(15)
AO212.1-137	出兵人別取調帳 中田太郎蔵ほか各組戦士名簿、組頭中田太郎蔵組以下				横帳(4)
AO212.1-138	出兵人別取調帳 遊軍隊ほか書上、壱番中田千代治以下				横帳(8)
AO212.1-141	御出兵人別取調帳 御出兵之節御供、御家老狩野源藏以下				竖帳(20)
AO280-2	佐竹九郎足軽人別帳控 塚田伊右衛門以下26人・子供11人、戊辰戦争の軍功の記載あり				竖帳(5)

(3) 等級調

AO212.1-105	大館士族軍功等級人別帳 一等～六等、(貼紙) 大館佐竹義履 二三号、戊辰戦争の軍功の等級を記したもの	明治3年(1870) 10月	佐竹九郎		竖帳(18)
AO212.1-107	大館士族軍功取調帳 (貼紙) 大館佐竹義履 三五号、戊辰戦争の軍功を等級別にまとめたもの、一部に付箋あり	明治3年(1870) 10月	佐竹九郎		竖帳(94)
AO212.1-109	大館卒族等級取調帳 戊辰戦争の軍功を等級別にまとめたもの	明治3年(1870) 12月	佐竹九郎		竖帳(35)

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO212.1-88	佐竹九郎実弟小田茂雄軍功等級帳ほか ほかに「大館中士二三男軍功等級帳」/「戊辰八月大館士族隠居中田錦江軍功書」/「戊辰年大館近進並濱松貞蔵軍功帳」/「慶応四辰年大館士族隠居出兵人別帳」/「大館二三男安士兵作関丈助軍功書」/「慶応四戊辰年大館士族家来討死軍功帳」/「手負拔書」/「大館中士族出兵等外人別帳」、〈貼紙〉大館佐竹義履 一六号、根本順吉・中田太郎蔵・安士寛蔵・佐竹九郎・中田錦江、付箋多数あり	(明治3年)(1870)	根本順助ほか4名		縦帳(76)
AO212.1-89	佐竹九郎実弟小田茂雄軍功等級帳ほか ほかに「覚」/「扇田村喜藤治戦争書上之内」/「扇田村又吉戦争中御用御勤之次第書上之内」/「覚」、根本順吉・中田太郎蔵・安士寛蔵・安士兵作	明治3年(1870)	根本順助ほか3名		縦帳(31)
AO212.1-106	軍功取調書ほか ほかに「戊辰南賊掃攘等級見込帳」/「小荷駄方軍功調」/「卒族軍功級等帳」、戊辰戦争の軍功の等級を調べたもの	明治3年(1870)	根本三郎右衛門・平塚千蔵		縦帳(40)
AO212.1-108	等級取調帳ほか ほかに「等級見込帖並無功帖附録」/「戦争軍功無功取調書」/「慶応四辰八月より軍功調書」/「遊軍隊無功帳」、〈貼紙〉大館佐竹義履 三四号、根本順助・中田太郎蔵・武石常三郎・古内作兵衛・沼田助八	(明治3年)(1870)	根本順助ほか4名		縦帳(53)
AO212.1-110	大館卒族二三男等級帳ほか ほかに「大館卒族無功帳」、戊辰戦争の軍功を等級別にまとめたもの	明治3年(1870)	佐竹九郎		縦帳(17)
AO212.1-132	戊辰戦争軍功等級調 江幡吉治ほか御働之事、一等～三等				継紙
AO212.1-146	御家中御賞典御扶持被下控 戊辰戦争の軍功による賞典をまとめたもの				横帳(2)

5 その他

(1) 日記・日誌

AO312-54-1	日記 一	慶応4年(1868) 4月11日～29日	江幡味右衛門通寛		縦帳(75)
AO312-54-2	日記 二	慶応4年(1868) 8月9日～11月2日	江幡味右衛門通寛		縦帳(34)
AO312-55-1	日誌 前小屋舎人忠則・山田忠四郎勝予・佐藤龍太郎秀静・川又克巳忠善・下遠健治重光、明治3年3月の序文(佐藤秀静)あり	慶応4年(1868) 8月9日～30日	御膳番所		縦帳(53)

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO312-55-2	日誌 前小屋舎人忠則・山田忠四郎勝予・佐藤龍太郎秀静・川又克巳忠善・下遠健治重光	明治元年(1868) 9月1日～29日	御膳番所		縦帳(42)
AO312-55-3	日誌 前小屋舎人・山田忠四郎・佐藤龍太郎・川又克巳・下遠健治	明治元年(1868) 10月1日～30日	御膳番所		縦帳(43)
AO312-55-4	日誌 前小屋舎人・山田忠四郎・佐藤龍太郎・川又克巳	明治元年(1868) 11月1日～30日	御膳番所		縦帳(53)
AO312-55-5	日誌 山田忠四郎・佐藤龍太郎・川又克巳	明治元年(1868) 12月1日～28日	御膳番所		縦帳(53)

(2) 情報書付・消息

AO212.1-8	各地情報書付 三月廿九日出四月十八日達、戊辰戦争の戦況について	(慶応4年)(1868) 3月29日			切紙
AO212.1-23	諸頭戦争報知 戊辰戦争に関する書上、〈貼紙〉大館佐竹義履 二一号	明治元年(1868) 8月～12月			縦帳(75)
AO212.1-29	箱館情報書付 戊辰戦争の函館をめぐる戦況について	(明治元年)(1868) 10月29日			継紙
AO212.1-20	各地風評書付 庄内仙台には旧幕の脱臣が相替わらず入り込み居るなど、戊辰戦争の戦況について	(慶応4年)(1868)			切紙
AO212.1-57	各消息稿 主上東京行華之事ほか	(明治元年)(1868)			継紙
AO312-91	各地風説書 山口藩・越前藩・熊本藩・膳所藩ほかの動静について				継紙

(3) 請払帳

AO212.1-139	諸品差上帳、去八月九日より廿二日迄争戦中小荷駄方請払帳 〈貼紙〉諸品差上帳 二七号、〈貼紙〉大館佐竹義履、継紙挟み込み、戊辰戦争で村々から差し出した物品をまとめたもの、粕田村・七日市村・岩瀬村・柳沢村・式ツ屋村・岩神村・下代野村・脇神村・欠屋敷・小館本村・大茂内村・宮袋村・釈迦内村・上代野村	明治元～2年 (1868～1869) 12月～10月	粕田村ほか13村	江楮左門・ 下遠健治	縦帳(102)
-------------	---	----------------------------------	----------	---------------	---------

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO212.1-91	御軍事諸品差上下調帳	明治3年(1870)			縦帳(22)
	明治三年庚午春取纏、(貼紙) 大館佐竹義履 二六号、戊辰戦争で領内から献納された物品の一覧				

(4) 宿継奉札

AO212.1-21	宿継奉札御即答取纏	明治元～2年 (1868～1869) 8月29日～正月2月	小貫宇右衛門頼房	佐竹大和義貴	縦帳(58)
	小貫頼房からの宿継奉札と佐竹義貴の即答をまとめたもの				
AO212.1-56	御飛脚宿継奉札控	慶応4～明治2年 (1868～1869)	御記録処		縦帳(19)
	御飛脚宿継奉札御即答扣・宿継奉札御即答扣、本藩からの奉札とそれに対する西家の即答をまとめたもの				

(5) 戦争絵図

AO212.1-60	明治戊辰役戦争絵図	(明治元年)(1868) 8月9日～9月20日			縦帳(20) 32×22
	佐竹男爵家蔵、彩色有				

III 明治期

1 下達文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO312-93-1	久保田大館往復御用状写 一、別紙(覚)あり	(明治元年)(1868) 正月～10月			縦帳(133)
AO312-93-2	久保田大館往復御用状写 二	(明治2年)(1869) 正月～6月			縦帳(107)
AO312-93-3	久保田大館往復御用状写 三	(明治2～3年) (1869～1870) 12月～5月			縦帳(88)
AO312-93-4	久保田大館往復御用状写 四	(明治元年)(1868) 10月～12月			縦帳(122)
AO312-93-5	久保田大館往復御用状写 五	(明治元～2年) (1868～1869) 9月～6月			縦帳(85)
AO312-93-6	久保田大館往復御用状写 六	(明治2年)(1869) 2月～9月			縦帳(91)
AO312-93-7	久保田大館往復御用状写 七	(明治元年)(1868) 9月～12月			縦帳(96)
AO312-70	御評定所被仰渡書	明治元～2年 (1868～1869)			縦帳(26)
AO209-31	御発駕之節被仰出御用控	明治2年(1869) 正月			横帳(5)
AO312-69	御会所御触書	明治2年(1869) 正月～12月	御記録所江幡運藏		縦帳(128)
AO372-2	執達 御学之執達、「学問御取立専分人材御教育追々御用ニ相立候」、〈包紙〉執達、372-3の条目と対になる執達	(明治2年)(1869) 6月			継紙

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO372-3	御条目	(明治2年)(1869) 6月			継紙
	学問之儀仰出、「学問之儀者御先代厚き思召を以御取立人材御教育被成置候」、〈包紙〉御条目				
AO317-30	御布告書写	明治2～3年 (1869～1870) 9月～12月			縦帳(48)
	秋田県下大館邸、別紙(覚)5枚綴じあり				
AO312-75	御条目	(明治2年)(1869) 12月			継紙
	版籍奉還についての御達、〈包紙〉御条目 佐竹大和付属分				
AO312-73	御用状控	明治2～3年 (1869～1870)			縦帳(72)
	大館より				
AO312-81	廻文控	明治3年(1870) 2月～11月	前小屋寛右衛門・ 浅野祐之進		縦帳(30)
AO312-82	諸被仰渡控	明治3年(1870) 3月～7月			縦帳(29)
AO312-84	政庁呼出状	(明治3年)(1870) 8月19日	政庁	佐竹九郎	継紙
	佐竹九郎宛出序之仰出、「廿一日四ツ時出序可有之」、〈包紙〉佐竹九郎江 政庁				
AO386-10	政庁呼出状	(明治3年)(1870) 9月5日	政庁	佐竹九郎	継紙
	御法要に付詰方被仰付、「当月八日正五ツ時於天徳寺御執行」、〈端裏〉佐竹九郎江 政庁				
AO312-94	御用状控	(明治3～4年) (1870～1871) 10月～5月			縦帳(37)
	別紙1枚挟み込み				
AO312-83	御用状控	明治3～4年 (1870～1871) 10月12日～8月2日			縦帳(97)
	秋田大館邸、別紙(3枚綴り)挟み込み				
AO384-2	根岸司呼出状	(明治3年)(1870) 11月18日	根岸司	佐竹九郎	継紙
	御移徙式並御鉄漿初式御祝儀案内、「廿日四ツ時可被致出殿」、〈裏書〉佐竹九郎殿 根岸司、〈包紙〉上佐竹大和				
AO327-3	御尋書	明治3年(1870) 11月～12月	塚田又五郎・武田 文太郎、久吉母		縦帳(37)
	御足軽久吉が安保彦吉を殺害し出奔した件について				

III 明治期

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO312-87	御用状控 大館より、別紙（2月11日諸沢順吉覚書）挟み込み	明治4年(1871) 正月～9月			縦帳(88)
AO317-37	御布告書写 秋田県下大館邸	明治4年(1871) 3月～12月			縦帳(84)
AO317-38	被仰渡書写 身分筋被仰渡之覚	明治4年(1871) 5月28日～7月24日			横帳(8)
AO312-85	太政官・兵部省達書写 元の県で管轄していた地を当年より新置の県へ引渡すべし	(明治4年)(1871) 10月20日	太政官・兵部省	秋田県	縦帳(7)
AO312-89	太政官達書 各県当分御規則	(明治4年)(1871) 12月	(太政官)	(秋田県)	継紙
AO312-55-31	御用状控 大館邸	明治4～5年 (1871～1872)			縦帳(42)
AO317-39	御布告書写 御布告書写、秋田県下大館邸蔵	明治5年(1872) 正月～6月			縦帳(69)
AO312-90	御布告書写 秋田県下大館邸、別紙（4枚綴り）あり	明治5～6年 (1872～1873) 5月～6月			縦帳(232)
AO289-17	廻文控 秋田県下大館邸	明治5～6年 (1872～1873)	佐竹義純ほか		縦帳(18)
AO310-3	建言書 版籍奉還改封之建白（佐竹義堯）・左大臣従二位島津久光公建言・参議木戸孝允建言ほか	(明治5～11年) (1872～1878)	佐竹義堯ほか		縦帳(60)
AO317-40	布達写 御達写ほか	明治6年(1873) 2月～10月			縦帳(30)
AO289-21	大蔵省時代書類抜 考課状纂輯条例ほか、大蔵省・記録寮の罫紙	明治6～7年 (1873～1874)	佐竹義純		罫紙(58)
AO312-95	秋田県呼出状 佐竹義純宛出頭之通達、「明十二日午前十時礼服用出頭可有之」、〈封筒〉士族佐竹義純殿 秋田県	明治10年(1877) 7月11日	秋田県	佐竹義純	罫紙

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO590-23	謹上	明治16年(1883) 9月	佐竹義純		縦帳(8)
	「家令家扶ヲシテ御家政ヲ担当セシムベシ」、「正実ノモノヲ御選抜御家政ヲ委任セラルベシ」				
AO289-40	佐竹義純謹稟書	明治17年(1884)	佐竹義純	九条道孝・ 沢為量	縦帳(2)
	鎮守府総督より佐竹大和宛御状写(明治元)もあり				
AO390-1	徴兵法規摘録	明治25年(1892) 正月			縦帳(5)
	秋田県北秋田大館、別紙5通挟み込み				
AO312-110	行政官達書	2月3日	行政官		継紙
	京都府告諭大意各府県江被相渡之御沙汰、(端書) 右四月廿五日大野準治持参致候書附				
AO312-92	御通達控				縦帳(58)
	行政官御沙汰書ほか				

2 上申文書

AO312-71	年中御証拠控	明治元~2年 (1868~1869)	前小屋寛右衛門・ 浅野左馬助		縦帳(67)
	山方鷲之助出仕覚(御金役衆宛)ほか				
AO317-23	御与下諸願書御添簡之部	明治元~3年 (1868~1870)	前小屋寛右衛門・ 浅野左馬助		縦帳(85)
	組下から提出された願書を当主名でまとめたもの				
AO288-70	大和家筋之儀御答書	(明治2年)(1869) 6月	佐竹大和		縦帳(9)
	〈端書〉明治二年己巳第六月被仰出御自筆并別紙共二通写草稿也、(末書) 右二通エ御答書否執政迄指出御用人御膳番ヲ以言上ニ及				
AO288-30	御直筆御書附並御別紙二通 写	明治2年(1869) 6月~7月	佐竹大和(義純)		縦帳(20)
	明治二年己巳七月三日御渡、西家の由緒につき御用所執政の求めに応じ提出				
AO288-29	御直筆御答被仰立	明治2年(1869) 7月	佐竹大和(義純)		縦帳(7)
	私家筋之儀につき被仰立				
AO288-31	御席順被仰立稿本	明治2年(1869) 8月	佐竹大和(義純)		縦帳(13)
	288-29の草稿、御別紙御答あり				
AO288-32	御直筆御答御別紙合冊	明治2年(1869) 8月	佐竹大和(義純)		縦帳(27)
	288-29・30と同内容				

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO324-9	馬場目豊松以書取申上候次第、早口村与惣兵衛口書、岩野目村長之助口書	(明治2年)(1869) 10月～11月	馬場目豊松、早口村与惣兵衛、岩野目村長之助		縦帳(9)
AO317-27	御願書草稿 一門之輩に位階被下置候様願出之件、〈端裏〉明治二年己巳十二月位階を乞藩主之願書	(明治2年)(1869) 12月			継紙
AO317-31	願伺届書控 秋田県下大館邸、佐竹義純願書 (明治2年8月) ほか、別紙 (覚) 折紙あり	明治2～4年 (1869～1871)			縦帳(65)
AO289-26	佐竹義純取纏書類 雑書類綴、行政官達書・御献上被為進被下候共取調帳ほか	明治2～12年 (1869～1879)	(佐竹義純)		縦帳(32)
AO317-32	佐竹義純願書 更而適宜俸給被成下度願出書、〈端裏〉明治三年庚午十一月	(明治3年)(1870) 11月	(佐竹義純)		継紙
AO327-2	久吉書上控、八郎兵衛書上控、又五郎・文太郎書上控、松三郎書上控 御足輕久吉が安保彦吉を殺害し出奔した件について	明治3年(1870) 12月	久吉母、安保八郎兵衛、塚田又五郎・武田文太郎、松三郎		縦帳(5)
AO317-35	御当家御草稿 陪臣の扱に関する願書	(明治4年)(1871) 2月	(佐竹義純)		継紙
AO317-36	佐竹義純願書 家人の士分取扱についての願	明治4年(1871) 7月	佐竹九郎(義純)		切紙
AO324-1	佐竹義純願書 借用地処永々被仰付度願書、(朱書) 九月廿七日御附札ニ而願書濟被仰渡	(明治4年)(1871) 9月	佐竹九郎(義純)		切紙
AO342-17	上書ほか 別紙2枚あり	明治4年(1871) 11月	江崎味右衛門通寛 ほか		縦帳(16)
AO342-18-2	家扶局請書 佐竹義純よりの献米御請之仰出、「米式石宛年々献納仕度願出」	明治5年(1872) 3月	家扶局	佐竹義純	切紙
AO611-18	佐竹義純願書 開拓地処御預願、「大館町新地之内百間四方」、(朱書) 県庁許可書あり (5月23日付)	(明治5年)(1872) 5月	佐竹義純	県庁	継紙
AO288-36	佐竹義純願書 先祖以来御一字御名乗についての伺、〈貼札〉一願之趣被届 御聞候永世相用不苦候事 但名乗候上相届可申事	(明治5年)(1872) 11月	佐竹義純		罫紙

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO342-18-1	家扶局請書 佐竹義純よりの献金御請之仰出、「数万之大金被差出候儀」	明治5年(1872) 11月	家扶局	佐竹義純	継紙
AO289-18	願伺届記録 秋田県下大館邸、明治5～6年に佐竹義純（義遵）が提出した諸届をまとめたもの、別紙2枚あり	明治5～6年 (1872～1873)	佐竹義純		縦帳(75)
AO317-41-1	江幡味右衛門ほか願書 面々志次第献金可致評議に付口上	明治6年(1873) 正月16日	江幡味右衛門ほか 3名		継紙
AO317-41-3	平沢弾右衛門ほか願書 願書に書載の「御行届」についての説明	(明治6年)(1873) 2月8日	平沢弾右衛門ほか 3名		切紙
AO317-41-2	館敬助願書 御渡米落着之次第について	明治6年(1873) 2月15日	館敬助		継紙
AO289-19	万記録 大館邸、西家屋敷間取図ほか別紙5枚あり、明治6年に佐竹義純（義遵）が提出した諸届をまとめたもの	明治6年(1873)	佐竹義純		縦帳(15)
AO342-20	旧秋田藩開拓方調達之儀御尋二付御答申上候書附	明治6～13年 (1873～1880)	黒丸敬一郎ほか	杉孫七郎ほか	縦帳(26)
AO289-20	願伺届万記録 秋田県下大館邸、明治7～9年に佐竹義純（義遵）が提出した諸届をまとめたもの、別紙2枚あり	明治7～9年 (1874～1876)	佐竹義純		縦帳(40)
AO289-24	願伺届記録 願届書類綴、明治9～10年に佐竹義純が提出した諸届をまとめたもの	明治9～10年 (1876～1877)	佐竹義純		縦帳(14)
AO029-8	記録類御返シ願	明治10年(1877) 10月10日	佐竹義純	秋田県権令 石田英吉	縦帳(2)
AO289-23	願伺届記録 願届に関する綴、明治10～11年に佐竹義純が提出した諸届をまとめたもの、別紙4枚あり	明治10～11年 (1877～1878)	佐竹義純		縦帳(16)
AO289-25	願伺届記録 明治十年己卯第七月以降、東京下谷区池之端小西湖書楼、明治12～21年に佐竹義純が提出した諸届をまとめたもの、別紙10枚あり	明治12～21年 (1879～1888)	佐竹義純		縦帳(36)
AO289-5	従四位様御帰籍願之儀二付嘆願書 従四位様は義脩のこと	明治14年(1881) 10月25日	横山勇喜ほか		縦帳(24)

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO289-30	諸控 佐竹義純あてに提出された書類をまとめたもの	(明治14~17年) (1881~1884)		佐竹義純	縦帳(39)
AO175-1	故従二位公秋田神社合祀願 書稿 末尾に「願之通被御聞届候事 佐竹家扶」とあり	明治17年(1884) 11月26日	佐竹義純	御家扶大島定	罫紙
AO590-15	県地評議人選挙之儀二付照 会	明治19年(1886) 4月1日	御家令佐竹義隣	御代信成ほか 2名	罫紙
AO324-4	生年月日御訂正願、早坂建 行書状 二男正一の生年月日訂正、(封筒)	明治22年(1889) 3月	佐竹義純、 早坂建行	片岡直治、 佐竹義純	綴(4)
AO317-43	家禄受取不足米御下附請 願、秋田県指令 委任状・約定書、説明書あり、別紙1枚挟み込み	明治23~24年 (1890~1891)			縦帳(33)
AO289-34	特別賜金下附願 日清戦争に出兵し病死した息子義孝に対する特別賜金の下附願	明治28年(1895)	佐竹義遵	秋田県知事	継紙
AO324-5	官簿御引合願 別紙1枚挟み込み	明治31年(1898) 10月15日	佐竹義遵	大館町長浜松 新七・秋田県知 事岩男三郎	罫紙(4)
AO289-39	佐竹義遵取纏書類 各雑集、自三十二年至三十三年、秋田県大館佐竹家、家禄受取不足額御下渡願ほか、別紙(戸籍届)挟み込みあり	明治31~32年 (1898~1899)	(佐竹義遵)		縦帳(9)

3 書状

AO387-40-1	須田盛貞ほか連署状 若殿様御元服御歎之趣申達、「若殿様益機嫌能被成御座」「当月九日御元服御式万端無滞被為済」、(端裏朱書) 明治元年戊辰十一月廿四日達	(明治元年)(1868) 11月20日	須田政三郎盛貞 ほか3名	佐竹大和	折紙
AO387-40-2	須田盛貞ほか連署状 若殿様御元服御歎之趣申達、「屋形様益御機嫌能被成御座」、(端裏朱書) 明治元年戊辰十一月廿四日達、387-40-1とほぼ内容	(明治元年)(1868) 11月20日	須田政三郎盛貞 ほか3名	佐竹大和	折紙
AO317-25	須田盛貞書状 早々御出府可被仰出之申達、(端裏朱書) 明治二年己巳正月廿日達、(包紙) 佐竹大和殿 須田政三郎、(包紙裏朱書) 己巳正月廿日達	(明治2年)(1869) 正月18日	須田政三郎盛貞	佐竹大和 (義純)	継紙

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO312-72	年中役人書簡案紙	明治2年(1869) 正月～12月	前小屋寛右衛門・ 浅野左馬助		縦帳(72)
AO387-3	某書状 久保田藩知事より御刀一腰頂戴之礼書	(明治2年)(1869) 5月			継紙
AO209-32	小貫頼房書状 屋形様御上着之為御知、〈包紙〉	(明治2年)(1869) 9月22日	小貫宇右衛門頼房	佐竹大和	継紙
AO312-62	小貫頼房書状 坊城按察使御巡行之為御知、〈端裏〉	(明治2年)(1869) 10月6日	小貫宇右衛門頼房	佐竹大和	継紙
AO317-26	須田盛貞書状 勤続者御賞之被仰渡、〈端裏〉	(明治2年)(1869) 12月29日	須田政三郎盛貞	佐竹大和 (義純)	継紙
AO312-86	書翰案紙 亀田ほかへの書翰の草稿	明治4年(1871) 正月～5月			縦帳(9)
AO317-68	下遠健治ほか書状写 下遠健治等願出書状ほか、別紙5枚挟み込み	(明治5～13年) (1872～1880)			縦帳(46)
AO289-44	ちゑ書状 2通綴じ	明治8年(1875) 7月17日・9月2日	ちゑ	おんきみ (佐竹義純)	罫紙(3)
AO289-52	下遠健治上申書 下遠健治書簡綴	明治12～13年 (1879～1880)			縦帳(30)
AO386-16-1	狩野良知書状	(明治30年)(1897) 6月24日	狩野良知	桂城公	罫紙
AO289-41	佐竹義遵取纏書類 往復書簡綴、佐竹義遵宛書状・佐竹義遵提出承諾書ほか、葉書挟み込み1枚あり	明治31～32年 (1898～1899)	(佐竹義遵)		縦帳(47)
AO324-6-4	杉沢銀之助書状 拝借之金返上仕候	(明治年間) (1868～1912) 正月10日	銀之助	上(佐竹義遵)	切紙
AO324-6-1	杉沢銀之助書状 借上願之件、〈封筒〉	(明治年間) (1868～1912) 12月21日	杉沢銀之助	殿様 (佐竹義遵)	切紙

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO324-6-3	杉沢銀之助書状 金壺円拝借被仰付度	(明治年間) (1868~1912) 12月28日	杉沢銀之助	殿様 (佐竹義遵)	切紙
AO324-6-2	某書状	(明治年間) (1868~1912) 12月31日			継紙
AO289-43-1	多賀谷順子・和子書状 〈包紙〉北秋田郡大館町佐竹義遵様坐下 山本郡檜山町多賀谷順 五月廿五日、289-43-1・2の2通貼り付け	5月25日	多賀谷順子・和子	尊祖父 (佐竹義遵)	切紙
AO289-43-2	多賀谷順子書状 〈包紙〉尊祖母様参人々御中 じゅん 十二月廿五日	12月25日	じゅん	尊祖母	切紙
AO590-3-1	直治書状 智恵様一件	11月4日	直治	上	継紙
AO312-74	小貫頼房書状 屋形様東京着之為御知	11月9日	宇右衛門	大和	継紙

4 日記類

AO312-55-6	日誌 御膳番所日記、山田忠四郎・佐藤龍太郎・川又克巳・二階堂鴻之進・狩野徳蔵	明治2年(1869) 正月1日~30日	御膳番所		縦帳(60)
AO312-55-7	日誌 御膳番所日誌、山田忠四郎・佐藤龍太郎・川又克巳・二階堂鴻之進・狩野徳蔵	明治2年(1869) 2月1日~29日	御膳番所		縦帳(55)
AO312-55-8	日誌 山田忠四郎・佐藤龍太郎・川又克巳・二階堂嶋之進・狩野徳蔵・江楯主税	明治2年(1869) 3月1日~30日	御膳番所		縦帳(51)
AO312-55-9	日誌 山田忠四郎・佐藤龍太郎・川又克巳・二階堂鴻之進・狩野徳蔵・江楯主税	明治2年(1869) 4月1日~29日	御膳番所		縦帳(48)
AO312-55-10	日誌 山田忠四郎・佐藤龍太郎・二階堂鴻之進	明治2年(1869) 5月1日~29日	御膳番所		縦帳(53)
AO312-55-12	日誌 山田忠四郎・佐藤龍太郎・二階堂鴻之進	明治2年(1869) 6月1日~30日	御膳番所		縦帳(54)

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO312-55-11	日記	明治2年(1869) 6月18日～11月12日	下遠健治		縦帳(45)
AO312-55-13	日誌 山田忠四郎・佐藤龍太郎・二階堂鴻之進	明治2年(1869) 7月1日～29日	御膳番所		縦帳(61)
AO312-55-14	日誌 山田忠四郎・佐藤龍太郎・二階堂鴻之進	明治2年(1869) 8月1日～29日	御膳番所		縦帳(44)
AO312-55-15	日誌 山田忠四郎・佐藤龍太郎・二階堂鴻之進・下遠健治	明治2年(1869) 9月1日～30日	御膳番所		縦帳(62)
AO312-55-16	日誌 山田忠四郎・二階堂鴻之進・下遠健治・川又克巳・江楯主税・石山哲郎・狩野徳蔵	明治2年(1869) 10月1日～29日	御膳番所		縦帳(56)
AO312-55-17	日誌 山田忠四郎・二階堂鴻之進・下遠健治・江楯主税(運蔵卜改)・狩野徳蔵	明治2年(1869) 11月1日～30日	御膳番所		縦帳(34)
AO312-55-18	日誌 山田忠四郎・二階堂鴻之進・下遠健治・江楯運蔵・狩野徳蔵・児玉永八郎	明治2年(1869) 12月1日～30日	御膳番所		縦帳(35)
AO312-61	羽前羽後御取締就被蒙仰候 出役日誌	明治2年(1869) 正月～2月	春風堂		縦帳(32)
AO312-55-19	日誌 山田忠四郎・二階堂鴻之進・下遠健治・江楯運蔵・狩野徳蔵・児玉英八郎	明治3年(1870) 正月1日～29日	御膳番所		縦帳(42)
AO312-55-20	日誌 山田忠四郎・佐藤龍太郎・下遠健治・山方(破れ)	明治3年(1870) 2月1日～30日	御膳番所		縦帳(45)
AO312-55-21	日誌 山田忠四郎・佐藤龍太郎・下遠健治	明治3年(1870) 3月1日～30日	御膳番所		縦帳(42)
AO312-55-22	日誌 山田忠四郎・佐藤龍太郎・川又克巳・下遠健治	明治3年(1870) 4月1日～29日	御膳番所		縦帳(46)
AO312-77	出府御用控	明治3年(1870) 4月28日～8月28日	羽生治素		横半(123)

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO312-55-23	日誌 山田忠四郎・佐藤龍太郎・川又克巳・下遠健治・江幡運蔵	明治3年(1870) 5月1日～30日	御膳番所		縦帳(40)
AO312-55-24	日誌 山田忠四郎・佐藤龍太郎・川又克巳・下遠健治・江幡運蔵	明治3年(1870) 6月1日～29日	御膳番所		縦帳(39)
AO312-55-25	日誌 山田忠四郎・佐藤龍太郎・川又克巳・二階堂鴻之進・下遠健治・江幡運蔵	明治3年(1870) 7月1日～30日	御膳番所		縦帳(56)
AO312-55-26	日誌 山田忠四郎・佐藤龍太郎・川又克巳・二階堂鴻之進・下遠健治・江幡運蔵	明治3年(1870) 8月1日～29日	御膳番所		縦帳(58)
AO312-76	御用留書 日記、薩藩御使者有之御口上趣并ニ頂戴物共委曲記載之備他日之参考	明治3年(1870) 7月19日～8月26日			横帳(33)
AO312-55-27	日記	明治3年(1870) 8月14日～12月29日	二階堂鴻之進ほか 2名		縦帳(74)
AO312-55-28	日誌 山田忠四郎・佐藤龍太郎・川又克巳・二階堂鴻之進・下遠健治・江幡運蔵	明治3年(1870) 9月1日～10月5日	御膳番所		縦帳(12)
AO289-32	花柳経歴日誌摘要録 碧荷深处盧主人、別紙2枚あり、請取証2枚あり	明治3～21年 (1870～1888)	佐竹義純		縦帳(53)
AO312-55-29	日誌	明治4年(1871) 正月1日～6月26日	佐藤龍太郎ほか4名		縦帳(59)
AO312-55-30	日誌	明治4年(1871) 7月2日～11月29日	二階堂鴻之進ほか 3名		縦帳(32)
AO312-55-32	日誌	明治5年(1872) 正月1日～12月2日	山田忠四郎ほか2名		縦帳(68)
AO312-55-33	日記	明治7年(1874) 正月1日～12月31日	山田忠四郎ほか3名		縦帳(46)
AO289-31	醒翁軒日々録 明治乙酉以降、秋田県大館邸、別紙2枚あり(明治29)	明治18年(1885) 正月1日～10月1日	佐竹義純		縦帳(18)
AO289-33	春風堂雑輯録 醒翁軒主人、小場氏由緒についてまとめたもの、別紙(国谷慶三書状)あり	明治21年(1888)	佐竹義遵		縦帳(26)

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO289-36	醒翁軒雑録 明治二十九年丙申一月以降、群書摘要目録・嘉言摘要録ほか、別紙挟み込み7枚(罫紙1・折紙3・印紙1・切紙2)あり	明治30年(1897)	(佐竹義遵)		縦帳(63)
AO289-35	緊要録 明治三十年丁酉十月以降、仙台大館兩寓漫誌、茶話会・寄贈品随録・備忘録ほか	明治30年(1897)	(佐竹義遵)		縦帳(8)
AO289-37	醒翁軒日々録 明治三十一年戊戌一月以降、秋田県大館邸、別紙挟み込み10枚(折紙8・切紙1・名刺1)あり	明治31年(1898) 正月1日～12月17日	(佐竹義遵)		縦帳(21)
AO289-38	醒翁軒日々録 明治三十二年己亥一月以降、秋田大館邸、別紙1枚あり	明治32年(1899) 正月1日～2月8日	(佐竹義遵)		縦帳(18)

5 西家由緒・履歴書・判任状ほか

AO289-22-10	大蔵省呼出状 「御用之儀候条明十二日第十一時礼服用大蔵省へ出頭可有之候也」、〈封書〉佐竹義純殿 秋田県	明治7年(1874) 4月6日	秋田県出張所	佐竹義純	罫紙
AO289-22-5	大蔵省判任状 「補十等出仕」、〈包紙〉明治七年甲戌第四月十二日補十等出仕 大蔵省判任状一枚 東京府旅寓兩替町薰風楼	明治7年(1874) 4月12日	大蔵大丞従五位 熊谷武五郎	佐竹義純	切紙
AO289-22-8	大蔵省呼出状 「御用之儀候条明廿四日第十一時礼服用出仕可有之候也」	(明治7年)(1874) 5月23日	大蔵大丞	佐竹義純	継紙
AO289-22-4	大蔵省判任状 「補記録寮十等出仕」	明治7年(1874) 5月24日	大蔵大丞従五位 熊谷武五郎	十等出仕佐竹 義純	切紙
AO289-22-2	大蔵省判任状 「為御手当目録之通下賜り候事」	明治7年(1874) 11月18日	大蔵省	記録寮十等出 仕佐竹義純	切紙
AO288-37	大館家歴代牌子記 西家の過去帳の抜書、義躬～義茂、明治7年までの年譜を朱筆	明治7年(1874)			縦帳(4)
AO289-22-1	大蔵省判任状目録 「金三拾五円四拾六銭」、〈包紙〉拜命呼出状 賞金目録入 (289-22-1～10まで同一包紙)	(明治7年)(1874)	(大蔵省)	(佐竹義純)	折紙
AO289-22-9	大蔵省呼出状 「御用之儀候条明後廿二日第十時礼服用出仕可有之候也」	(明治8年)(1875) 3月20日	大蔵大丞	佐竹義純	継紙

III 明治期

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO289-22-3	大蔵省免官状 「依頼免出仕」	明治8年(1875) 3月22日	大蔵省	記録寮十等出仕佐竹義純	切紙
AO289-22-7	大蔵省判任状 「為御手当目録之通下賜候事」	明治8年(1875) 4月14日	大蔵省	元記録寮十等出仕佐竹義純	切紙
AO289-22-6	大蔵省判任状目録 「金八円」	(明治8年)(1875)	(大蔵省)	(佐竹義純)	折紙
AO289-27-1	履歴書附録 一、文久3～明治5・15	明治16年(1883) 6月	佐竹義純		縦帳(82)
AO289-27-2	履歴書附録 二、文久3～明治5、1・3の草稿	明治16年(1883) 6月	佐竹義純		縦帳(50)
AO289-27-3	履歴書附録 三、文久3～明治5、第二号	明治16年(1883) 6月	佐竹義純		縦帳(51)
AO289-28	履歴書 289-29の草稿	明治16年(1883) 6月	佐竹義純		縦帳(8)
AO289-29	履歴書	明治16年(1883) 6月	佐竹義純		縦帳(9)
AO288-66	御代数覚 義躬公～義種公、(背表紙) 明治二十年丁亥七月騰写大館所蔵	(明治20年)(1888)			縦帳(92)
AO289-47	佐竹義孝死亡関係書類 佐竹義孝履歴雑資料	明治30年(1897) 10月			縦帳(35)
AO289-46	佐竹義孝墓誌銘 従七位勲六等陸軍歩兵中尉佐竹義孝君墓誌銘	明治30年(1897) 11月21日			縦帳(2)
AO289-48	佐竹義孝一周年関係書類 佐竹義孝一周年祭典綴	明治31年(1898) 10月			縦帳(32)
AO289-50	佐竹義孝死亡届書 大館町長浜松新七、「前書之通相違無之候也」	明治32年(1899) 正月25日	佐竹義遵	第八師団長立見尚文	縦帳(3)
AO289-49	佐竹義孝履歴関係書類	明治32年(1899)			縦帳(9)

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO289-16	佐竹義遵履歴書ほか 旧藩以来職務の履歴ほか	(明治年間) (1868~1912)	(佐竹義遵)		縦帳(8)

6 給人・家人系図・由緒書

AO288-34	家筋之口上書綴	(明治2年)(1869)			縦帳(13)
AO317-33	佐竹九郎元家人分限帳 御蔵出高拾七石宛被下置候面々ほか、(巻末) 明治三年庚午冬於久保田藩庁誰頼一人才足之上被相渡	明治3年(1870) 11月			横帳(11)
AO288.2-4	平姓秋元氏系図 貞昭一某(伊太郎)	(明治3年)(1870)	秋元伊太郎		縦帳(3)
AO288.2-5	源姓浅野氏系図 光重~長昭	明治3年(1870) 4月	浅野又蔵長寿		縦帳(15)
AO288.2-6	源姓越後氏系図 基清一某(国松)	(明治3年)(1870)	越後国松		縦帳(3)
AO288.2-7	江幡氏系図由緒 藤原姓江幡氏系図・江幡氏由緒、長門守~通信	明治3年(1870) 4月25日	江幡味右衛門通寛		縦帳(19)
AO288.2-8	藤原姓江幡氏系図 藤原姓江戸氏系図・由緒、通胤~通定	明治3年(1870) 5月	江幡恒吉		縦帳(19)
AO288.2-9	藤原姓江幡氏系図、由緒書上 通寛~通吉	明治3年(1870) 9月	江幡兵右衛門		縦帳(8)
AO288.2-10	大越系図 藤原性大越系図、利久~利明	(明治3年)(1870)	(大越利明)		縦帳(6)
AO288.2-11	奥寺氏系図 藤原姓奥寺氏系図、保世~保武	明治3年(1870) 4月	奥寺保武		縦帳(6)
AO288.2-12	小倉氏系図 藤原姓、宗安~宗忠	(明治3年)(1870)	小倉鉄三郎		縦帳(6)

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO288.2-21	川又氏系図 藤原姓川又氏系譜、由緒書あり、故忠～忠道	明治3年(1870) 4月	川又克巳忠善		縦帳(14)
AO288.2-22	木村氏系図 保定～保国	明治3年(1870) 5月	木村正		縦帳(4)
AO288.2-23	木村氏系図 藤原姓木村氏、善道～吉忠	明治3年(1870) 11月18日	木村松之丞吉綱		縦帳(6)
AO288.2-24	藤原姓工藤氏系図 忠光－某（定之助）	(明治3年)(1870)	工藤定之助		縦帳(3)
AO288.2-25	厨川氏系図 藤原姓厨川氏系図、吉実～実信	(明治3年)(1870)	(厨川実信)		縦帳(4)
AO288.2-26	黒沢氏系図 姓藤原本氏二階堂、道胤～道永	明治3年(1870) 5月	黒沢源吾道毅		縦帳(5)
AO288.2-27	藤原姓河野氏系図 直房～直養	(明治3年)(1870)	(河野直養)		縦帳(6)
AO288.2-28	平姓小阪氏系図 由緒書あり、某（本間小四郎）一定行	明治3年(1870) 4月	小阪春美定尚		縦帳(8)
AO288.2-29	越山氏系図 藤原姓越山氏系図、重元～重正	明治3年(1870) 4月	越山午之助重正		縦帳(5)
AO288.2-30	藤原姓小高根氏系図 益福～直敬	明治3年(1870) 5月	小高根龍太直敬		縦帳(4)
AO288.2-31	小林氏系図 某（角右衛門）～央秀	明治3年(1870) 4月	小林寛藏央秀		縦帳(4)
AO288.2-32	源姓小林氏系図 某（兵庫助）～央富		小林兵左衛門央武		縦帳(9)
AO288.2-16	小山氏系図 藤原姓小山氏信温二男系図、288.2-17の分流、信安～信恭	明治3年(1870) 5月	小山安之助信正		縦帳(9)

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO288.2-17	小山氏系図 藤原姓小山氏系図、鎌足～信謹	明治3年(1870) 5月	小山長之丞信利		縦帳(10)
AO288.2-18	小山氏系図 藤原姓系図、秀宗～秀節	明治3年(1870) 10月	小山忠吉秀精		縦帳(9)
AO288.2-19	藤原姓小山氏系図 信真～信易	(明治3年)(1870)	(小山信定)		縦帳(4)
AO288.2-20	藤原姓小山氏系図 288.2-18と同内容、秀宗～秀実	(明治3年)(1870)	小山忠吉秀精		縦帳(9)
AO288.2-33	斎藤氏系図 藤原氏斎藤系図、和泉～清吉		(斎藤清吉)		縦帳(5)
AO288.2-34	佐賀氏系図 藤原姓佐賀氏系図、某(庄助)～直輝、由緒書あり	明治3年(1870) 4月29日	佐賀民助直輝		縦帳(14)
AO288.2-35	藤原姓佐賀氏系図 直忠～直正	明治3年(1870) 5月	佐賀専之助直正		縦帳(10)
AO288.2-36	佐賀氏系図 藤原姓佐賀氏系図、直広～直清	(明治3年)(1870)	(佐賀直清)		縦帳(5)
AO288.2-37	藤原姓佐々木氏系図 綱正-某(常三郎)	(明治3年)(1870)	佐々木東三郎綱正		縦帳(3)
AO288.2-38	藤原姓佐藤氏系図 288.2-39の分流、寛助～秀本	明治3年(1870) 5月	佐藤猪之吉秀実		縦帳(6)
AO288.2-39	藤原姓佐藤氏系図 鷹信～秀健	明治3年(1870) 5月	佐藤龍太郎秀静		縦帳(15)
AO288.2-40	藤原姓佐野氏系図 志賀右衛門～利言	(明治3年)(1870)	(佐野利方)		縦帳(6)
AO288.2-41	塩谷氏系図 藤原姓塩谷氏系図、讃岐～綱正	明治3年(1870) 4月25日	塩谷才助綱正		縦帳(8)
AO288.2-42	下遠氏系図 藤原姓下遠氏系図、288.2-43の分流、重明～重光	明治3年(1870) 4月29日	下遠健治重光		縦帳(8)

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO288.2-43	藤原之姓下遠系図 某(助兵衛)～重通	明治3年(1870) 5月	下遠助兵衛重通		縦帳(10)
AO288.2-44	下遠氏系図 藤原家、288.2-43の分流、重紀～重厚	(明治3年)(1870)	下遠時之助重厚		縦帳(6)
AO288.2-45	主出氏系図 藤原姓主出氏系図、土心一志道	明治3年(1870) 6月	主出兵吉志道		縦帳(3)
AO288.2-46	杉沢氏系図并二由緒書 泰氏～勝貞	明治3年(1870) 11月	杉沢忠右衛門勝直		縦帳(23)
AO288.2-47	源姓鈴木氏系図 源姓本姓穂積鈴木氏系図、「其先鈴木三郎重家之苗裔也」、由緒之伝あり、家次～重固	(明治3年)(1870)	鈴木恕助重遠		縦帳(12)
AO288.2-48	高橋氏系図 藤原姓高橋氏系図、某(文左衛門)～昌清		高橋源長昌清		縦帳(8)
AO288.2-49	田口氏系図 源姓田口氏系図、豊後～清興	明治3年(1870) 4月19日	田口市右衛門清興		縦帳(6)
AO288.2-50	武田氏系図 源姓武田系図、原直～直光	(明治3年)(1870)	(武田直光)		縦帳(7)
AO288.2-51	館越氏系図 藤原姓館越氏、勝光～勝久	明治3年(1870) 5月	館越三益勝久		縦帳(8)
AO288.2-52	寺内氏系図 寺内系図、勝宗～勝重	明治3年(1870) 4月	寺内鉄五郎勝重		縦帳(7)
AO288.2-53	那珂氏系図 藤原姓那珂氏系図、通綱～通直	明治3年(1870) 4月	那珂作馬通昭		縦帳(8)
AO288.2-54	中川氏系図 「源姓中川宗秀系譜伝ニ云古書焼失故宗治ヨリ前不知」、宗治～宗秀	明治3年(1870) 4月	中川助作宗秀		縦帳(6)
AO288.2-55	藤原姓中嶋氏系図 288.2-56の分流、初休～初知	明治3年(1870) 5月	中嶋駒之助初熹		縦帳(8)

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO288.2-56	藤原姓中島氏系図 波多野中島系図、義通～初信	(明治3年)(1870)	(中島初信)		縦帳(10)
AO288.2-57	中村氏系図 平姓中村氏系図、勝茂～重直	明治3年(1870) 5月	中村強右衛門重敏		縦帳(8)
AO288.2-58	姓藤原二階堂氏系図 行綱～道生	明治3年(1870) 7月	(二階堂道生)		縦帳(11)
AO288.2-59	畠山氏系図 源姓畠山氏系図、重唯～重礼	(明治3年)(1870)	畠山多膳重直		縦帳(6)
AO288.2-62	馬場目氏系図 系譜並由緒書、藤原末葉馬場目氏系譜、由緒書あり、勝時～勝稠	明治3年(1870) 5月	馬場目鉄蔵勝稠		縦帳(10)
AO288.2-63	藤原姓馬場目氏系図 藤原姓馬場目氏次男系図、288. 2-62の分流、泰忠～勝光	(明治3年)(1870)	馬場目多仲勝長		縦帳(6)
AO288.2-60	藤原姓早坂氏系図 定利～建章	(明治3年)(1870)	(早坂建敏)		縦帳(7)
AO288.2-61	藤原姓原野氏系図 春忠～春弘	(明治3年)(1870)	(原野春章)		縦帳(6)
AO288.2-64	源姓平川氏系図 勝道～勝正	(明治3年)(1870)	(平川勝正)		縦帳(8)
AO288.2-65	平沢氏系図 藤原姓平沢氏系図、清雅～勝元	明治3年(1870) 8月	平沢弾右衛門勝辰		縦帳(11)
AO288.2-66	平沢氏系図 藤原姓平沢氏系図、288. 2-65の分流、清近～勝潜	(明治3年)(1870)	平沢直之助勝嘉		縦帳(7)
AO288.2-67	源姓前小屋氏系図 前小屋杵易茂三男、忠利～忠勇	明治3年(1870) 8月	前小屋弘忠則		縦帳(10)
AO288.2-68	藤原姓村山氏系図 茂治～茂忠	明治3年(1870) 5月	村山熊吉茂忠		縦帳(7)
AO288.2-69	平姓守屋氏系図 盛薰～盛世	明治3年(1870) 5月	守屋良之助盛時		縦帳(8)

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO288.2-70	諸沢氏系図 某(羽右衛門)～久定	(明治3年)(1870)	諸沢順吉久定		縦帳(8)
AO288.2-82	藤原姓築氏系図 某(小右衛門)～治泰	(明治3年)(1870)	築小平治治賢		縦帳(7)
AO288.2-71	藤原之姓山方氏系図 山方能登守篤定之第四子、定繫～泰吉	明治3年(1870) 5月	山方泰雄		縦帳(9)
AO288.2-72	山方氏系図 藤原姓山方氏系図、288.2-75の分流、山方佐太郎泰定二男、泰房～泰治	明治3年(1870) 5月	山方久治泰久		縦帳(7)
AO288.2-73	藤原性山方氏系図 288.2-71の分流、蔵人定勝第三子、泰永～泰貞	(明治3年)(1870)	山方善右衛門泰清		縦帳(4)
AO288.2-74	山方氏系図 288.2-71の分流、佐渡三男、泰忠～泰完	(明治3年)(1870)	(山方泰完)		縦帳(6)
AO288.2-75	山方氏系図 藤原姓山方氏系図、288.2-71の分流、山方佐渡泰久二男、泰応～泰定	(明治3年)(1870)	山方織右衛門泰秀		縦帳(10)
AO288.2-76	山口氏系図 大職冠鎌足十七代之後胤那須太郎資隆之次男山口次郎資宗末葉、貞峰～貞庸	明治3年(1870) 5月10日	山口兵吉郎貞庸		縦帳(9)
AO288.2-77	山田氏系図 288.2-78の分流、通昭～通正	明治3年(1870) 5月	山田力之助通安		縦帳(14)
AO288.2-78	源姓山田氏系図 某(修理助)～勝舜	明治3年(1870) 5月	山田忠四郎勝予		縦帳(22)
AO288.2-79	藤原姓山田氏系図 288.2-77の分流、通茂～通吉	明治3年(1870) 5月	山田治右衛門通吉		縦帳(7)
AO288.2-80	源姓山田氏系図 288.2-78の分流、成定～勝重	明治3年(1870)	山田十左衛門勝清		縦帳(7)
AO288.2-81	山田氏系図 288.2-78の分流、通則～通明	(明治3年)(1870)	(山田通明)		縦帳(6)

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO288.2-83	源姓渡部氏系図 則家(太左衛門)～則家(源治)	(明治3年)(1870)	渡部謙蔵則行		縦帳(6)
AO288-33	御家中由緒書 前小屋文八郎・館豹助・河野真道・木村正・館越三益・館林豊吉・石田政之助・高村弥一郎・斎藤利四郎・田口角内・佐藤文吉・加藤安吉・田村運平・斎藤喜一郎・田山三太郎・神成和吉・佐藤又吉・越山角左衛門・中島喜代治・江幡直太郎・江幡兵右衛門・佐藤亥之吉・伊多波永太郎・木村正・主出兵吉・狩野亨吉・奥寺勝治・佐藤玄仲・佐藤弁治・佐野与之助・塚田常助・越山午之助・梁小平治・武田藤四郎・斎藤広治ほか、明治3年の提出分もあり	明治6年(1873) 2月	前小屋文八郎ほか 33名		縦帳(85)
7 家政関係(勘定帳・請取書)					
AO342-11	巳年御積帳 明治2年の財政見込をまとめたもの	明治元年(1868) 10月			縦帳(18)
AO342-12	明治元辰年借上高取調帳 第貳大区一小区大館士族、「合」印あり、付箋あり	明治元年(1868)			縦帳(28)
AO590-2	覚 明治元年の収支に関する覚をまとめたもの	明治元年(1868)			縦帳(22)
AO342-13	明治元辰・同二巳年借上高後借上直高取調帳 第二大区一小区大館士族	明治元～2年 (1868～1869)			縦帳(10)
AO342-19	辰巳年借上高取調帳 佐竹義純より借上分、明治8年6月県庁より公債証書にて御渡	(明治元～2年) (1868～1869)			縦帳(4)
AO611-17	代知覚 秋田郡松木村御開高覚、「当高三合 櫃崎村知行開之内堰下成候」	明治2年(1869) 7月2日	御金蔵	佐川与兵衛	切紙
AO342-15	明治二巳年借上高取調帳 第二大区一小区大館士族	明治2年(1869)			縦帳(28)
AO312-80	御証拠控 合力米の覚	明治3年(1870) 2月～10月	前小屋寛右衛門・ 浅野祐之進	御米蔵役衆	縦帳(17)
AO342-16	賄料相渡之覚	明治3年(1870) 8月			横帳(6)

III 明治期

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO590-7	金穀雑書類万合輯録 秋田県大館佐竹家、貸付や支払に関する覚をまとめたもの	明治3～12年 (1870～1879)			縦帳(55)
AO590-27	諸請取書綴	(明治5年)(1872)			綴(3)
AO590-3-2	明治九年丙子邸費綴	明治9年(1876)			綴(12)
AO289-53	学校資金献納御褒書 「金三銭三厘献納候段奇特ニ候事」	明治10年(1877) 7月12日	秋田県	前小屋正一	切紙
AO317-44	金禄公債証書に関する綴	明治11～12年 (1878～1879) 6月～4月			縦帳(31)
AO590-5	東京御登り御道中金銭御勘定帳	明治12年(1879) 7月	松田永治		横帳(26)
AO590-6	諸請取書綴 鯉二疋代金壱円請取証ほか、590-5に関する請取書の綴	明治12年(1879) 7月			綴(40)
AO590-4	御留守中御雑用本払帳	明治12～13年 (1879～1880)			横帳(17)
AO590-8	明治十二年七月より同十三年八月迄十四ヶ月間受払覚 受払早見、入之部・払之部	明治12～13年 (1879～1880)			横帳(2)
AO324-2	借用証綴 借金の証書など	明治12～14年 (1879～1881)	佐竹義純		綴(14)
AO590-10	支払帳 月ごとの雑貨(おしろひ・シャホンなど)の請入支払帳	明治13～14年 (1880～1881) 8月～9月	運花	小場	横帳(14)
AO590-9	京屋ノ勘定	明治13～14年 (1880～1881)			折紙
AO590-11	東京登諸払帳	明治14年(1881) 10月			横帳(20)
AO590-13	諸払覚 支払の覚をまとめたもの	明治15年(1882) 5月29～30日			縦帳(14)

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO590-12	御用払	明治15年(1882) 6月～8月	諸沢順吉		横帳(6)
AO611-19	地価調書 川辺郡と雄勝郡・平鹿郡の地価調書	明治17年(1884) 6月	青池豊治・石川為吉		縦帳(3)
AO590-14	会計概調総纏簿 明治十八年乙酉七月以降、秋県北郡大館邸蔵、別紙15枚あり	明治18～21年 (1885～1888)			縦帳(30)
AO324-3	東橋御邸売却之一件 第十三号	明治19年(1886) 7月	須田口源太	御代淳成ほか 2名	縦帳(6)
AO324-8	借用書ほか綴 売券写・借用書・委任状・委任契約書ほか、〈包紙〉	明治28～30年 (1895～1897)			綴(16)
AO324-6-5	借用証書 「金貳円也」	明治30年(1897) 12月22日	杉沢銀之助	佐竹義遵	切紙
AO590-18	諸色通 諸支払をまとめたもの	明治30年(1897) 11月19日～21日			横帳(6)
AO590-16	金銭出納簿、御霊条諸雑費	明治30年(1897) 11月19・24日			横帳(8)
AO590-17	仙台寓処会計録 明治三十年丁酉十月以降、秋田大館邸誌	明治30年(1897)			縦帳(35)
AO590-26	諸請取書綴	(明治30年)(1897)			綴(15)
AO590-20	会計録、叙爵祝宴会録、叙爵 歓迎録、各寄贈品録 ①明治三十一年以降、別紙7枚あり・2枚挟み込み、②明治三十三年庚子六月二十八日、秋田県北秋田郡大館 佐竹邸、③明治三十三年庚子六月十五日、秋田県北秋田郡大館佐竹邸、④明治三十三年庚子五月以降、秋田 県北秋田郡大館佐竹邸	明治31～33年 (1898～1900)			縦帳(57)
AO338-3	家産経営募集金規約	明治33年(1900) 12月	佐竹義遵ほか2名		折紙
AO590-21	諸請取書綴 牛乳代請取証ほか	明治34年(1901) 2月			綴(5)
AO590-25	諸請取書綴 大工手当請取書ほか	12月			綴(16)

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO620-1	苹果栽培予算 りんごの栽培の予算				罫紙

8 御用状案紙・手控

AO312-63	久保田御登二付御用手控	明治2年(1869) 正月20日～2月4日	前小屋舎人忠則		横帳(28)
AO312-68	御案紙 御用状案紙	明治2年(1869) 正月～11月	前小屋寛右衛門・ 浅野左馬助		竖帳(59)
AO312-66	御用手控	明治2年(1869) 2月5日～5月1日	(前小屋忠則)		横帳(104)
AO312-67	手控 御用手控	明治2年(1869) 5月2日～8月29日	前小屋忠則		横帳(127)
AO312-64	案紙 御用状案紙	明治2年(1869) 5月15日～7月12日	(前小屋忠則)		横帳(48)
AO312-65	御用状案紙	明治2年(1869) 7月22日～9月11日	(前小屋忠則)		横帳(51)
AO312-78	御案紙 御用状案紙	明治3年(1870) 正月～8月	前小屋寛右衛門 ほか2名		竖帳(40)
AO312-79	年中役人書簡案紙 御用状案紙	明治3年(1870) 正月～11月	前小屋寛右衛門 ほか2名		竖帳(22)

9 社寺・葬礼

AO185-3	大館手取纏北比内中比内北 山本寺院号帳 合79ヶ寺	明治元年(1868) 12月			横帳(6)
AO190-1	切支丹家門人数御調査紙 〈包紙〉切支丹家門人数御調査紙	明治3年(1870) 5月	佐竹九郎	駒木根昇	切紙

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO185-4	寺院調査書 大館 覚・明細帳(日蓮宗蓮莊寺・浄土宗一心院)・口上など	明治3～5年 (1870～1872)	矢橋清ほか	神祇方ほか	縦帳(28)
AO386-12	庶人葬祭儀草 「弾正台史生勤中神祇官ヨリ同台へ御下問ニ相成候処写置ヨシ」	明治4年(1871) 11月27日	久野直樹		縦帳(13)
AO386-13	佐竹斐子之神位 明治十五年九月九日没、義純次女あや(斐子)葬儀に関する書類、別紙受取証2枚挟み込み	明治15年(1882)			縦帳(20)
AO386-14	源姓佐竹歴代神霊 御代々様神霊稿書、義茂室・義幹・義幹室・義房・義房室・義易・義易室・義実・義実室・義躬・義躬室・義茂	(明治17年)(1884)			縦帳(10)
AO386-15	御歴代神位録及御祭典記 明治二十一年戊子十二月調査纏、秋田県大館邸蔵、別紙2枚あり	明治21年(1888) 12月			縦帳(67)
AO176-4	大館招魂祭々文 「祭戊辰大館戦死者之霊文」(明治33年7月5日)あり	明治23年(1890) 11月5日	佐竹義遵		縦帳(5)
AO386-11	佐竹西家御霊屋図 明治五年壬申十一月調査、明治二十四年辛卯十月録	明治24年(1891) 10月			25×35
AO386-16-2	先考三十年忌辰祭文	明治30年(1897) 7月8日	佐竹義遵		罫紙
AO289-51	靖国神社合祀之件特別賜金 下附之件書類纏 明治三十二年己亥一月以降、秋田県北秋田郡大館邸蔵	明治32年(1899) 正月～11月			縦帳(23)
AO212.1-115	戊辰役西南役日清役忠魂録 戊辰戦争・西南戦争・日清戦争の戦死者の名簿	明治33年(1900) 6月15日	仏式招魂祭事務所		印刷(91)

10 その他

AO176-5	秋義会に関する書類ほか 家族書・証文・諸生方御定書・御箇条目録・株金差入手続・東京大学予備門学科課程・秋義会開設告文・義会会則・御沙汰書など	明治2～28年 (1869～1895)			縦帳(45)
AO709-1	御掛物之控 明治五年壬申冬求之、春風堂蔵、掛軸の一覧	明治5年(1872)			縦帳(6)

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO209-33	編纂課浄書概例及書式 浄書概例・浄書概例追加・浄書書式追加	明治7年(1874)			縦帳(36)
AO590-22	桧山御隠居様御道具御預分 〈包紙〉第三号 明治九年丙子自第一月至十二月邸費録	明治9年(1876)			折紙
AO318-1	区務所関係雑記 明治十年十月三日於保戸野学校ニ会議ほか	明治10～11年 (1877～1878)			縦帳(5)
AO338-1	正金銀行創立願、銀貨御貸 下願 明治十二年己卯第十月大蔵省エ銀行出願ノ草稿写、別紙(役員名簿・株券草稿)あり	明治12年(1879) 10月			縦帳(3)
AO750-2	刀剣売買価調帳 栗田口国吉ほか	明治15年(1882) 12月			罫紙(5)
AO750-3	刀剣売買価調帳 備前重真ほか	明治15年(1882) 12月			縦帳(5)
AO750-4	刀剣調査簿 綾小路定利ほか	(明治15年)(1882)			縦帳(3)
AO750-5	定利刀記		狩野良知		縦帳(3)
AO602-1	興産社創立趣旨書、興産社 仮規則 発起人佐藤長之助・青池豊治・狩野徳藏	明治17年(1884) 4月			縦帳(9)
AO602-2	興産社創立趣旨書、興産社 規則 602-1の草稿	(明治17年)(1884) 4月			縦帳(7)
AO338-2	銀行設立関係書類 銀行設立ノ儀ニ付御伺ほか、明治34年の財産譲与の書類あり	明治17年(1884)	狩野徳藏		縦帳(26)
AO789-1	馬書 大坪本流常駟外目録ほか	明治18年(1885) 7月～9月	佐竹敬五		縦帳(17)
AO317-45	御知行処村々 秋田県北秋郡大館邸、「北秋田郡西南北山本郡仙北筋各村々合計一百十箇村」	明治19年(1886) 正月	秋田県北秋田郡大 館官邸計算局		縦帳(8)
AO209-34	大館湯沢両家列席調 天明8～明治4、「記録無之追々調査分」とあり	明治20年(1887) 12月			切紙

佐竹西家文書

資料番号	資料名	年代	作成・差出	受取	形状(丁数)
AO176-3	義会録 義会開設告文、義会会則、御内勅、御沙汰書などの写	明治28年(1895) 正月	(佐竹義純)		縦帳(12)
AO289-42	佐竹義遵取纏書類 佐竹義遵雜綴、口上書・請取証ほか	明治30～31年 (1897～1898)	(佐竹義遵)		縦帳(32)
AO789-2	英武会趣意書並会則	明治31年(1898) 2月	田村胤祚		印刷
AO590-19	甲冑永預書類取纏録 明治三十二年己亥秋編輯、秋田県北秋田郡大館邸蔵	明治32年(1899)			縦帳(14)
AO212.1-142	大館士族国民軍人員調 徴兵の名簿か、秋田県第三大区壺小区の罫紙				縦帳(14)
AO289-45	佐竹義孝御花押字式 〈包紙〉御花押字式竹内御撰被遊候様可申上候				切紙
AO317-46	羽前・羽後権知県事以下人名書 権知県事・調役・書記・筆生・捕亡、羽後権知県事は細川官助・奥山五平				継紙
AO338-4	地券抵当銀行設立致度御趣旨		千田平三郎ほか		縦帳(5)
AO527-1-1	住宅図 仙台市立町新丁5番地、2枚に断裂				50×17
AO527-1-2	住宅図 木町通とあり				12×22
AO527-1-3	住宅図				33×25
AO590-24	表より指上候品々目録 「御召物之類」から「玉篇箱共ニ」まで51品				切紙
AO620-2	菊志経 菊の栽培法				縦帳(13)

平成24年 3月22日印刷
平成24年 3月22日発行

秋田県公文書館所蔵古文書目録第8集
資料群目録3

佐竹北家文書・佐竹西家文書目録
(秋田藩関係文書Ⅲ)

編 集 兼 秋 田 県 公 文 書 館
発 行 者

〒010-0952 秋田市山王新町14-31
TEL 018-866-8301

この印刷物は650部印刷し、印刷単価は1部あたり450円です。